

平成 24 年度

佐賀大学授業評価・改善の実施に関する報告書

平成 26 年 3 月

大学教育委員会
FD 専門委員会

はじめに

平成18年10月1日から施行された「佐賀大学学生による授業評価実施要領」に基づき、学部・大学院の全授業科目で授業評価アンケートが実施されるようになってから平成24年度で7年目を迎えます。本年度は学部における実施率は前期が95.7%、後期が93.3%となり、研究科でも前期が73.2%、後期が68.6%に達するまでになりました。この実施率は授業評価アンケートを行うことが当然であると考える教員がほぼ全員実施したことを意味します。この数値はアンケート実施開始時から比べると大きく増加しており、FD活動に対する教員の意識が高まっていることを表しています。

本学は平成18年度より授業評価結果を用いた授業改善を実施するために、各学部等に組織別授業評価を行うことを義務付けてきました。各学部は、評価の高かった科目の選考や授業改善への取り組み状況、次年度へ向けた授業改善の目標などを大学教育委員会に報告するようになっていました。また、各教員には個別授業点検・評価報告書の提出が義務づけられました。

平成19年4月から大学院教育において、平成20年4月からは学部教育においてFDの義務化がはじまり、大学教育は大きな局面を迎えています。また、法人評価や認証評価では、授業評価アンケートがどのように教育に活用されているかが問われました。本学では先に述べたようなシステムはほぼ整いましたが、十分に活用できていない面があります。今後の課題は、このシステムを実質的に活用することです。これらの利活用が、今後の大学の運命を左右するといっても過言ではないでしょう。各部局および教員が各報告書を多方面から解析することにより、FD活動に生かされることを希望します。

本学の教職員の方々には今まで以上にご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

国立大学法人 佐賀大学 大学教育委員会委員長

瀬口 昌洋

目次

はじめに	1
目次	2
I. 経過	3
II. 実施状況	4
III. 授業評価アンケートの結果と分析	
III-（1）学部別の結果と解析	23
III-（2）文化教育学部・教育学研究科の結果と解析	32
III-（3）経済学部・経済学研究科の結果と解析	52
III-（4）理工学部・工学系研究科の結果と解析	67
III-（5）農学部・農学研究科の結果と解析	99
III-（6）教養教育運営機構の結果と解析	127
おわりに	138
資料1 佐賀大学学生による授業評価実施要領	139
資料2 授業評価結果を用いた授業改善実施要領	141
資料3 学生による授業評価アンケート様式	142
資料4 共通様式以外のアンケート様式	144
資料5 項目の基礎集計表	147

I. 経過

佐賀大学では平成 12 年度前学期の「学生による授業評価」の試行的実施を経て、同年度の大学教育委員会で承認された「授業評価実施要領」に基づき平成 13 年度より本格導入に至っている。さらに佐賀医科大学との統合後には、佐賀大学大学教育委員会（平成 15 年 11 月 26 日開催）で「学生に対する授業評価システムに対応する専門委員会」の設置が承認され、継続的に実施する体制が整えられた。法人化後の平成 17 年度には「授業評価実施要領」を一部改訂し、従来の教員による選択的实施を改め、講義科目（演習、実験、少人数ゼミを除く）を対象に共通アンケートによる 100%の実施を目標に活動を続けてきた。また、翌平成 18 年度後学期より全ての授業科目（大学院も含む）を対象に授業評価を実施することが定められた「佐賀大学学生による授業評価実施要領」（以下、授業評価実施要領とする）（平成 18 年 10 月 1 日施行）（資料 1）が新たに制定された。これにより佐賀大学の全ての授業科目において基本的に共通アンケートもしくは独自アンケートによって学生の意見を聴く機会が設けられていると言える。また、アンケート結果の教員へのフィードバックについても全学平均や学部平均との比較をレーダーチャートに示し、自らの授業改善に活かせるような工夫が施された。さらに、「授業評価結果を用いた授業改善実施要領」（平成 18 年 12 月 22 日施行）（資料 2）が制定され、この授業評価アンケート結果に基づき、各教員は自らの授業の改善点について授業点検・評価報告書を提出することが義務づけられた。平成 22 年度後学期からはそれまでの共通アンケート用紙に変わり、LiveCampus を利用した共通アンケート形式が導入され、ウェブ上でアンケートが実施された。一方、この授業評価アンケートと並行に学生対象アンケートも実施され、佐賀大学の教育目的、施設、教育システム全般にわたって広く学生の声を取り入れようとする試みも行われた。さらには教員対象アンケートや卒業生対象アンケートも実施され、佐賀大学における教育活動を多面的に分析する準備を整備しつつある。

本報告では平成 24 年度に実施した授業評価アンケートの結果および授業評価結果を用いた授業改善実施要領に基づいた佐賀大学の授業改善への取り組みについて述べる。なお、医学部および e ラーニングで受講するネット授業については、授業形態の差異に配慮し独自の様式を用いた。

II. 実施状況

平成 24 年度に佐賀大学で行われた授業評価は、ウェブ上の共通アンケートシステムを用いて行った。さらに、共通様式を用いない授業評価の実施も認めている。そこで、授業評価アンケートの結果を述べる前にアンケートの実施方法及び実施状況について示す。

本年度に実施した授業評価アンケートは以下の 3 つに大別される。

- 1) 授業評価アンケートシステム (資料 3)
- 2) 個別授業評価アンケート
- 3) 医学部授業評価アンケート (資料 4)

このうち本報告書では授業評価アンケートシステムと医学部授業評価アンケートの結果について取り扱う。医学部は統合前の佐賀医科大学時代から先進的な FD 活動を展開しており、授業評価アンケートも科目種毎に分けて通年で実施し、詳しい解析が行われているので本報告では共通様式の授業評価アンケートと同じ内容のみ述べる。ネット授業は授業形態が異なるため質問内容が異なっているため別項とし、概要をまとめ解析を行った。

次に、本年度の授業評価の実施率について述べる。表 1 に部局毎の実施率をまとめた。共通アンケートシステムを用いていない授業評価アンケート（つまり、独自形式アンケート）の実施率も示している。独自形式アンケートは受講者が極端に少ない場合や複数の教員が担当している場合など、マークシート方式の共通アンケートにはそぐわない場合に実施する授業評価と位置づけられている。科目としては少人数での実験、教育実習、ゼミなどが該当すると考えられる。実施率の高い部局は、学部では医学部、農学部、教養教育運営機構、研究科では経済学研究科、教育学研究科であった。学部での実施率は医学部の 99.2% が最も大きく、科目数では 126 科目に達する。また、大学院では医学研究科の実施率が 86.2% に達している。共通アンケートシステムの導入によりアンケートの実施に教員の関与が無くなったため、例年報告している「個別授業評価に係わる情報が一切無い授業科目名」について、平成 22 年度より掲載していない。

(1) 学生から高い評価を得ている授業科目の選考基準（とその活用方法）

文化教育学部、教育学研究科

文化教育学部では、学部FD委員会にて学生から高い評価を得ている授業科目の選考基準を協議し、満足度及び興味・関心の2項目を合計した値を用いることとしている。なお、対象となる科目は受講生が10名以上の科目であり、学部、大学院別に抽出することとしている。

経済学部、経済学研究科

経済学部、経済学研究科では「学生から高い評価を得ている授業科目」について特に選定を行っていない。

理工学部

理工学部では、学科単位で授業評価アンケートの全項目もしくは一部の項目、あるいは満足度の評価を用いて授業の分析や学生から高い評価を得ている授業科目の選出をおこなっている。その他、独自アンケートを実施している学科（機能物質化学科）や別の基準で選考している学科（都市工学科）もある。

工学系研究科博士前期課程

工学系研究科博士前期課程では、いくつかの専攻（物理科学専攻、電気電子工学専攻、知能情報システム学専攻）において、学部と同様の方法で選考を行っている。また、授業評価アンケートの結果を分析し、授業改善をおこなっている専攻もある。

工学系研究科博士後期課程

工学系研究科博士後期課程の運営は、平成22年度の改組により、それぞれのコース内に設けられた部門が学部学科や博士前期課程専攻と同じ組織になったため、これらと連動して評価を進めている。

各学科・専攻の取り組みは下記のとおりである。

理工学部

数理科学科

数理科学科FD委員による検討により、アンケート結果を公表し、授業改善に努めることとした。学生の評価と授業の内容の評価の連関が必ずしも一致していないことを同時に留意することにした。

物理科学科

平成 22 年度後期から、アンケートが紙媒体のものから Live Campus に入力する形式へと移行した。これにともない、学科全体でのアンケートの集計や一部の項目の評価が高い教科科目の選出を今年度は実施しなかった。これは移行によるアンケート回収率の低下を考慮したものである。来年度以降はこの点について配慮しながら、アンケートの活用を考えていく必要がある。

知能情報システム学科

共通アンケート実施科目について学科集計を実施し、満足度（D項目）の上位科目を教室会議にて報告し、当該担当教員と他の教員との間で意見交換をおこなった。

機能物質化学科

従来と同様に卒業予定者を対象とした学科独自のアンケートを行い、在学中の講義・演習・実験・研究等の中から最も優れていると判断される科目を調査した。この結果を教員毎に纏め、上位二名の教員を機能物質化学科ベストプロフェッサーとして表彰した。

機械システム工学科

- ・「佐賀大学工学部機械システム工学科教育顕彰に関する申し合わせ」（平成 20 年 12 月 3 日改正）を設定している。
- ・前年度に実施された学生による授業評価アンケートの授業内容および授業方法に関する設問において最も高い評価を受けた科目と当該教員を選出する。
- ・選出された科目を、学科会議メンバーが参観をし、アプローズシートに優れている点を記載する。
- ・顕彰された教員に対し、副賞として教育用図書等購入費が贈呈される。
- ・顕彰された教員は、学科ホームページに選出過程とともに氏名、顔写真が掲載される。

電気電子工学科

授業評価アンケートの「B 授業内容及び授業方法」、「C 教員の対応」、「D 満足度」および受講者数、合格率を総合的に判断して行う。

都市工学科

学科で授業評価アンケート結果を集計し、学生から高い評価を得ている授業科目を選考する

作業は行っていない。これは、学生による授業評価結果の解釈と選考の要否について学科で合意が得られていないことによるものである。

工学系研究科博士前期課程

数理科学専攻

数理科学科FD委員による検討により、アンケート結果を公表し、授業改善に努めることとした。学生の評価と授業の内容の評価の連関が必ずしも一致していないことを同時に留意することにした。

物理学専攻

学部と同じ理由で、専攻全体でのアンケートの集計や一部の項目の評価が高い教科科目の選出を今年度は実施しなかった。専攻では受講者の数が極端に少ない科目も多く、今後はその点に留意してアンケートそのもののあり方や活用法を考えていく必要がある。

知能情報システム専攻

共通アンケート実施科目について学科集計を実施し、満足度（D項目）の上位科目を教室会議にて報告し、当該担当教員と他の教員との間で意見交換をおこなった。

循環物質化学専攻

母体学科である機能物質化学科の卒業予定者と同様に、修了予定者を対象とした専攻独自のアンケートを行い、在学中の講義・演習・研究等の中から最も優れていると判断される科目を調査した。この結果を纏め、学科のベストプロフェッサー表彰に反映させた。

機械システム工学専攻

特に行っていない。

電気電子工学専攻

授業評価アンケートの「B 授業内容及び授業方法」、「C 教員の対応」、「D 満足度」を総合的に判断して行う。

都市工学専攻

専攻で授業評価アンケート結果を集計し、学生から高い評価を得ている授業科目を選考する作業は行っていない。これは、学生による授業評価結果の解釈と選考の要否について学科で合

意が得られていないことによる。

先端融合工学専攻

関連する学科に連動して評価を行っている。

工学系研究科博士後期課程

システム創成科学専攻

関連する学部学科や博士前期課程専攻と連動して、評価を実施している。

農学部

学部内・学科内における各科目の内容（必須科目・非必須科目の違いも含む）や受講生数に違いがあるなかで、授業評価アンケートの回答結果で適切な比較ができるものではなく、また授業評価アンケートの結果を「科目を担当する教員の評価」につながる様な選考に用いることについても賛成できない。しかしながら、全学的に講習会の開催やシステムの構築を開始した「ティーチングポートフォリオ制度」への取り組みを介して、「授業内容改善の意欲」の評価を行って「インセンティブ付与」につなげることは可能であると思われる。

農学研究科

研究科内・コース内における各科目の内容や受講生数に違いがあるため、授業評価アンケートの回答結果で適切な比較ができるものではなく、また授業評価アンケートの結果を「科目を担当する教員の評価」につながる様な選考に用いることについても賛成できない。しかしながら、全学的に講習会の開催やシステムの構築を開始した「ティーチングポートフォリオ制度」への取り組みを介して、「授業内容改善の意欲」の評価を行って「インセンティブ付与」につなげることは可能であると思われる。

教養教育運営機構

教養教育運営機構では、この項目に対する明確な選考基準の確定に至っていない。なお、表彰教員（第2号）の選出は卒業・修了予定者アンケートの結果を使用した。

(2) 授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点

文化教育学部および教育学研究科

本年度(平成24年度)においても文化教育学部および教育学研究科において、組織別授業評価を実施した。本年度は昨年度と同様に、すべての課程・専攻を横断的に眺めることによって、学部と研究科がもっている特徴と改善点を浮き彫りにした。

授業改善の取り組みにおいて優れた点は、全学的な「単位の実質化」の取り組みに沿って、FD委員会を中心として当学部における単位数の制限について審議し決定することで、学生たちに各授業科目において予習、復習を十分におこなう環境を整備したことが挙げられる。

改善すべき点は、近年において授業評価アンケートの結果がパターン化してきており、このアンケートがそのまま授業改善に直結しない傾向が出てきていることである。各項目でも指摘したことであるが、アンケートの内容が必ずしもすべての授業科目に適合していないケースがあったり、板書や表示方法の項目と配布資料の項目の関係にみられるように、項目同士が互いに相反的であったりするように、一律的なアンケートの方法にも改善すべき点があるように思われる。各授業科目の個別的な改善につながるような方策が求められている。

経済学部、経済学研究科

経済学部、経済学研究科の全教員を対象としたFD会議を平成24年12月12日に実施した。このFD会議ではラーニング・ポートフォリオ(LP)を試行実施している教員4名がLPの利用について述べ、その後、意見交換を行った。教員4名からはLPは学生にとってマイナスになるものではないが、入力項目が多い・細かいなどの意見がでた。このFD会議によって来年度から経済学部で導入するLPに関する利用方法等が共有できた。

また、平成25年度からは学部が改組され、1年生は前・後期を通じた少人数教育として大学入門科目I・入門科目がスタートすることから、来年度以降、学部としての教育方法のベストプラクティスや改善を要する事項について議論する必要がある。

理工学部

優れた点：

理工学部では、授業評価アンケートの集計とその利用について、これまでの取り組みを踏襲して実施している。これらの活動には、各学科内に設置された教育関連委員会が重要な役割を担っており、それらが活発に機能している様子が認められる。さらに、アンケート等の分析から、授業改善に着手している事例(知能情報システム学科、機能物質化学科、機械システム工学科、電気電子工学科等)のほか、教員個人の前向きな取り組みと、それらの活動結果の共有化も軌道に乗っている(知能情報システム学科、都市工学科)。

JABEE 関連学科においては、社会の要請を教育プログラムに反映させるため、卒業生や企業など学外関係者を対象とした独自アンケートを実施している。

改善すべき点：

授業改善の取り組みは概ね良好であるが、少人数教育を行っている科目、複数の教員が担当している科目など、共通アンケートを利用するのが必ずしも適切でないと思われる科目についての意見聴取が不十分である。今後、意見聴取の方法を含めて検討が必要である。

工学系研究科博士前期課程

優れた点：

工学系研究科博士前期課程でも、授業評価アンケートの実施と点検、改善への取り組みがほとんどの専攻で行われている。一昨年度、地球環境科学特別コースに在籍している留学生向けに英文の共通アンケート様式も整備され、当該授業科目におけるアンケートの実施状況が改善されつつある。

理工学部と同様に、全ての授業においてアンケートの分析を行っている専攻（物理科学専攻）や、アンケートの分析からカリキュラム改編に着手している専攻もある（知能情報システム学専攻、機械システム工学専攻、電気電子工学専攻、都市工学専攻等）。

改善すべき点：

一般に、工学系研究科博士前期課程では受講生の少ない科目が多く、共通アンケート形式によらない独自の意見聴取方法を検討する必要がある。

工学系研究科博士後期課程

優れた点：

対象となる授業科目数が少ないため、現段階では十分な評価ができない。

改善すべき点：

工学系研究科博士後期課程では、博士前期課程よりも在籍学生数が更に少なく、受講希望者がゼロで開講されない科目も多い。また、開講された場合であっても、受講生が数人という科目が大部分を占めるため、共通アンケート形式によらない独自の意見聴取方法を検討する必要がある。

各学科、専攻の取り組みは以下のとおりである。

理工学部

数理科学科

線形代数および微積分などに関わる基礎学力の向上が見られるのが優れた点であり、更なる数学の諸分野（代数学・解析学・幾何学・応用数学）に関わる学力の増進を図るのが改善を要する点である。

物理科学科

学科全体の活動としては、学科長や教務委員、FD 委員からなる教育点検委員会において、カリキュラム改善などに関する議論が行われ、その結果を学科会議で報告し議論を行っている。一方個別の活動としては例えば、複数の教員が e ラーニングを授業に導入し活用を行っているが、実施して数年が経過しその成果の検証が必要な時期に来ていると思われる。

知能情報システム学科

以下のような改善をおこなった。

以下のような改善を継続的にこなっている。

- ・「卒業研究」評価の客観性を高めるために、卒業研究評価方法を定め、主査 1 名および副査 2 名で評価している。この卒業研究評価方法は学生にも公開し、定期的に改善をおこなっている。
- ・学科 BBS を新設し、学生からの要望や学生情報、講義情報を共有し、オンライン会議も可能にしている。
- ・開講前点検・閉講後点検・FD 報告を継続的に行なっており、上記学科 BBS を通じて、これらの情報をいつでも教員が参照できるようにしている。
- ・教員間でシラバスの記入項目に差がないよう学科共通のシラバステンプレートを定め、定期的に改善をおこなっている。

改善を要する点：特になし

機能物質化学科

実験科目や卒業研究等の実験や実習に対する授業評価には、共通形式のアンケートを流用が好ましくないことから、平成 19 年度より実験・実習用に独自形式アンケートを作成・実施している。また、JABEE プログラムに位置付けられる機能材料化学コースの修了生に関しては、プログラム全体に対するアンケートを実施し、この中では学科の教育改善システムである PDCA サイ

クルに対する意見聴取も行っている。これら全てのアンケートに対して、共通形式のアンケートと併せ、学科内における教育点検システムとして設置している教育プログラム委員会、分野別教員会議および教育FD委員会、これとは別に全体を統括する役割の教育プログラム評価委員会および学科会議にて点検・改善を行っている。さらに、システム自体をより強化する目的で、平成23年度からは教育改善委員会を新たに設置している。

機械システム工学科

優れている点：改善勧告の基準を明確にし、組織的な改善がなされていること

- ・FD委員と協議し、当該セメスターの専門教育科目に対する学生による授業評価アンケートにおいて次の2項目において平均が1点台と評価された教員を選ぶ。
- ・声の大きさ・明瞭さは適切だった(1, 2, 3, 4, 5の5段階評価)
- ・話す速さは適切だった(1, 2, 3, 4, 5の5段階評価)
- ・学科長は勧告記録を保管する。
- ・勧告記録は、JABEE実地審査における開示資料とする。

改善を要する点：満足度については、当然のことであるが、実験や実習および卒業研究の評価が総じて高くなっている。すなわち、学生自らが積極的に参加できるような形態でありかつ、学生個々に対して先生またはTAが直接指導できるような形態の科目が、学生の知識修得にとって大切であるということを示している。そこで、学生自らが参画し問題を自ら解決するようなカリキュラムを構成することが重要と考える。

電気電子工学科

電気電子工学科では平成19年度より教員間のピア授業参観を行い、授業参観レポートで教員の目から見た授業改善点の洗い出しを行っている。学科内に設置している学科主任を長とした教育改善委員会では、平成25年度のカリキュラム改編へ向け、おもに学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)と教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)の見直しに取り組んだ。また、留年問題、成績評価基準の確認、学習内容指導などの教育改善に関する議論を行った。さらに、教務委員を長としたカリキュラム検討委員会では、下部組織としての4つの科目グループ(数学、情報、電気回路、電磁気学)と協調して、カリキュラム見直しについて議論した。なお、実験科目については、その特殊性に鑑み、別途、担当教職員を中心に学生実験員会を設置し、教育改善などについて議論した。

その他の特記事項として、11月中旬の3日間にわたってJABEEの実地審査を受け、当学科の教育プログラムが正式に認定されたことが挙げられる。

都市工学科

授業担当教員が個々に様々な工夫して改善を行っている。組織的な対応としては学科・専攻内に設けた教育システム委員会で意見交換を行い情報の共有化を図り改善活動の一助としている。

改善を要する点として、“予習、復習の実施状況が良くない”、“要点が押さえられていない”、“授業内容への興味/関心が低い”と言った事柄が共通した改善を要する点である。これに対して、“予習のために講義資料をホームページで公開する”、“毎回の授業に、当日の講義内容の理解を進めるためのレポートあるいは演習問題を実施する”、“講義の始めに授業の要点や狙いを述べる”等の改善が行われた。また、一部の授業においては e-Learning の導入も試みた。

一方、平成 18 年度より都市工学科のカリキュラムをこれまでの土木工学主体の教育体系から、建築・都市デザイン系のコースを新たに導入し、学生による授業評価をカリキュラムの改善にどのように生かしていくのか、今後教務・FD委員会を中心に検証していく予定である。

工学系研究科博士前期課程

数理科学専攻

24年度からの教育課程を大幅に改善した。大学院科目で毎年および隔年開講されていない科目を整理し、履修すべき科目が学生によくわかるようにした。必修3科目の特論特(代数学・解析学・幾何学)の設定により、修士1年生の基礎学力に増進が見られるのが優れた点であるが、その分セミナー指導を受けるために準備する時間を多く取れないのが改善を要する点であり、将来の検討課題である。

物理科学専攻

専攻ではそもそも各科目の受講者の数が少ない。そのため共通アンケートだけでなく独自のアンケートを実施することが必要で、多くの科目ではそれを行っている。そしてそこでの結果から個々に授業改善案を作成している。

知能情報システム専攻

カリキュラムを再構成し、必修科目を設定して基礎的な学力の強化を目指している。現在実施しながらの内容の改善をおこなっている。

循環物質化学専攻

平成20年度よりカリキュラムに導入した専門基礎科目群をはじめ、全ての講義や実習・演習に対する授業評価アンケートを分析し、改善すべき事項を点検している。これらの事項に対

して、循環物質化学専攻の分野別教員会議において、専門の近い教員グループにより授業の改善を続けている。

機械システム工学専攻

優れている点：機械工学の基礎を担う科目を必修とし、より高度な専門科目への導入教育を明確にしていること。

改善を要する点：導入教育に対する学生の評価がさほど高くない。

電気電子工学専攻

学生の自己学習能力、デザイン能力、研究推進能力の向上のため、学部（電気電子工学科）の教育改善委員会とカリキュラム検討委員会において、一括して議論を行った。

都市工学専攻

授業担当教員が個々に様々な工夫して改善を行っている。組織的な対応としては学科・専攻内に設けた教育システム委員会で意見交換を行い情報の共有化を図り改善活動の一助としている。

改善を要する点として、“分かり易さの工夫が足りない”，“ノート記載量が説明のフォローが出来ない”，“採用した教材選びに対する不満”と言った意見が学生から寄せられている。理解度が低いことが共通した改善を要する点である。英語教材の採用やゼミ形式によるディスカッションの導入が背景にあると考えられる。これに対して，“ノート取得に配慮した要点説明”，“英文テキストの音読導入”，“実務トピックスの紹介”等の改善が行われた。合格率の若干の向上や満足度の向上が見られた科目もある。

先端融合工学専攻

平成22年度より発足し、従来の縦型の専攻とは異なり、多岐の分野にわたる横幹的な特徴をもった専攻である。学生は、入試において異なった専門をもつ教員から様々な質問を投げかけられ、講義において様々な分野の講義を取得することができる。また、専攻会議においても、横幹の特徴を生かすべく議論を積み重ねている。以上が優れている点である。

一方、様々な出身母体から学生が集まってきているため、個々の学生の修学履歴に応じた指導および評価が大切であるが、なかなか実現には至っていないのが現実である。

工学系研究科博士後期課程

システム創成科学専攻

関連する学部学科や博士前期課程専攻と連動して、評価を実施している。

農学部

授業評価アンケートについて、運用は来年度からになるが、「話す早さ」「授業の進む早さ」に関する評価結果を、他の項目とあわせるための改善に全学的取り組んだ。学部としては、未だ達成度は不十分で「予習時間」を増加させる取り組みが必要ではあるが、「復習」については少しずつ習慣がついてきているかもしれない。さらに前期の地域社会開発学コースにおいて、予習および復習の時間が「3 時間以上」の割合が 13.9%と非常に高い結果が得られており、他コース・他学科において「授業と予習・復習がセットになった学習習慣」を習得させることに苦労しているなかで、その取り組みを見習う必要がある。

農学研究科

授業評価・改善の前提となる最も大きな課題は、依然として「大学院生のアンケート入力率をあげること」である。大学院開講科目は、学部開講科目に比べて受講整数が少ないため、母数が少ないと正確な評価が困難で、分析には限界があるが、アンケートの分析結果から、全体として農学研究科の院生は授業内容および教員の教育に対する取り組み等については、高い満足度を示していると言える。今後もより良い講義を作り上げる努力を各教員に望むところである。

教養教育運営機構

優れた点：

特になし

改善すべき点：

授業改善に対する取り組みとして、シラバスの改訂、教養教育運営機構 FD 講演会の開催、授業評価アンケートの実施、TA 実施報告書の作成、および授業点検・評価報告書のオンライン入力を行った。実施の過程で、非常勤講師担当科目のシラバス入力やアンケート点検・評価報告の入力に関し、学外からのアクセスの必要性が検討された。今後、ネットワーク管理の問題を含めて議論が必要であろう。

(3) 次年度の授業改善目標（学部・研究科等別）

文化教育学部および教育学研究科

全学では、「単位の実質化」への対策として各学部、学科において学期あたりに取得できる単位数の上限を明確に定め、来年度から完全実施することになった。それにともない、文化教育学部においてもかねてから問題視されてきた「学生の予習・復習」の時間確保の条件が整ったといえる。まずは学部の学生たちにこの単位の上限について十分に周知させ、その趣旨を理解させることが重要である。また、授業担当教員もこうした状況をよく知った上で、実際の授業において受講生たちに具体的な予習、復習の課題をあたえることで、受講生たちの予習、復習の習慣づけをうながすことができると考える。FD委員会としては教員側へのこの点でのアピールをおこなうことが必要である。

教育学研究科では、授業アンケートの対象となっている科目の多くで回答ゼロというケースの多いことが判明している。こうした状況を放置することは、学生による授業評価アンケートのデータとしての有効性を阻害することになりかねない。本研究科においては小人数クラスが多く、アンケートなどとななくても学生の意向は十分理解しているという教員が多い。それだけにFD委員会としては、過去のアンケートの客観的なデータを示して、より多くの受講生がアンケートに回答するように、担当教員にはたらきかけていく必要がある。

経済学部・経済学研究科

授業評価アンケートの結果を踏まえ、特に改善すべき点としては、現在低い水準にとどまっている自学自習（予習復習）の状況について、その向上を促すための方途を検討することが挙げられる。

理工学部

授業評価アンケートの実施が徹底され、すべての学科でアンケート結果を独自に分析し、授業改善や評価の高い授業科目の情報を利用する試みが行われている。アンケート結果からカリキュラム改編や学科レベルでの教育方法の改善に取り組んでいる状況である。今後は、これらの改善について、客観的に点検や評価を行っていく必要があるだろう。

工学系研究科

地球環境科学特別コースの授業科目をはじめとして、少人数教育における学生の授業評価の方法を議論し、アンケート実施を徹底する必要がある。また、平成22年度の大学院部局化による改組に伴って実施されたカリキュラム改編や教育課程の再編に関する教育効果の検証も必要である。

各学科・専攻の取り組みは下記のとおりである。

理工学部

数理科学科

卒業研究に繋がる学力の増進を図る。

物理科学科

これまで通り、教育点検委員会の定期的開催とそれを学科会議で報告し議論する形の教育改善、および個人のアンケート結果に基づく授業点検・改善は実施して行く。一方、学生の資質の変化や組織編成の問題にともない、現行のカリキュラムをどのように構成していくかが学科会議でもしばしば提起されている。今後はこの点を含めた組織的な授業改善を行っていききたい。

知能情報システム学科

卒業研究評価方法やシラバステンプレートなどについて、教員によって解釈に差が生じないように解説文を整備し、次年度は全教員が同じ解釈の下で、授業や評価を実施できるようにする。また、卒業生に対するアンケートも実施し、授業やカリキュラム構成に反映させたい。

機能物質化学科

学科独自で行っている種々のアンケートと共通形式の授業評価アンケートの相補的利用について検討する。これらの分析により学科全体で授業改善に取り組みたい。

機械システム工学科

改組に伴い教員および科目内容の変更があったが、今まで積み上げたノウハウを維持しつつ、新たな科目への適用を図っていく。同時に導入教育の内容の検討を継続する。

電気電子工学科

- ・教育改善委員会を定期的で開催し、講義科目全体の教育改善を図る。
- ・学生に対して、電気電子工学科が開講する講義科目全般に関するアンケートを行い、教育改善および教育評価に活用する。
- ・カリキュラム検討委員会（4つの科目グループを含む）を定期的で開催し、学習教育目標、シラバス、試験内容、成績評価の方法に関する整合性のチェックを行う。
- ・学生実験委員会を定期的で開催し、担当教職員の間で情報交換を行うとともに、学習教育目標、シラバス、成績評価の方法に関する整合性のチェックを行う。

- ・教員間のピア授業参観を行い、授業改善点の洗い出しを行う。

都市工学科

引続き“学生の予習、復習不足の解消”に向けた授業改善に取り組む。加えて、“建築士等の資格へ対応する講義内容の変更・強化”等を通じて、“学習の動機付け”を与えるような工夫を行う。

工学系研究科博士前期課程

数理科学専攻

修士論文作成に関わる学力と表現力を身につけさせる。

物理科学専攻

学部と比較して、専攻では独自アンケートを利用する科目の割合が多かった。今後はこれらの独自の取り組みに関する相互交流を深め、有効な方法を模索していきたい。

知能情報システム専攻

講義内容の改善を図る。

機能物質化学専攻

専攻独自で行っている種々のアンケートと共通形式の授業評価アンケートの相補的利用について検討する。これらの分析により学科全体で授業改善に取り組みたい。

機械システム工学専攻

改組に伴い、教員および科目内容が変わったが、今まで積み上げたノウハウを維持しつつ、新たな科目への適用を図る。同時に導入教育の内容をさらに精選する。

電気電子工学専攻

- ・教育改善委員会を定期的で開催し、講義科目全体の教育改善を図る。
- ・学生に対して、電気電子工学専攻が開講する講義科目全般に関するアンケートを行い、教育改善および教育評価に活用する。
- ・カリキュラム検討委員会を定期的で開催し、学習教育目標、シラバス、成績評価の方法に関する整合性のチェックを行う。

都市工学専攻

英語苦手意識の解消を目指して英語によるコミュニケーション能力の改善を図る。

先端融合工学専攻

平成 22 年度より発足し、従来の縦型の専攻とは異なり、多岐の分野にわたる横幹的な特徴をもった専攻である。論文の最終審査においても、先端融合工学専攻が持っている横幹的な特徴を生かすような運営を実現する。

工学系研究科博士後期課程

システム創成科学専攻

学生が所定の年限で修了できるように、教育・研究の指導を行うことが基本である。そのため、各指導教員は研究指導実績報告書の指導計画を学生と相談して年度初めに作成し、その内容に基づいて指導を行う。また、必要に応じて適宜改善を加えることも考えられるが、年度末には学生自身が自己評価を行い、これを指導教員が点検する。

農学部

依然として改善の必要があるものとしては、学生・教員共にシラバスの有効な活用法が身につけていないことが示唆されている。シラバスの適切な記述については、教員に対しては FD 講習会や教授会で周知・依頼しているところであるが、オリエンテーション・授業等で、教員と学生の統一理解をすすめる必要がある。また一部の組織で、「授業の理解や興味」「黒板や教材の利用」「声の大きさ」「話す速度」「満足度」に対する否定的な評価が高い期間があることから、各担当教員は、「学生による授業評価アンケート」の結果を真摯に受け止め、当事者意識を持って「科目担当教員による授業点検評価報告」を行う必要がある。

また H23 年度から導入された「ラーニング・ポートフォリオ」が、学生の学習状況の把握や学習効果の向上につながっているかどうか、今後検証する必要がある。さらに、来年度から運用が開始されるはずの「ティーチングポートフォリオ」により、授業内容改善に役立てられるよう、いっそうの努力を行いたい。

農学研究科

今後の課題としては、今年度の解析結果からは個別授業の評価が見えづらかったが、評価の平均を引き下げている科目の存在が危惧されており、各担当教員は、「学生による授業評価アンケート」の結果を真摯に受け止め、当事者意識を持って「科目担当教員による授業点検評価報告」を行う必要がある。また農学研究科の副コースとして、高度な農業技術と経営管理能力を有す

る人材の育成を目的とする実践的な教育カリキュラム「農業技術経営管理学コース：農業版 MOT 教育プログラム」を実施しており、順調に修了生を輩出しているが、その教育効果や対外的な評価について、今後は検討が必要であろう。

教養教育運営機構

佐賀大学学士力を担保するため、授業ごとに学士力との対応関係を検討する。

表1 部局別の授業評価アンケート回答率(独自形式アンケートは除く)

	平成24年度前学期			平成24年度後学期		
	回答数	対象数	回答率	回答数	対象数	回答率
文化教育学部	430	462	93.1	432	482	89.6
経済学部	113	122	92.6	132	147	89.8
理工学部	226	228	99.1	230	239	96.2
農学部	99	110	90.0	102	108	94.4
教養教育運営機構	453	458	98.9	389	402	96.8
全体	1321	1380	95.7	1285	1378	93.3
教育学研究科	74	99	83.1	88	147	59.9
経済学研究科	11	14	78.6	15	21	71.4
工学系研究科	127	176	72.2	106	142	74.6
農学研究科	61	84	72.6	73	101	72.3
全体	273	373	73.2	282	411	68.6

通年の講義については後期に含めている。

受講者が一人でも回答していれば回答している科目数とする。

表2 医学部の授業評価アンケート実施率(独自形式アンケートは除く)

	平成24年度前期			平成24年度後期		
	実施数	対象数	実施率	実施数	対象数	実施率
医学部				126	127	99.2
医学系研究科	38	40	95.0	50	62	80.6

表3 部局別の独自形式アンケート実施科目数

	前学期	後学期
文化教育学部	4	0
経済学部	13	10
理工学部	0	4
教養教育運営機構	36	31
経済学研究科	1	0
工学系研究科	2	3
全体	56	48

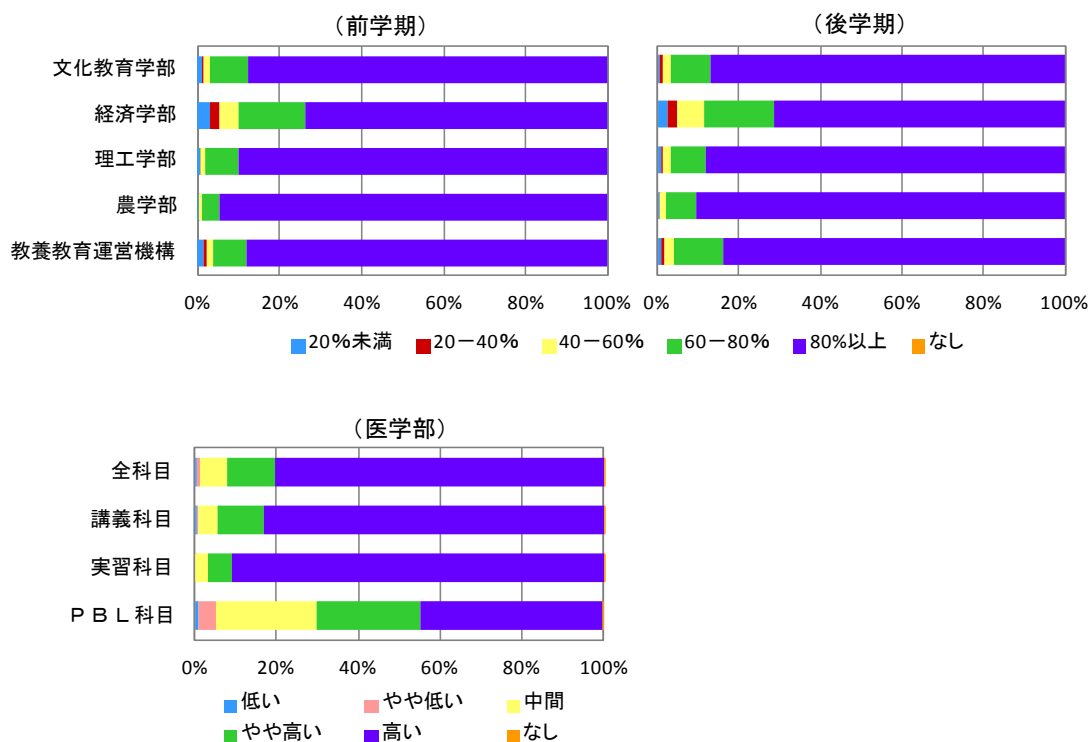
Ⅲ 授業評価アンケートの結果と分析

平成 24 年度に佐賀大学では 4 種類の授業評価アンケートを実施した。独自形式アンケートに関しては統計処理を行うのに適していないため、ここでは共通アンケート様式による授業評価アンケート、医学部授業評価アンケートおよびネット授業アンケートについてのみ取り扱うものとする。研究科別分析については、研究科で回答した学生数に隔たりが大きくなり、その回答傾向も偏っていることがこれまでの調査から見られたため、今回は実施しなかった。また、分析するアンケート項目は授業評価アンケートのもののみとして、医学部については共通アンケート様式に準ずる項目が設定されている場合についてのみ、学部別の分析において言及することとする。なお、医学部は前学期、後学期とする学期制ではなく、フェーズに分けた期間を用いているため年間結果を用いた。ただし、科目毎にアンケート様式が若干異なるので講義科目、実習科目、PBL 科目とそれらを総合した全科目に分けて表示した。

Ⅲ-（１）学部別の結果と解析

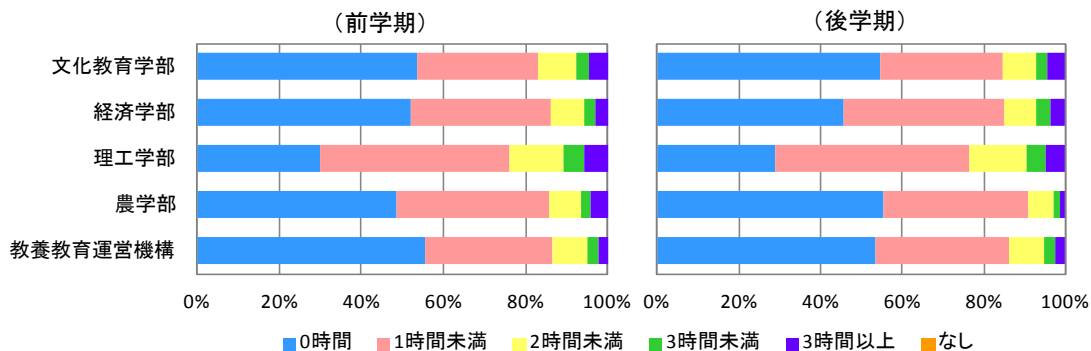
A. あなた自身について

A-1 出席率はどのくらいですか



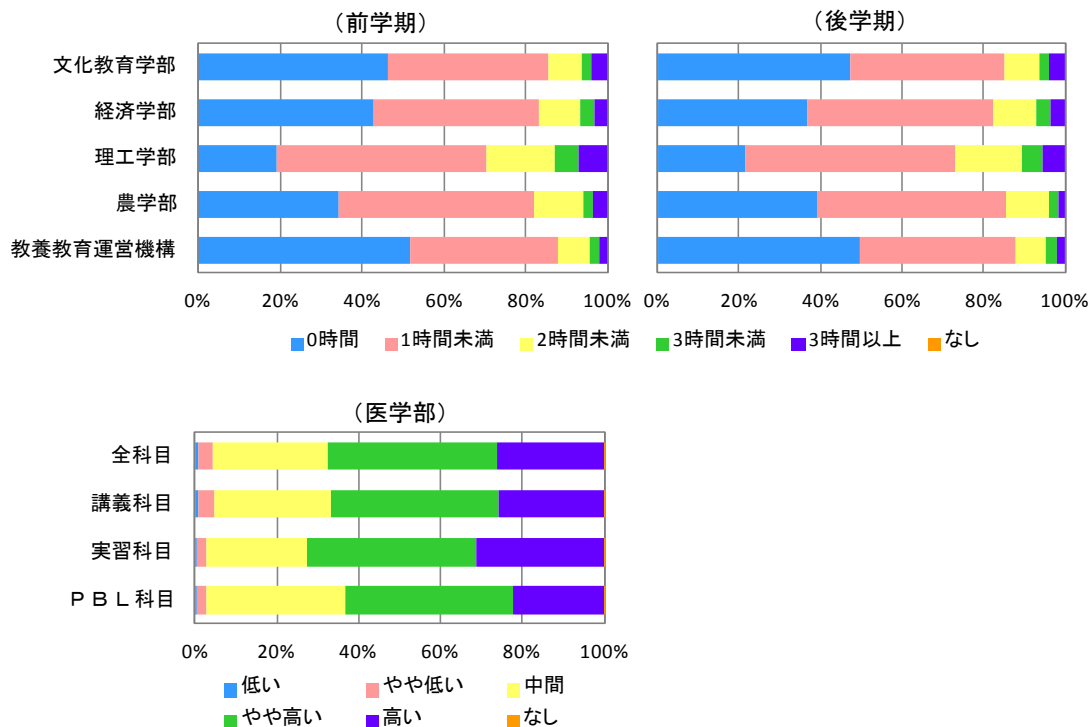
前学期と後学期ではほぼ同じ傾向を示している。いずれの学部とも良好な出席状況であると言える。経済学部と医学部の PBL 科目において出席率がやや低い傾向にある。

A-2 予習を毎週どの程度していますか



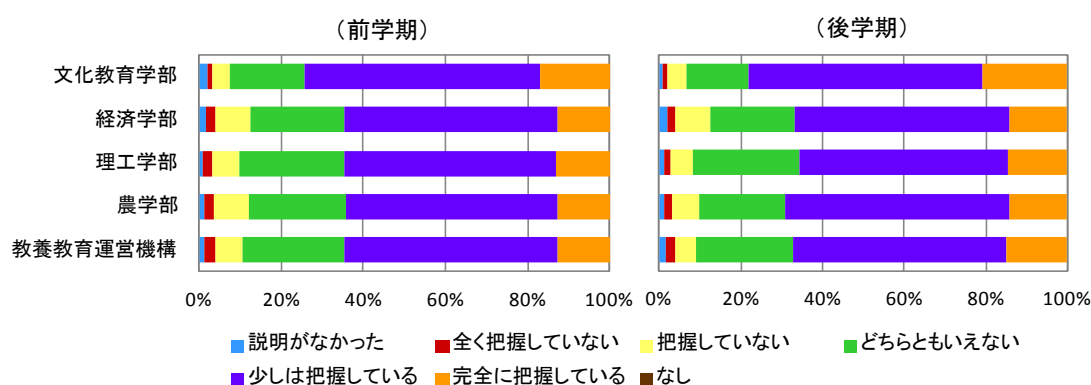
前学期と後学期でほぼ同じ傾向を示している。各授業ではシラバス上で学生の自己学習を指導しているにも関わらず、依然として予習時間を「0時間」と回答する学生が多い。時間数は十分でないが、理工学部では「0時間」の学生の割合が低く、60-70%の学生が「1時間未満」以上の予習を行っている。教員には、シラバスや授業時間内に予習課題を明示して実際に行ったかを確認する、予習を重視した授業設計を行う、といった工夫が求められる。

A-3 復習を毎週どの程度していますか



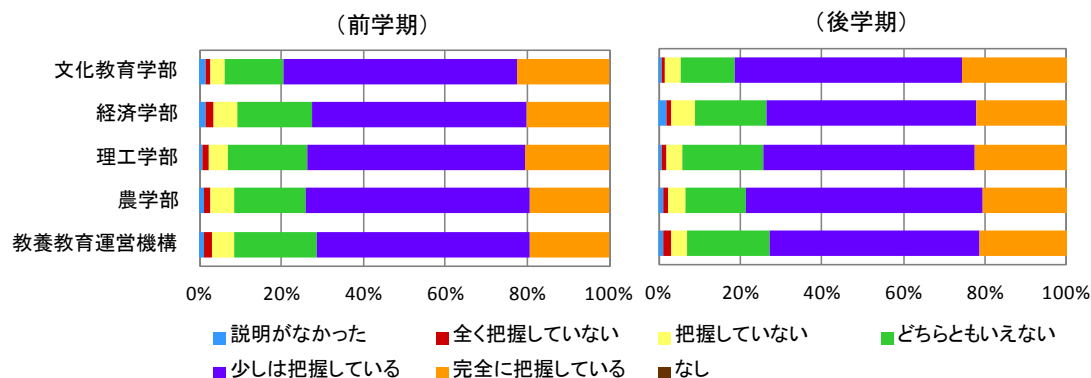
予習に比べると復習に取り組んでいる学生の方が、全学部、機構ともやや多い傾向がみられるが、時間数は十分とは言い難い。医学部では復習に関して「高い」、「やや高い」と回答している学生が60-70%と高い。その他の学部では予習と同様に、各授業の自己学習指導は機能していない。教員には、例えば、シラバスや授業時間中に復習課題を具体的に示し、その取り組み状況を成績に反映させるといった取り組みが求められる。

A-4 この授業の学習目標を把握している



授業の学習目標を「完全に把握している」、「少しは把握している」と回答している学生は60%程度であり、文化教育学部でやや高い傾向が見られる。ここでも前学期と後学期ではほぼ同じ傾向を示している。教育の質保証のためには、学習教育目標の周知が大前提なので、「少しは把握している」、「完全に把握している」という割合を100%に近づけるように、オンラインシラバスでは学習目標を可能な限り具体的に記載し、授業でも詳しく説明するといった取り組みをさらに推し進める必要がある。

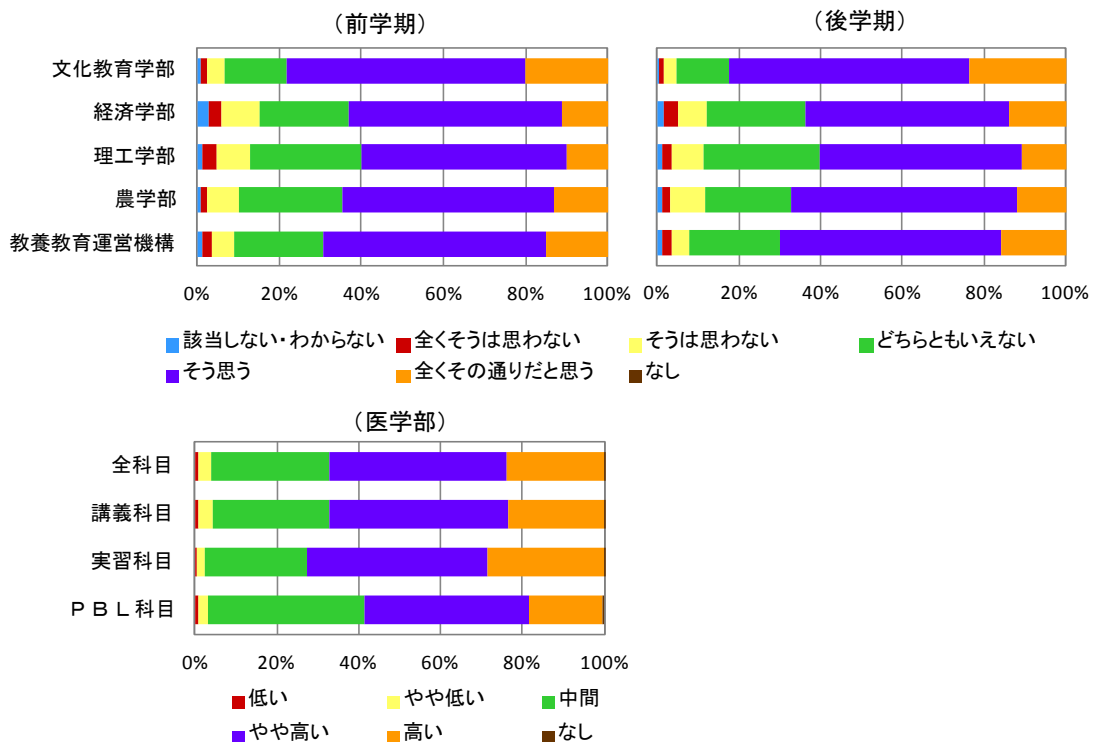
A-5 この授業の成績評価基準を把握している



前学期と後学期で回答の傾向に差は見られない。70%近くの学生が授業の成績評価基準を「完全に把握している」及び「少しは把握している」と答えている。一方、授業の成績評価基準を「把握していない」あるいは「全く把握していない」学生は10%程度と少なかった。オンラインシラバスや授業でのシラバスの説明が有効に機能していると判断される。

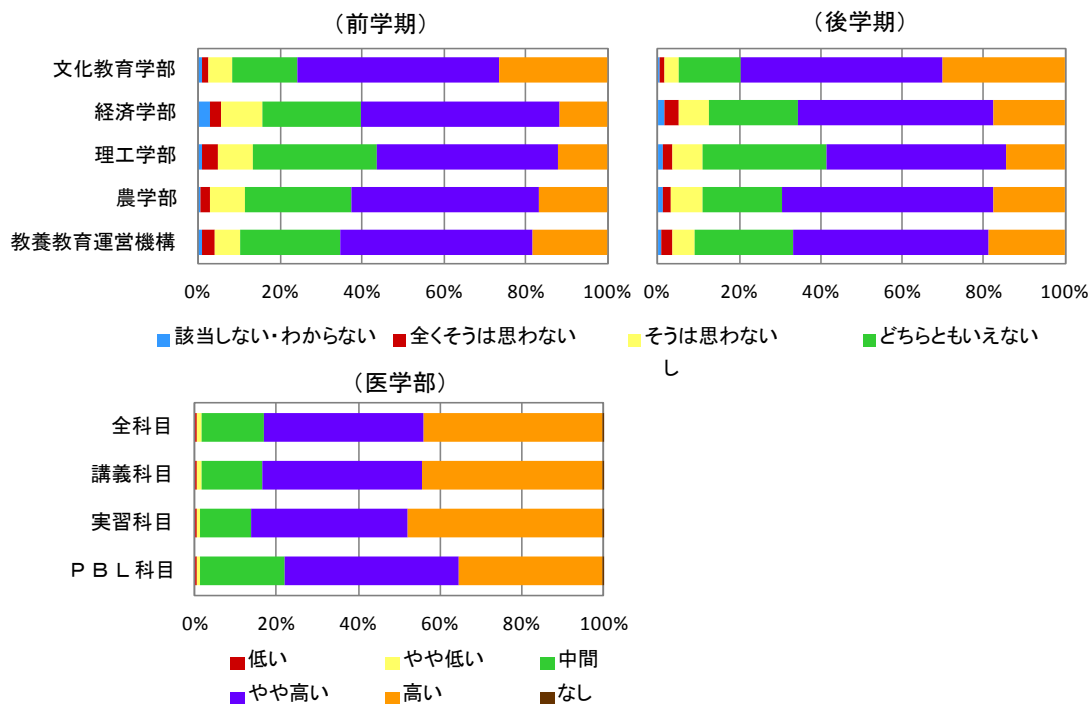
B. 授業内容及び授業方法

B-1 この授業の内容は理解できる



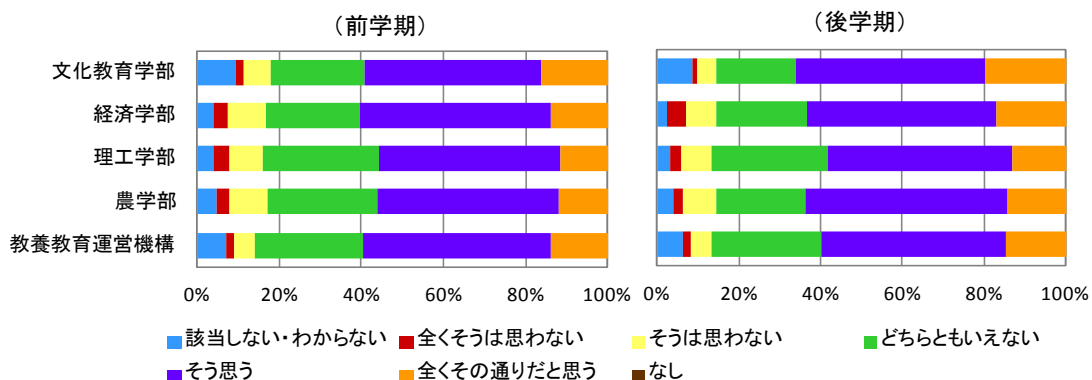
文化教育学部で80%近くの学生が「全くその通りだと思う」と「そう思う」と回答している。その他の学部、機構でも約60-70%が肯定的な回答をしており、授業の内容は概ね学生に適切であると判断される。理工学部はやや低い傾向にあるが、これは全国的な傾向でもある。また、「前学期と後学期で回答の傾向に差は見られない」。

B-2 この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた



文化教育学部と医学部で 80% 近くの学生が「全くその通りだと思う」と「そう思う」と回答している。それぞれの進路（教員、医師、看護師等）に適した授業が多いためだと思われる。その他の学部、機構では、50 から 60% が肯定的な回答をしており、多くの授業で学生の興味を増す取り組みがおこなわれていると判断される。また、「前学期と後学期で回答の傾向に差は見られない。

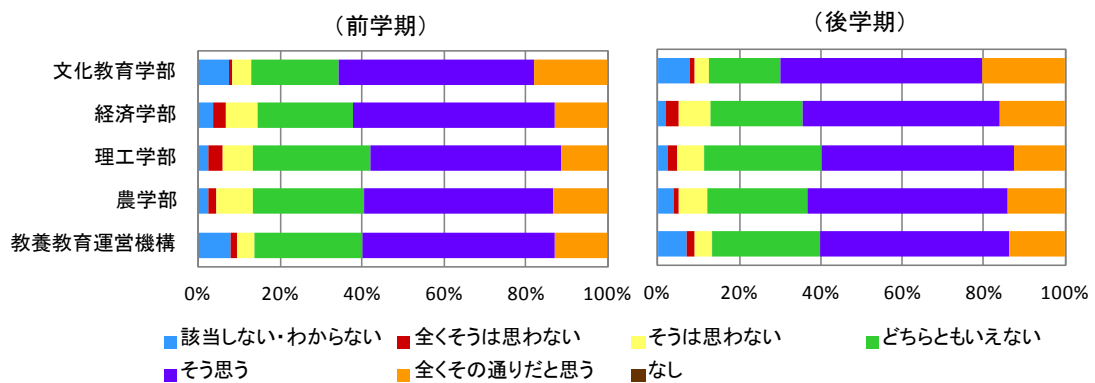
B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である



前学期と後学期で回答の傾向に差は見られない。約 60% の学生が、「全くその通りだと思う」と「そう思う」と回答しており、黒板、ホワイトボード、スライド等視聴覚教材の使用に

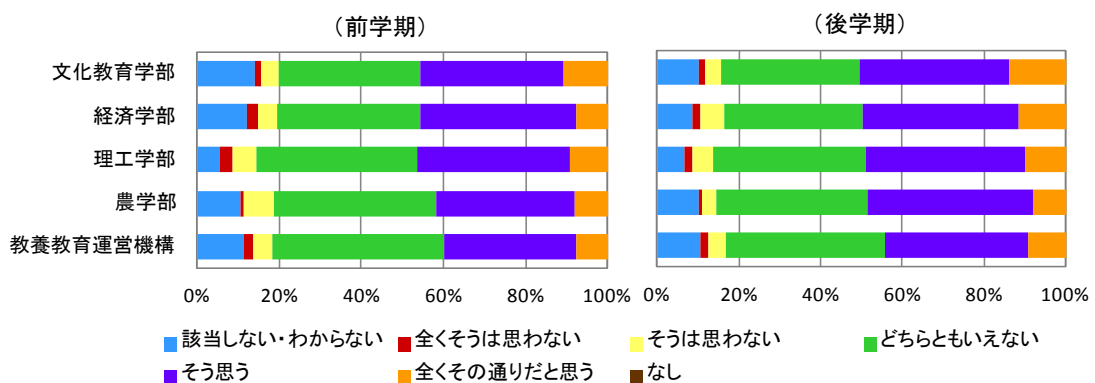
関しては、概ね好評であると判断される。一方、いずれの学部、機構においても「そうは思わない」、「全くそうは思わない」という否定的な回答が 10%前後ある。授業の方法は、教育分野や授業内容による差異があると思われるが、授業毎に改善を期待したい。

B-4 教材（テキスト、配布資料、その他）はわかりやすかった



前学期と後学期で回答の傾向に差は見られない。60%前後の学生が、「全くその通りだと思う」と「そう思う」と回答しており、テキスト、配付資料等の教材は、概ね好評であると判断される。一方、いずれの学部、機構においても「そうは思わない」、「全くそうは思わない」という否定的な回答が 10%前後ある。授業毎に改善を期待したい。

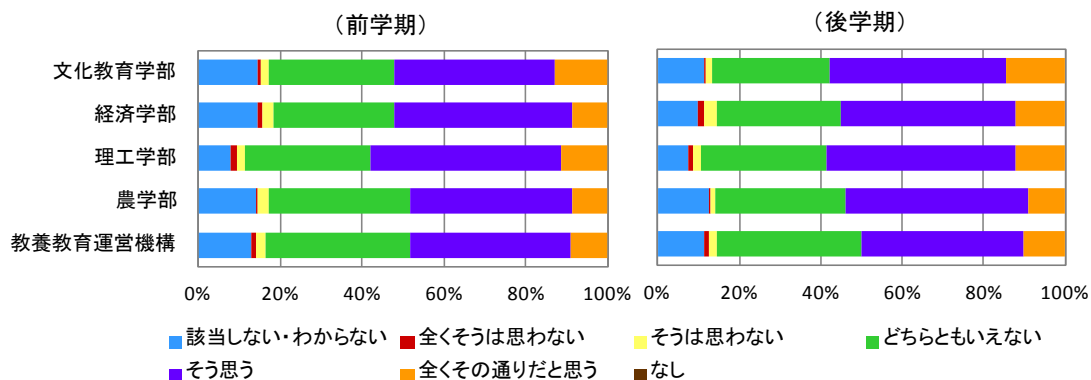
B-5 シラバスは学習する上で役に立っている



シラバスが学習する上で役に立っているについて「全くその通りだと思う」と「そう思う」と回答している学生が 40 から 50%近くいることからシラバスは学習する上で効果的に機能していると判断できる。一方、約 10%の学生が「そうは思わない」、「全くそうは思わない」と回答しており、各授業担当者による見直しや学生にシラバスを読ませるような取組

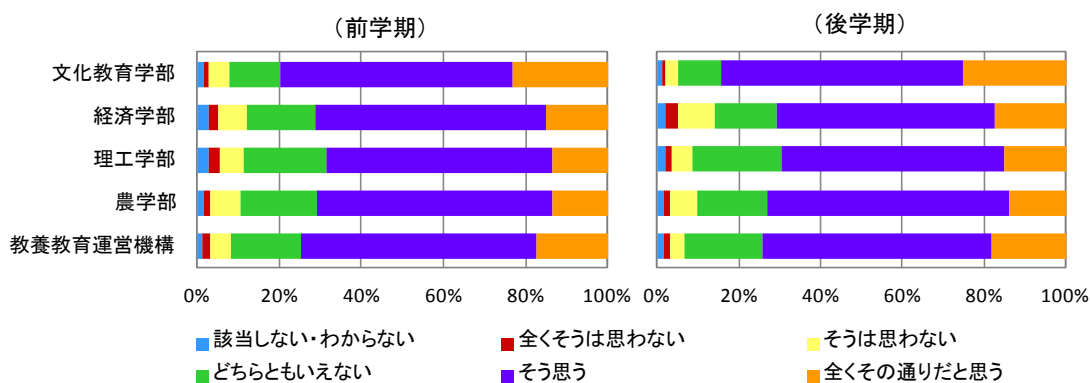
が必要と思われる。

B-6 授業内容はシラバスに沿っている



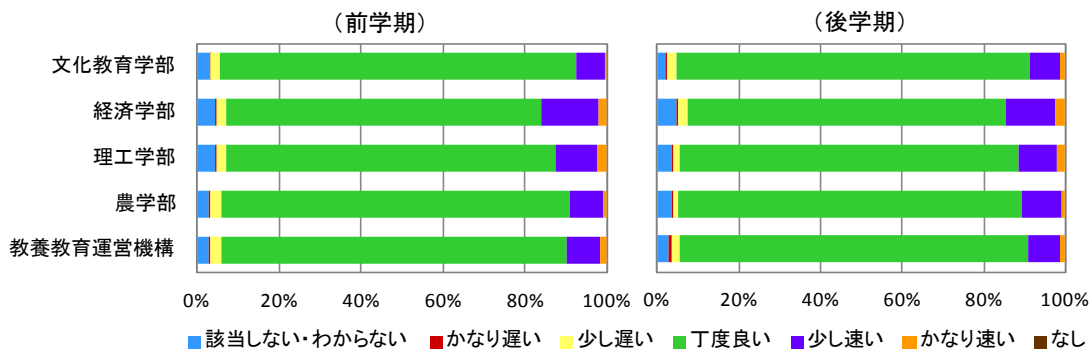
「全くその通りだと思う」と「そう思う」と回答している学生が 50%前後であることからシラバスに沿った授業が行われていると判断できる。ただし、「どちらともいえない」と回答している学生が 20~30%おり、教員には、シラバスに基づいて授業を行っていることを学生に示すため、例えば、毎回の授業において授業計画のうちどの部分を今回は扱うか説明する、といった取り組みが望まれる。

B-7 声の大きさ・明瞭さは適切だった



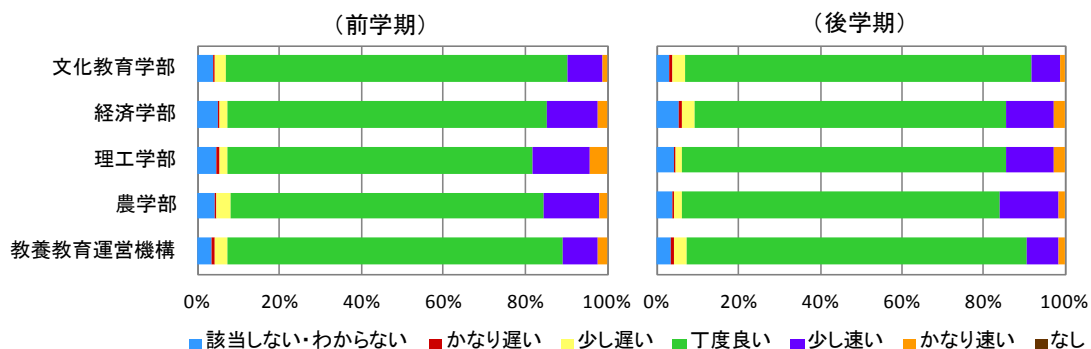
「全くその通りだと思う」と「そう思う」と回答している学生が 70-80%であり、良好な評価と言える。前学期と後学期で回答の傾向に差は見られない。文化教育学部で肯定的な回答が多い傾向がある。

B-8 話す速さは適切だった



ほとんどの授業で話す速さについては適切な速度であると判断される。

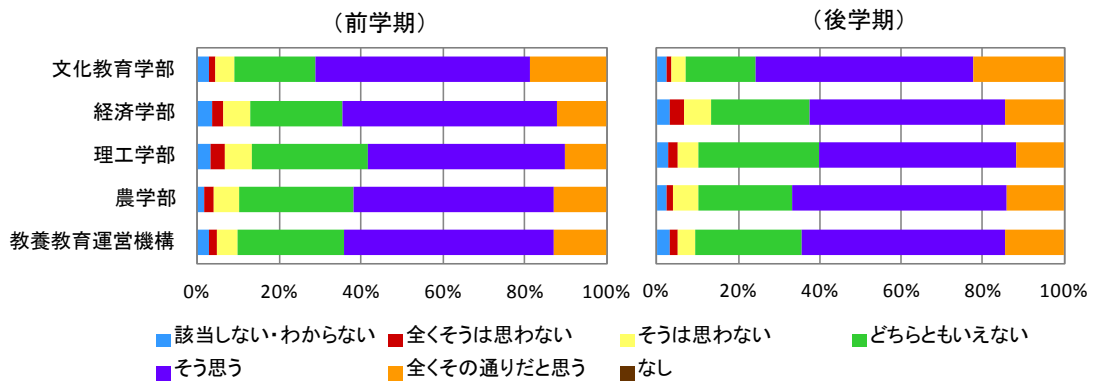
B-9 授業の進む速さは適切だった



ほとんどの授業で適切な速度で授業が進められていると判断されるが、理工学部と農学部では 20%弱の学生が「少し速い」あるいは「かなり速い」と感じており、これらの学生に対するケアを考える必要がある。

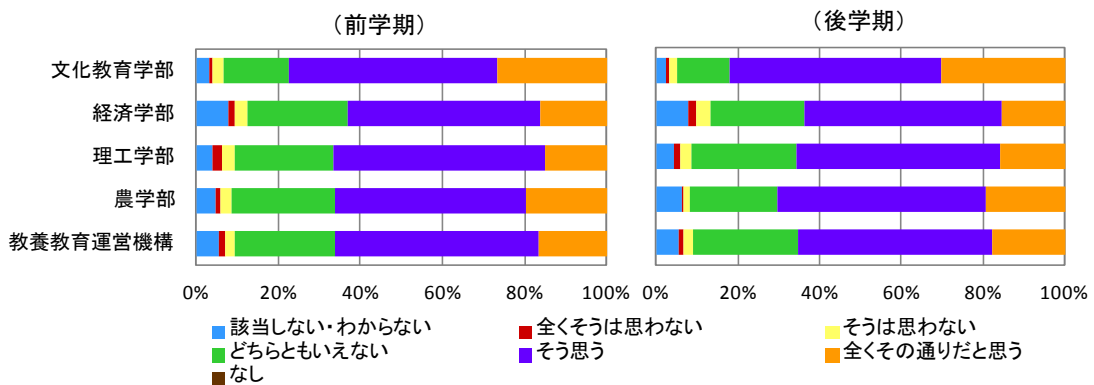
C. 教員の対応

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる



「全くその通りだと思う」と「そう思う」との回答が 60%前後であり、教員の授業への取り組みが評価されている。文化教育学部の評価がやや高い傾向にある。しかしながら、「そうは思わない」、「全くそうは思わない」の回答も 10%弱あり、授業担当者は、授業に対する工夫が学生に伝わるような改善が必要と思われる。前学期と後学期で回答の傾向に差は見られない。

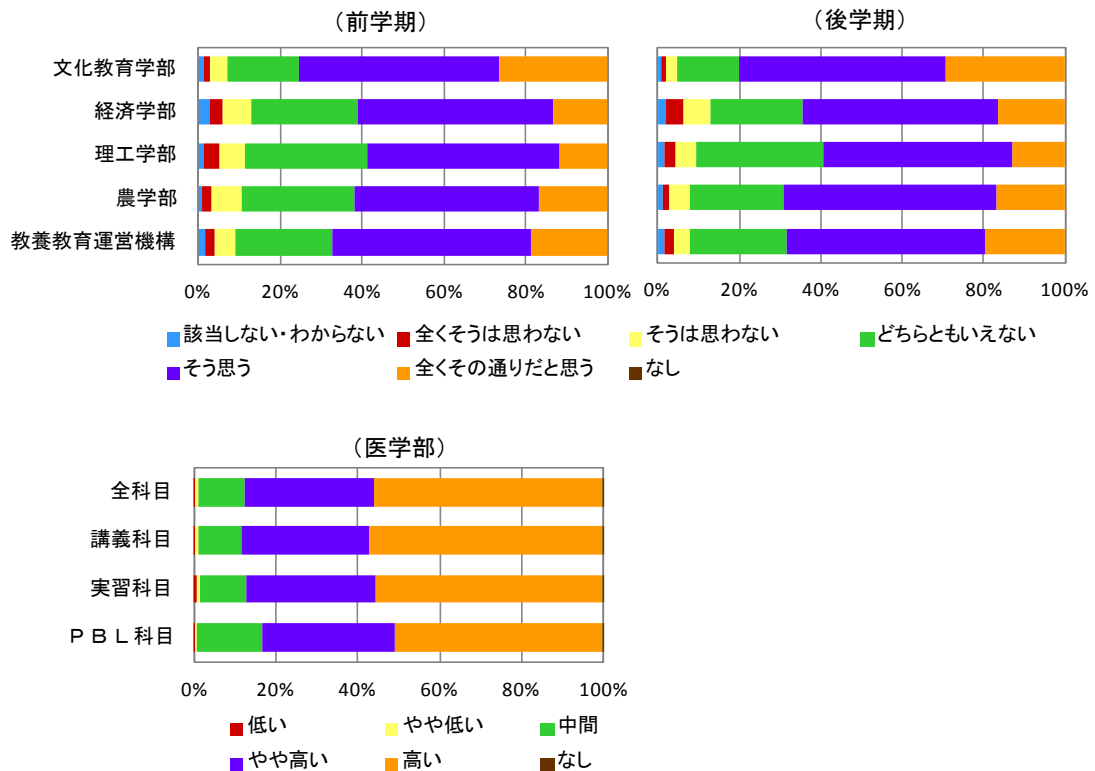
C-2 学生の質問に適切に対応してくれている



「全くその通りだと思う」と「そう思う」との回答をみると、文化教育学部が最も高く、約 80%の学生が肯定的に評価している。一方、他学部、機構は「全くその通りだと思う」と「そう思う」との回答が約 60%であり、概ね適切な対応が取られていると判断される。前学期と後学期で回答の傾向に差は見られない。

D. 満足度

D-1 この授業を受講して満足が得られた



前学期と後学期で回答の傾向に差は見られない。「全くその通りだと思う」と「そう思う」と回答している学生は、医学部が80-90%と最も高く、文化教育学部約70-80%、他の学部、機構で60%前後であり、概ね満足いく授業がなされていると判断される。医学部以外の学部、機構において、「そうは思わない」、「全くそうは思わない」の回答が10%ほどある。満足度の定義は回答者によって異なるであろうが、「そうは思わない」、「全くそうは思わない」と回答した学生の理由を調査し、可能なことは改善することが必要であろう。

佐賀大学文化教育学部
佐賀大学大学院教育学研究科
平成 24 年度「学生による授業評価アンケート」
組織別分析結果報告

平成 25 年 3 月

佐賀大学文化教育学部 FD 委員会
佐賀大学大学院教育学研究科 FD 委員会

概要

学生による授業評価がウェブ入力方式になってから、今年度は2年目である。以前のアンケート用紙による実施の手間と紙資源の消費は回避され、事務の合理化も達成されたわけであるが、授業を担当する教員がアンケートそのものに対する意識を低下させてしまった弊害は否定できないところであろう。そのことから、アンケートの全データにもとづいて学生からみた授業の実態を把握し、それを今後の授業改善への資料として活用することを意図した本報告書は、より重要な意味をもつことになる。

アンケートの質問項目は、学生の受講態度についての自己評価に関するものと授業担当教員に対する評価に分かれる。学生自身の評価では、出席率、予習・復習の時間、授業の目的の把握、成績基準の把握、授業内容の理解、内容への興味、満足度などが項目として挙げられている。一方、教員への評価では、黒板等の効果的な利用、教材の適切性、シラバスの有活用、明瞭な声の出し方、話す速さの適切性、適切な授業の進み方、質問への適切な対応などが項目に挙がっている。以下の報告は、授業アンケートの各質問項目についての結果のデータとそれにもとづく分析とコメントである。

文化教育学部については、アンケートの各質問項目に対する結果を、学部を構成する学校教育課程、国際文化課程、人間環境課程、美術・工芸課程の4つの組織で比較、分析し、その特徴についてコメントした。また、教育学研究科については、これを構成する学校教育専攻、教科教育専攻の2つの組織について、同様の比較、分析を行った。この学部と研究科についての報告では、まず分析の方法について説明し、各質問項目ごとの結果とコメントを記し、最後に総括的な評価をまとめる、という方式をとった。

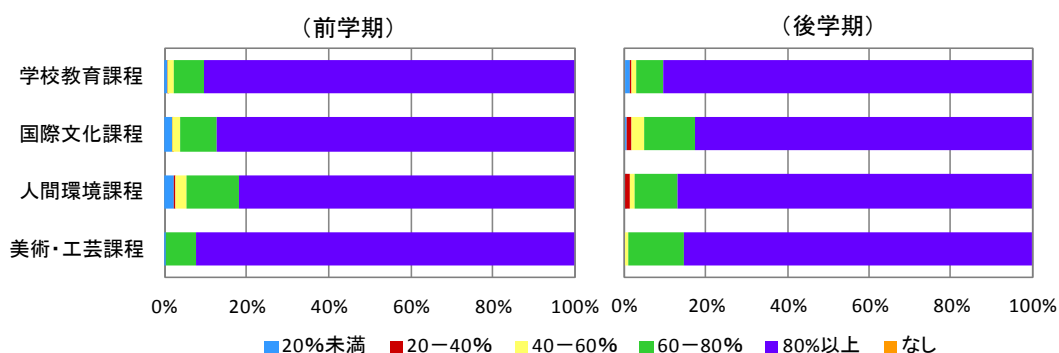
文化教育学部組織別授業評価分析

はじめに…分析の仕方

文化教育学部には、学校教育課程、国際文化課程、人間環境課程、美術・工芸課程の4課程がある。本分析ではこれらの課程のアンケート結果を比較して、課程ごとの特徴を抽出した。課程ごとの差異が認められない場合はすべての課程に見られる特徴を述べた。また前学期と後学期についても、差異が認められる場合にかぎってその違いについて言及している。

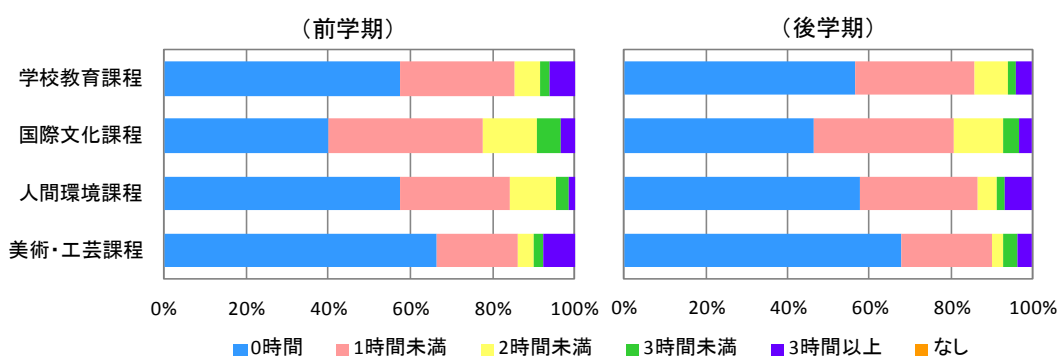
A. あなた自身について

A-1 出席率はどのくらいですか



各課程の出席率は、前期、後期を通じてほぼ昨年度と同じである。学校教育課程がとくに出席率が良好なのは、教員養成という課程の特質と関係あるのかもしれない。

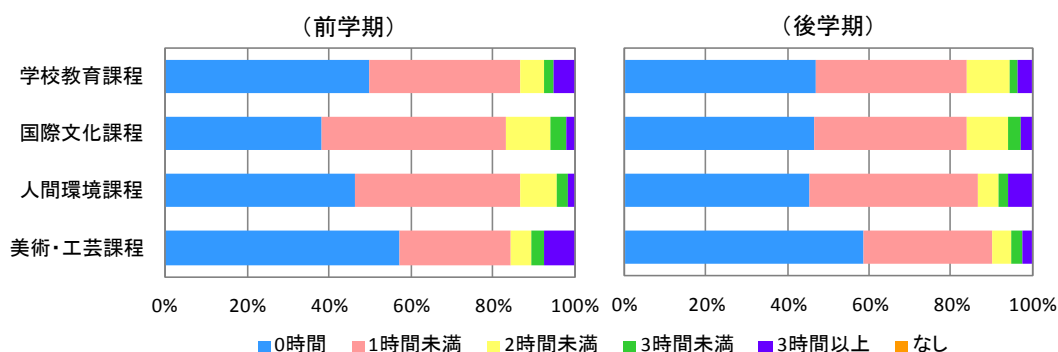
A-2 予習を毎週どの程度していますか



他課程と比較して、国際文化課程の予習の程度が良好なのは、語学の学習に重点が置かれているためと思われる。反対に授業時間の多くを制作に当てている美術・工芸課程の予習時間は少なくなっている。昨年度よりはいくらか改善しているものの、全体的にみてまだ半数の学生は予習をおこなっていない。学生側からみれば、何を予習しなくてはならないかがはっきりしなかったり、予習なしでも次の授業を受けるのに支障がなければ、当然

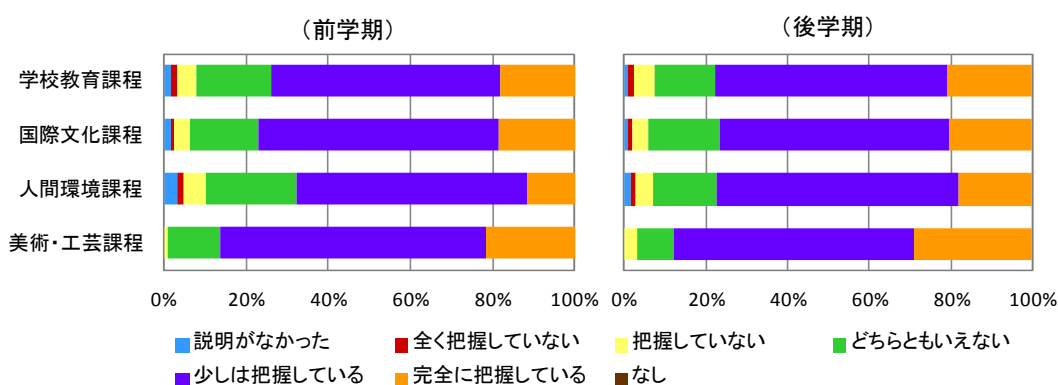
予習に時間を割くことがなくなるだろう。とくに予習については、授業担当教員が予習の内容を特定して予習を課すといった取り組みが必要であろう。

A-3 復習を毎週どの程度していますか



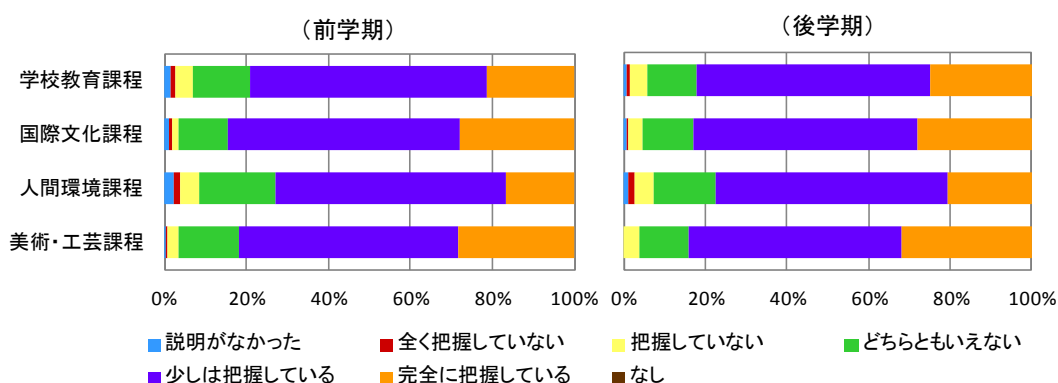
予習と比べると復習時間はそれでも多い。受講生にとってすでに授業で教えられた事柄は、何を勉強すべきかがはっきりしない予習内容と比べて、その内容が明確であるし、学期の後半は試験対策がそのまま復習時間に反映していることにもよる。しかし、復習をしない半数近い受講生でも、その多くは試験にパスしているという現実があるかぎり、復習時間は増えないであろう。復習に関しても、学生の自覚をうながすだけでは不足であり、授業担当教員の対応が必要であろう。

A-4 この授業の学習目標を把握している



前期、後期をつうじて、美術・工芸課程で学習目標を把握していた受講生が9割にのぼっていて、4課程中で最良である。こうした実技系の課程では、一般に授業の内容や目的が明確であるのがその理由であろう。その他の課程では、全体に2割強の受講生は学習目標を把握していないという結果である。自分が自らの興味にしたがって受講科目を選択するのであれば、選択の過程でどんな授業なのか知っている筈だから、こうした結果は、カリキュラム上で必修科目が多い、受講プランが固定化している、といった問題に由来するともいえる。授業担当教員が、最初の授業だけでなく頻繁に学習目標について受講生たちに関心を喚起することが重要なことはいままでもない。

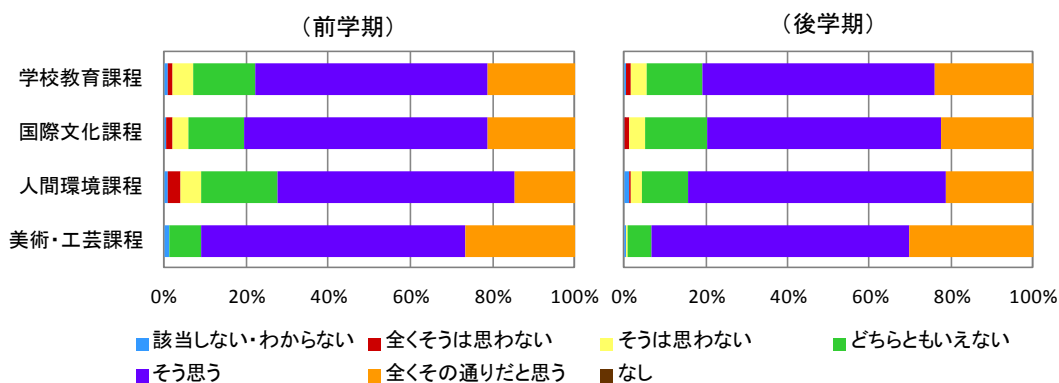
A-5 この授業の成績評価基準を把握している



成績というのは、常識的に考えれば、授業にはまじめに出席し、期末試験に合格点を取ることによって評価される。多くの授業科目が、事実上出席率と期末試験結果から評価を出している現状では、学生側に成績評価基準に対する意識が高くなくても当然といえば当然であろう。シラブス的には、成績評価基準を明確にすることが強く要請されてその点が改善しているのに対して、この項目の結果が昨年度からあまり改善していないのは、そんな理由からかもしれない。

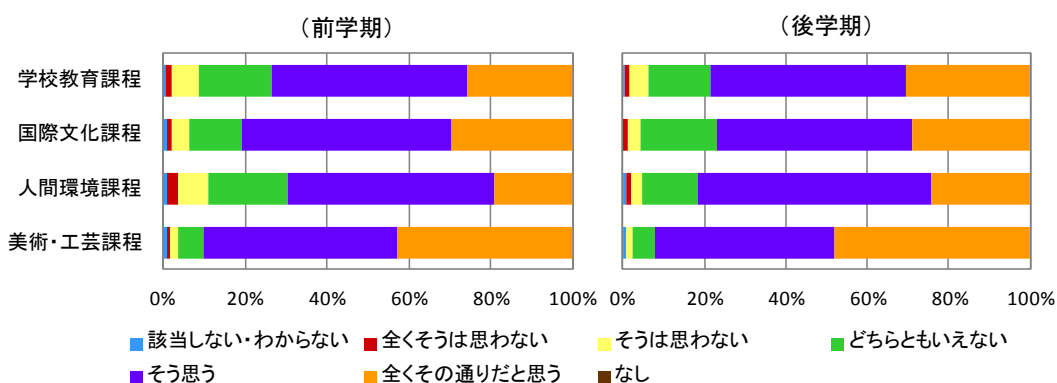
B. 授業内容及び授業方法

B-1 この授業の内容は理解できる



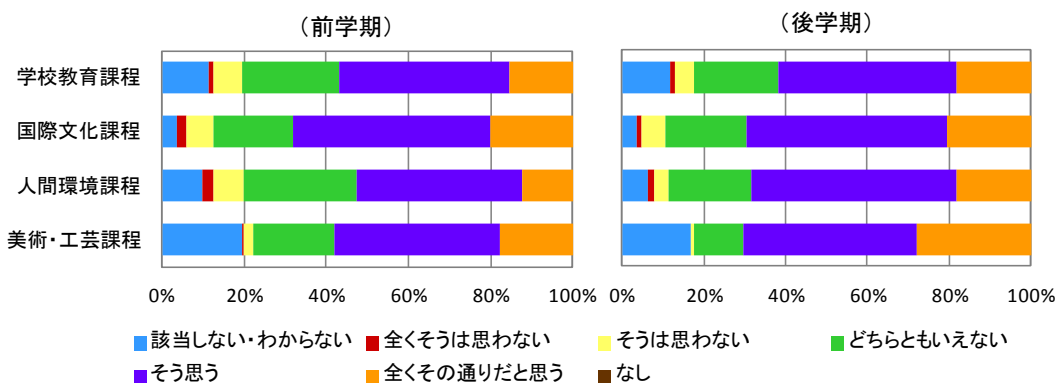
授業内容の「理解」という点で、実技系の美術・工芸課程の結果が他の課程と比べて良好であるのは理解できる。かつての大学の授業は、かなり理解のむずかしいものであり、それを何とか理解しなくては、という焦りが勉学への励みにもなった。全体に8割の学生が授業内容が理解できる、と答えているのは、授業方法が親切で改善されたためか、内容の程度が低くなったのかを吟味する必要がある。

B-2 この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた



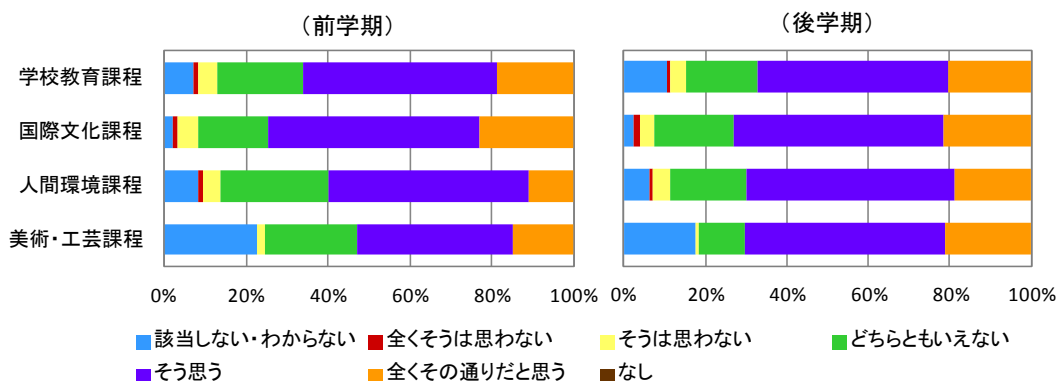
この項目の結果は昨年度とほぼ同じである。美術・工芸課程の学生の9割以上が授業を受けることで興味がさらに増している結果となったのは、やはり自分の興味・関心からこの課程を選んで入学してきた学生が多いことの反映であろう。

B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である



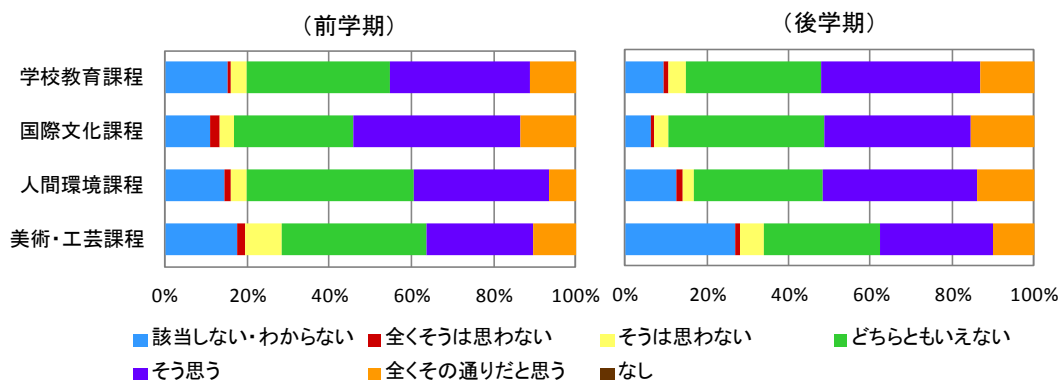
これは、次の項目とある程度相反するものである。担当教員が配布資料を中心に授業をすすめるか、資料を配布せずに板書や資料投影という方法で授業をおこなうか、によって両項目の結果が相反的に上下するはず。「該当しない」、「全くそうは思わない」が他項目にくらべて目立っているのはそのためだろう。

B-4 教材（テキスト、配布資料、その他）はわかりやすかった



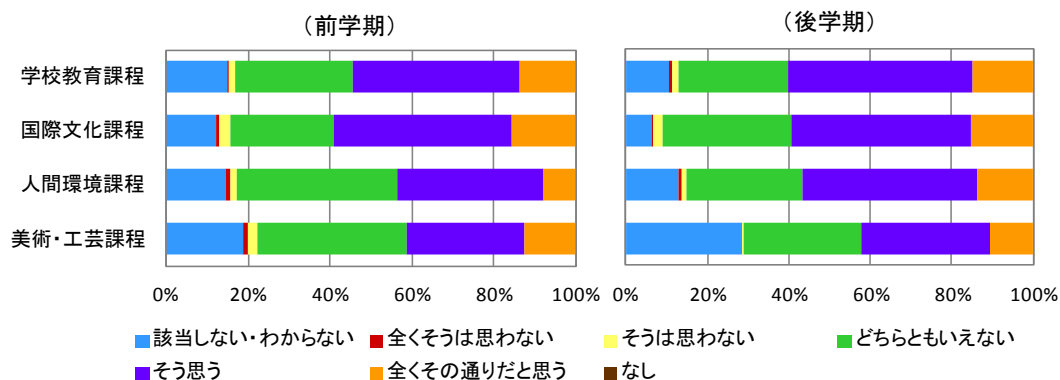
前項目のコメントと同じ。さらに指摘するとすると、これらの項目の結果は昨年度とほとんど変わらない。

B-5 シラバスは学習する上で役に立っている



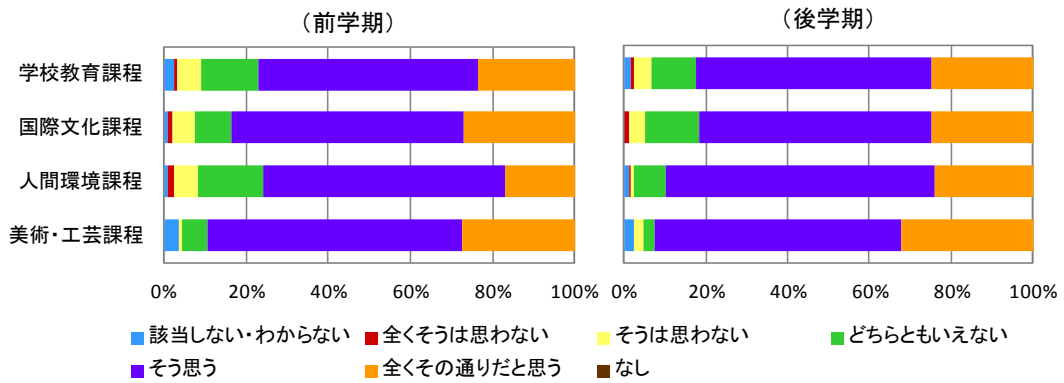
学生が受講届け期間以外の通常授業でシラバスを見る必要があるのは、各セッションの内容が記された「授業計画」の部分だろうか。とすればこの項目は「予習」の項目とある程度相関することになるだろう。また、授業担当教員が頻繁に授業の予定について説明するとすると、シラバスを見る必要性は低下することになる。したがって、今年度のこの項目の結果（昨年度とあまり変化なし）は、シラバスの書き方を改善すればより良好になる、ともいえないだろう。

B-6 授業内容はシラバスに沿っている



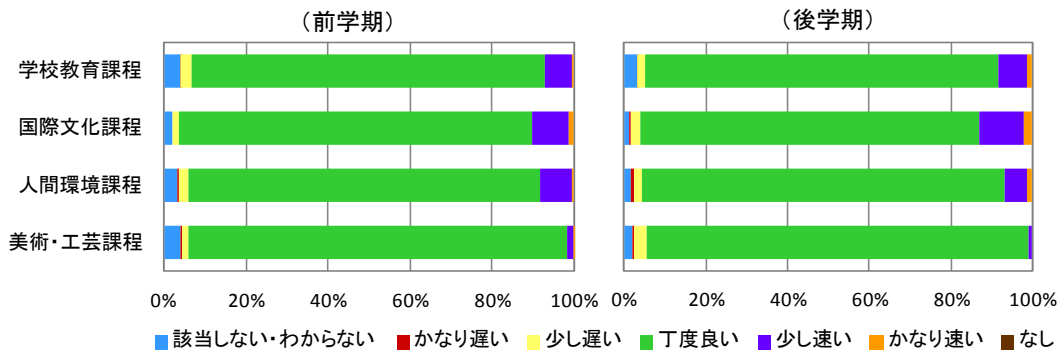
結果は前項目とほぼ同じ。シラバスをよく利用している学生の割合と「授業がシラバスどおりにおこなわれている」とする学生の割合が同じということは、授業が概ねシラバスどおり行われている、と考えてよいのではないかと。

B-7 声の大きさ・明瞭さは適切だった



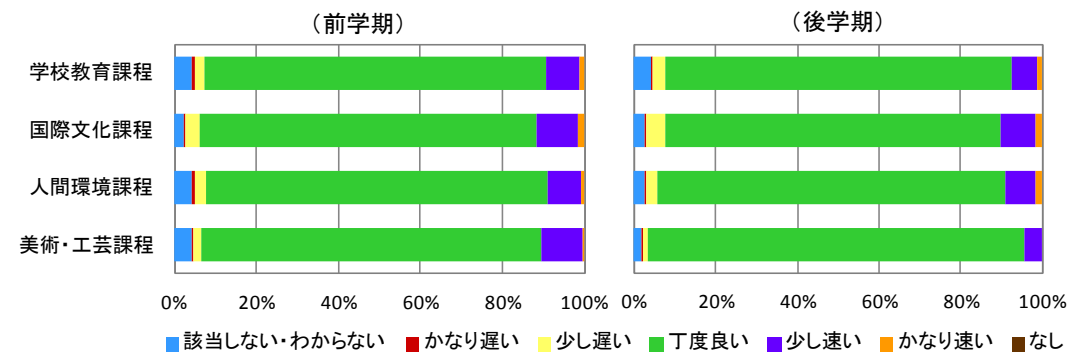
授業のとき、わざわざ教室の後ろの隅に座る学生がいる。こうした位置で教師の声がきこえにくいのは当然ではないか。その意味でも、「どちらともいえない」以下の評価が1～2割であるのは理解できる。

B-8 話す速さは適切だった



他の項目の評価とはちがって、真ん中の緑が多いのが良好ということになる。かつては早口の講義、聞き取りにくい講義がけっこうあったものだが、この結果からはその点がかなり改善している、との印象をうける。

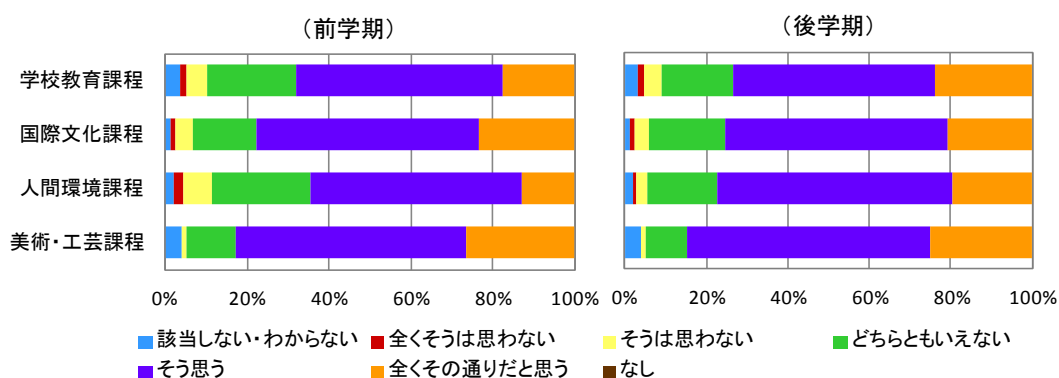
B-9 授業の進む速さは適切だった



この項目も緑が良好で左右にいくほど悪くなる。昨年度とくらべて目立った変化はみられない。「予習」時間が多くなると「速い」(紫)が減少し「遅い」(黄)が増えることになるかもしれない。担当教員は、受講生の学習状況を把握した上で、授業のテンポを考えるべきであろう。

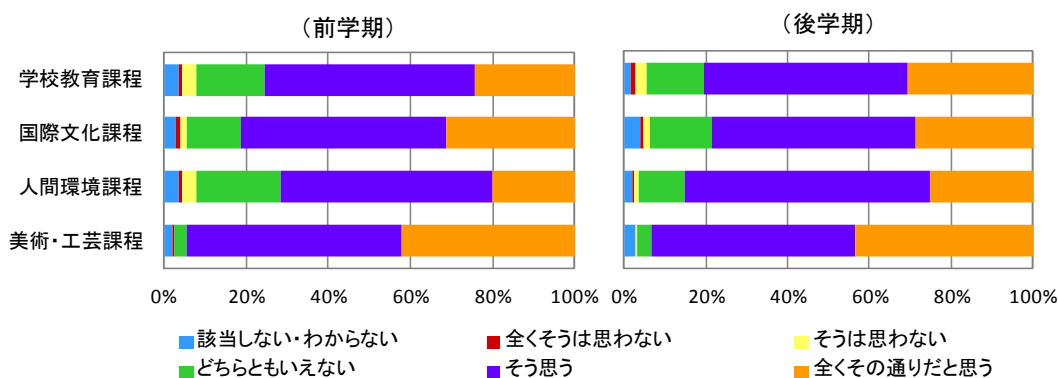
C. 教員の対応

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる



結果の良好な美術・工芸課程については、実技中心という授業の性格が反映している面が多いであろう。人間環境課程の結果が他との比較でやや悪いのが気になる。

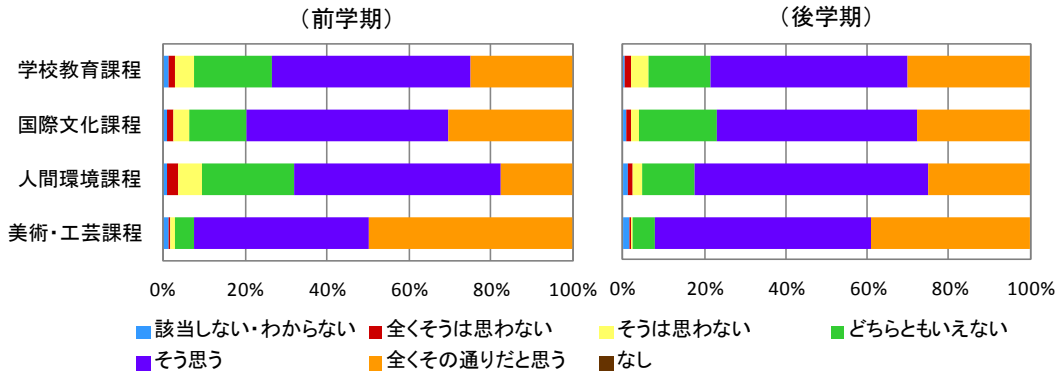
C-2 学生の質問に適切に対応している



全体に8割近くの学生が肯定的な評価を出しているわけだが、はたしてこれだけの学生が質問しているのかどうか疑問である。実技で対個人の指導が多い美術・工芸課程の結果は理解できる。人間環境課程は、前期では「学校教育課程」と「国際文化課程」より悪く、後期ではより良いのはなぜだろうか？

D. 満足度

D-1 この授業を受講して満足が得られた



学生たちが「満足」をどう理解しているかにもよるが、これだけの満足度があるのは喜ばしい結果である。不満を感じている学生の割合は、この程度なら仕方ない。

文化教育学部まとめ

「単位の実質化」をめざした改革は、履修科目の数を制限してそのかわり「予習」、「復習」の時間を増やすことを核として進行しつつある。現状は、アンケート結果からみられるように、学生が授業の予習と復習に割いている時間はまだまだ少なすぎる。他方、授業の理解度や進行テンポの項目で良い結果が出ていることは、学生たちが予習や復習をしなくても授業についていけて、しかも合格点をもらっている現状をあらわにしている。各授業科目はそれだけ学生の勉学に対する要求を引き下げている、と考えられるのである。これらのアンケート結果は、ある部分は相関的であり、また他の部分は相反的であるから、単純にすべての項目の結果が良好なのが望ましいわけではない。

基本的にアンケートの結果は、昨年度とくらべて大きな変化はない。なかでも出席率が良いこと、学生の満足度が高いこと、などは特筆すべきことであり、教員の立場からは胸をなでおろすような結果である。しかし、授業内容の質を高め、また学生の学習への要求度も上げていくことが、そのことでアンケート結果の部分的な低下があろうとも、大学教育のめざすべき目標であろう。

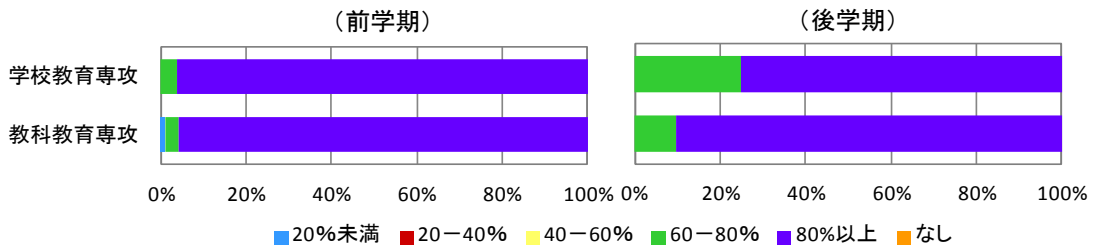
佐賀大学院教育学研究科組織別授業評価分析

はじめに…分析の仕方

教育学研究科を構成する学校教育専攻と教科教育専攻のアンケート結果を比較・分析した。学部同様、専攻ごとの差異が認められない場合は両専攻に共通の特徴を述べた。また、前学期と後学期のアンケート結果において特に差異が認められない場合は、両者を別箇に論じることはしていない。

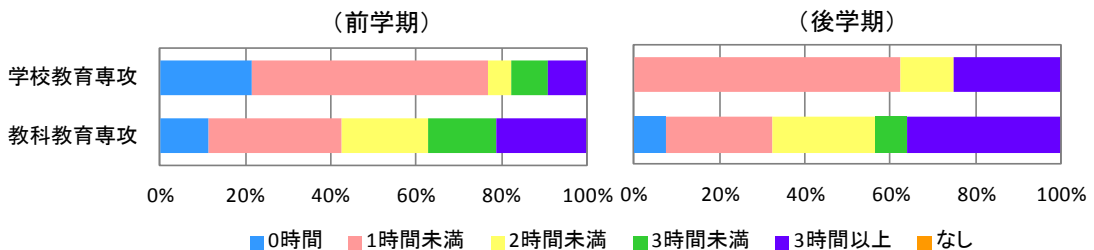
A. あなた自身について

A-1 出席率はどのくらいですか



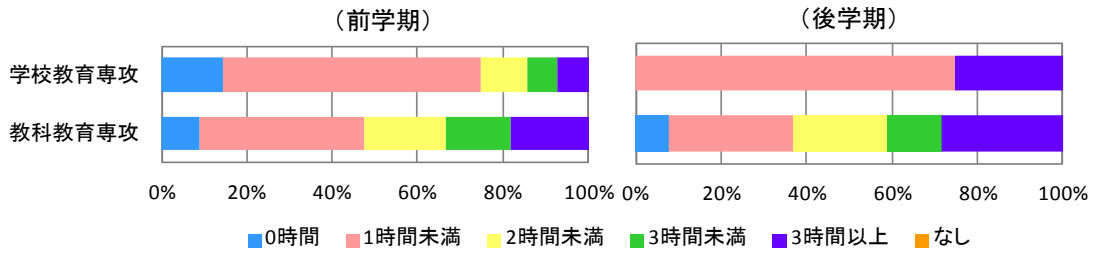
両専攻とも、前学期にくらべて後学期に出席率が悪くなっているが、その程度は学校教育専攻で顕著である。入力した人数にもよるが、何か原因があれば対処が必要であろう。

A-2 予習を毎週どの程度していますか



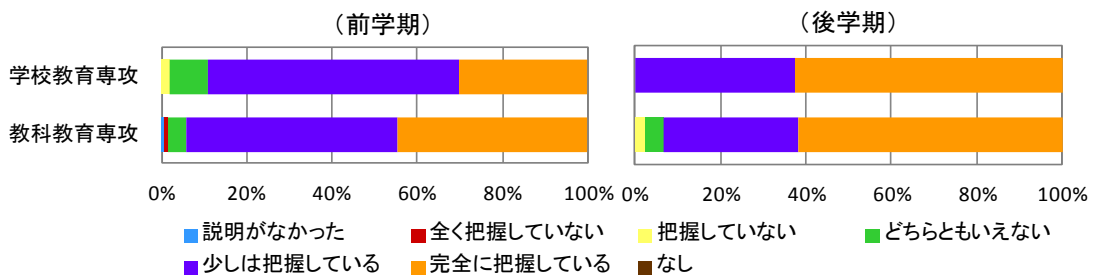
研究科の授業では、少人数のゼミで個人的に課題を与えられることが学部と異なるところで、さすがに予習時間も多くなっている。学校教育専攻の後学期では「3時間以上」と「2時間未満」とに二分されている状況がみられるが、その傾向は同じ後学期の教科教育専攻と比較するとはっきりしている。

A-3 復習を毎週どの程度していますか



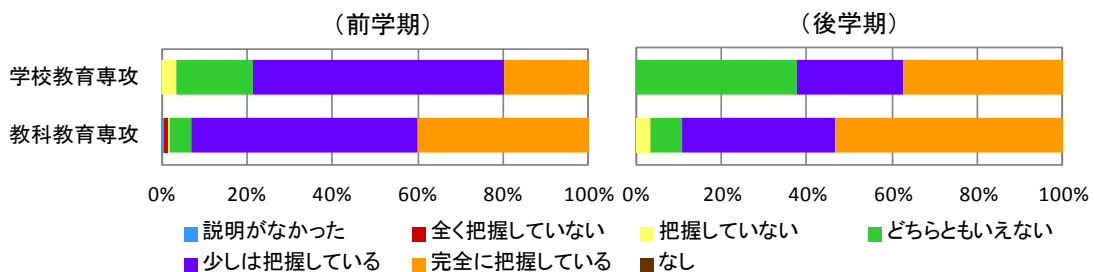
「予習」の場合以上に、学校教育専攻の後学期で多くの時間を学習に充てている院生と僅かしか勉強していない院生がきれいに分かれている。そのわりに「0時間」と答えている院生がいないのは、入力した院生が少ないのか偏っている可能性がある。あるいは学校教育専攻に留学生が多いこととも関係があるのだろうか？

A-4 この授業の学習目標を把握している



さすがに研究科だけあって、ほとんどの学生が授業の学習目標を把握している結果が出ている。

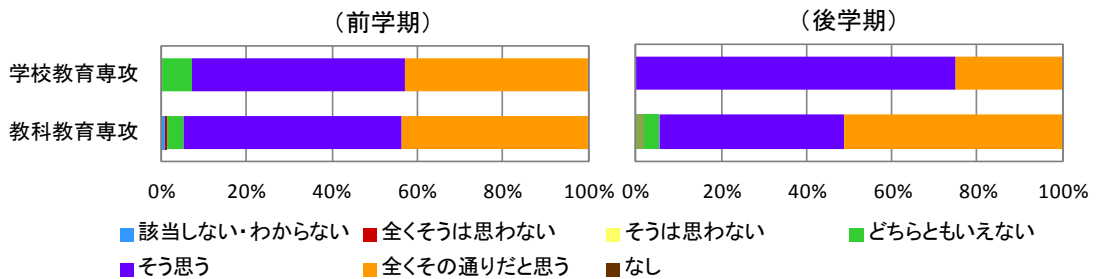
A-5 この授業の成績評価基準を把握している



研究科の授業で期末試験をおこなっている科目は少ないから、院生にとってこの項目はあまり重要ではないことが推測される。

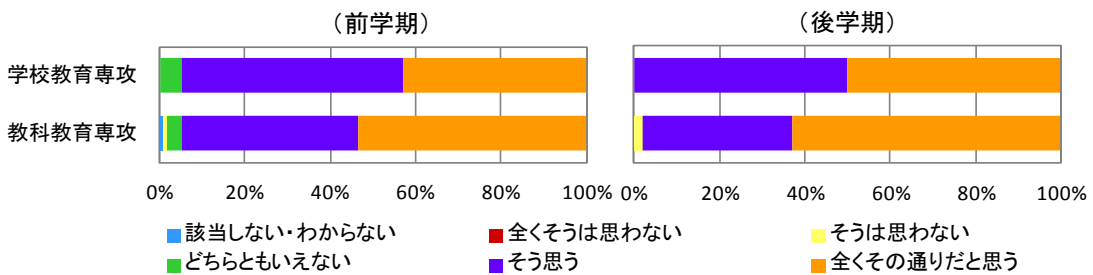
B. 授業内容及び授業方法

B-1 この授業の内容は理解できる



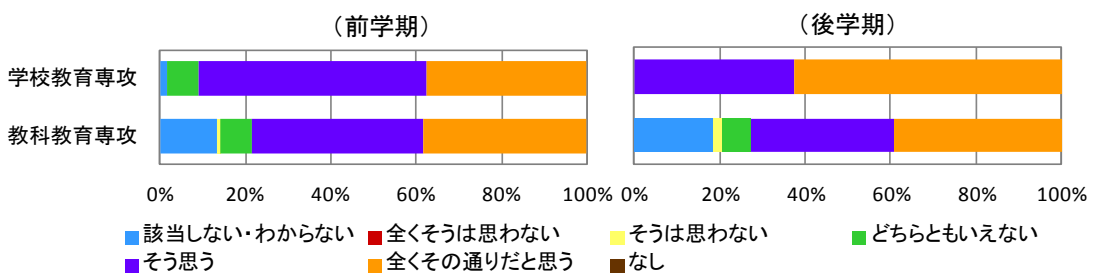
ほとんどの院生が授業内容を理解している結果が示されている。研究科の授業のような少人数の教育の場においては、大人数の講義とはちがって質問したり疑問点について説明をうける機会に恵まれていることから、この結果は理解できる。

B-2 この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた



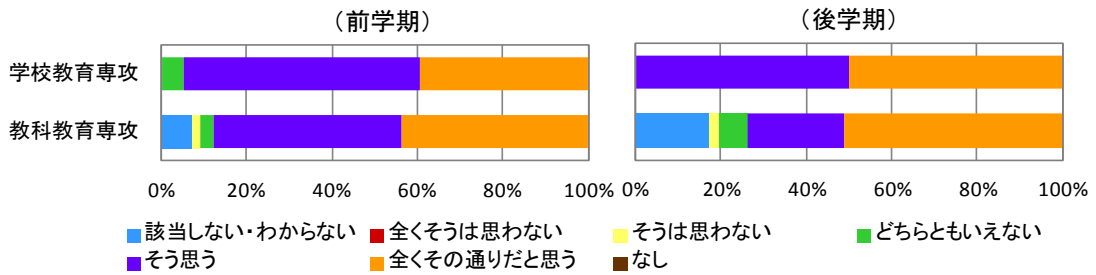
前学期ではまだ研究科の授業に慣れていないためか、「どちらともいえない」回答が少しだけみられるが、授業内容は、概して院生の興味に沿っているものと判断できる。

B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である



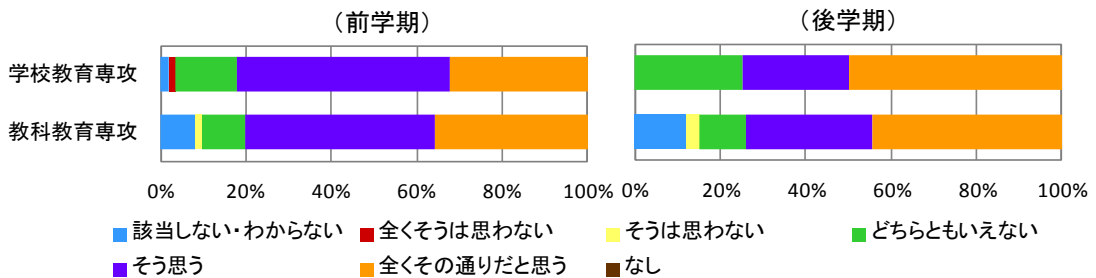
研究科の授業では、学部にくらべると黒板・ホワイトボード、スライド等の使用頻度は低いと考えられるから、「該当しない・わからない」と「どちらともいえない」の割合が多いのは当然だろう。その点で後学期の学校教育専攻の回答結果はやや疑問に感じる。

B-4 教材（テキスト、配布資料、その他）はわかりやすかった



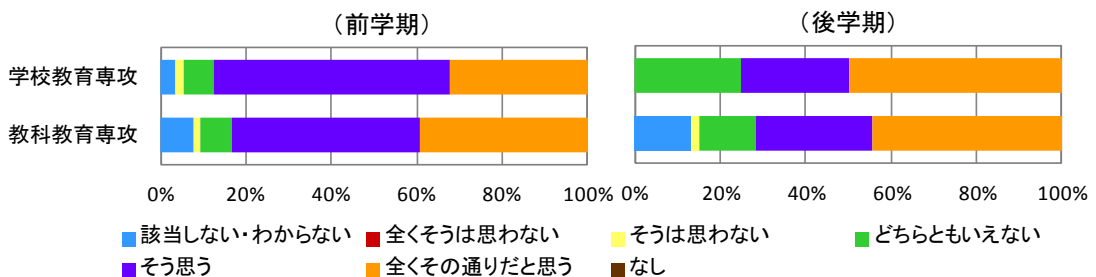
教科教育専攻で「該当しない・わからない」と「どちらともいえない」が多かった。学校教育専攻ではほぼ肯定的な回答結果だから、こちらの専攻の授業科目の場合は比較的配布教材が多いということだろうか？

B-5 シラバスは学習する上で役に立っている



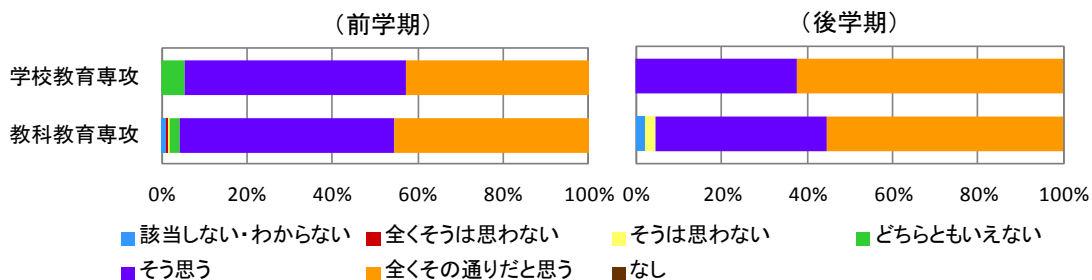
研究科の少人数の授業では、学部とくらべて授業内容から履修する授業を選ぶ場合は少ないから、「該当しない・わからない」と「どちらともいえない」が多いのは理解できる。むしろ役立っているとする7～8割の学生では何が役立っているのか知りたい。

B-6 授業内容はシラバスに沿っている



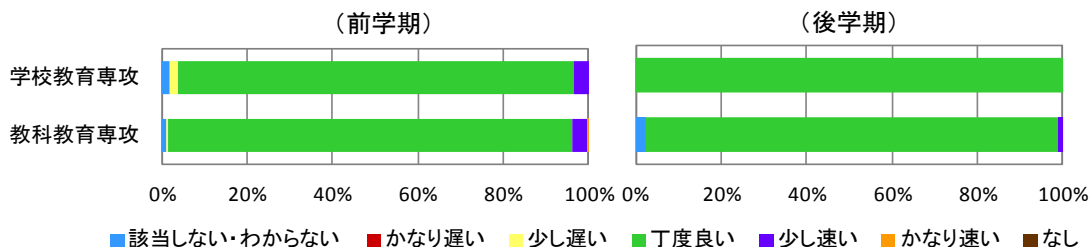
「該当しない・わからない」と「どちらともいえない」が割合に多いのは、少人数ゆえに授業内容を固定的にせず受講生の関心に沿ったものになっているケースが多いからだろう。

B-7 声の大きさ・明瞭さは適切だった



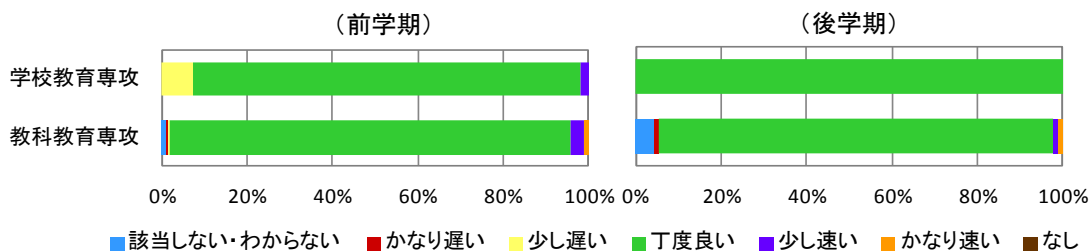
教師と学生の物理的距離が短いから、聞き取れて当然だろう。

B-8 話す速さは適切だった



前項目と同じで、教師と学生の物理的距離が短いから、聞き取れて当然だろう。話し方も通常の講義とは違っているはずである。

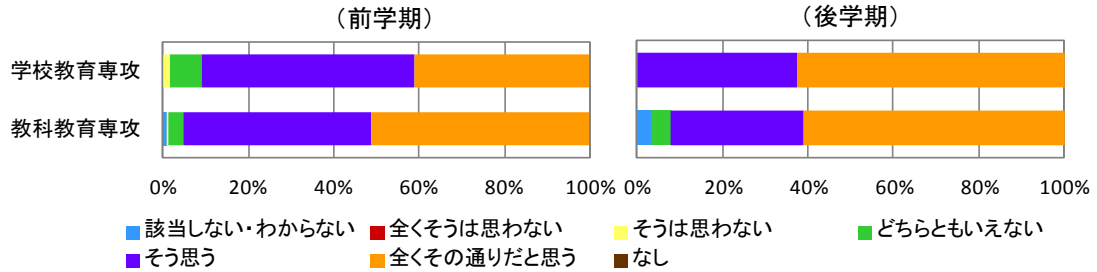
B-9 授業の進む速さは適切だった



授業の進行を院生の理解に応じて加減していることを推測させる回答結果となっている。

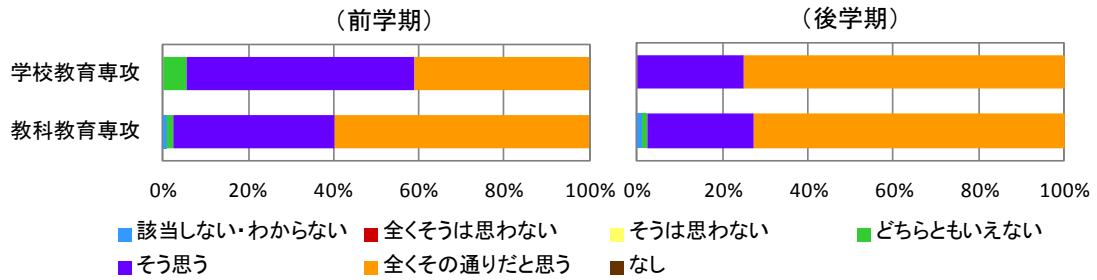
C. 教員の対応

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる



ほぼ良好の結果がでていとみてよいだろう。

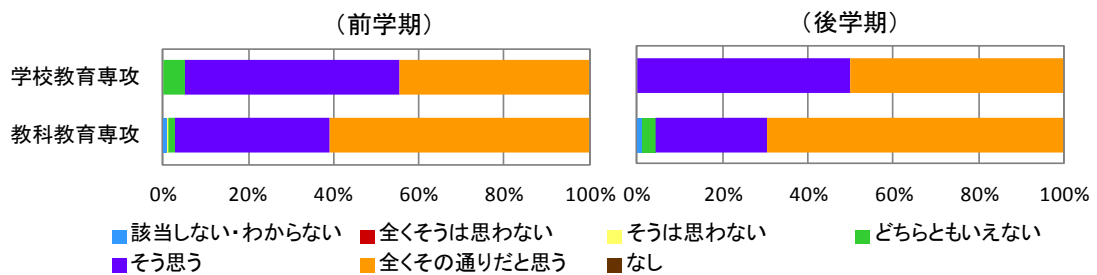
C-2 学生の質問に適切に対応している



結果は前項目とほぼ同じ。

D. 満足度

D-1 この授業を受講して満足が得られた



「全くその通りだと思う」が半分以上をしめる良好な結果である。

教育学研究科まとめ

学校教育専攻のアンケート結果が全般的にやや不自然な印象をあたえるのが気になった。個別の項目へのコメントでも指摘したことだが、こうした変化の原因はアンケートを入力した院生の人数的、性格的な偏りにある可能性がある。後学期のデータによると、学校教育専攻の多くの授業科目を受講した院生はアンケートの入力をおこなっておらず、時々一人の院生が入力している科目がある、といった程度である。こうした状況は概して教科教育専攻についても同様であるが、授業科目の数の多さから、一定量のアンケート結果が集まっているという違いがある。

昨年度と比較すると、学校教育専攻では予習、復習の項目の結果は昨年よりも後退している。教科教育専攻においても、予習、復習の状況は昨年度と比較してやや後退している。予習、復習に関しては、学部の結果よりはかなり良いものの、今後の改善事項となろう。しかし全般的には、昨年と同様にほとんどの学生が授業に満足しており、内容への興味が増したと答えているので、研究科の各教員の教育活動は概ね良好であったと評価できる。

学生から高い評価を得ている授業科目の選定基準

文化教育学部

文化教育学部では、学部 FD 委員会にて学生から高い評価を得ている授業科目の選考基準を協議し、満足度及び興味・関心の 2 項目を合計した値を用いることとしている。なお、対象となる科目は受講生が 10 名以上の科目であり、学部、大学院別に抽出することとしている。

授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点

文化教育学部および教育学研究科

本年度(平成 24 年度)においても文化教育学部および教育学研究科において、組織別授業評価を実施した。本年度は昨年度と同様に、すべての課程・専攻を横断的に眺めることによって、学部と研究科がもっている特徴と改善点を浮き彫りにした。

授業改善の取り組みにおいて優れた点は、全学的な「単位の実質化」の取り組みに沿って、FD 委員会を中心として当学部における単位数の制限について審議し決定することで、学生たちに各授業科目において予習、復習を十分におこなう環境を整備したことが挙げられる。

改善すべき点は、近年において授業評価アンケートの結果がパターン化してきており、このアンケートがそのまま授業改善に直結しない傾向が出てきていることである。各項目でも指摘したことであるが、アンケートの内容が必ずしもすべての授業科目に適合していないケースがあったり、板書や表示方法の項目と配布資料の項目の関係にみられるように、項目同士が互いに相反的であったりするように、一律的なアンケートの方法にも改善すべき点があるように思われる。各授業科目の個別的な改善につながるような方策が求められている。

次年度の授業改善目標(学部・研究科別)

全学では、「単位の実質化」への対策として各学部、学科において学期あたりに取得できる単位数の上限を明確に定め、来年度から完全実施することになった。それにともない、文化教育学部においてもかねてから問題視されてきた「学生の予習・復習」の時間確保の条件が整ったといえる。まずは学部の学生たちにこの単位の上限について十分に周知させ、その趣旨を理解させることが重要である。また、授業担当教員もこうした状況をよく知った上で、実際の授業において受講生たちに具体的な予習、復習の課題をあたえることで、受講生たちの予習、復習の習慣づけをうながすことができると考える。FD委員会としては教員側へのこの点でのアピールをおこなう必要がある。

教育学研究科では、授業アンケートの対象となっている科目の多くで回答ゼロというケースの多いことが判明している。こうした状況を放置することは、学生による授業評価アンケートのデータとしての有効性を阻害することになりかねない。本研究科においては小人数クラスが多く、アンケートなどらなくても学生の意向は十分理解しているという教員が多い。それだけにFD委員会としては、過去のアンケートの客観的なデータを示して、より多くの受講生がアンケートに回答するように、担当教員にはたらきかけていく必要がある。

佐賀大学経済学部

佐賀大学大学院経済学研究科

平成 24 年度前学期「学生による授業評価アンケート」

組織別分析結果報告

平成 24 年 3 月

佐賀大学経済学部

*組織別授業点検・評価報告書の記載項目

(1) 学生から高い評価を得ている授業科目の選定基準

経済学部、経済学研究科では「学生から高い評価を得ている授業科目」について特に選定を行っていない。

(2) 授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点

経済学部、経済学研究科の全教員を対象としたFD会議を平成24年12月12日に実施した。このFD会議ではラーニング・ポートフォリオ(LP)を試行実施している教員4名がLPの利用について述べ、その後、意見交換を行った。教員4名からはLPは学生にとってマイナスになるものではないが、入力項目が多い・細かいなどの意見がでた。このFD会議によって来年度から経済学部で導入するLPに関する利用方法等が共有できた。

また、平成25年度からは学部が改組され、1年生は前・後期を通じた少人数教育として大学入門科目I・入門科目がスタートすることから、来年度以降、学部としての教育方法のベストプラクティスや改善を要する事項について議論する必要がある。

(3) 次年度の学部又は学科等の授業改善目標

授業評価アンケートの結果を踏まえ、特に改善すべき点としては、現在低い水準にとどまっている自学自習(予習復習)の状況について、その向上を促すための方途を検討することが挙げられる。

(4) 学部・研究科等の独自形式アンケートの実施科目

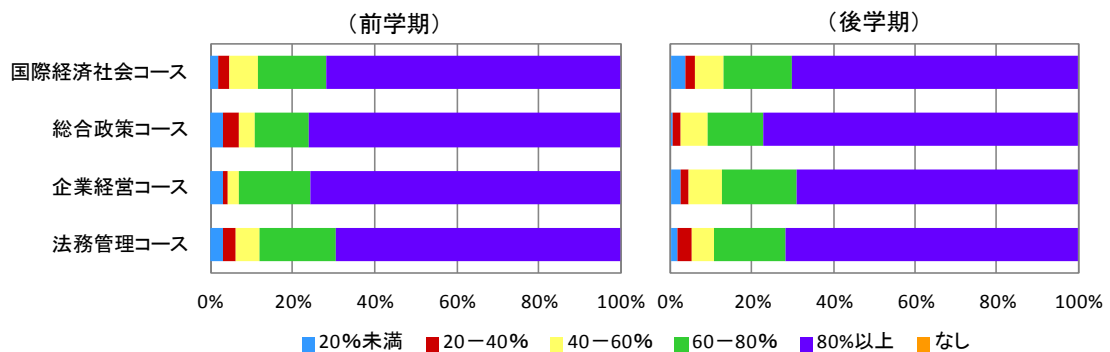
- ・ビジネス基礎英語(リスニング1、2)
- ・ビジネスコミュニケーション英語(ライティング、スピーキング)

平成 24 年度 経済学部授業評価報告書

経済学部では授業を国際経済社会コース、総合政策コース、企業経営コース、法務管理コースに分けて（教員の所属コース基準）、アンケートを集計した。以下ではアンケートの項目ごとに傾向等の分析を行うことにする。

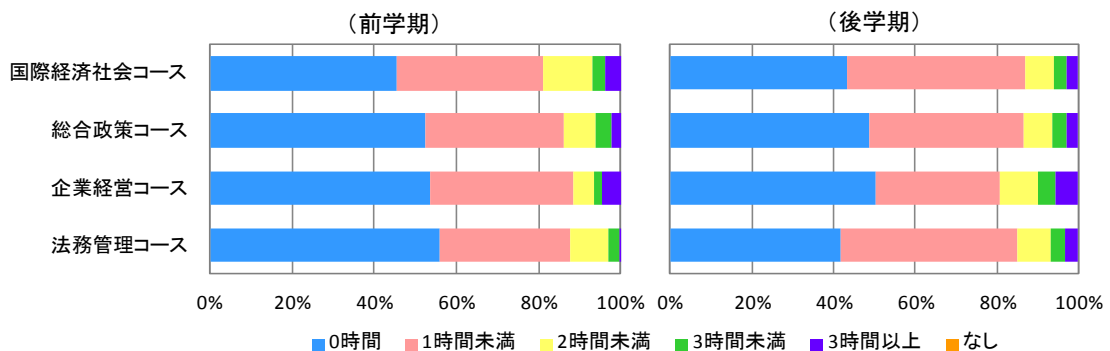
A. あなた自身について

A-1 出席率はどのくらいですか



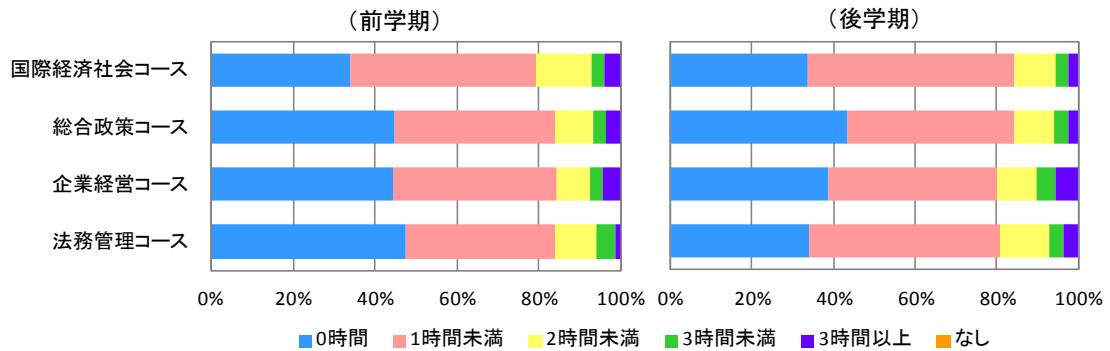
経済学部全体について前後期をとおしてみると、おおむね 70%以上の学生が「80%以上」と回答している。コース別にみると国際経済社会コースと法務管理コースは前後期ともほぼ同じ出席率となっている。総合政策コースは前期よりも後期の方が「80%以上」の出席率と回答した学生が多くなっている。一方、企業経営コースは前期よりも後期の方が「80%以上」の出席率と回答した学生が少なくなっている。

A-2 予習を毎週どの程度していますか



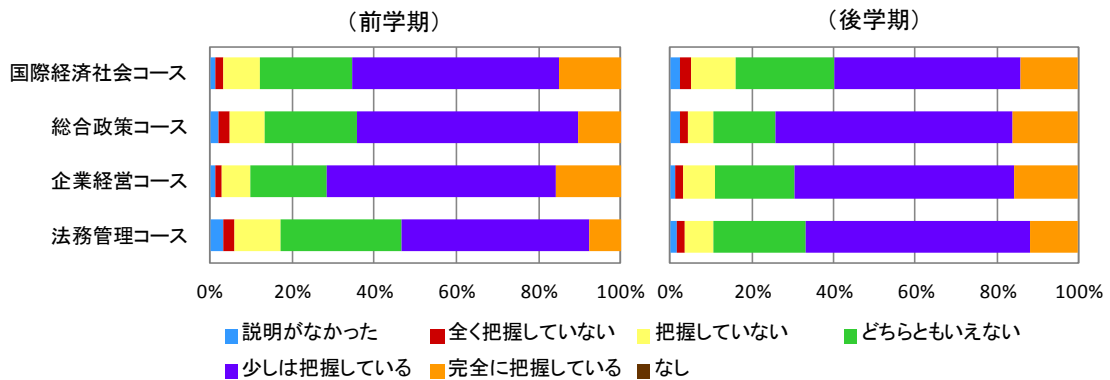
予習をしていないと回答した学生の割合はすべてのコースで約 40~50%となっている。平成 22 年度の調査結果では予習時間 0 時間と回答した学生の割合が約 60~80%であったことと比較すると、改善傾向にあることが分かる。さらなる改善に向けて、予習時間を確保するための課題提供や学生生活の見直し等について検討する必要がある可能性がある。

A-3 復習を毎週どの程度していますか



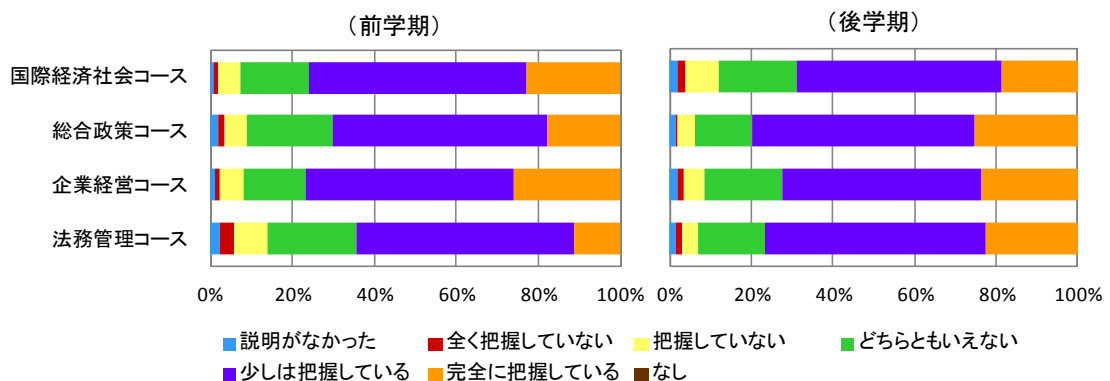
復習をしていないと回答した学生は、おおむね 30～50%であり、予習をしていないと回答した割合と比較すると、復習をしている学生数が多いことが分かる。また、平成 22 年度の調査結果ではおよそ 50～70%の割合で復習時間 0 時間と回答していることから、この復習時間についても改善傾向にある。

A-4 この授業の学習目標を把握している



「完全に把握している」「少しは把握している」の合計値はいずれのコースでも 60%前後の学生が学習目標を把握していると思われる。総合政策および法務管理コースでは前期よりも後期の方が学習目標の把握割合が高い。

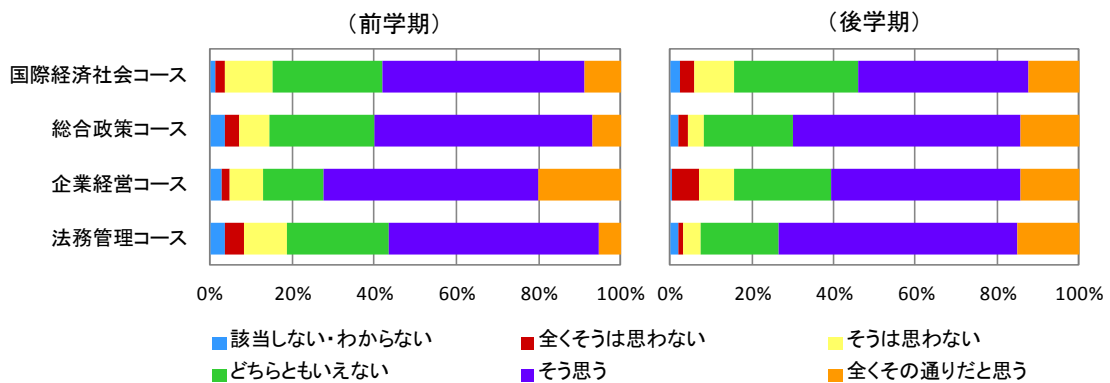
A-5 この授業の成績評価基準を把握している



全体的におよそ 70～80%の割合で成績評価基準を「把握している」もしくは「少しは把握している」ことがわかる。平成 22 年度の調査結果が 60%程度であったことと比較すると成績評価基準の把握状況は改善されている。

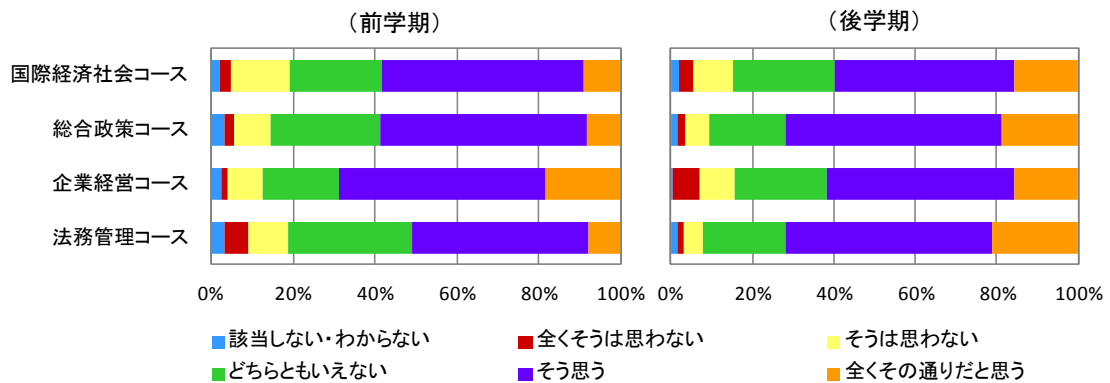
B. 授業内容及び授業方法

B-1 この授業の内容は理解できる



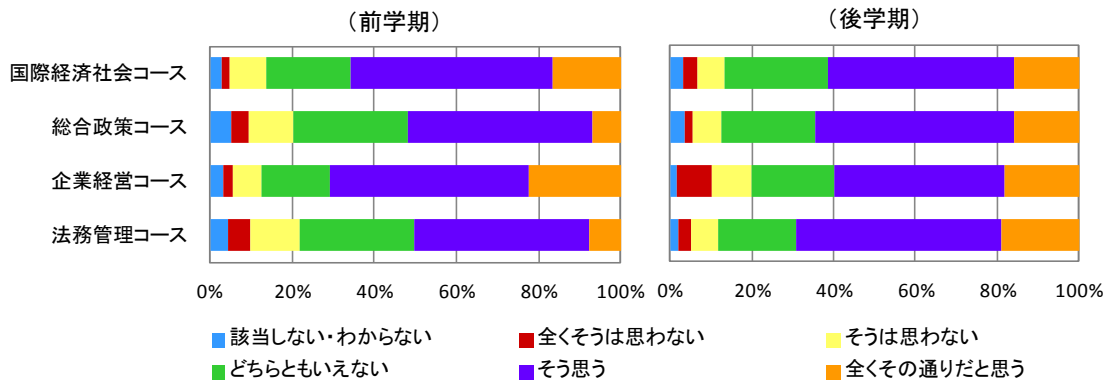
国際社会および企業経営コースは前期より後期の方が理解度が低い傾向にあり、総合政策および法務管理コースは前期より後期の方が理解度が高い傾向にある。

B-2 この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた



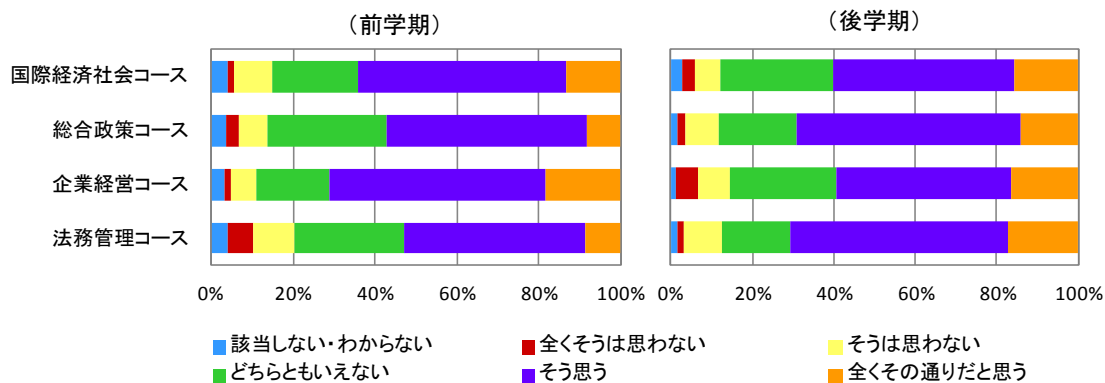
国際社会および総合政策コースは前期より後期の方が興味を増した学生の割合が高く、企業経営および法務管理コースは前期より後期の方が興味を増した学生の割合が低下している傾向にある。

B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である



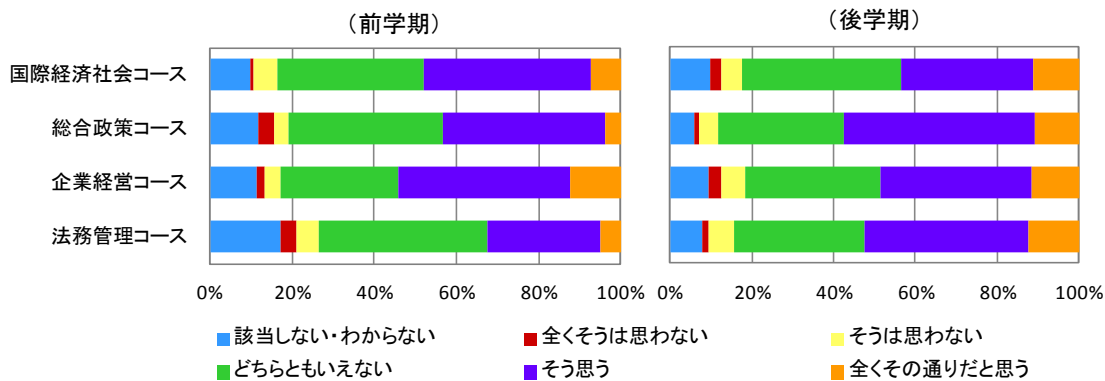
全体的に前期と後期ではバラツキがみられるが、おおむね 60%の学生が効果的であると回答している。

B-4 教材（テキスト、配布資料、その他）はわかりやすかった



B-3 と同様に前期と後期でのばらつきはあるが、おおむね 60%の学生が経済が分かりやすかったと回答している。

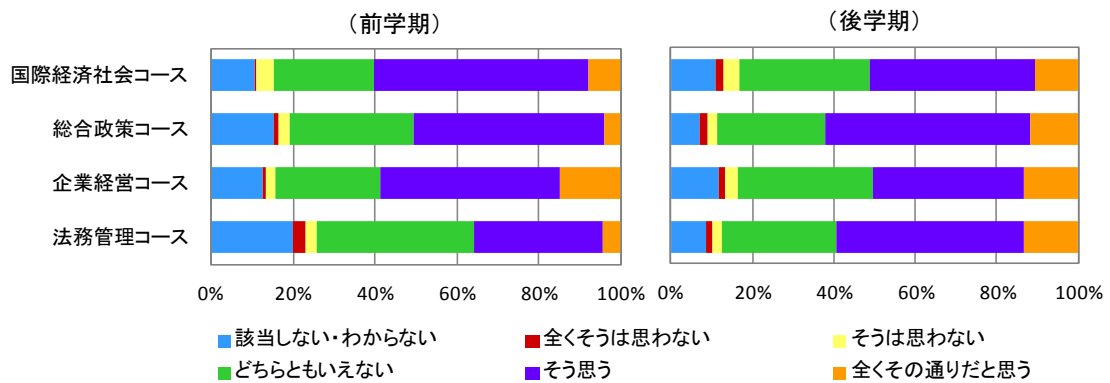
B-5 シラバスは学習する上で役に立っている



「そう思う」「全くその通りだと思う」と回答した割合の合計値はおよそ 40~50%となっ

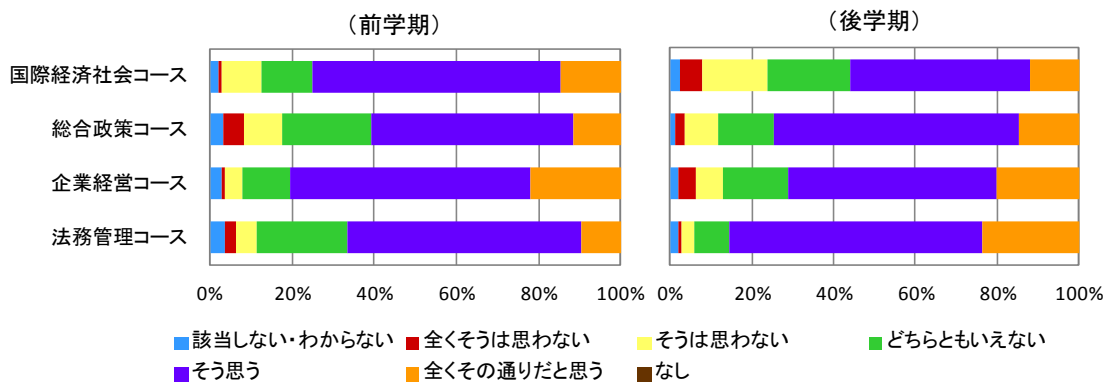
ている。「どちらともいえない」と回答した割合がおよそ30~40%あることから、学習をしていく上でシラバスが活用されている割合が多い傾向にある。

B-6 授業内容はシラバスに沿っている



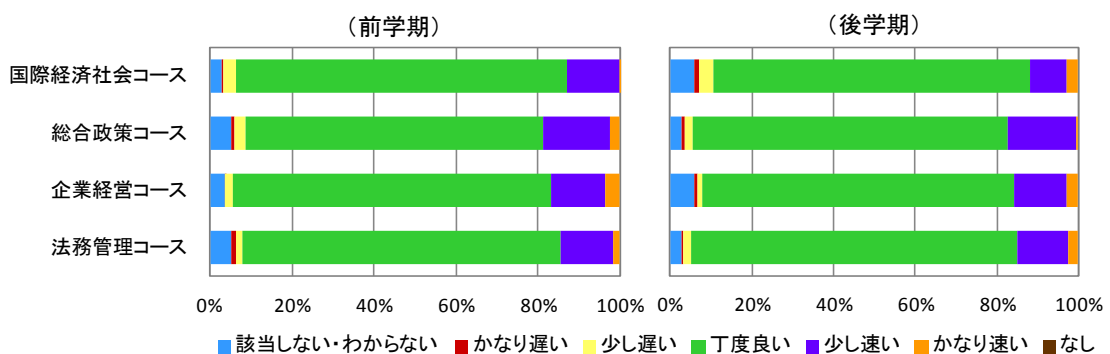
B-5 の回答とあわせて検討してみると、「該当しない・わからない」と回答した学生の割合が10~20%となっており、シラバスを見ていない学生が1~2割程度いると推測される。

B-7 声の大きさ・明瞭さは適切だった



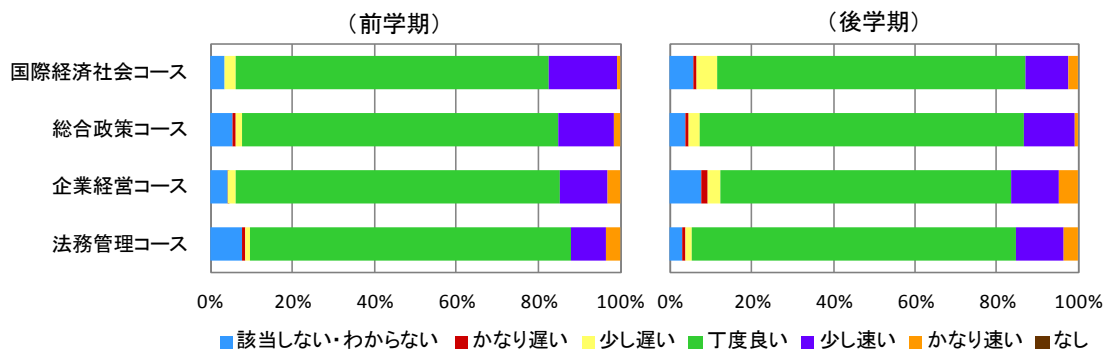
前期と後期ではバラツキがみられるが、80~90%の割合で適切であると回答しているコースもあることから全体的に適切であった傾向にある。ただし、国際経済社会コースの後期は50%強の割合で、この項目の中では低い割合となっている。

B-8 話す速さは適切だった



「丁度良い」と回答した学生の割合が 70～80%となっていることから、前後期を通じて適切な速さで話す講義が多かったといえる。

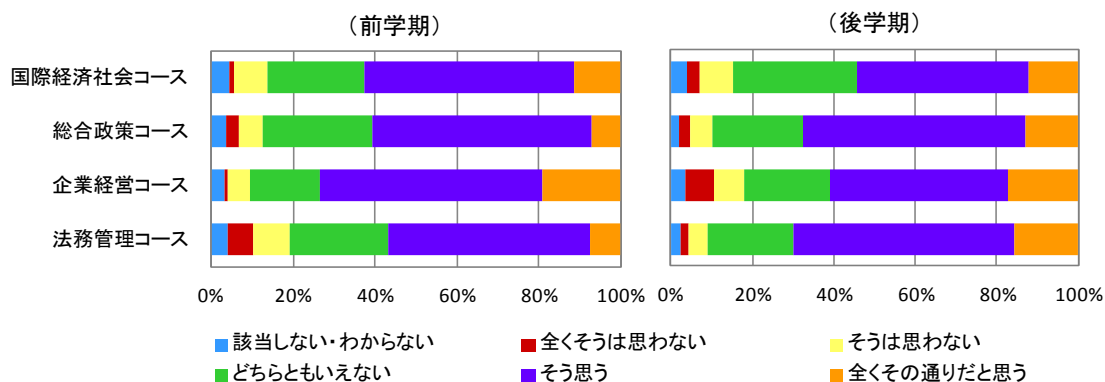
B-9 授業の進む速さは適切だった



B-8 と同様に「丁度良い」と回答した学生の割合が 70～80%であったことから講義の進む速度も適切であった講義が多かったといえる。

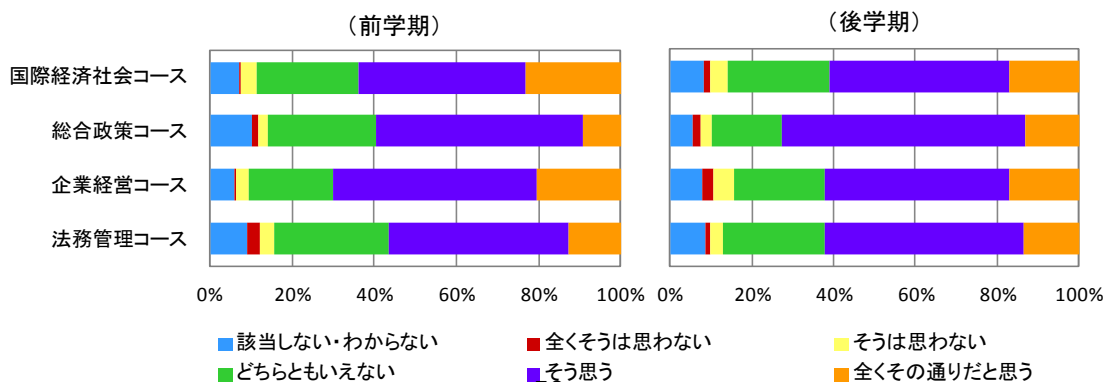
C. 教員の対応

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる



平成 22 年度の調査結果と比較すると、国際経済社会コースでは前後期ともにほとんど変動はなく、総合政策コースでは前期で約 10%、後期で約 20%が工夫を感じた学生が増加した。企業経営コースでは前後期ともにほとんど変動はなく、法務管理コースでは前期で約 10%、後期でも約 10%が工夫を感じた学生が増加した。全体的に改善傾向にあるといえる。

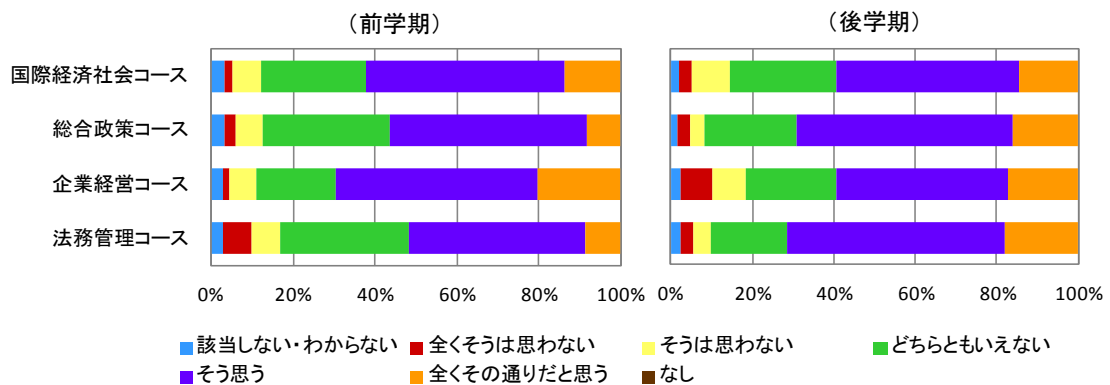
C-2 学生の質問に適切に対応してくれている



この項目も平成22年度の調査結果と比較すると、国際経済社会コースでは前期で約5%、後期で約10%、さらに総合政策コースでは前期で約20%、後期でも約20%が適切に対応したという回答が増加した。企業経営コースでは前期で約30%、後期で約10%が適切に対応したという回答が増加し、法務管理コースでは前期で約10%が適切に対応したという回答が減少し、後期で10%が適切に対応したという回答が増加した。法務管理コースの前期以外は改善傾向にあるといえる。

D. 満足度

D-1 この授業を受講して満足が得られた



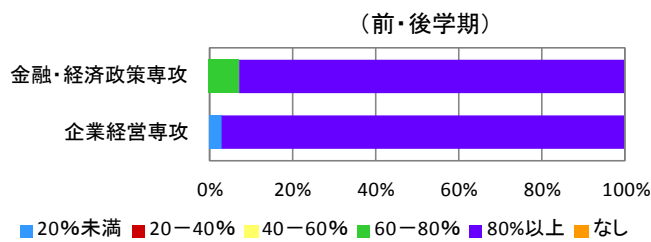
全体としておよそ50~70%の学生が満足していると推測される。少数ではあるが「全くそうは思わない」と回答した学生の割合が企業経営コースの後期で約8%および法務管理コースの前期で約7%いることについては検証の余地がある可能性がある。

平成 24 年度 経済学研究科授業評価報告書

経済学研究科は金融・経済政策専攻と企業経営専攻に分かれる。この報告書では、それぞれの専攻について、授業評価アンケートの項目に沿って分析を行う。なお科目数が少ないため、前・後期は分けずに分析する。

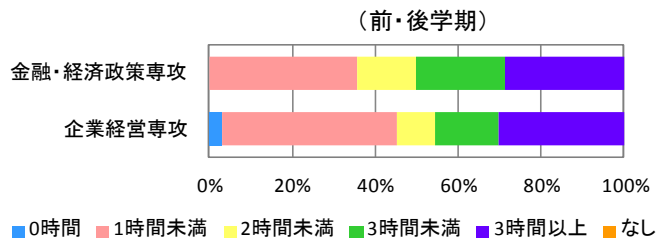
A. あなた自身について

A-1 出席率はどのくらいですか



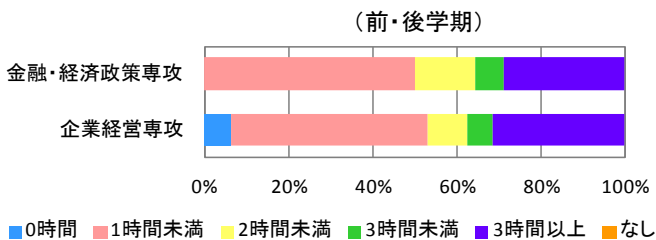
出席率についてはおおむね「80%以上」となっており問題はない。

A-2 予習を毎週どの程度していますか



予習時間は最低でも1時間は行っており3割が3時間以上の予習をしている。

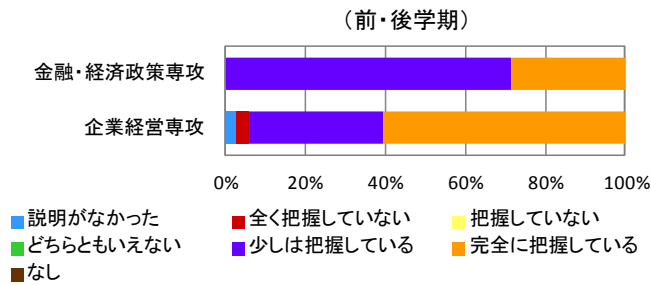
A-3 復習を毎週どの程度していますか



復習時間も予習時間と同様に最低でも1時間は行っており3割が3時間以上の予習をし

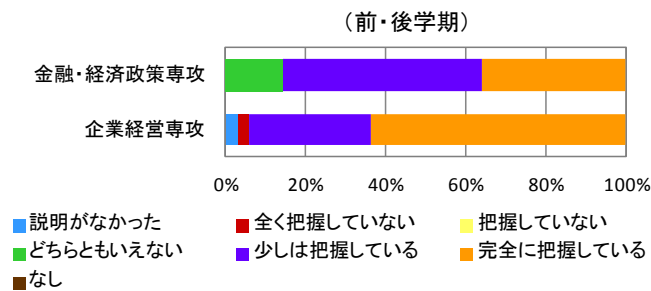
ている。

A-4 この授業の学習目標を把握している



企業経営専攻では「説明がなかった」「全く把握していない」と回答した学生はいたが、「完全に把握している」割合が金融・経済政策専攻よりも約30%多くなっている。

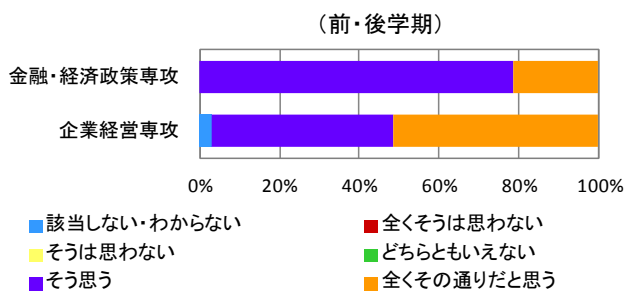
A-5 この授業の成績評価基準を把握している



金融経済専攻では10%強が「どちらともいえない」と回答している。一方、企業経営専攻では5%弱の学生が把握していないと回答している。

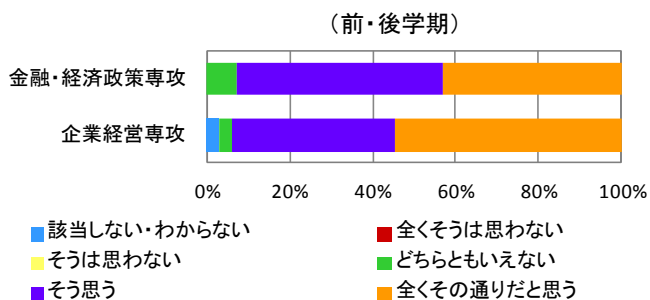
B. 授業内容及び授業方法

B-1 この授業の内容は理解できる



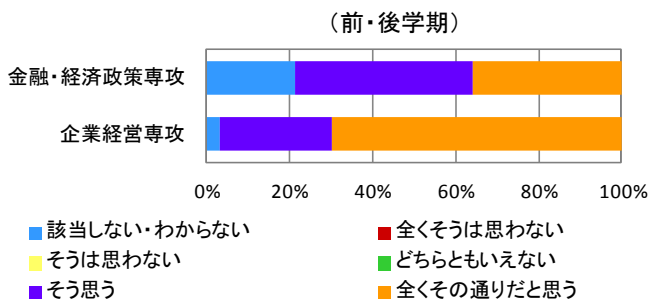
企業経営専攻で「該当しない・わからない」と回答した学生が1名いたが、それ以外は授業内容を理解している。

B-2 この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた



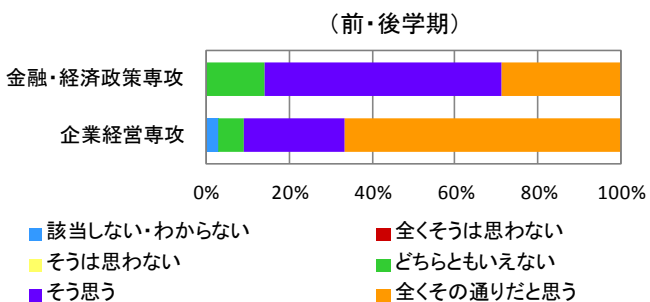
90%以上の学生が受講した結果、内容への興味が増していると回答していることから講義内容が充実していると推測される。

B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である



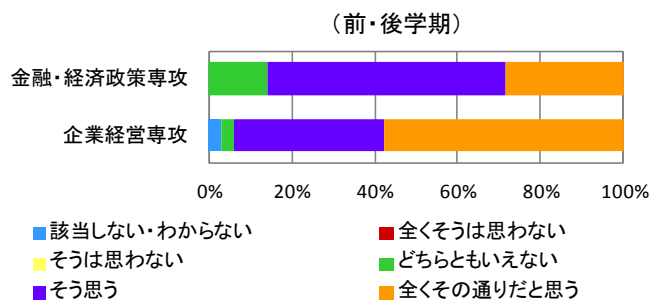
金融経済政策専攻で約 20%、企業経営専攻で約 5%の学生が「該当しない・わからない」と回答しているのは、少人数の演習形式で黒板等は利用しないスタイルでの講義が多いためであろう。

B-4 教材（テキスト、配布資料、その他）はわかりやすかった



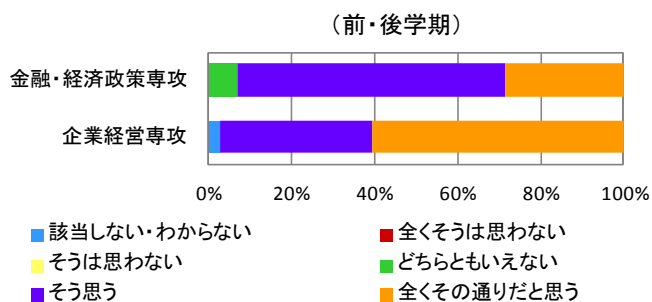
およそ 90%以上の学生が教材は分かりやすかったと回答しており、問題はない。

B-5 シラバスは学習する上で役に立っている



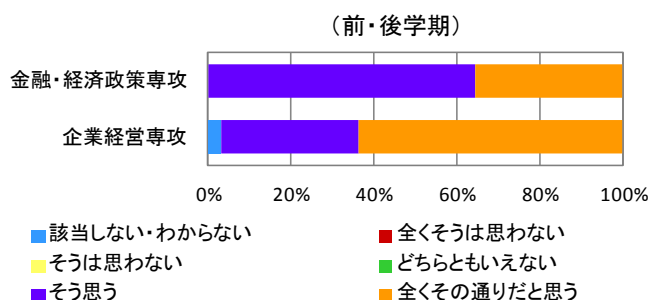
この項目も約90%の学生がシラバスは役立っていると回答しており、問題はない。

B-6 授業内容はシラバスに沿っている



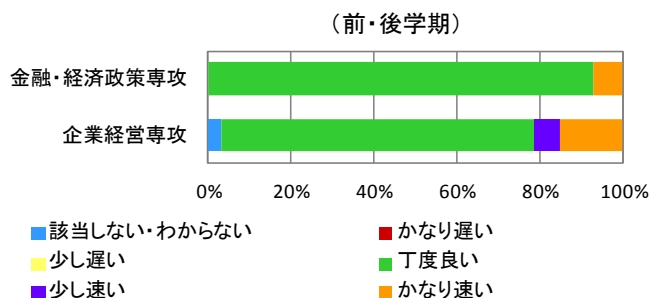
金融経済政策専攻で「どちらともいえない」と回答した学生が1名、企業経営専攻で「該当しない・わからない」と回答した学生が1名いるが、全体としてシラバスに沿った講義が行われている。

B-7 声の大きさ・明瞭さは適切だった



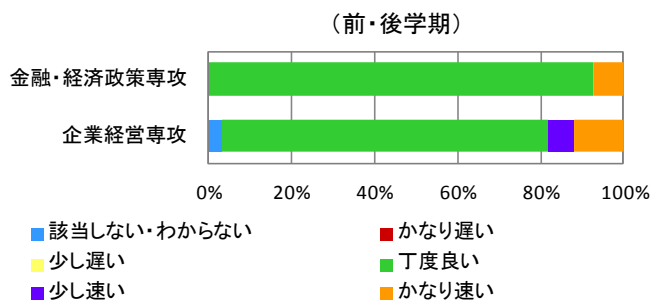
演習室で講義が行われていることもあり、この項目についても問題はない。

B-8 話す速さは適切だった



話す速さが「丁度良い」と回答した学生が約80%であった。「かなり早い」と回答した学生がおよそ10%いるが、研究科の学生の大半が留学生であることからこのような結果となったと推測される。

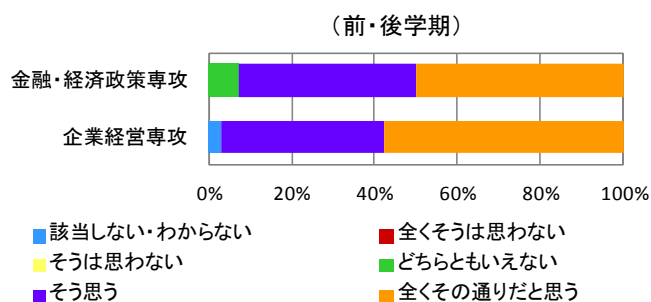
B-9 授業の進む速さは適切だった



B-8と同程度の割合となっており、この項目についても問題はみられない。

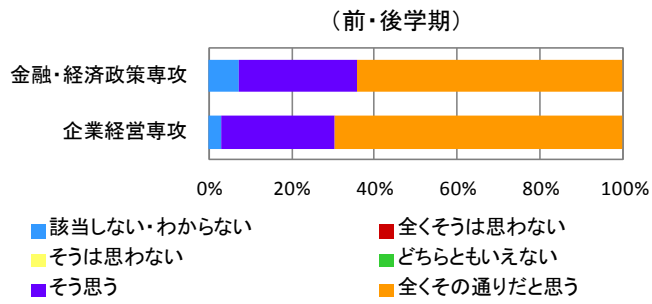
C. 教員の対応

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる



金融経済政策専攻で「どちらともいえない」と回答した学生が1名、企業経営専攻で「該当しない・わからない」と回答した学生が1名いたが、大きな問題ではないと推測される。

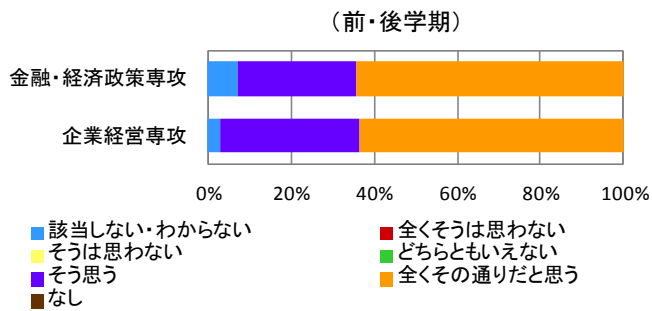
C-2 学生の質問に適切に対応してくれている



90%以上の学生が適切な対応であったと回答している。

D. 満足度

D-1 この授業を受講して満足が得られた



学生の満足度も90%を超えており問題はない。

理工学部・工学系研究科 組織別授業評価について

理工学部・工学系研究科FD委員会

理工学部及び工学系研究科（博士前期課程・博士後期課程）では、組織別授業評価の実施・分析等は学科・専攻の単位で行っている。以下の各項目では、平成24年度のアンケート実施状況及び各学科・専攻の取り組みである。

平成24年度アンケート実施状況

	理工学部	工学系研究科
独自アンケートを実施した科目数	4科目 (前期0/後期4)	5科目 (前期2/後期3)
個別授業評価に係る情報が一切ない授業科目数	11科目 (前期2/後期9)	79科目 (前期49/後期30)

(1) 学生から高い評価を得ている授業科目の選考基準（とその活用方法）

●理工学部

理工学部では、学科単位で授業評価アンケートの全項目もしくは一部の項目、あるいは満足度の評価を用いて授業の分析や学生から高い評価を得ている授業科目の選出をおこなっている。その他、独自アンケートを実施している学科（機能物質化学科）や別の基準で選考している学科（都市工学科）もある。

●工学系研究科博士前期課程

工学系研究科博士前期課程では、いくつかの専攻（物理科学専攻、電気電子工学専攻、知能情報システム学専攻）において、学部と同様の方法で選考を行っている。また、授業評価アンケートの結果を分析し、授業改善をおこなっている専攻もある。

●工学系研究科博士後期課程

工学系研究科博士後期課程の運営は、平成22年度の改組により、それぞれのコース内に設けられた部門が学部学科や博士前期課程専攻と同じ組織になったため、これらと連動して評価を進めている。

各学科・専攻の取り組みは、次のとおりである。

◎理工学部

数理科学科

数理科学科FD委員による検討により、アンケート結果を公表し、授業改善に努めることとした。学生の評価と授業の内容の評価の連関が必ずしも一致していないことを同時に留意することにした。

物理科学科

平成22年度後期から、アンケートが紙媒体のものからLive Campusに入力する形式へと移行した。これにともない、学科全体でのアンケートの集計や一部の項目の評価が高い教科科目の選び出しを今年度は実施しなかった。これは移行によるアンケート回収率の低下を考慮したものである。来年度以降はこの点について配慮しながら、アンケートの活用を考えていく必要がある。

知能情報システム学科

共通アンケート実施科目について学科集計を実施し、満足度（D項目）の上位科目を教室会議にて報告し、当該担当教員と他の教員との間で意見交換をおこなった。

機能物質化学科

従来と同様に卒業予定者を対象とした学科独自のアンケートを行い、在学中の講義・演習・実験・研究等の中から最も優れていると判断される科目を調査した。この結果を教員毎に纏め、上位二名の教員を機能物質化学科ベストプロフェッサーとして表彰した。

機械システム工学科

- ・「佐賀大学理工学部機械システム工学科教育顕彰に関する申し合わせ」（平成20年12月3日改正）を設定している。
- ・前年度に実施された学生による授業評価アンケートの授業内容および授業方法に関する設問において最も高い評価を受けた科目と当該教員を選出する。
- ・選出された科目を、学科会議メンバーが参観をし、アプローチシートに優れている点を記載する。
- ・顕彰された教員に対し、副賞として教育用図書等購入費が贈呈される。
- ・顕彰された教員は、学科ホームページに選出過程とともに氏名、顔写真が掲載される。

電気電子工学科

授業評価アンケートの「B 授業内容及び授業方法」、「C 教員の対応」、「D 満足度」および受講者数、合格率を総合的に判断して行う。

都市工学科

学科で授業評価アンケート結果を集計し、学生から高い評価を得ている授業科目を選考する作業は行っていない。これは、学生による授業評価結果の解釈と選考の要否について学科で合意が得られていないことによるものである。

◎工学系研究科博士前期課程

数理科学専攻

数理科学科FD委員による検討により、アンケート結果を公表し、授業改善に努めることとした。学生の評価と授業の内容の評価の連関が必ずしも一致していないことを同時に留意することにした。

物理科学専攻

学部と同じ理由で、専攻全体でのアンケートの集計や一部の項目の評価が高い教科科目の選び出しを今年度は実施しなかった。専攻では受講者の数が極端に少ない科目も多く、今後はその点に留意してアンケートそのもののあり方や活用法を考えていく必要がある。

知能情報システム学専攻

共通アンケート実施科目について学科集計を実施し、満足度（D項目）の上位科目を教室会議にて報告し、当該担当教員と他の教員との間で意見交換をおこなった。

循環物質化学専攻

母体学科である機能物質化学科の卒業予定者と同様に、修了予定者を対象とした専攻独自のアンケートを行い、在学中の講義・演習・研究等の中から最も優れていると判断される科目を調査した。この結果を纏め、学科のベストプロフェッサー表彰に反映させた。

機械システム工学専攻

特に行っていない。

電気電子工学専攻

授業評価アンケートの「B 授業内容及び授業方法」、「C 教員の対応」、「D 満足度」を総合的に判断して行う。

都市工学専攻

専攻で授業評価アンケート結果を集計し、学生から高い評価を得ている授業科目を選考する作業は行っていない。これは、学生による授業評価結果の解釈と選考の要否について学科で合意が得られていないことによる。

先端融合工学専攻

関連する学科に連動して評価を行っている。

◎工学系研究科博士後期課程

システム創成科学専攻

関連する学部学科や博士前期課程専攻と連動して、評価を実施している。

(2) 授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点

優れた点：

●理工学部

理工学部では、授業評価アンケートの集計とその利用について、これまでの取り組みを踏襲して実施している。これらの活動には、各学科内に設置された教育関連委員会が重要な役割を担っており、それらが活発に機能している様子が認められる。さらに、アンケート等の分析から、授業改善に着手している事例

(知能情報システム学科, 機能物質化学科, 機械システム工学科, 電気電子工学科等)のほか, 教員個人の前向きな取り組みと, それらの活動結果の共有化も軌道に乗っている(知能情報システム学科, 都市工学科)。

JABEE 関連学科においては, 社会の要請を教育プログラムに反映させるため, 卒業生や企業など学外関係者を対象とした独自アンケートを実施している。

●工学系研究科博士前期課程

工学系研究科博士前期課程でも, 授業評価アンケートの実施と点検, 改善への取り組みがほとんどの専攻で行われている。一昨年度, 地球環境科学特別コースに在籍している留学生向けに英文の共通アンケート様式も整備され, 当該授業科目におけるアンケートの実施状況が改善されつつある。

理工学部と同様に, 全ての授業においてアンケートの分析を行っている専攻(物理科学専攻)や, アンケートの分析からカリキュラム改編に着手している専攻もある(知能情報システム学専攻, 機械システム工学専攻, 電気電子工学専攻, 都市工学専攻等)。

●工学系研究科博士後期課程

対象となる授業科目数が少ないため, 現段階では十分な評価ができない。

改善すべき点:

●理工学部

授業改善の取り組みは概ね良好であるが, 少人数教育を行っている科目, 複数の教員が担当している科目など, 共通アンケートを利用するのが必ずしも適切でないと思われる科目についての意見聴取が不十分である。今後, 意見聴取の方法を含めて検討が必要である。

●工学系研究科博士前期課程

一般に, 工学系研究科博士前期課程では受講生の少ない科目が多く, 共通アンケート形式によらない独自の意見聴取方法を検討する必要がある。

●工学系研究科博士後期課程

工学系研究科博士後期課程では, 博士前期課程よりも在籍学生数が更に少なく, 受講希望者がゼロで開講されない科目も多い。また, 開講された場合であっても, 受講生が数人という科目が大部分を占めるため, 共通アンケート形式によらない独自の意見聴取方法を検討する必要がある。

各学科・専攻の取り組みは, 次のとおりである。

◎理工学部

数理科学科

線形代数および微積分などに関わる基礎学力の向上が見られるのが優れた点であり, 更なる数学の諸分野(代数学・解析学・幾何学・応用数学)に関わる学力の増進を図るのが改善を要する点である。

物理科学科

学科全体の活動としては, 学科長や教務委員, FD 委員からなる教育点検委員会において, カリキュラム

改善などに関する議論が行われ、その結果を学科会議で報告し議論を行っている。一方個別の活動としては例えば、複数の教員が e ラーニングを授業に導入し活用を行っているが、実施して数年が経過しその成果の検証が必要な時期に来ていると思われる。

知能情報システム学科

以下のような改善を継続的におこなっている。

- ・「卒業研究」評価の客観性を高めるために、卒業研究評価方法を定め、主査 1 名および副査 2 名で評価している。この卒業研究評価方法は学生にも公開し、定期的に改善をおこなっている。
- ・学科 BBS を新設し、学生からの要望や学生情報、講義情報を共有し、オンライン会議も可能にしている。
- ・開講前点検・閉講後点検・FD 報告を継続的に行なっており、上記学科 BBS を通じて、これらの情報をいつでも教員が参照できるようにしている。
- ・教員間でシラバスの記入項目に差がないよう学科共通のシラバステンプレートを定め、定期的に改善をおこなっている。

改善を要する点：特になし

機能物質化学科

実験科目や卒業研究等の実験や実習に対する授業評価には、共通形式のアンケートを流用が好ましくないことから、平成 19 年度より実験・実習用に独自形式アンケートを作成・実施している。また、JABEE プログラムに位置付けられる機能材料化学コースの修了生に関しては、プログラム全体に対するアンケートを実施し、この中では学科の教育改善システムである PDCA サイクルに対する意見聴取も行っている。これら全てのアンケートに対して、共通形式のアンケートと併せ、学科内における教育点検システムとして設置している教育プログラム委員会、分野別教員会議および教育 FD 委員会、これとは別に全体を統括する役割の教育プログラム評価委員会および学科会議にて点検・改善を行っている。さらに、システム自体をより強化する目的で、平成 23 年度からは教育改善委員会を新たに設置している。

機械システム工学科

優れている点：改善勧告の基準を明確にし、組織的な改善がなされていること

- ・FD 委員と協議し、当該セメスターの専門教育科目に対する学生による授業評価アンケートにおいて次の 2 項目において平均が 1 点台と評価された教員を選ぶ。
- ・声の大きさ・明瞭さは適切だった (1,2,3,4,5 の 5 段階評価)
- ・話す速さは適切だった(1,2,3,4,5 の 5 段階評価)
- ・学科長は勧告記録を保管する。
- ・勧告記録は、JABEE 実地審査における開示資料とする。

改善を要する点：満足度については、当然のことであるが、実験や実習および卒業研究の評価が総じて高くなっている。すなわち、学生自らが積極的に参加できるような形態でありかつ、学生個々に対して先生または TA が直接指導できるような形態の科目が、学生の知識修得にとって大切であるということを示している。そこで、学生自らが参画し問題を自ら解決するようなカリキュラムを構成することが重要と考える。

電気電子工学科

電気電子工学科では平成 19 年度より教員間のピア授業参観を行い、授業参観レポートで教員の目から見た授業改善点の洗い出しを行っている。学科内に設置している学科主任を長とした教育改善委員会では、平成 25 年度のカリキュラム改編へ向け、おもに学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）と教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）の見直しに取り組んだ。また、留年問題、成績評価基準の確認、学習内容指導などの教育改善に関する議論を行った。さらに、教務委員を長としたカリキュラム検討委員会では、下部組織としての4つの科目グループ（数学、情報、電気回路、電磁気学）と協調して、カリキュラム見直しについて議論した。なお、実験科目については、その特殊性に鑑み、別途、担当教職員を中心に学生実験員会を設置し、教育改善などについて議論した。

その他の特記事項として、11月中旬の3日間にわたって JABEE の実地審査を受け、当学科の教育プログラムが正式に認定されたことが挙げられる。

都市工学科

授業担当教員が個々に様々な工夫して改善を行っている。組織的な対応としては学科・専攻内に設けた教育システム委員会で見直しを行い情報の共有化を図り改善活動の一助としている。

改善を要する点として、“予習、復習の実施状況が良くない”、“要点が押さえられていない”、“授業内容への興味/関心が低い”と言った事柄が共通した改善を要する点である。これに対して、“予習のために講義資料をホームページで公開する”、“毎回の授業に、当日の講義内容の理解を進めるためのレポートあるいは演習問題を実施する”、“講義の始めに授業の要点や狙いを述べる”等の改善が行われた。また、一部の授業においては e-Learning の導入も試みた。

一方、平成 18 年度より都市工学科のカリキュラムをこれまでの土木工学主体の教育体系から、建築・都市デザイン系のコースを新たに導入し、学生による授業評価をカリキュラムの改善にどのように生かしていくのか、今後教務・FD委員会を中心に検証していく予定である。

◎工学系研究科博士前期課程

数理学専攻

24年度からの教育課程を大幅に改善した。大学院科目で毎年および隔年開講されていない科目を整理し、履修すべき科目が学生によくわかるようにした。必修3科目の特論特（代数学・解析学・幾何学）の設定により、修士1年生の基礎学力に増進が見られるのが優れた点であるが、その分セミナー指導を受けるために準備する時間を多く取れないのが改善を要する点であり、将来の検討課題である。

物理科学専攻

専攻ではそもそも各科目の受講者の数が少ない。そのため共通アンケートだけでなく独自のアンケートを実施することが必要で、多くの科目ではそれを行っている。そしてそこでの結果から個々に授業改善案を作成している。

知能情報システム学専攻

カリキュラムを再構成し、必修科目を設定して基礎的な学力の強化を目指している。現在実施しながらの内容の改善をおこなっている。

循環物質化学専攻

平成20年度よりカリキュラムに導入した専門基礎科目群をはじめ、全ての講義や実習・演習に対する

授業評価アンケートを分析し、改善すべき事項を点検している。これらの事項に対して、循環物質化学専攻の分野別教員会議において、専門の近い教員グループにより授業の改善を続けている。

機械システム工学専攻

優れている点: 機械工学の基礎を担う科目を必修とし、より高度な専門科目への導入教育を明確にしていること。

改善を要する点: 導入教育に対する学生の評価がさほど高くない。

電気電子工学専攻

学生の自己学習能力、デザイン能力、研究推進能力の向上のため、学部（電気電子工学科）の教育改善委員会とカリキュラム検討委員会において、一括して議論を行った。

都市工学専攻

授業担当教員が個々に様々な工夫して改善を行っている。組織的な対応としては学科・専攻内に設けた教育システム委員会で意見交換を行い情報の共有化を図り改善活動の一助としている。

改善を要する点として、“分かり易さの工夫が足りない”、“ノート記載量が説明のフォローが出来ない”、“採用した教材選びに対する不満”と言った意見が学生から寄せられている。理解度が低いことが共通した改善を要する点である。英語教材の採用やゼミ形式によるディスカッションの導入が背景にあると考えられる。これに対して、“ノート取得に配慮した要点説明”、“英文テキストの音読導入”、“実務トピックスの紹介”等の改善が行われた。合格率の若干の向上や満足度の向上が見られた科目もある。

先端融合工学専攻

平成22年度より発足し、従来の縦型の専攻とは異なり、多岐の分野にわたる横幹的な特徴をもった専攻である。学生は、入試において異なった専門をもつ教員から様々な質問を投げかけられ、講義において様々な分野の講義を取得することができる。また、専攻会議においても、横幹の特徴を生かすべく議論を積み重ねている。以上が優れている点である。

一方、様々な出身母体から学生が集まってきているため、個々の学生の修学履歴に応じた指導および評価が大切であるが、なかなか実現には至っていないのが現実である。

◎工学系研究科博士後期課程

システム創成科学専攻

関連する学部学科や博士前期課程専攻と連動して、評価を実施している。

(3) 次年度の授業改善目標（学部・研究科等別）

●理工学部

授業評価アンケートの実施が徹底され、すべての学科でアンケート結果を独自に分析し、授業改善や評価の高い授業科目の情報を利用する試みが行われている。アンケート結果からカリキュラム改編や学科レベルでの教育方法の改善に取り組んでいる状況である。今後は、これらの改善について、客観的に点検や評価を行っていく必要がある。

●工学系研究科博士前期課程

地球環境科学特別コースの授業科目をはじめとして、少人数教育における学生の授業評価の方法を議論し、アンケート実施を徹底する必要がある。また、平成22年度の大学院部局化による改組に伴って実施されたカリキュラム改編や教育課程の再編に関する教育効果の検証も必要である。

●工学系研究科博士後期課程

工学系研究科博士前期課程と同様に、少人数教育における学生の授業評価の方法を議論する必要がある。

各学科・専攻の取り組みは、次のとおりである。

◎理工学部

数理科学科

卒業研究に繋がる学力の増進を図る。

物理科学科

これまで通り、教育点検委員会の定期的開催とそれを学科会議で報告し議論する形の教育改善、および個人のアンケート結果に基づく授業点検・改善は実施して行く。一方、学生の資質の変化や組織編成の問題にともない、現行のカリキュラムをどのように構成していくかが学科会議でもしばしば提起されている。今後はこの点を含めた組織的な授業改善を行っていききたい。

知能情報システム学科

卒業研究評価方法やシラバステンプレートなどについて、教員によって解釈に差が生じないように解説文を整備し、次年度は全教員が同じ解釈の下で、授業や評価を実施できるようにする。また、卒業生に対するアンケートも実施し、授業やカリキュラム構成に反映させたい。

機能物質化学科

学科独自で行っている種々のアンケートと共通形式の授業評価アンケートの相補的利用について検討する。これらの分析により学科全体で授業改善に取り組みたい。

機械システム工学科

改組に伴い教員および科目内容の変更があったが、今まで積み上げたノウハウを維持しつつ、新たな科目への適用を図っていく。同時に導入教育の内容の検討を継続する。

電気電子工学科

- ・教育改善委員会を定期的に開催し、講義科目全体の教育改善を図る。
- ・学生に対して、電気電子工学科が開講する講義科目全般に関するアンケートを行い、教育改善および教育評価に活用する。

- ・カリキュラム検討委員会（4つの科目グループを含む）を定期的に開催し、学習教育目標、シラバス、試験内容、成績評価の方法に関する整合性のチェックを行う。
- ・学生実験委員会を定期的に開催し、担当教職員の間で情報交換を行うとともに、学習教育目標、シラバス、成績評価の方法に関する整合性のチェックを行う。
- ・教員間のピア授業参観を行い、授業改善点の洗い出しを行う。

都市工学科

引続き“学生の予習、復習不足の解消”に向けた授業改善に取り組む。加えて、“建築士等の資格へ対応する講義内容の変更・強化”等を通じて、“学習の動機付け”を与えるような工夫を行う。

◎工学系研究科博士前期課程

数理科学専攻

修士論文作成に関わる学力と表現力を身につけさせる。

物理科学専攻

学部と比較して、専攻では独自アンケートを利用する科目の割合が多かった。今後はこれらの独自の取り組みに関する相互交流を深め、有効な方法を模索していきたい。

知能情報システム学専攻

講義内容の改善を図る。

機能物質化学専攻

専攻独自で行っている種々のアンケートと共通形式の授業評価アンケートの相補的利用について検討する。これらの分析により学科全体で授業改善に取り組みたい。

機械システム工学専攻

改組に伴い、教員および科目内容が変わったが、今まで積み上げたノウハウを維持しつつ、新たな科目への適用を図る。同時に導入教育の内容をさらに精選する。

電気電子工学専攻

- ・教育改善委員会を定期的に開催し、講義科目全体の教育改善を図る。
- ・学生に対して、電気電子工学専攻が開講する講義科目全般に関するアンケートを行い、教育改善および教育評価に活用する。
- ・カリキュラム検討委員会を定期的に開催し、学習教育目標、シラバス、成績評価の方法に関する整合性のチェックを行う。

都市工学専攻

英語苦手意識の解消を目指して英語によるコミュニケーション能力の改善を図る。

先端融合工学専攻

平成 22 年度より発足し、従来の縦型の専攻とは異なり、多岐の分野にわたる横幹的な特徴をもった専攻

である。論文の最終審査においても、先端融合工学専攻が持っている横幹的な特徴を生かすような運営を実現する。

◎工学系研究科博士後期課程

システム創成科学専攻

学生が所定の年限で修了できるように、教育・研究の指導を行うことが基本である。そのため、各指導教員は研究指導実績報告書の指導計画を学生と相談して年度初めに作成し、その内容に基づいて指導を行う。また、必要に応じて適宜改善を加えることも考えられるが、年度末には学生自身が自己評価を行い、これを指導教員が点検する。

【理工学部】

1) 全体的なことについて

●学科ごとのアンケート実施状況

以下に示すグラフは、いずれも各項目に対する回答を百分率で表示したものである。しかしながら、学科によって規模が異なるため、直感的なイメージだけに固執すると誤解を与える危険性がある。そこで、まず学科ごとの延べ回答者数（概数）及び分解能を、前学期と後学期に分けて整理しておく。

学科ごとの延べ回答者数（概数）及び分解能

学 科 名	前学期		後学期	
	回答者数	分解能	回答者数	分解能
数理科学科	370	0.27%	310	0.32%
物理科学科	230	0.43%	240	0.42%
知能情報システム学科	920	0.11%	700	0.14%
機能物質化学科	1320	0.08%	1070	0.09%
機械システム工学科	820	0.12%	610	0.16%
電気電子工学科	1250	0.08%	1270	0.08%
都市工学科	1200	0.08%	770	0.13%
合 計	6110		4970	

ここで、1人の回答が全体に与える影響を「分解能」と定義すれば、大部分の学科は回答者数が1000人程度であるため、約0.1%となっている。しかしながら、数理科学科は370人程度のため約3倍、物理科学科は230人程度のため約4倍の重み付けがなされていることに相当する。

したがって、以下に示すグラフを用いた分析においては、数理科学科と物理科学科のデータの振る舞いについて、十分な注意を払う必要があると考える。特に数理科学科に関しては、他の学科とは異なって二極化する傾向にあるが、このような点に原因があるのかもしれない。

●授業クラスごとのアンケート実施状況

もう一つ重要な観点として、提出されたアンケートの中身が、どれくらい授業の実態を反映しているかを確認しておく必要があるだろう。そこで、前学期と後学期に実施したアンケートについて、それぞれの授業科目の提出率（履修登録者数に対する提出数の百分率）についてまとめてみた。また、授業クラスの規模なども多種多様であると考えられるので、履修登録者数に応じて整理してみた。

理工学部における授業評価アンケートの提出率及び授業クラスの規模
前学期の場合

提出率	科目数	累積 [%]
0%	2	0.88%
0-10%	0	0.88%
10-20%	44	20.18%
20-30%	39	37.28%
30-40%	28	49.56%
40-50%	35	64.91%
50-60%	24	75.44%
60-70%	24	85.96%
70-80%	12	91.23%
80-90%	9	95.18%
90-100%	11	100.00%
合計	228	

履修者	科目数	累積 [%]
0人	0	0.00%
1-10人	8	3.51%
10-20人	4	5.26%
20-30人	11	10.09%
30-40人	20	18.86%
40-50人	35	34.21%
50-60人	41	52.19%
60-70人	34	67.11%
70-80人	17	74.56%
80-90人	8	78.07%
90-100人	11	82.89%
100-110人	16	89.91%
110-120人	11	94.74%
120-130人	5	96.93%
130-140人	3	98.25%
140-150人	1	98.68%
150人-	3	100.00%
合計	228	

後学期の場合

提出率	科目数	累積 [%]
0%	9	3.78%
0-10%	1	4.20%
10-20%	30	16.81%
20-30%	56	40.34%
30-40%	38	56.30%
40-50%	34	70.59%
50-60%	36	85.71%
60-70%	21	94.54%
70-80%	3	95.80%
80-90%	5	97.90%
90-100%	5	100.00%
合計	238	

履修者	科目数	累積 [%]
0人	0	0.00%
1-10人	27	11.34%
10-20人	7	14.29%
20-30人	14	20.17%
30-40人	21	28.99%
40-50人	27	40.34%
50-60人	39	56.72%
60-70人	22	65.97%
70-80人	19	73.95%
80-90人	15	80.25%
90-100人	9	84.03%
100-110人	23	93.70%
110-120人	7	96.64%
120-130人	4	98.32%
130-140人	0	98.32%
140-150人	2	99.16%
150人-	2	100.00%
合計	238	

これによると、アンケートの提出率が過半数に達しない授業科目が、全体の約2/3を占めていることが分かる。また、提出率ゼロも11科目あった。これらは、平成22年度後学期からLive Campusを利用したWeb方式への移行によって顕在化した問題であり、それ以前は授業時間中に実施していたことを思い起こせば、必ずしも教員側の落ち度と結論付けることはできない。しかしながら、今後、さらにアンケート実施を周知するなどの努力を払わなければ、そもそも「何のために実施するのか」という根幹に関わる重大事へ発展しそうである。

なお、今回は、履修登録者ゼロの授業科目のほか、専門周辺科目と教職科目を除外して集計している。しかしながら、受講登録者が10人以下のクラスが35科目あるかと思えば、150人以上のクラスも5科目ある。ただし、全体の約2/3は70名以下の構成となっている。

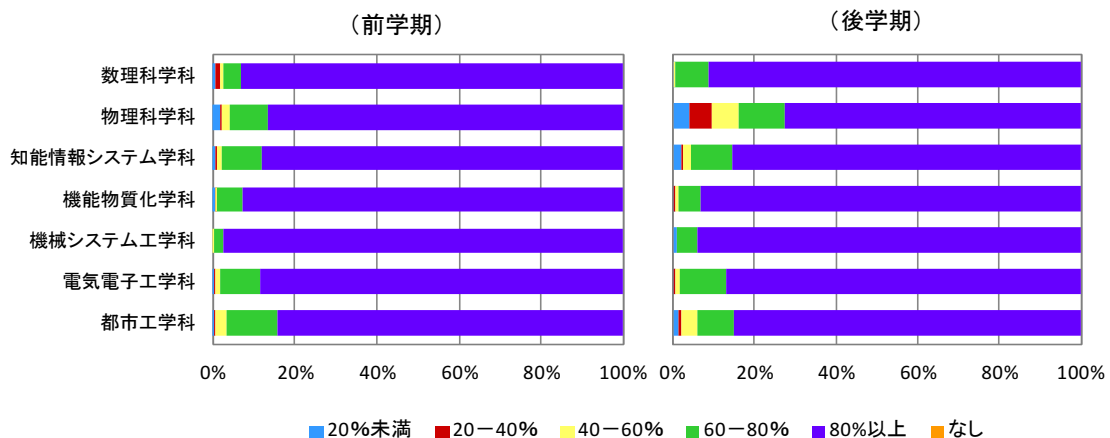
このような状況にあるため、単純に集計してよいのかの疑問も拭いきれないが、平成24年度分については、これら手元にある情報に基づいて分析を進めることとする。

2) 個別の項目について

以下では、アンケートの各項目について、順次、コメントしていく。

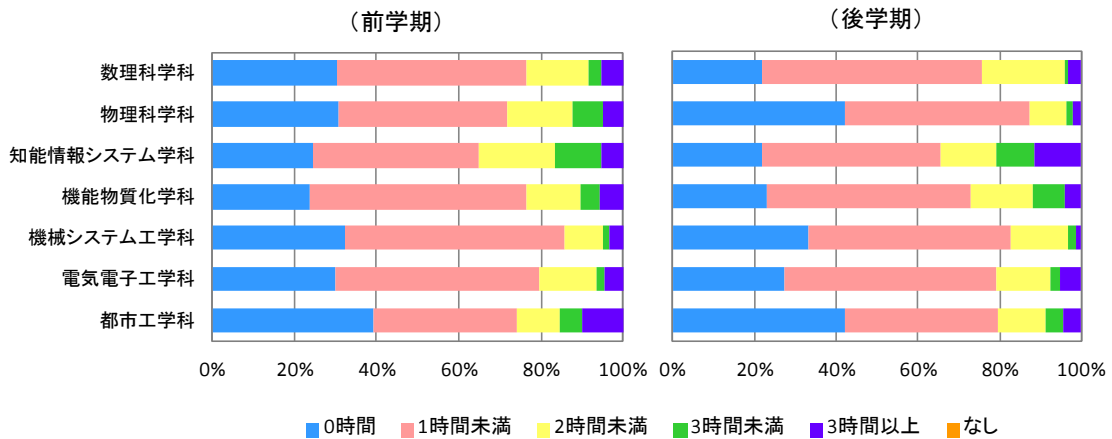
A. あなた自身について

A-1 出席率はどのくらいですか



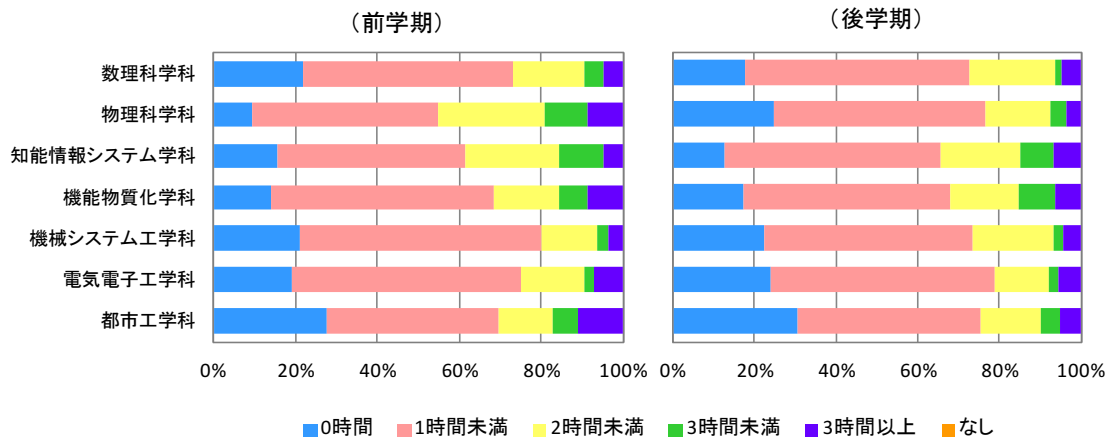
全体的に、「出席率80%以上」が9割程度を占めている。ただし、「出席率40%未満」が約1割に迫っている学科もあり、これ以降の分析において、データの取扱いには注意が必要かもしれない。

A-2 予習を毎週どの程度していますか



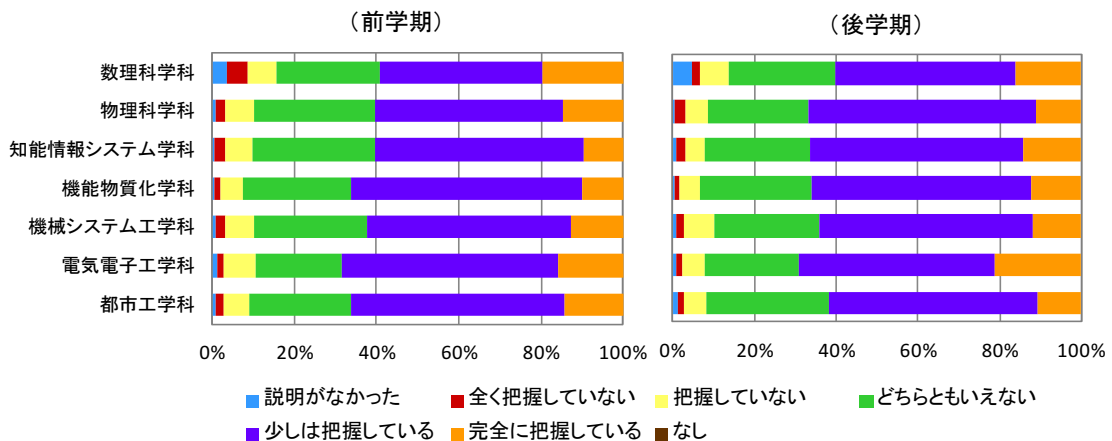
佐賀大学学則第 19 条によれば、標準的な講義（2 単位）の場合、90 分の授業時間に対し、これと同じ時間の予習と復習が必要である。ただし、演習や実験などについては、これより少なくてもよい。これらの事情を勘案しても、「予習 1 時間未満」が全体の 7 割程度を占めている現状では、やや少ないと言わざるを得ない。また、「予習 0 時間」も 2～3 割に上り、何らかの改善が必要であろう。

A-3 復習を毎週どの程度していますか



前項目と同様に、佐賀大学学則第 19 条によれば、標準的な講義（2 単位）の場合、90 分の授業時間に対して、これと同じ時間の予習と復習が必要である。学科による偏りは認められるものの、「復習 1 時間未満」が全体の 6～7 割程度を占めている現状は、やや少ないと言わざるを得ない。また、「復習 0 時間」も 1～2 割を占めており、改善が必要であろう。ただし、一般的な傾向として、予習時間よりも復習時間は全体的に多くなっている。これは、宿題などに要した時間を算入したためと考えられる。

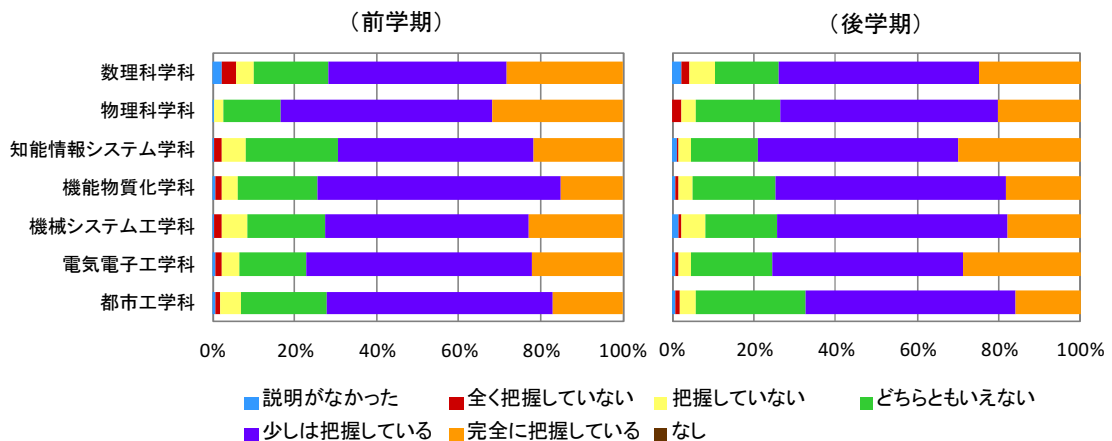
A-4 この授業の学習目標を把握している



すべての授業科目は、初回の授業時間にシラバスを用いて取り扱う内容を説明することになっている。「少し」を含めると「把握している」が全体の6割程度を占めているため、教員側の説明が徹底されていないというよりは、学生側が聞いていないと解釈するのが妥当かもしれない。そのため、単にシラバスへ学習目標を記載し、初回授業で説明するだけでなく、繰り返し言及することで学生へ周知させる努力も必要であろう。

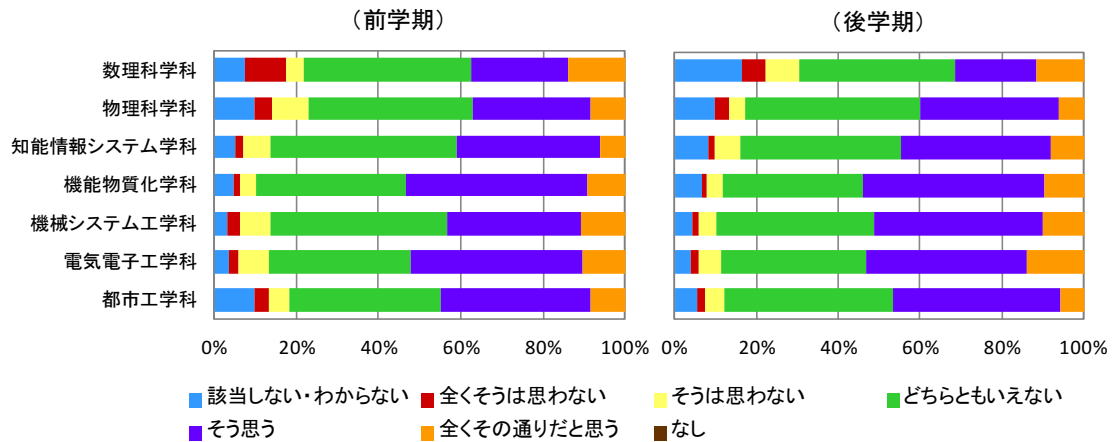
なお、「完全に把握している」が2割に迫る学科もあり、継続的な努力を行うことで、改善は不可能でないと思われる。

A-5 この授業の成績評価基準を把握している



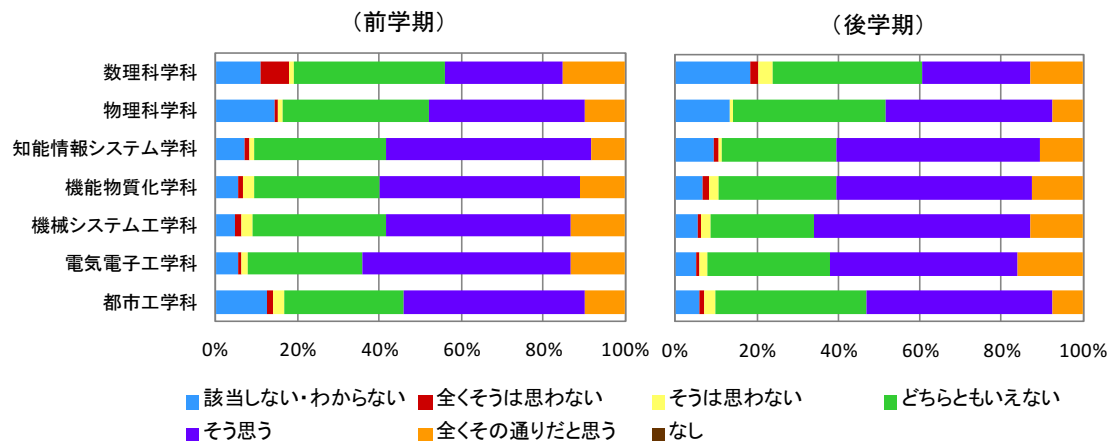
前項目と同様に、初回の授業時間にシラバスを用いて取り扱う内容を説明することになっている。学生側にとっても、成績評価基準は一大関心事のようであり、概して高い傾向にある。ほぼすべて学科において、「完全に把握している」が2割程度を占め、3割に迫る学科もある。また、「少し」を含めると「把握している」が全体の7割程度となっており、大部分の学生は理解していると思われる。

B-5 シラバスは学習する上で役に立っている



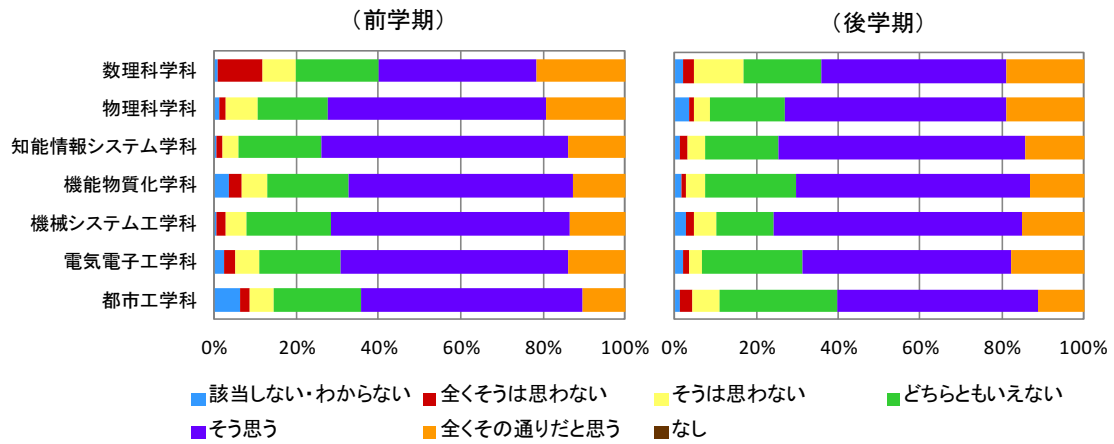
一部を除いて「そう思う」が4～5割を占めている。また、「全くその通りだと思う」も1割程度である。すべての学科において「どちらともいえない」は約4割となっており、これに該当する学生にシラバスの役割を理解させる必要があるだろう。

B-6 授業内容はシラバスに沿っている



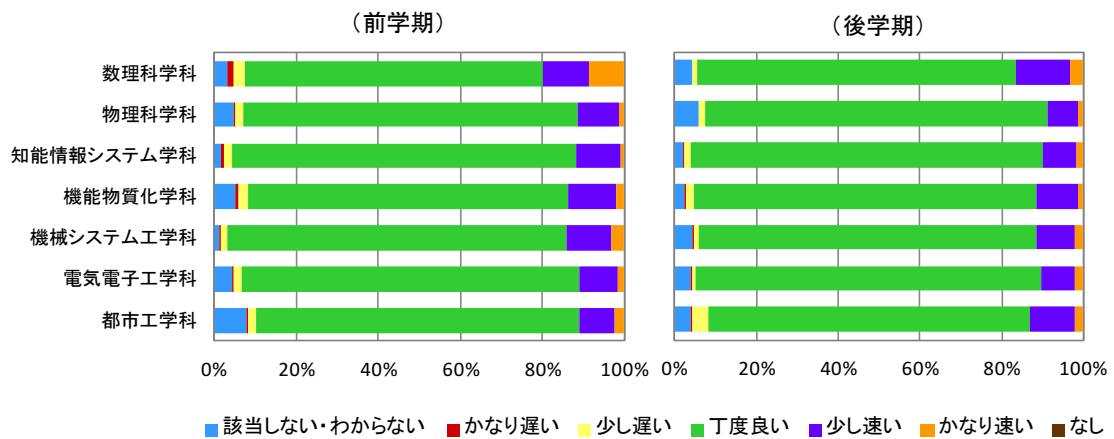
一部を除いて「そう思う」が5～6割を占めている。また、「全くその通りだと思う」も1割程度はある。すべての学科において「どちらともいえない」は3～4割となっており、教員側には丁寧な説明が求められているのかもしれない。

B-7 声の大きさ・明瞭さは適切だった



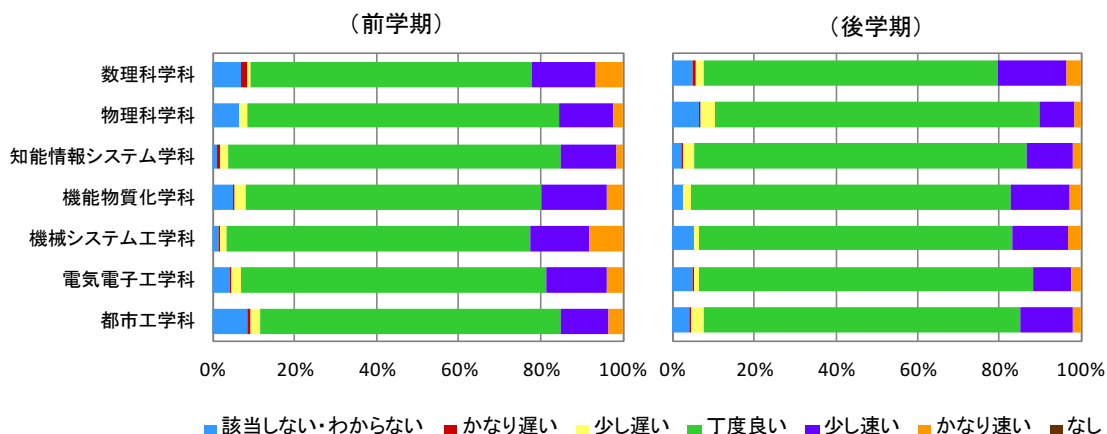
一部を除いて「そう思う」が約6割を占めている。また、「全くその通りだと思う」も1～2割程度ある。したがって、全体として大きな問題はなさそうである。

B-8 話す速さは適切だった



一部を除いて「丁度良い」が約8割を占めている。したがって、全体として大きな問題はなさそうである。

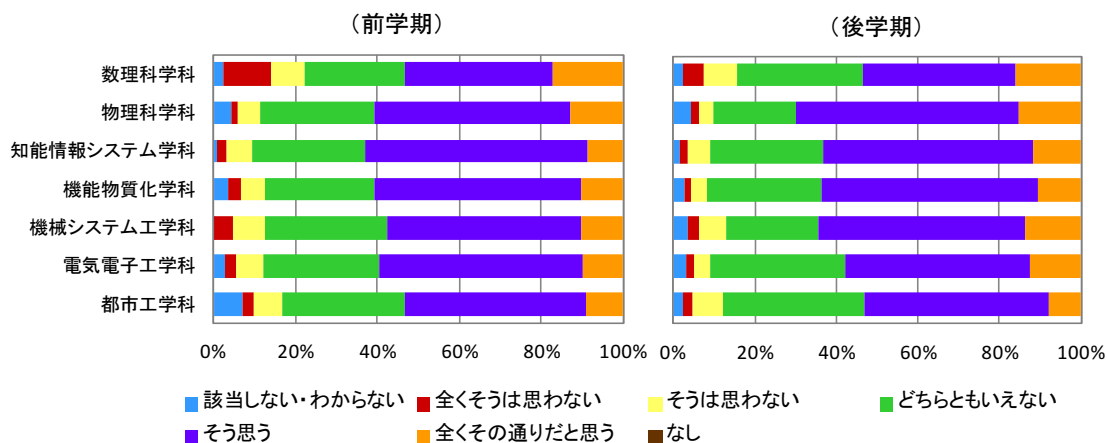
B-9 授業の進む速さは適切だった



一部を除いて「丁度良い」が約8割を占めている。したがって、全体として大きな問題はなさそうである。

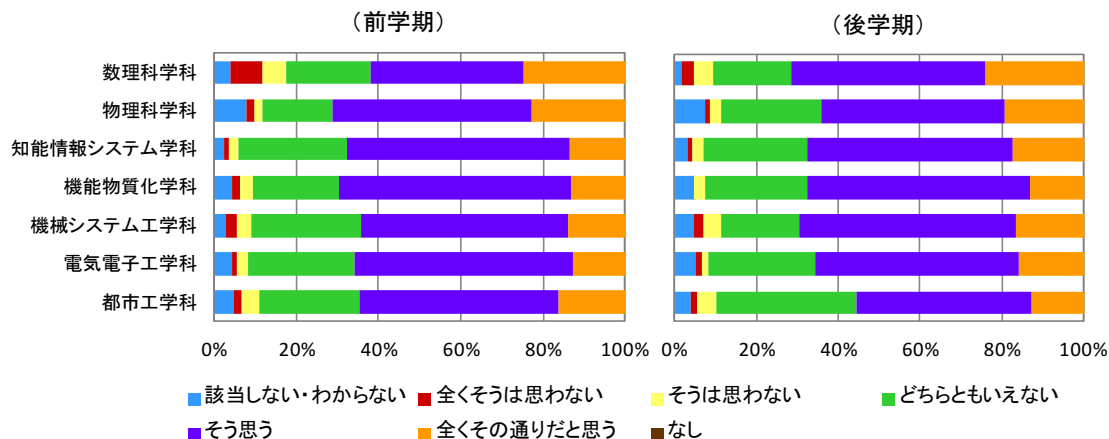
C. 教員の対応

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる



全体的に、「そう思う」が5～6割を占めている。また、「全くその通りだと思う」も1割程度ある。したがって、教員の「授業を分かりやすくする工夫」を学生は感じ取っているようである。

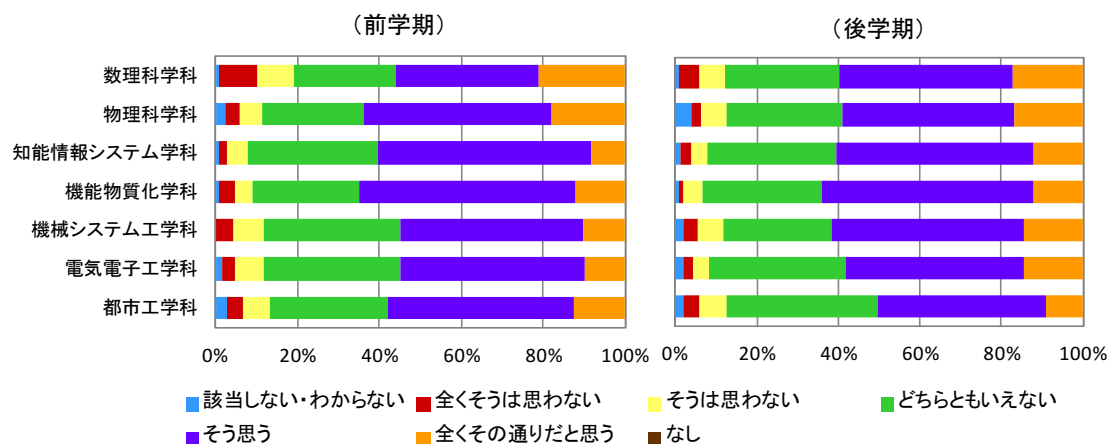
C-2 学生の質問に適切に対応している



全体的に、「そう思う」が6～7割を占めている。また、「全くその通りだと思う」も1～2割程度ある。したがって、教員の「学生の質問への適切な対応」を学生は感じ取っているようである。

D. 満足度

D-1 この授業を受講して満足が得られた



一部を除いて「そう思う」が約6割を占めている。また、「全くその通りだと思う」も1割程度であり、学科によっては2割へ迫っているところもある。ただし、「満足度」は授業内容とも密接に関わる内容であり、表面的な評価だけでは不十分と考える。

【工学系研究科】

1) 全体的なことについて

●専攻ごとのアンケート実施状況

以下に示すグラフは、いずれも各項目に対する回答を百分率で表示したものである。しかしながら、専攻によって規模が異なるため、直感的なイメージだけに固執すると誤解を与える危険性がある。そこで、理工学部の場合と同様に、まず専攻ごとの延べ回答者数（概数）及び分解能を、前学期と後学期に分けて整理しておく。

専攻ごとの延べ回答者数（概数）及び分解能

専攻名	前学期		後学期	
	回答者数	分解能	回答者数	分解能
数理科学専攻	20	5.00%	40	2.50%
物理科学専攻	50	2.00%	30	3.33%
知能情報システム学専攻	80	1.25%	40	2.50%
循環物質化学専攻	150	0.67%	70	1.43%
機械システム工学専攻	10	10.00%	10	10.00%
電気電子工学専攻	140	0.71%	140	0.71%
都市工学専攻	40	2.50%	30	3.33%
先端融合工学専攻	150	0.67%	60	1.67%
合計	640		420	

ここで、1人の回答が全体に与える影響を「分解能」と定義すれば、専攻ごとに大きな偏りのあることが認められる。例えば、循環物質化学専攻、電気電子工学専攻は、概ね1.0%程度であるが、数理科学専攻（前期）は5.0%、機械システム工学専攻は10.0%であり、それぞれ約5倍と約10倍の重み付けがなされていることに相当する。それ以外の専攻においても、2～3倍程度の重み付けがあることに相当する。

なお、これによると、機械システム工学専攻が異常に少ない回答者数となっており、以下に示すグラフを用いた解析では、他の専攻とは異なった傾向を示している原因になっているのかもしれない。

●授業クラスごとのアンケート実施状況

もう一つ重要な観点として、提出されたアンケートの中身が、どれくらい授業の実態を反映しているかを確認しておく。そこで、こちらも理工学部の場合と同様に、前学期と後学期に実施したアンケートについて、それぞれの授業科目の提出率（履修登録者数に対する提出数の百分率）についてまとめてみた。また、授業クラスの規模なども多種多様であると考えられるので、履修登録者数に応じて整理してみた。

これによると、アンケートの提出率が過半数に達しない授業科目が、全体の約6割を占めていることが分かる。また、提出率ゼロも79科目あった。様々な事情が考えられるものの、今後、さらにアンケート実施を周知するなどの努力を払わなければ、そもそも「何の

ために実施するのか」という根幹に関わる重大事へ発展しそうである。

なお、今回は、履修登録者ゼロの授業科目のほか、研究科共通科目を除外して集計している。また、博士後期課程の授業科目についても受講者が少ないため、集計の対象外としている。それでも、受講登録者が10人未満のクラスが前学期は99科目(全体の約5割半)、後学期は95科目(全体の約7割)もある。さすがに100人を超える大人数クラスは大学院にないようであるが、全体の9割は30人未満の少人数クラスとなっている。

工学系研究科における授業評価アンケートの提出率及び授業クラスの規模

前学期の場合

提出率	科目数	累積 [%]	履修者	科目数	累積 [%]
0%	49	27.84%	0人	0	0.00%
0-10%	11	34.09%	1-10人	99	56.25%
10-20%	8	38.64%	10-20人	38	77.84%
20-30%	13	46.02%	20-30人	23	90.91%
30-40%	17	55.68%	30-40人	11	97.16%
40-50%	12	62.50%	40-50人	3	98.86%
50-60%	26	77.27%	50-60人	1	99.43%
60-70%	16	86.36%	60-70人	0	99.43%
70-80%	9	91.48%	70-80人	1	100.00%
80-90%	2	92.61%	80-90人	0	100.00%
90-100%	13	100.00%	90-100人	0	100.00%
合計	176		100人-	0	100.00%
			合計	176	

後学期の場合

提出率	科目数	累積 [%]	履修者	科目数	累積 [%]
0%	30	22.22%	0人	0	0.00%
0-10%	4	25.19%	1-10人	95	70.37%
10-20%	9	31.85%	10-20人	25	88.89%
20-30%	10	39.26%	20-30人	6	93.33%
30-40%	23	56.30%	30-40人	4	96.30%
40-50%	11	64.44%	40-50人	1	97.04%
50-60%	16	76.30%	50-60人	3	99.26%
60-70%	13	85.93%	60-70人	0	99.26%
70-80%	3	88.15%	70-80人	0	99.26%
80-90%	2	89.63%	80-90人	0	99.26%
90-100%	14	100.00%	90-100人	1	100.00%
合計	135		100人-	0	100.00%
			合計	135	

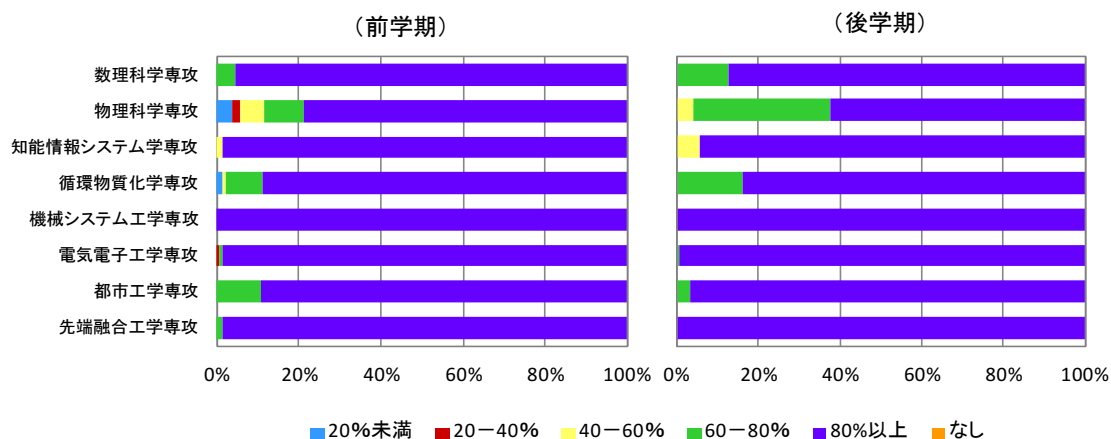
先に、理工学部について分析を行ったが、工学系研究科については、専攻によって更に大きな偏りが存在する。なお、大部分が30人以下の少人数クラスという編成になっているため、以下に示すグラフを用いた分析においても、十分な注意を払う必要があると考える。

2) 個別の項目について

以下では、アンケートの各項目について、順次、コメントしていく。

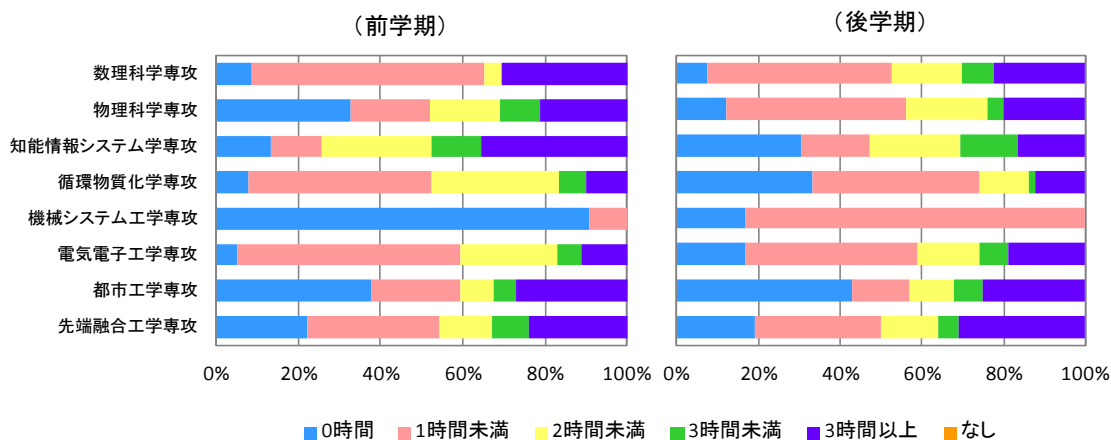
A. あなた自身について

A-1 出席率はどのくらいですか



全体的に、「出席 80%以上」が9割程度を占めている。また、その中には10割に迫る勢いの専攻もあれば、他の専攻と比較して、やや低い傾向が認められる専攻もある。

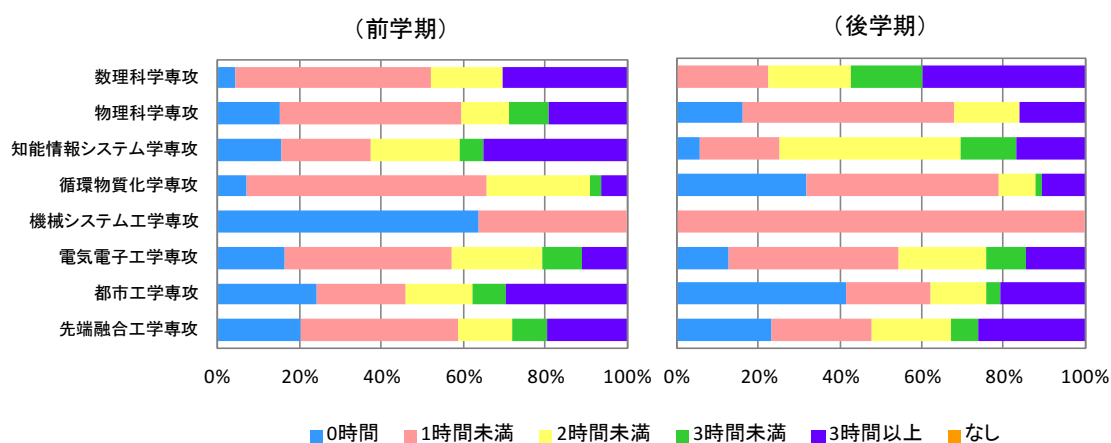
A-2 予習を毎週どの程度していますか



佐賀大学学則第19条には、標準的な講義（2単位）の場合、90分の授業時間に対して、これと同じ時間の予習と復習が必要である。ただし、演習や実験などについては、これよ

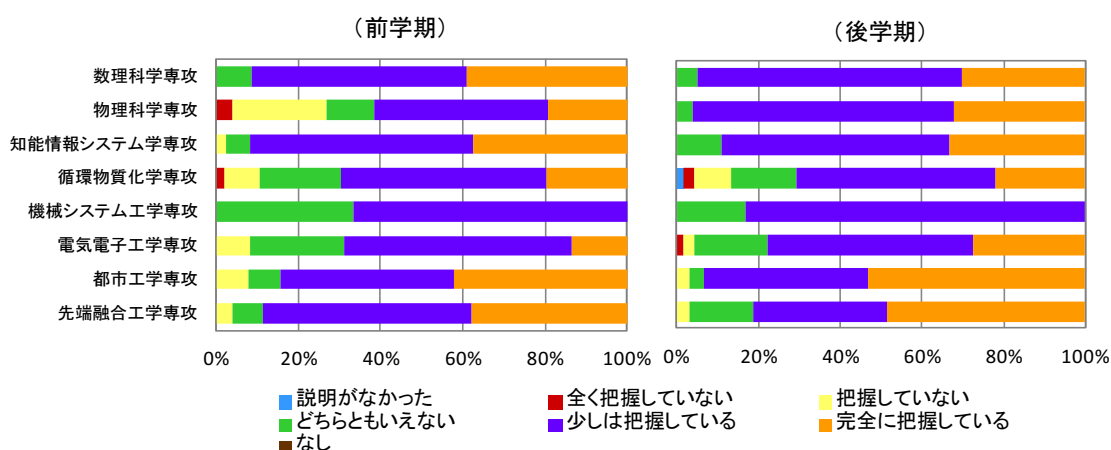
り少なくともよい。一部を除いて「予習1時間未満」が全体の5～6割を占めている現状では、やや少ないと言えよう。なお、専攻による偏りも大きく、一律な評価は難しいように思う。

A-3 復習を毎週どの程度していますか



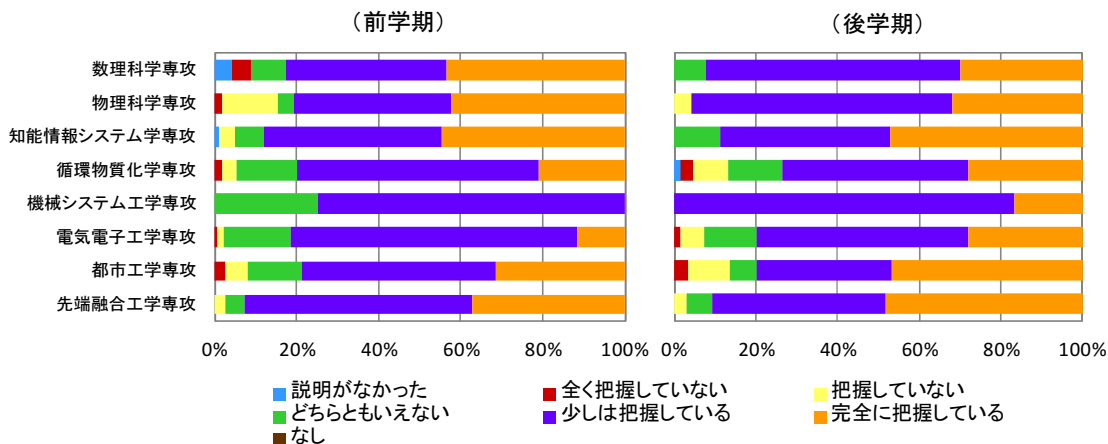
前項目と同様に、佐賀大学学則第 19 条によれば、標準的な講義（2 単位）の場合、90 分の授業時間に対して、これと同じ時間の予習と復習が必要である。専攻による偏りは、予習時間と同じように認められるものの、「復習1時間未満」が全体の5～6割を占めている現状は、やや少ないと言えよう。

A-4 この授業の学習目標を把握している



すべての授業科目は、初回の授業時間にシラバスを用いて取り扱う内容を説明することになっている。「少し」を含めると「把握している」が全体の7～9割となっており、大部分の学生は把握していると思われる。

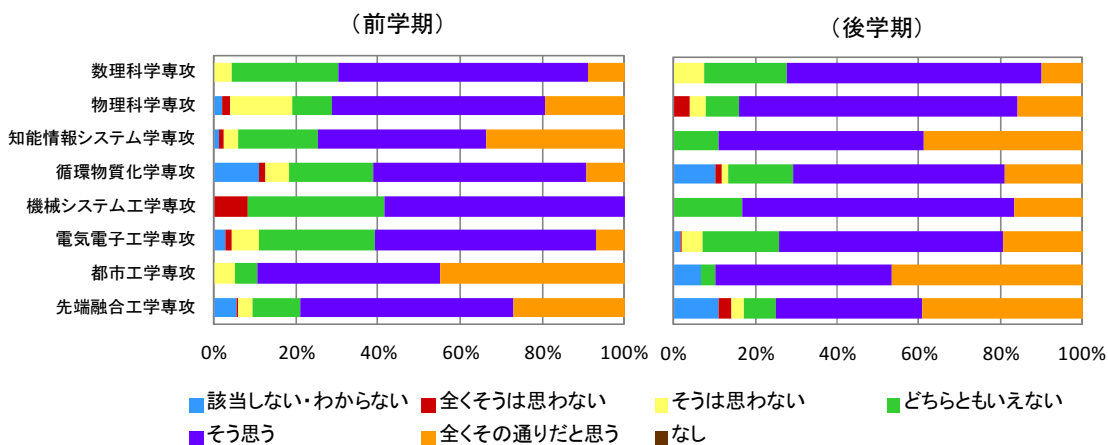
A-5 この授業の成績評価基準を把握している



前項目と同様に、初回の授業時間にシラバスを用いて取り扱う内容を説明することになっている。「少し」を含めると「把握している」が全体の8～9割となっており、大部分の学生は把握していると思われる。

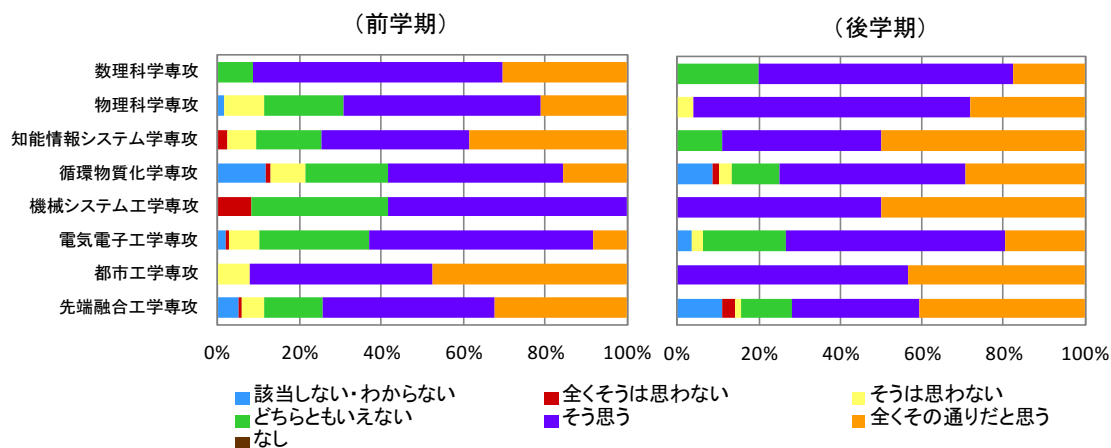
B. 授業内容及び授業方法

B-1 この授業の内容は理解できる



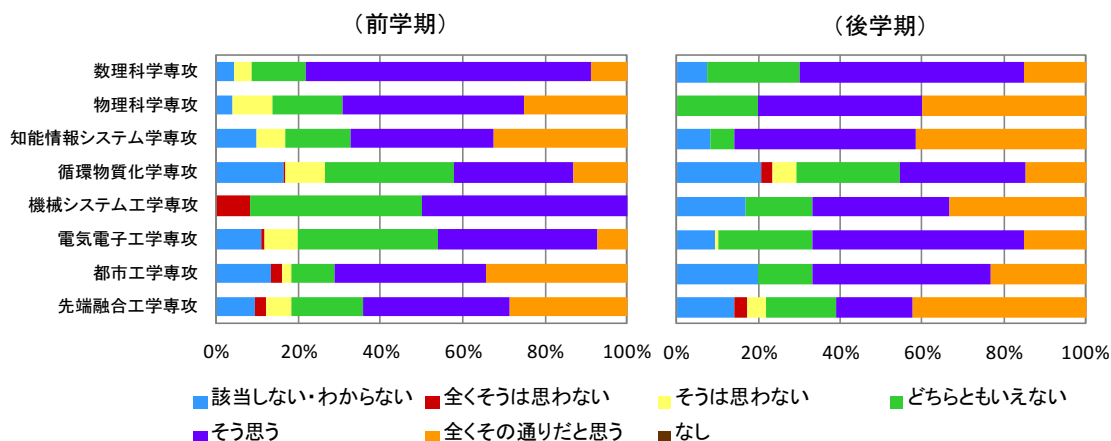
大学院ともなれば、授業内容が難しくなるのは当然であろう。しかしながら、「全くその通りだと思う」という回答が4割程度を占める専攻があるかと思えば、「全くそうは思わない」という回答が1割に迫る専攻もあり、なかなか判断が難しいように思う。

B-2 この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた



前項目と同様に、「全くその通りだと思う」という回答が4割程度を占める専攻があるかと思えば、「全くそうは思わない」という回答が1割に迫る専攻もあり、なかなか判断が難しいように思う。

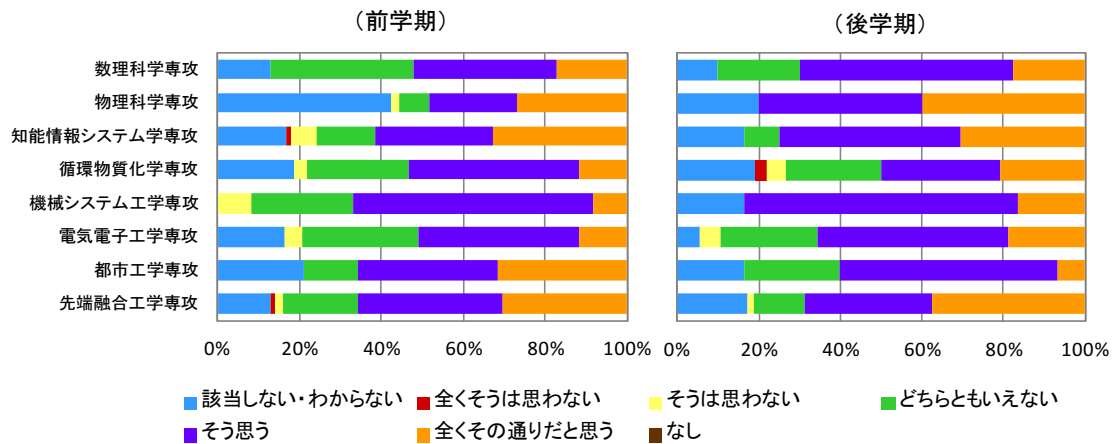
B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である



前項目までと同様に、「全くその通りだと思う」という回答が4割程度を占める専攻があるかと思えば、「全くそうは思わない」という回答が1割に迫る専攻もあり、なかなか判断が難しいように思う。

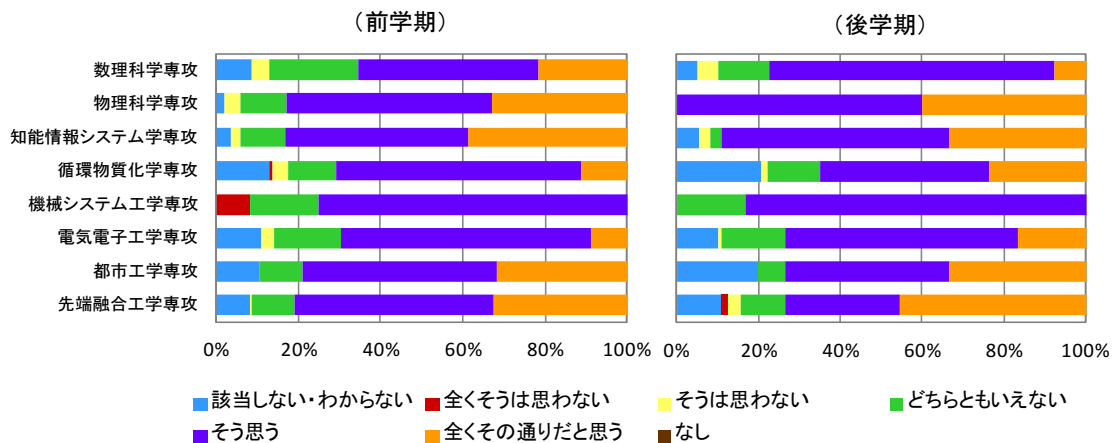
なお、大学院の授業科目では、少人数の輪講形式のものや、演習を主体としたものも考えられるため、これまでの項目と比較して、「該当しない・わからない」の比率が増加していると考えられる。

B-6 授業内容はシラバスに沿っている



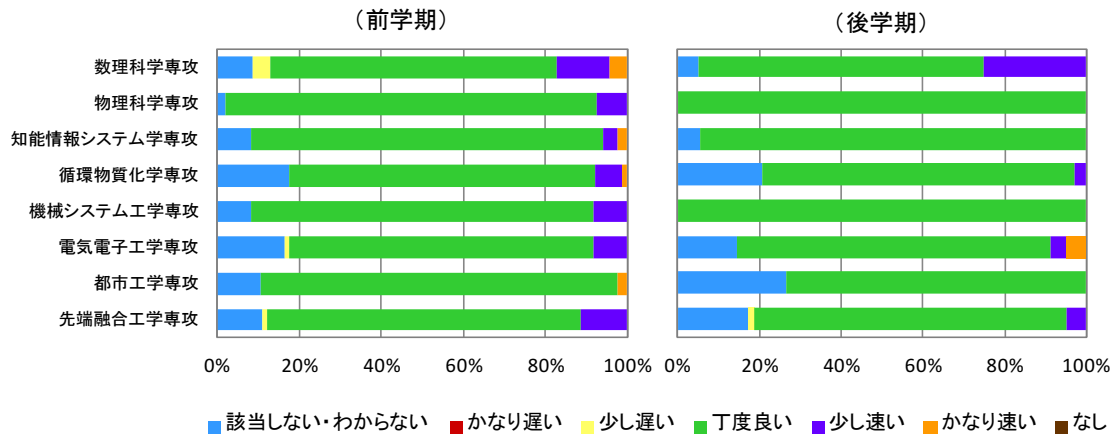
前項目までと同様に、「全くその通りだと思う」という回答が3割程度を占める専攻があるかと思えば、1割程度の専攻もあり、なかなか判断が難しいように思う。

B-7 声の大きさ・明瞭さは適切だった



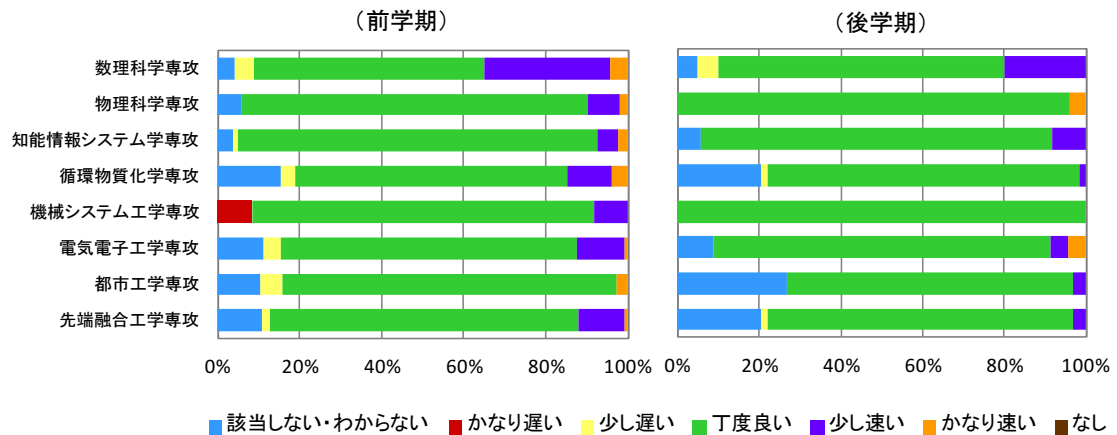
一部を除いて「そう思う」が4～6割を占めている。また、「全くその通りだと思う」も2～3割程度ある。したがって、全体として大きな問題はなさそうである。

B-8 話す速さは適切だった



全体的に「丁度良い」が約8割を占めているものの、「少し速い」が目立つ専攻もある。しかしながら、特に大きな問題はなさそうである。

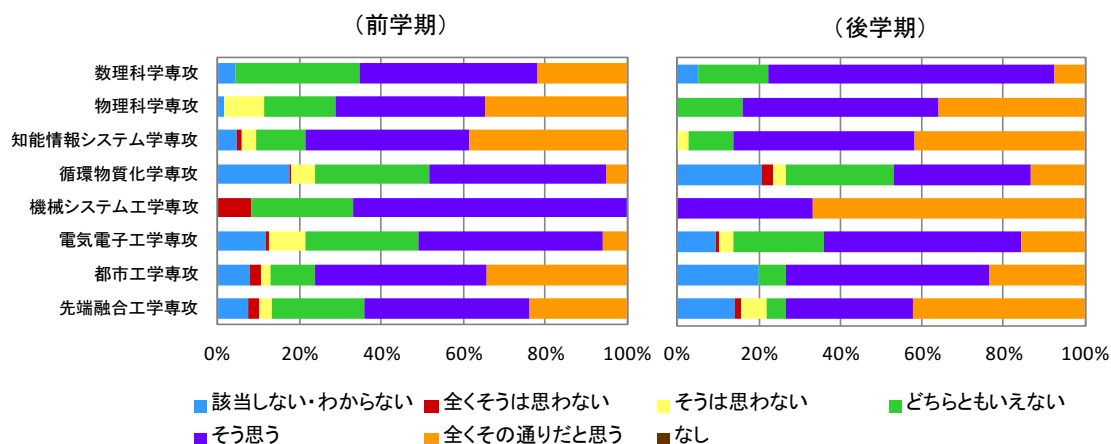
B-9 授業の進む速さは適切だった



全体的に「丁度良い」が約8割を占めているものの、「かなり遅い」や「少し速い」が目立つ専攻もある。しかしながら、特に大きな問題はなさそうである。

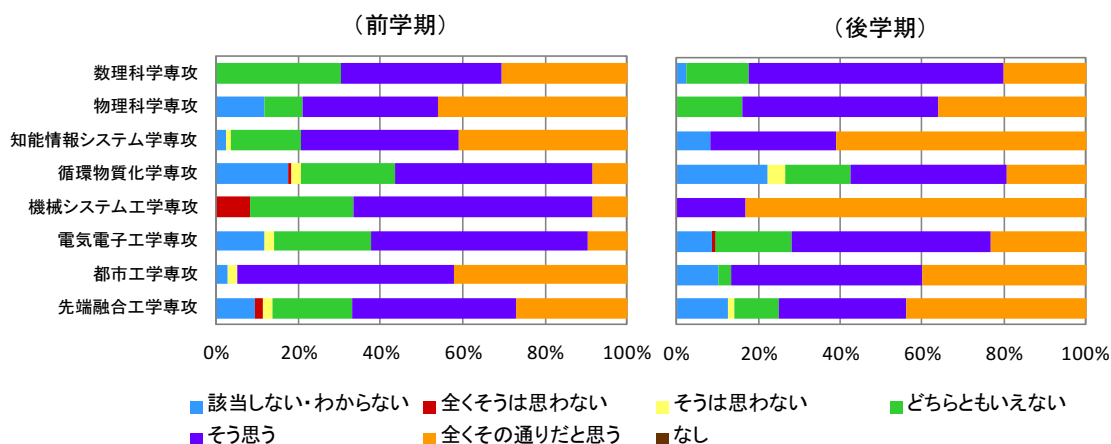
C. 教員の対応

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる



全体的に、「そう思う」が約4割を占めている。ただし、「全くその通りだと思う」は専攻によって1～4割と大きく偏っている。少人数クラスが多いことを念頭におけば、教員が授業をもっと分かりやすくする工夫に努めてよいのかもしれない。

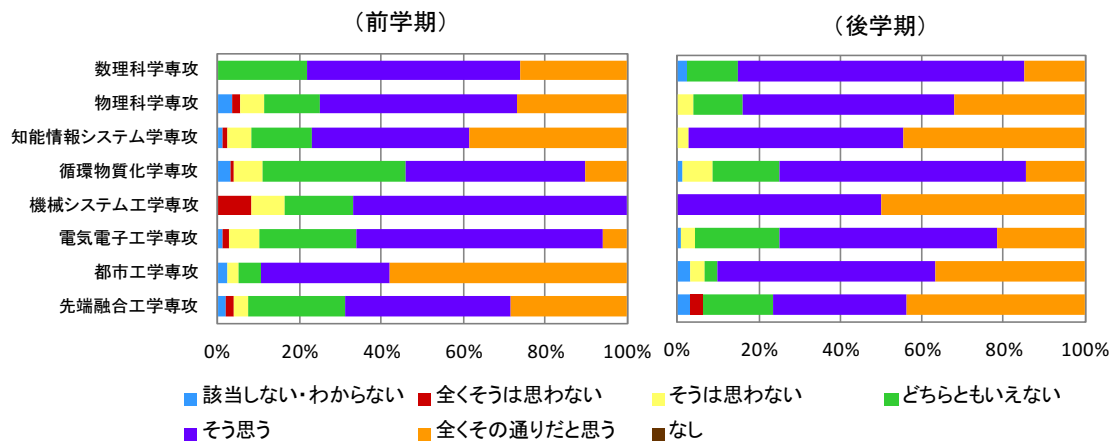
C-2 学生の質問に適切に対応してくれている



全体的に、「そう思う」が3～5割を占めている。ただし、「全くその通りだと思う」は専攻によって1～4割と大きく偏っている。少人数クラスが多いことを念頭におけば、教員が学生の質問に対してもっと前向きな対応に努めてよいのかもしれない。

D. 満足度

D-1 この授業を受講して満足が得られた



全体的に、「そう思う」が4～6割を占めている。ただし、「全くその通りだと思う」は専攻によって1～5割と大きく偏っている。少人数クラスが多いことを念頭におけば、教員が学生の満足度をもっと高めるように努めてよいのかもしれない。しかしながら、「満足度」は授業内容とも密接に関わる内容であり、表面的な評価だけでは不十分と考える。

佐賀大学農学部

佐賀大学大学院農学研究科

平成24年度 組織別授業評価報告書

平成25年3月

佐賀大学農学部F D委員会
佐賀大学大学院農学研究科F D委員会

はじめに

大学法人化後、佐賀大学は、高等教育機関としての機能を強化・充実することで社会的責任を果すことを求められてきた。その方策のひとつとして、教育活動の実態を適確に把握し、課題を整理し、問題を解決するために、全ての授業科目について全学共通の様式を用いた「学生による授業評価アンケート」とその集計結果をうけての「科目担当教員による授業点検評価報告」による授業改善システムを構築し、運用を行ってきた。

農学部および農学研究科では、カリキュラムの見直しや単位実質化に関する改善など、教育改革や内部質保証のためのさまざまな取り組みとともに、平成18年度から授業評価アンケートを実施し、アンケート結果の集計・公表と、授業改善への活用を進めてきた。

本冊子には、平成24年度農学部開講科目に関する授業評価アンケートの結果（学科・コース別）取り纏めと、アンケート結果の分析に基づく授業改善を進めるための提言を、応用生物科学科・生物環境科学科・生命機能科学科の各組織順に記してある。アンケートでは、学生側の課題として、学習目標および成績評価基準の理解度、出席率、予習・復習の時間、授業内容の興味と理解度、満足度などについて調査し、分析した。教員側の課題としては、シラバスに準拠した授業の実施、黒板などの使用法、教材の分かりやすさ、話す速度、声の大きさ、授業の速度、授業を分かりやすくする工夫、質問への対応などについて調査し、分析した。

また授業評価アンケートに基づく授業改善は、大学院農学研究科修士課程についても実施したため、平成24年度農学研究科開講科目に関しても、学部開講科目とほぼ同じ内容のアンケートを行い、授業評価アンケート結果の取り纏め・結果の分析を行った。

以上の様な取り組みを通して、活力のある教育システムを構築・実践し、農学部・農学研究科の特色を生かした教育・研究活動に貢献することを目指している。

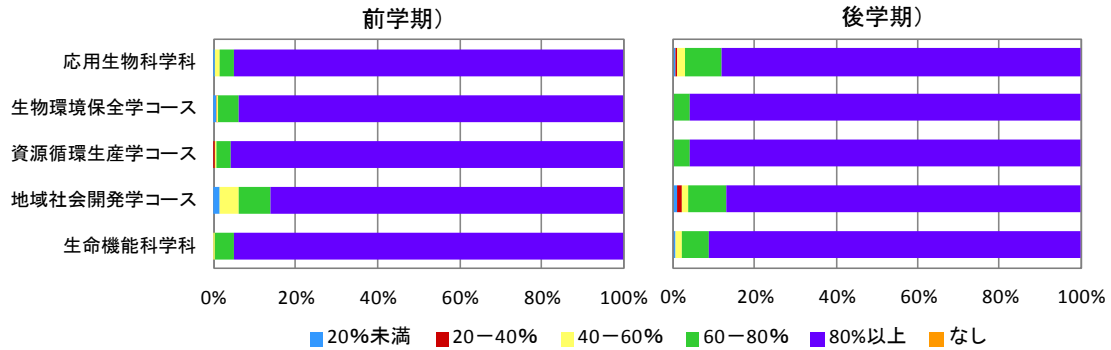
平成25年3月
農学部会FD委員会
農学研究科FD委員会

農学部組織別授業評価分析結果

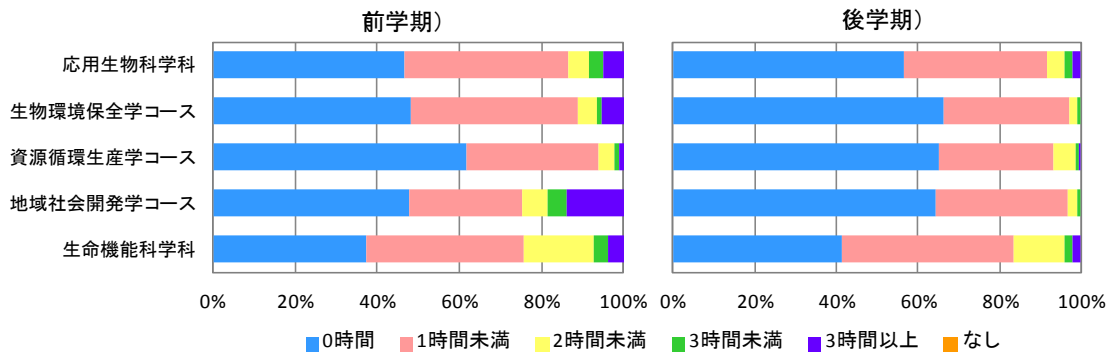
1: アンケート結果

A. あなた自身について

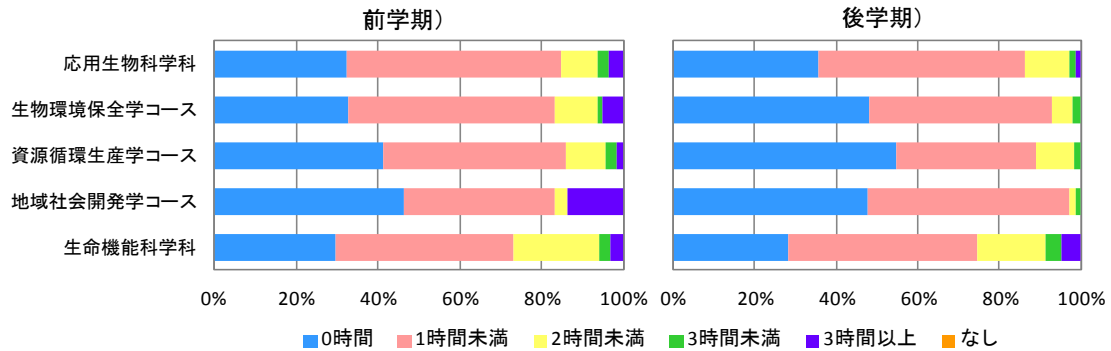
A-1 出席率はどのくらいですか



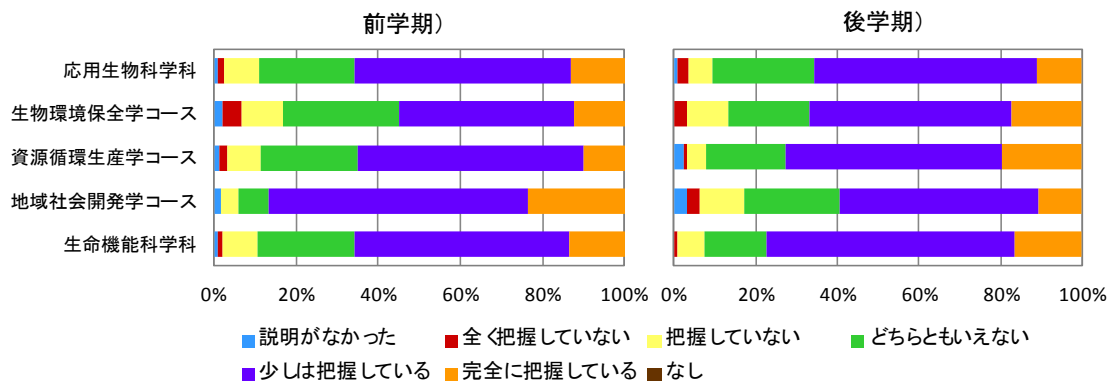
A-2 予習を毎週どの程度していますか



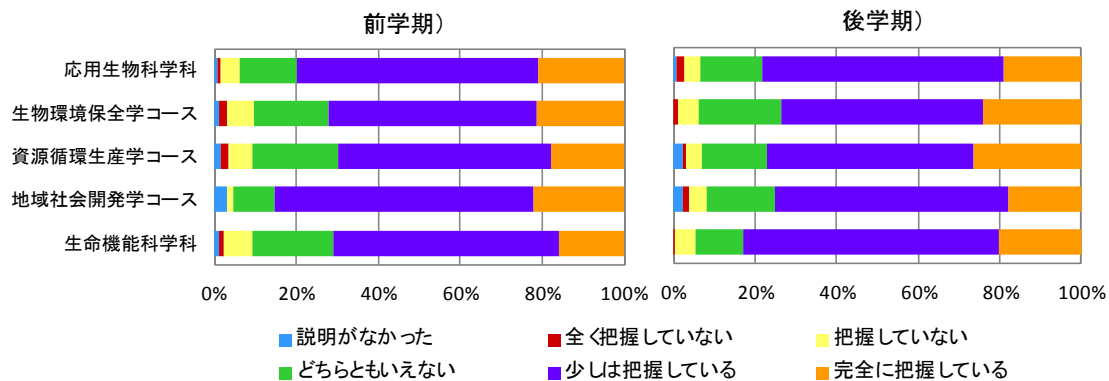
A-3 復習を毎週どの程度していますか



A-4 この授業の学習目標を把握している

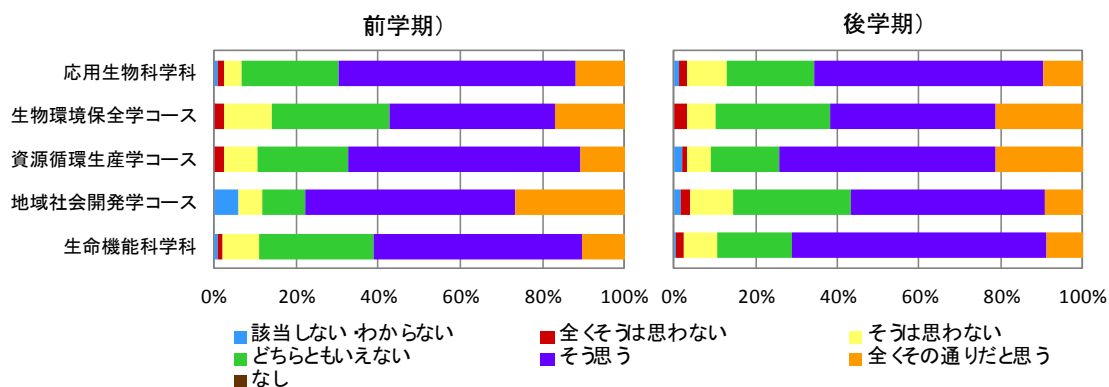


A-5 この授業の成績評価基準を把握している

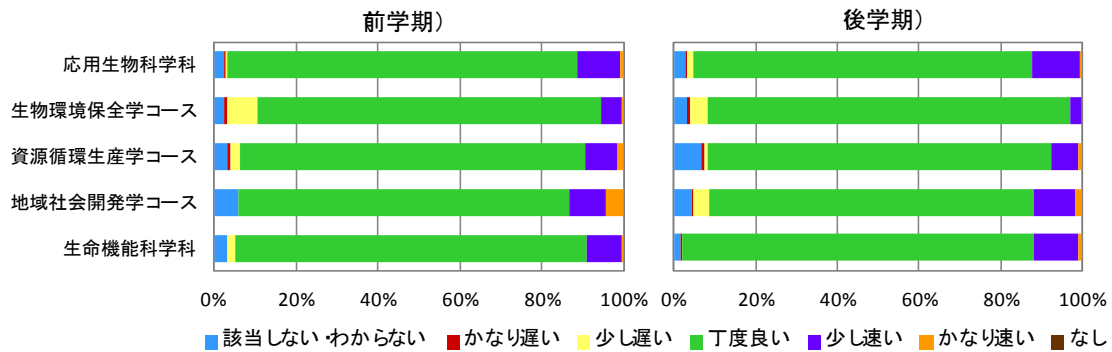


B. 授業内容及び授業方法

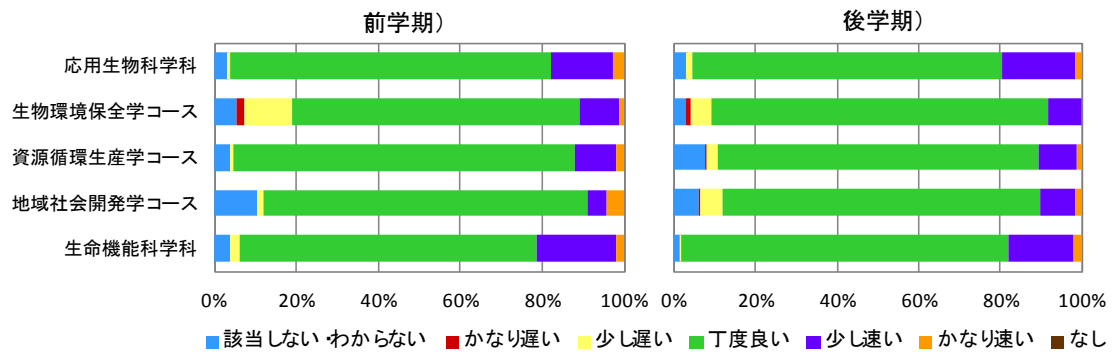
B-1 この授業の内容は理解できる



B-8 話す速さは適切だった

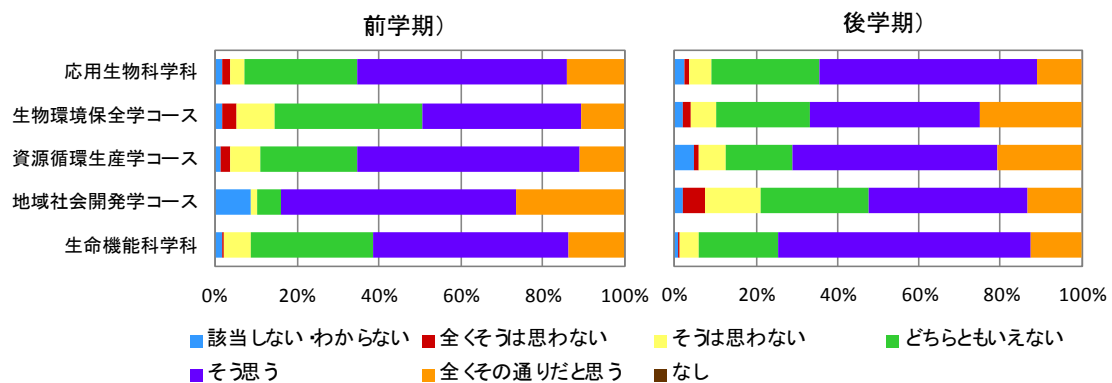


B-9 授業の進む速さは適切だった

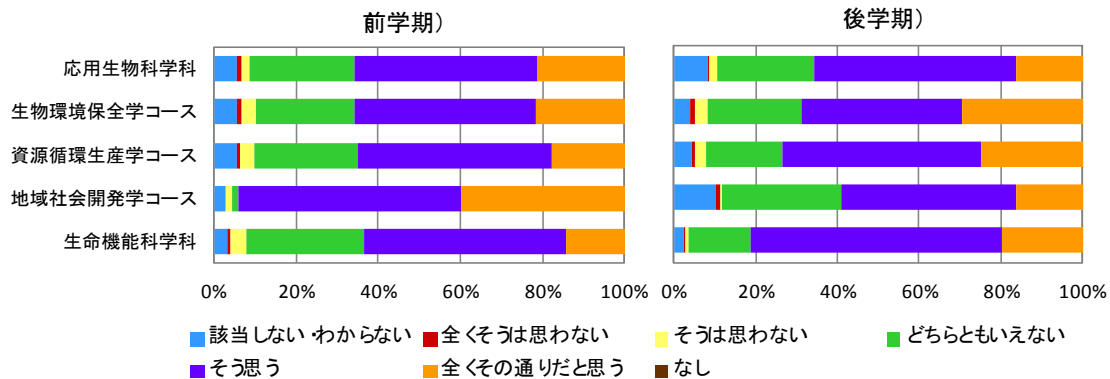


C. 教員の対応

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる

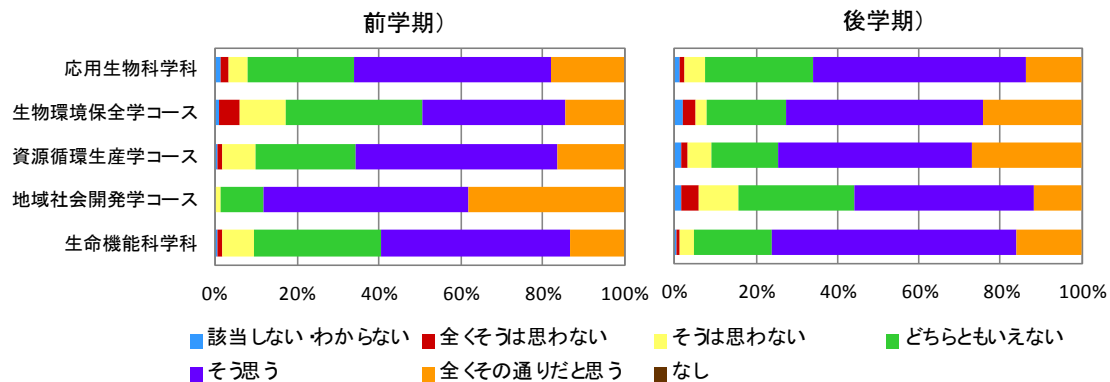


C-2 学生の質問に適切に対応してくれている



D. 満足度

D-1 この授業を受講して満足が得られた



2 : アンケートの分析

本項では、学科教員が担当する授業科目に対するアンケート結果について、質問項目ごとに分析した。分析は学科別に行い、分析項目のA-1からD-1は、先に挿入した横棒グラフのA-1からD-1の各項目に対応している。なおA-4からD-1の百分率については、「無回答」および「該当しない・わからない」を表す「0」と回答したものを全体に含めて表している。

I 応用生物科学科

本項は、応用生物科学科に所属する教員が担当する授業科目について、平成24年度に行われたアンケート結果に基づいて、質問項目ごとに分析したものである。

A-1 出席率

出席率については、前後期あわせて9割以上の学生が「80%以上」と回答している。出席状況は良好であると考えられる。

A-2 予習

予習の時間については、全く予習を行わなかった学生は、前期で46.5%、後期で56.5%であった。また「1時間未満」と回答した学生は、前期で40.0%、後期で35.2%で、おそらく不十分と思われる時間しか予習をしていないという実態が明らかになった。次の講義に向けて、予習をして準備するという学習習慣が、未だ身についていないことが伺えた。

A-3 復習

復習の時間については、全く復習を行わなかった学生は、前期で32.4%、後期で35.6%であった。また「1時間未満」と回答した学生は、前期52.3%・後期50.5%で、明らかに少なすぎる時間しか復習をしていないという実態であった。復習の重要性に対する意識が非常に低いものと考えられる。前項の問題と併せて、「授業と予習・復習がセットになった学習習慣」を身につけられる様、ラーニング・ポートフォリオによる修学支援効果をより実効性のあるものにする必要がある。

A-4 学習目標

学習目標については、「4：少しは把握している」「完全に把握している」と回答している学生が前期65.9%・後期65.6%で、半数以上の学生は学習目標をある程度把握して講義に臨んでいることが明らかとなった。残り3割強の学生は「どちらともいえない」「把握していない」「全く把握していない」と回答しており、学習目標を理解せずに受講している学生が依然としていることも明らかとなった。授業では学習目標をさらに明確にしていくとともに、シラバスをもっと活用するように指導していく必要があると思われる。

A-5 成績評価基準

成績評価基準については、「少しは把握している」「完全に把握している」と回答した学生が前期79.9%・後期78.2%であり、成績評価基準をある程度把握していた学生は8割近くいた。一方で、「どちらともいえない」「把握していない」「全く把握していない」と回答した学生も若干いたが、「説明がなかった」と回答した学生は前期0.5%・後期0.7%にとどまった。シラバスや授業において「学習目標」と「成績評価基準」の関係性をより一層明確に伝えていくことが、学生の目的意識を持った修学につながるものと考えられた。

B-1 授業内容の理解

授業内容の理解については、「そう思う」と回答した学生は前期57.6%・後期56.1%であり、「全くその通りだと思う」と回答した学生は前期12.0%・後期9.4%であった。このように6割以上の学生が授業内容についてある程度理解していたが、よりいっそうの向上が必要であろう。

B-2 内容への興味

内容への興味が増したかという質問に対して、「そう思う」「全くその通りだと思う」と回答した学生は前期68.6%・後期65.9%であった。このように7割近くの学生が内容への興味が増したと回答した。

B-3、B-4 黒板やスライド等の使い方、教材のわかりやすさ

黒板やスライド等の使い方、教材のわかりやすさについては、「全くその通りだと思う」、あるいは「そう思う」と回答した学生は6割以上であった。ただ、10%近くの学生が「そうは思わない」あるいは「全くそうは思わない」と回答しているので、更なる改善が必要であるかもしれない。

B-5 シラバスは学習に役立ったか

シラバスは学習に役立ったかという質問に対しては、「全くその通りだと思う」もしくは「そう思う」と回答した学生は前期42.6%・後期46.5%であった。半数以上の学生は自分の学習にシラバスが役に立っているとは感じていないことが明らかとなった。

B-6 授業内容はシラバスに沿っているか

授業内容はシラバスに沿っているかという質問に対して、「全くその通りだと思う」もしくは「そう思う」と回答した学生は前期51.4%・後期53.8%であった。このように半数の学生が、授業はシラバスに沿っているとは感じていないことが明らかとなった。

B-7、B-8 声の大きさ、話す速さ

声の大きさ・明瞭さは適当であったかという質問に対しては、「そう思わない」、あるいは「全くそう思わない」と回答した学生は前期5.4%・後期2.5%程度であり、また話す速さは適切だったかという質問に対して、「丁度良い」と回答した学生は8割以上であった。よって、ほとんど学生はこれらのことに関して、肯定的か、あるいは問題があるとは感じていないことが明らかになった。

B-9 授業進度

授業の進む速さが適切だったかという質問に対しては、「丁度良い」と回答した学生は前期78.1%・後期83.3%であり、大多数が満足していることが分かった。

C-1 授業をわかりやすくする工夫

授業をわかりやすくする工夫が感じられるかという質問に対しては、「全くそうは思わない」あるいは「そう思わない」と回答した学生は前期5.7%・後期6.6%であり、ほとんどの学生は肯定的、あるいは問題があるとは思っていないことが分かった。

C-2 質問に適切に対応するか

質問に適切に対応するかという質問に対しては、「全くそうは思わない」あるいは「そう思わない」と回答した学生は前期2.9%・後期2.4%であり、ほとんどの学生は肯定的か、あるいは問題があるとは思っていないことが分かった。

D-1 満足度

授業から満足が得られたかという質問に対しては、「全くそうは思わない」あるいは「そう思わない」と回答した学生は前期6.5%・後期6.2%であり、ほとんどの学生は満足か、あるいは不満足であるとは思っていないことが分かった。

以上より、応用生物科学科の学生において、「予習」や「復習」を通じた学習への積極性は依然と不十分であることが明らかとなった。この点に関しては、授業やラーニング・ポートフォリオを通して、「授業と予習・復習がセットになった学習習慣」の修得に向けて、授業担当教員やチューターからさらなる指導が必要であると思われる。教員による授業の取り組みに対しては、概ね満足を感じているという結果となった。ただし、学生の受講に際し、シラバスがあまり有効に活用されていない実態が明らかとなった。シラバスの内容を明確にして充実をはかるとともに、学生にシラバスを閲覧するように強く指導していく必要があると考えられる。

II 生物環境科学科

本項では、生物環境科学科に所属する教員が担当する授業科目についてのアンケート結果を、生物環境保全学、資源循環生産学、地域社会開発学の3つの教育コース（以下保全コース、資源コース、地域コース）に分けたのち、各項目について分析している。

A-1出席率

出席率については、「8割以上の出席」をした学生が、保全コースおよび資源コースではいずれも9割以上を占めているのに対し、地域コースのみ8割程度と見劣りがする結果となった。

A-2、A-3 予習・復習

前期の地域コースにおいて、予習および復習の時間が「3時間以上」の割合が13.9%と、農学部中でもっとも突出して高い結果が得られた。他コース・他学科において「授業と予習・復習がセットになった学習習慣」を習得させることに苦労しているなかで、その取り組みを見習う必要がある。

A-4 学習目標

学習目標については、前期の地域コースにおいて、「少しは把握している」「完全に把握している」と回答した学生が86.8%と非常に高い結果が得られた。その他の期間・コースにおいては6割から7割程度であることを考えると、突出した成果であり、その取り組みを見習う必要がある。このように学生は学習目標をある程度は把握して講義に臨んでいるが、いずれのコースに於いても1割未満ではあるが「把握していない」「全く把握していない」と回答している学生もいることに留意して、学習目標をさらに明確にしていくとともに、シラバスをもっと活用するように指導していく必要があると思われる。

A-5 成績評価基準

成績評価基準については、前期の地域コースにおいて、「少しは把握している」「完全に把握している」と回答した学生が85.3%と非常に高い結果が得られた。その他の期間・コースにおいては、多少なりとも把握している学生が、7割程度となっている。一方で「把握していない」「全く把握していない」あるいは「説明がなかった」と回答した学生も1割満ではあるがおり、より一層、成績評価基準を明確に伝える努力やシラバスの活用を促す努力が必要であると考えられた。

B-1 授業内容の理解

授業内容の理解については、「そう思う」「全くその通りだと思う」と回答した学生が全体としては6割から7割であり、肯定的な評価となっている。ただし、前期の保全コースおよび後期の地域コースにおいて、「そうは思わない」「まったくそう思わない」という回答が、それぞれ13.9%および13.0%あるため、改善が必要である。

B-2 内容への興味

内容への興味が増したかという質問に対し、おおむね過半数の学生が肯定的に回答しており、授業内容の理解有無が内容への興味と関連していることがわかる。ただし、先に述べた授業内容の理解度に関連して、前期の保全コースおよび後期の地

域コースにおいて、「そうは思わない」「まったくそう思わない」という回答がそれぞれ20.0%および17.8%あるため、これらについては改善が必要である。

B-3、B-4 黒板等の使用法、教材のわかりやすさ

黒板等の使い方が効果的であるかとの質問に対し、肯定的な回答をしている学生がおおむね5割をこえるが、前期の保全コースおよび後期の地域コースにおいて、「そうは思わない」「まったくそう思わない」という回答が、それぞれ18.8%および24.3%ある。前期の保全コースにおいては、テキストに関しても否定的な意見が19.0%ある。このことは、授業の理解や興味に関する先の2つの質問とも同様の傾向があるため、あわせて検討が必要である。教材がわかりやすいかとの質問に対しても同様の傾向であるため、検討の必要がある。

B-5、B-6 シラバス・授業内容関連

シラバスが学習する上で役に立っているかとの質問に対し、肯定的な回答をした学生は、いずれのコースも3割から5割程度ある一方で、「どちらともいえない」「該当しない・わからない」と回答した学生も5割程度いる。その中で、前期の保全コースで「そうは思わない」「まったくそう思わない」という回答が、11.2%あり、改善の必要がある。授業内容がシラバスに沿っているかとの質問に対しては、肯定的な回答をした学生は、いずれのコースでも3割から5割程度であった。これらことから、シラバスは日常の学習のうえではあまり利用されていないことが考えられ、シラバスの活用度を上げるためには、教員サイドならびに教務システムの双方に何らかの工夫が必要であると思われる。

B-7、B-8、B-9 声の大きさ、話す速さ、授業進度

声の大きさ、明瞭さが適当であったかという質問に対しては、肯定的な回答をした学生が、おおむね6割をこえている。話す速さが適当であったかという質問に対しては、「ちょうど良い」と答えた学生が8割以上であり、授業の進む早さは適切であったかという質問に対しても、「ちょうど良い」と答えた学生がいずれのコースにおいても8割程度であった。これらの講義の技術に関する3項目については、ほぼ満足できるレベルであるといえる。

C-1、C-2 授業をわかりやすくする工夫、質問等への対応

授業を分かり易くする工夫が感じられるかという質問に対し、前期の地域コースにおいて、「そう思う」「全くその通りだと思う」と回答した学生が83.8%と非常に高い結果が得られた。一方で、前期の保全コースおよび後期の地域コースにおいて、「そうは思わない」「まったくそう思わない」という回答がそれぞれ12.7%および18.9%あるため、これらについては改善が必要である。また質問等への対応の適切さについては、全体として6割から7割の学生が肯定的な回答を寄せている。いずれの項目に於いても、否定的な回答はそれほど多くなかった。

D-1 満足度

満足度については、特に、前期の地域コースで「そう思う」「全くその通りだと思う」と回答した学生が88.2%と学部全体で最も高い比率であった。しかしながら、前期の保全コースおよび後期の地域コースにおいて、「そうは思わない」「まったくそう思わない」という回答がそれぞれ16.3%および14.1%あるため、これらについては改善が必要である。

以上の様に、学生の授業評価からみた生物環境科学科の授業内容および教員の教育に対する取り組みは、全体としてみれば肯定的にとらえることができる。

特に、前期の地域コースにおいて「予習時間」「復習時間」「学習目標・成績評価基準の理解」「授業の工夫や質問への対応」「満足度」が学部内で最も高く、「授業と予習・復習がセットになった学習習慣」の修得に向けた取り組みや授業の質を高める取り組みにおいて、もっとも模範的であると評価できる。しかしながら、前期の保全コースおよび後期の地域コースにおいて「授業の理解や興味」「黒板や教材の利用」「授業の工夫や質問への対応」「満足度」などに対する否定的な評価がかなり高く、個々の授業について、「学生による授業評価アンケート」をうけての「科目担当教員による授業点検評価報告」による授業改善の実行性が大いに求められる。

III 生命機能科学科

本項は、生命機能科学科に所属する教員が担当する授業科目について、平成24年度に行われたアンケート結果に基づいて、質問項目ごとに分析したものである。

A-1 出席率

出席率については、9割以上の学生が「80%以上」と回答しており、良好な出席状況にあると判断できる。

A-2、A-3 予習・復習

予習時間については、前期37.3%・後期41.3%の学生が「0時間」、前期38.5%・後期42.0%の学生が「1時間未満」であった。また、復習時間についても、前期29.7%・後期28.2%の学生が「0時間」、前期43.5%・後期46.3%の学生が「1時間未満」と回答している。1時間の講義に対しては、それぞれ1時間の予習および復習の自習時間が求められているが、多くの授業科目で大部分の学生がこの条件を満たしていないことが示された。「授業と予習・復習がセットになった学習習慣」の修得に向けたさらなる指導が必要であると思われる。

A-4 学習目標

学習目標については、6割から7割程度の学生が「少しは把握している」または「完全に把握している」と回答しており、多くの学生は学習目標をある程度把握しているとの結果が得られた。

A-5 成績評価基準

成績評価基準については、7割から8割以上の学生が「少しは把握している」または「完全に把握している」と回答している。しかしながら、前期19.6%・後期11.5%が「どちらともいえない」、前期6.9%・後期5.2%が「把握していない」、前期1.4%・後期0.3%が「全く把握していない」前期1.0%・後期0.5%が「説明がなかった」と回答しており、初回の授業等で成績評価基準を確認することが重要であると考えられる。

B-1 授業内容の理解

6割程度の学生が「そう思う」または「全くその通りだと思う」と回答しており、半数以上の学生からは授業内容に対する理解を得られていると考えられる。一方で、「そうは思わない」または「全くそうは思わない」と答えた学生が前期10.1%・後期10.1%存在している。理解することが出来なかったと答えた学生に対する対応について、科目ごとに検討する必要がある。

B-2 内容への興味

内容への興味が増したかという質問に対しては、6割から7割の学生が「そう思う」、「全くその通りだと思う」と回答しており、学生の学習意欲を向上させることが出来たと解釈出来る。

B-3 黒板等の使用法

黒板等の使い方が効果的である、という設問には、6割から7割の学生が「そう思う」もしくは「全くその通りだと思う」と回答している。さらに、否定的な回答「そう思わない」、「全くそう思わない」は1割未満なので、板書等の使用方法については総じて問題がないと判断できる。

B-4 教材のわかりやすさ

6割から7割の学生が「そう思う」または「全くその通りだと思う」と回答している一方で、前期39.5%・後期28.4%の学生が「どちらともいえない」「そうは思わない」「全くそうは思わない」と答えている。昨年度から教材の見直しも行われ、また「わかりやすさ」という観点のみで教材の妥当性を評価することは出来ないが、教材の選択については依然考慮すべき問題があることが示唆される。

B-5、B-6 シラバス関連

「シラバスは学習する上で役に立っている」「授業内容はシラバスに沿っている」という設問に対し、肯定的に回答した学生は、それぞれ4割から6割だった。さらに、他の設問に対する回答と比べて、「該当しない・わからない」が3割から4割と顕著

に多い割合を占めていた。これらの結果は、学生・教員共にシラバスの適切な活用が行われていないことを示唆しているのかもしれない。

B-7、B-8、B-9 声の大きさ、話す速さ、授業進度

声の大きさは適当であったかという質問に対しては、7割以上の学生が「そう思う」「全くその通りだと思う」と回答しているので、概ね問題はないと考えられる。また、話す速さおよび授業の進む速さについては、「丁度良い」と答えた学生が、7割から8割と大多数を占めているが、前期21.3%・後期17.9%の学生が授業の進む速さに対し「少し速い」「かなり速い」と回答している点は留意すべきである。この点に関しても、授業科目ごとの評価結果を参照し検討する必要がある。

C-1、C-2 授業をわかりやすくする工夫、質問等への対応

これらの設問に対し、6割から7割の学生が「全くその通りだと思う」もしくは「そう思う」と回答しており、生命機能科学科教員の授業への工夫、学生への対応には、概ね満足していると判断できる。

D-1 満足度

本設問、この授業を受講して満足が得られた、は、授業に対する総合的評価と考えられる。これに対して、前期59.3%・後期76.4%の学生が「そう思う」「全くその通りだと思う」と回答している。一方、「そうは思わない」および「全くそうは思わない」の否定的回答は前期8.6%・後期4.2%であった。これらの結果から、生命機能科学科の教員が担当する授業は、多くの学生に満足感を与えていると総合的に判断出来るが、前期授業の一部については授業科目ごとの評価結果を参照し検討する必要がある。

以上のように、生命機能科学科全体としては、授業の内容および教員の教育に対する取り組み等について学生は総合的に満足を感じており、教員は授業を通じて多くの学生に学習意欲を向上させている、との結果をアンケートから読み取ることが出来る。一方で、予習、復習に代表される学生の自主的学習は明らかに不足しており、生物環境科学科の前期・地域コースの取り組みを見習って、「授業と予習・復

習がセットになった学習習慣」の修得に向けたさらなる指導が必要であると思われる。また、授業科目ごとの評価結果を検討し、個別に対応する必要があると考えられる事項がいくつか見受けられた。

3 : 「学生から高い評価を得ている授業科目の選考基準」「授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点」および「次年度の授業改善目標」

以上、組織別に分析を行ってきた。

まず「学生から高い評価を得ている授業科目の選考基準」については、学部内・学科内における各科目の内容（必須科目・非必須科目の違いも含む）や受講生数に違いがあるなかで、授業評価アンケートの回答結果で適切な比較ができるものではなく、また授業評価アンケートの結果を「科目を担当する教員の評価」につながる様な選考に用いることについても賛成できない。しかしながら、全学的に講習会の開催やシステムの構築を開始した「ティーチングポートフォリオ制度」への取り組みを介して、「授業内容改善の意欲」の評価を行って「インセンティブ付与」につなげることは可能であると思われる。

授業評価アンケートについて、運用は来年度からになるが、「話す早さ」「授業の進む早さ」に関する評価結果を、他の項目とあわせるための改善に全学的取り組んだ。学部としては、未だ達成度は不十分で「予習時間」を増加させる取り組みが必要ではあるが、「復習」については少しずつ習慣がついてきているかもしれない。さらに前期の地域社会開発学コースにおいて、予習および復習の時間が「3時間以上」の割合が13.9%と非常に高い結果が得られており、他コース・他学科において「授業と予習・復習がセットになった学習習慣」を習得させることに苦労しているなかで、その取り組みを見習う必要がある。

依然として改善の必要があるものとしては、学生・教員共にシラバスの有効な活用法が身につけていないことが示唆されている。シラバスの適切な記述については、教員に対してはFD講習会や教授会で周知・依頼しているところであるが、オリエンテーション・授業等で、教員と学生の統一理解をすすめる必要がある。また一部の組織で、「授業の理解や興味」「黒板や教材の利用」「声の大きさ」「話す速度」「満

足度」に対する否定的な評価が高い期間があることから、各担当教員は、「学生による授業評価アンケート」の結果を真摯に受け止め、当事者意識を持って「科目担当教員による授業点検評価報告」を行う必要がある。

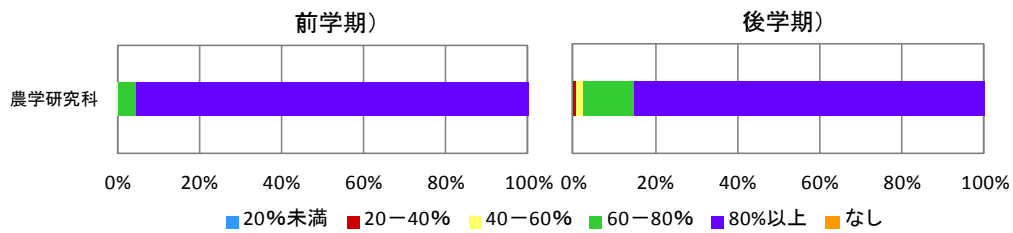
またH23年度から導入された「ラーニング・ポートフォリオ」が、学生の学習状況の把握や学習効果の向上につながっているかどうか、今後検証する必要がある。さらに、来年度から運用が開始されるはずの「ティーチングポートフォリオ」により、授業内容改善に役立てられるよう、いっそうの努力を行いたい。

農学研究科部修士課程授業評価分析結果

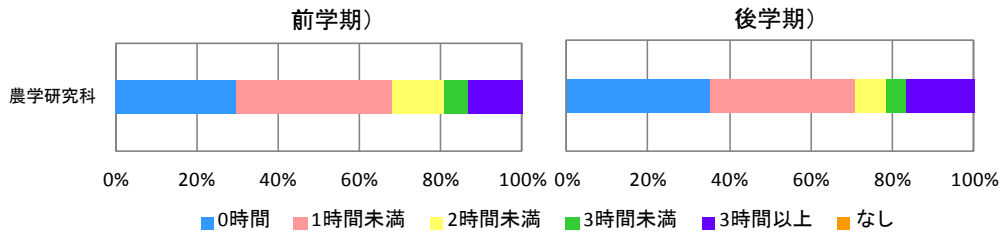
1: アンケート結果

A. あなた自身について

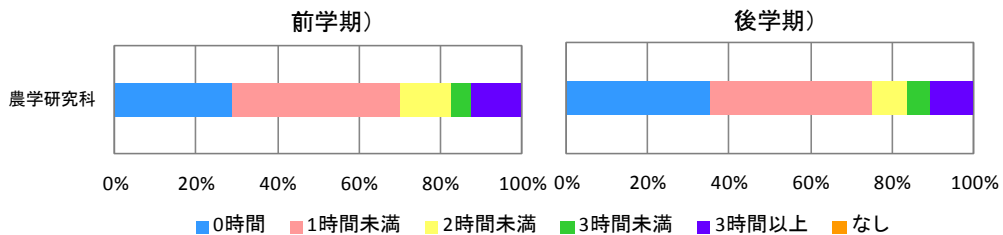
A-1 出席率はどのくらいですか



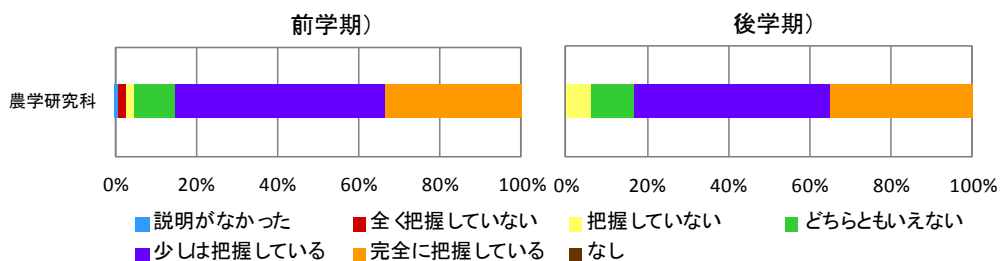
A-2 予習を毎週どの程度していますか



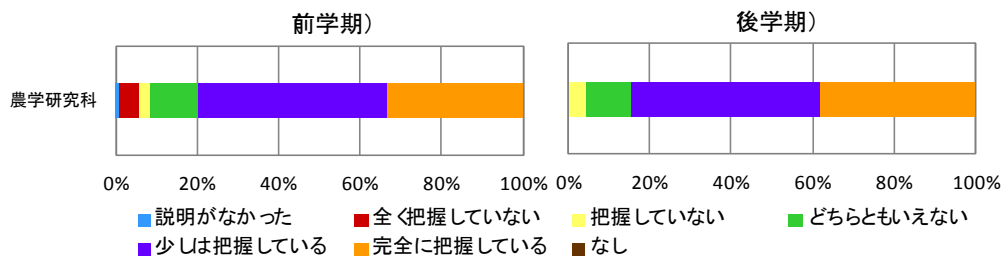
A-3 復習を毎週どの程度していますか



A-4 この授業の学習目標を把握している

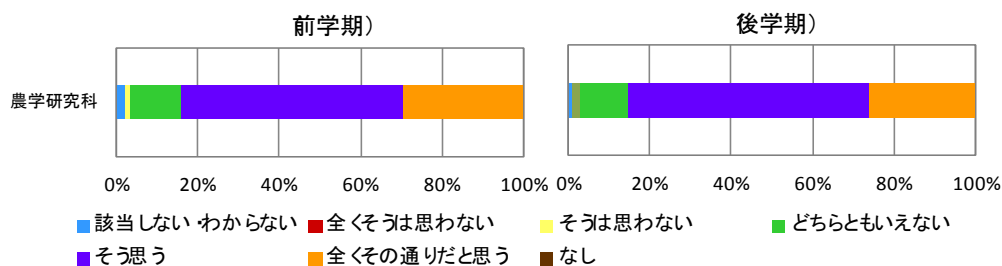


A-5 この授業の成績評価基準を把握している

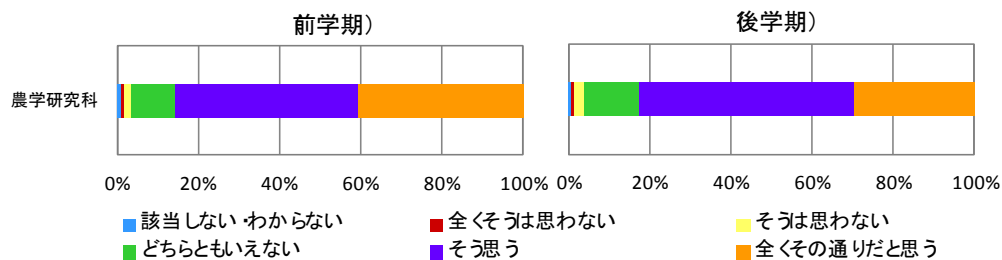


B. 授業内容及び授業方法

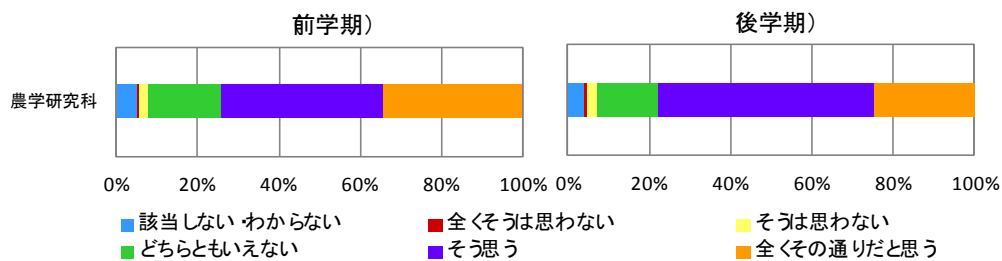
B-1 この授業の内容は理解できる



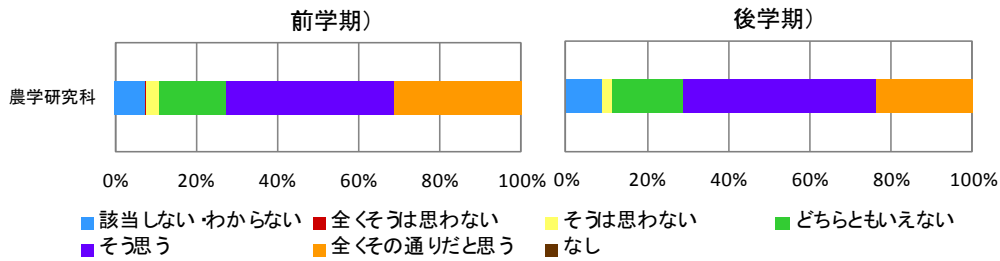
B-2 この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた



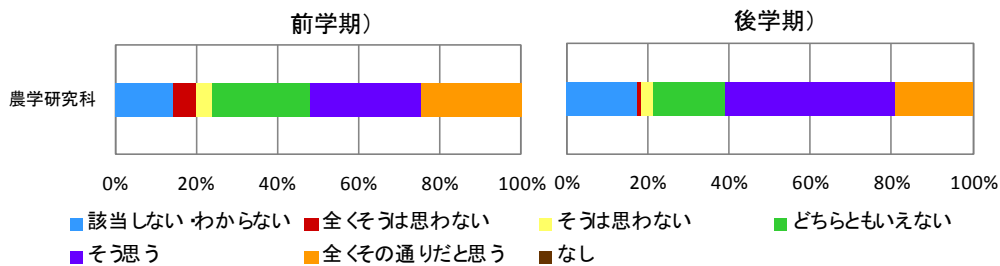
B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である



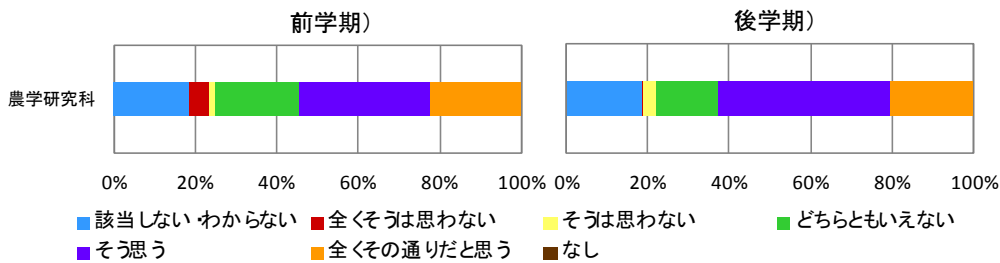
B-4 教材（テキスト、配布資料、その他）はわかりやすかった



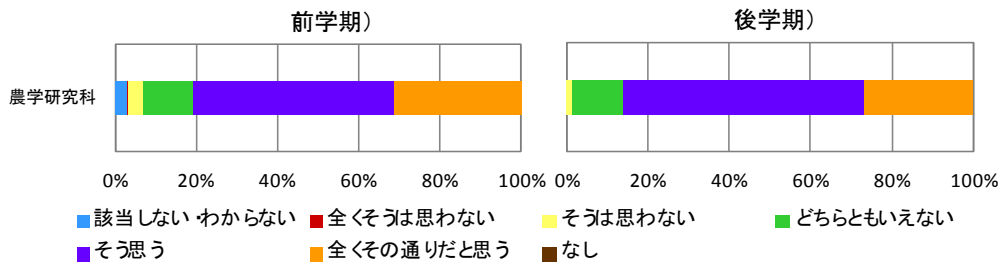
B-5 シラバスは学習する上で役に立っている



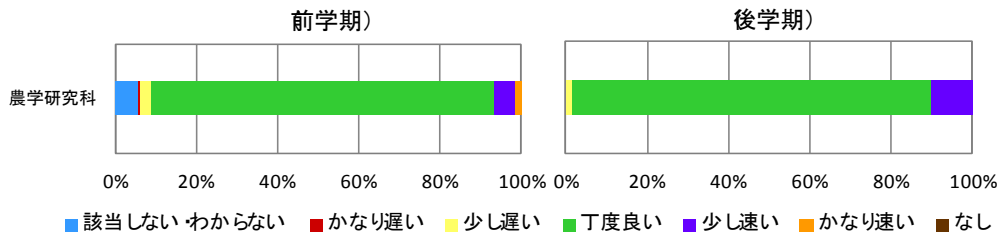
B-6 授業内容はシラバスに沿っている



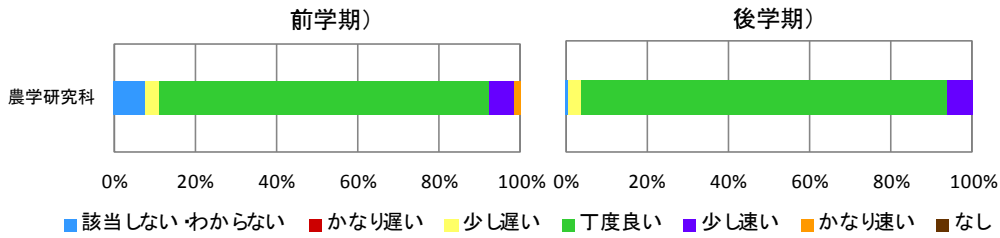
B-7 声の大きさ・明瞭さは適切だった



B-8 話す速さは適切だった

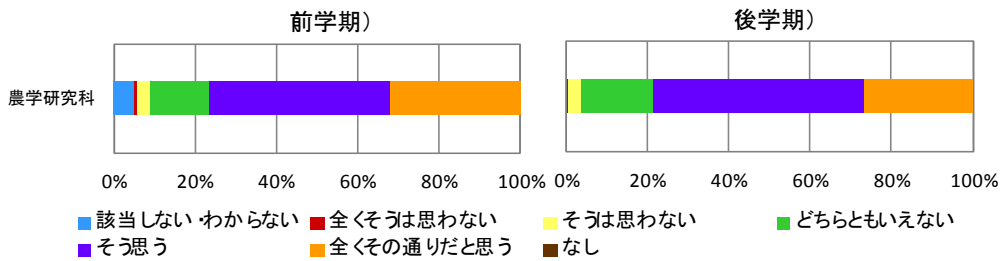


B-9 授業の進む速さは適切だった

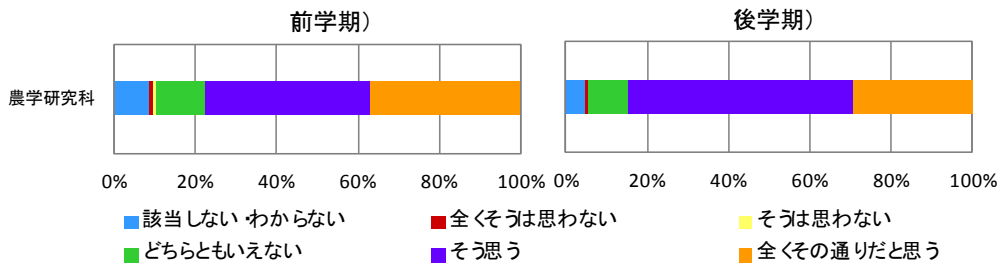


C. 教員の対応

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる

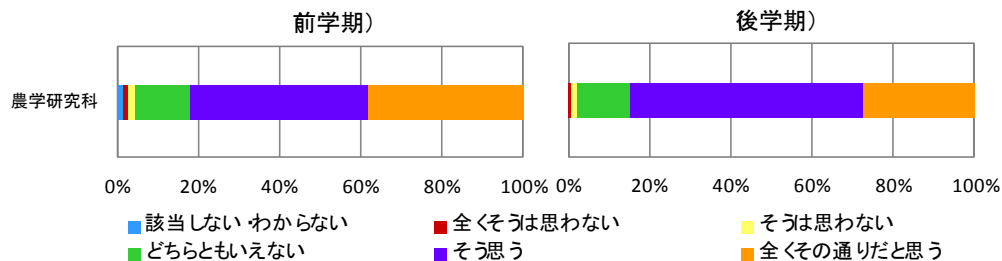


C-2 学生の質問に適切に対応してくれている



D. 満足度

D-1 この授業を受講して満足が得られた



2 : アンケートの分析

本項では、農学研究科の応用生物科学、生物環境保全学、資源循環生産学、地域社会開発学、生命機能科学の合計5コース（以下、応用生物、保全、資源、地域、生命機能）の教員が担当する授業科目についてのアンケート結果に基づいて報告する。アンケート結果は、昨年度はコースに分けて解析し、各コースを比較するかたちで行ったが、今年度は農学研究科全体をまとめて解析した結果について報告する。なお、解析項目のA-1からD-1は、先に挿入したグラフのA-1からD-1の各項目に対応している。

A-1 出席率

出席率については、「80%以上」と回答した学生が、前期95.5%、後期85.2%と、良好な出席状況ではあるが、後期の落ち込みについて精査が必要かもしれない。

A-2, A-3 予習・復習

予習の時間については、全く予習を行わなかった院生は、前期で29.6%、後期で35.1%であった。また全く復習を行わなかった院生は、前期で29.0%、後期で35.4%であった。院生に対しても、学部生と同様に「授業と予習・復習がセットになった学習」をより一層促す努力が必要である。

A-4 学習目標

学習目標については、前後期ともに8割以上の院生が「少しは把握している」または「完全に把握している」と回答しており、ほとんどの院生には講義の到達目標が周知されていると考えられる。

A-5 成績評価基準

成績評価基準については、前後期ともに8割程度の院生が把握していると回答しており、前項の学習目標と併せて考えると、大半の院生が各講義の内容と達成目標に関して理解していると考えられる。

B-1 授業内容の理解

授業内容の理解については、前後期ともに8割以上の院生が「そう思う」「全くその通りだと思う」と回答しており、大半の院生からは授業内容についての理解が得られていると考えられる。

B-2 内容への興味

興味が増したかどうかについては、前後期ともに8割以上の院生が「そう思う」または「全くその通りだと思う」を選択しており、全体として、講義によって学生の知的好奇心を十分に刺激していると考えられる。

B-3, B-4 黒板等の使用法, 教材のわかりやすさ

これらの質問に対しては、前後期ともに7割程度の院生が「全くその通りだと思う」または「そう思う」と回答しているが、科目によっては評価を精査する必要があるかもしれない。

B-5, B-6 シラバス関連

「シラバスが学習の役に立ったかどうか」「授業がシラバスに沿っていたかどうか」について、肯定的な評価をした院生は、前後期ともに5割から6割にとどまっております。院生・教員共にシラバスの適切な活用があまり行われていないことを示唆している。

B-7, B-8, B-9 声の大きさ, 話す速さ, 授業進度

これらの設問に対しては、前後期ともに割以上の院生が肯定的に回答しており、ほぼ満足できるレベルであるといえる。

C-1, C-2 授業をわかりやすくする工夫, 質問等への対応

これらの項目については、前後期ともに7割から8割の院生が「まったくその通りだ」と思う」または「そう思う」と回答しており、院生は教員の対応におおむね満足していることが明らかになった。

D-1 満足度

満足度について肯定的な評価をした院生は、前後期ともに8割以上であり、大多数の院生は講義に対して満足感を得ていると考えられる。

3 : 「学生から高い評価を得ている授業科目の選考基準」「授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点」および「次年度の授業改善目標」

以上、農学研究科全体の現状について分析を行ってきた。

まず「学生から高い評価を得ている授業科目の選考基準」については、研究科内・コース内における各科目の内容や受講生数に違いがあるため、授業評価アンケートの回答結果で適切な比較ができるものではなく、また授業評価アンケートの結果を「科目を担当する教員の評価」につながる様な選考に用いることについても賛成できない。しかしながら、全学的に講習会の開催やシステムの構築を開始した「ティーチングポートフォリオ制度」への取り組みを介して、「授業内容改善の意欲」の評価を行って「インセンティブ付与」につなげることは可能であると思われる。

一方で、授業評価・改善の前提となる最も大きな課題は、依然として「大学院生のアンケート入力率をあげること」である。大学院開講科目は、学部開講科目に比べて受講整数が少ないため、母数が少ないと正確な評価が困難で、分析には限界があるが、アンケートの分析結果から、全体として農学研究科の院生は授業内容およ

び教員の教育に対する取り組み等については、高い満足度を示していると言える。今後もより良い講義を作り上げる努力を各教員に望むところである。

今後の課題としては、今年度の解析結果からは個別授業の評価が見えづらかったが、評価の平均を引き下げている科目の存在が危惧されており、各担当教員は、「学生による授業評価アンケート」の結果を真摯に受け止め、当事者意識を持って「科目担当教員による授業点検評価報告」を行う必要がある。

また農学研究科の副コースとして、高度な農業技術と経営管理能力を有する人材の育成を目的とする実践的な教育カリキュラム「農業技術経営管理学コース：農業版MOT教育プログラム」を実施しており、順調に修了生を輩出しているが、その教育効果や対外的な評価について、今後は検討が必要であろう。

平成24年度 組織別授業評価報告書

平成25年4月

佐賀大学教養教育運営機構 F D 委員会

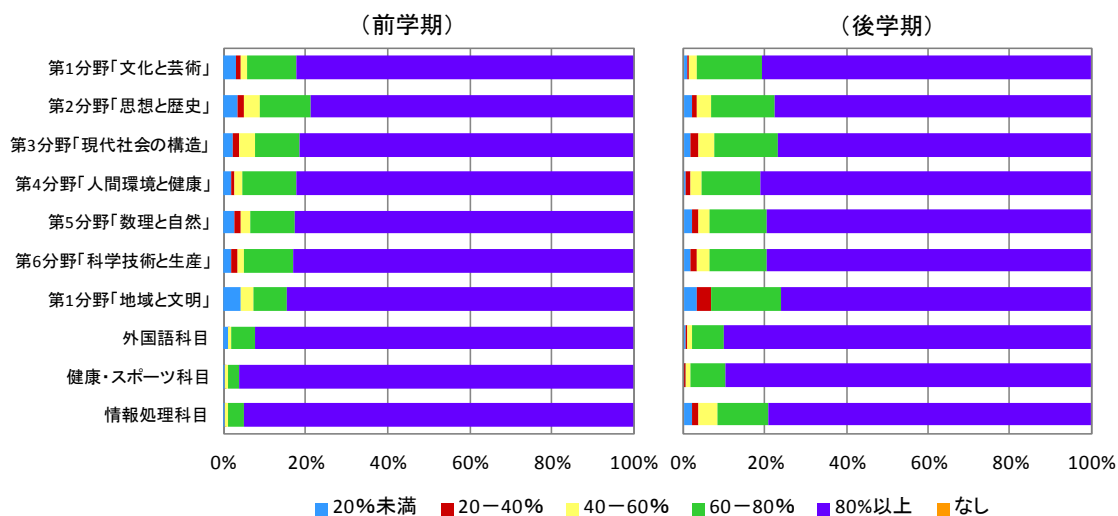
1. はじめに

教養教育運営機構では、教養教育科目として、「大学入門科目」、「共通基礎教育科目」、「主題科目」を開講している。主題科目は、第1分野「文化と芸術」、第2分野「思想と歴史」、第3分野「現代社会の構造」、第4分野「人間環境と健康」、第5分野「数理と自然」、第6分野「科学技術と生産」、共通主題科目として「地域と文明」の各科目が開講されている。共通基礎教育科目は、「外国語科目」、「健康・スポーツ科目」、「情報処理科目」が開講されている。

教養教育運営機構では、教員の授業改善とカリキュラム改善を目的として全ての授業科目において「学生による授業評価アンケート」を実施している。平成24年度はLiveCampusによる共通アンケートシステムを利用した。いずれも良好な実施状況であり、ほとんどの科目で授業評価アンケートが実施され、その結果を用いた授業点検・評価が各教員により行われた。平成22年度は各分野毎に開講された科目を履修した学生によるアンケートの結果を分析した。分野による特徴は見えて取れるものの、いずれの分野とも学生の授業への取り組みは良好であると判断された。教員への評価として、授業の準備（教材の使用、シラバス）、教員の対応は良好と思われる。学生の「学習目標」と「成績評価基準」の把握は良好であるが、授業内容の理解及び学生の興味喚起については分野の違いが現れていると判断される。この点については、学習目標や授業計画を含めたシラバスの定期的な見直しが必要と思われる。

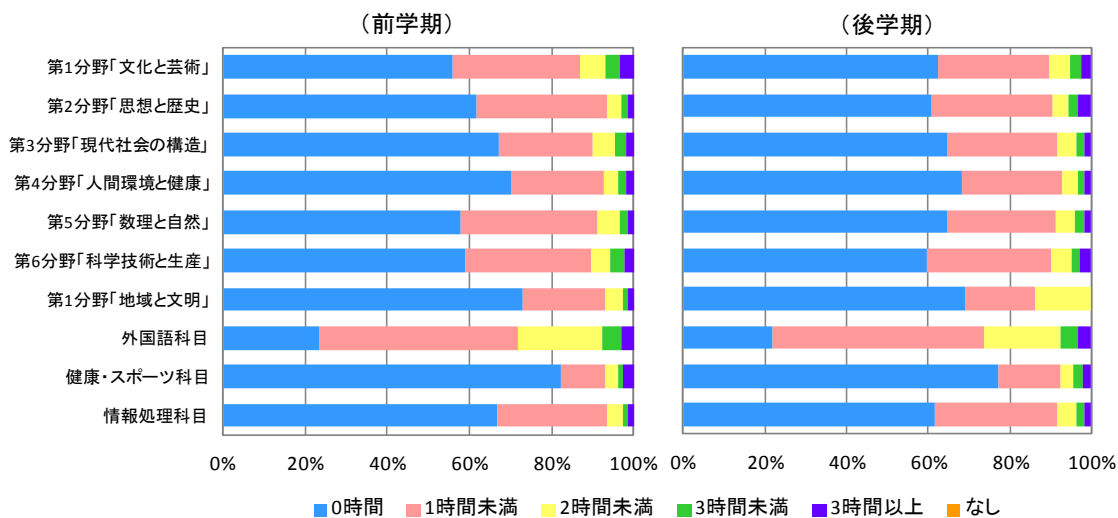
A. あなた自身について

A-1 出席率はどのくらいですか



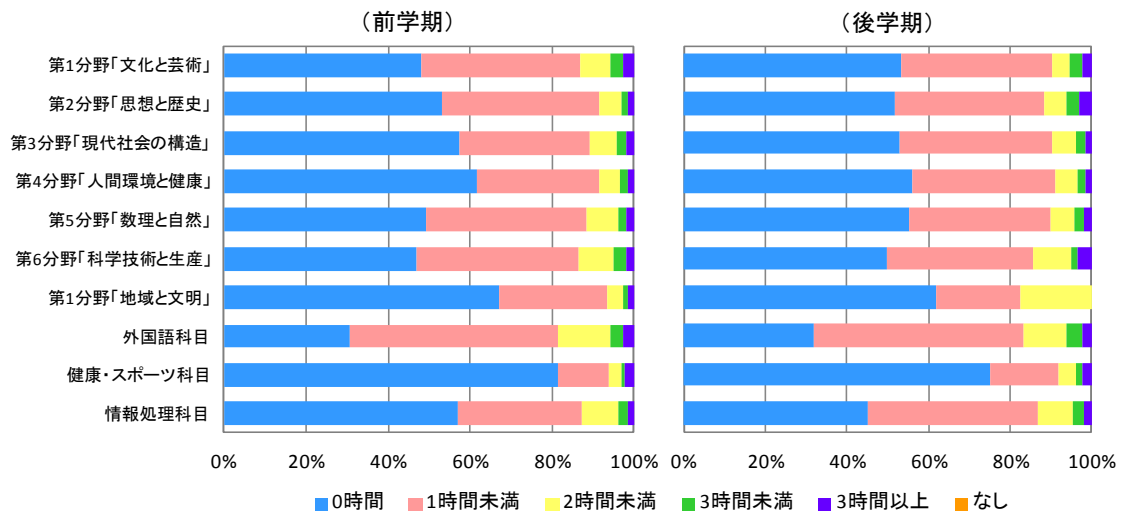
前期、後期とも、出席の状況は良好である。いずれも「80%以上」出席をした学生が最も多く、特に、前期の共通主題科目（「外国語科目」、「健康・スポーツ科目」、「情報処理科目」）では92-96%以上が「80%以上」の出席率を選んだ。分野別主題科目の分野で「80%以上」出席の学生がやや少なく、また、「20%未満」の回答が見られる。

A-2 予習を毎週どの程度していますか



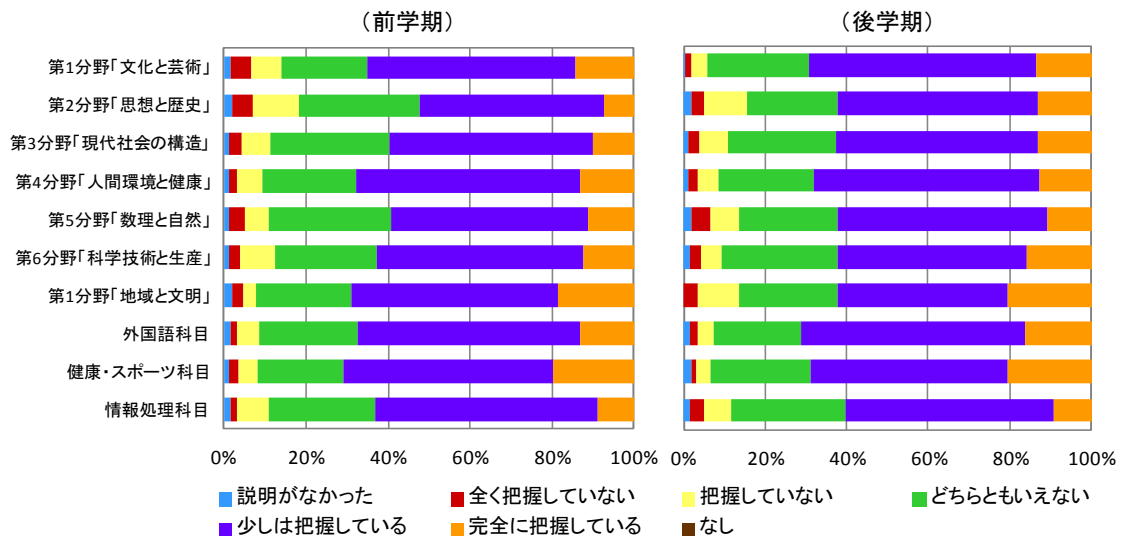
「外国語科目」の予習への取り組みが顕著であり、予習に対する指導が徹底していることがわかる。必要な学習時間（90分）を満たしている（2時間未満以上）のは、主題科目で、6.26-10.42%、外国語科目で27.97%であった。予習時間は、この数年増加傾向にあり、シラバス等での指導が進んでいると思われる。

A-3 復習を毎週どの程度していますか



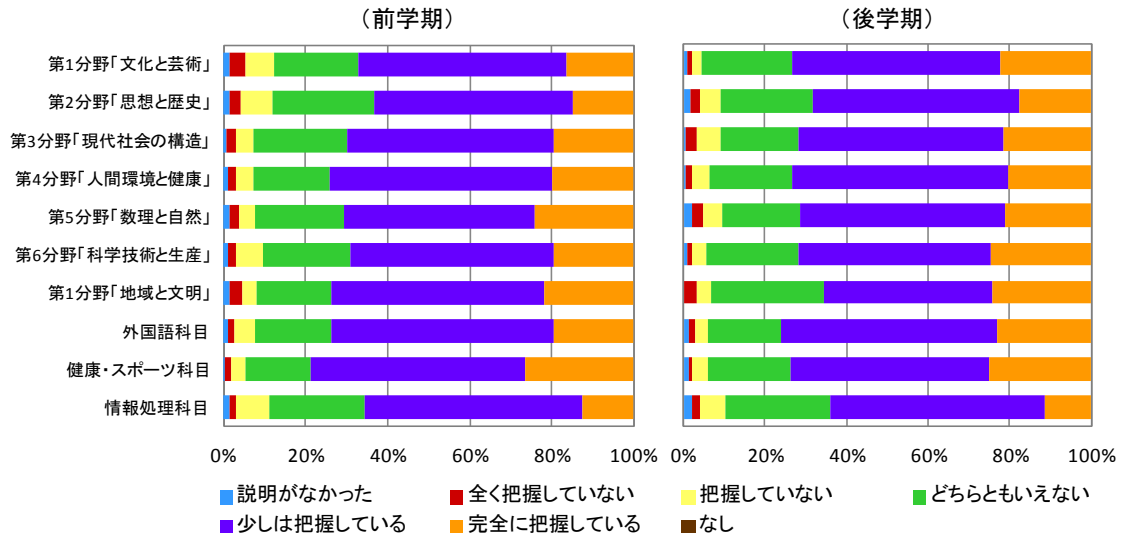
予習に比べ、復習には時間をかけて取り組んでいる様子が伺える。必要な学習時間（90分）を満たしている（2時間未満以上）のは、主題科目で、6.71-13.36%、外国語科目で18.52%であった。復習時間もこの数年増加傾向にあり、シラバス等での指導が進んでいると思われる。

A-4 この授業の学習目標を把握している



60-70%の学生が授業の学習目標を「完全に把握している」及び「少しは把握している」と答えている。一方、授業の学習目標を「把握していない」「全く把握していない」と回答した学生は10%程度であった。オンラインシラバスや授業でのシラバスの説明が有効に機能していると判断される。

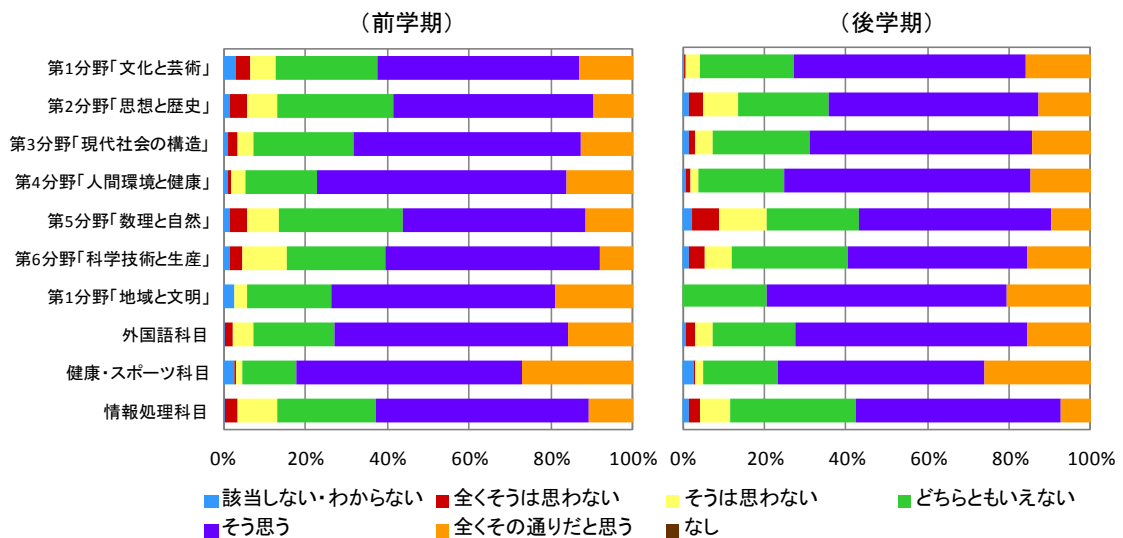
A-5 この授業の成績評価基準を把握している



成績評価基準を「完全に把握している」と解答した学生が「情報処理科目」で少ない。「少しは把握している」と答えた学生を含め、各分野の授業の成績評価基準は概ね把握されていると判断される。

B. 授業内容及び授業方法

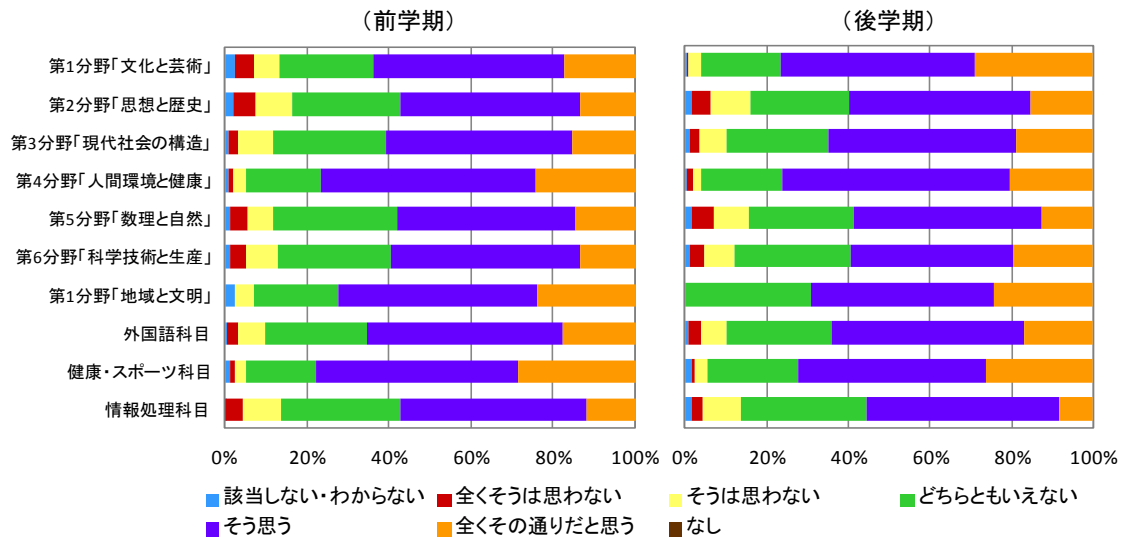
B-1 この授業の内容は理解できる



「全くその通りだと思う」と「そう思う」と回答している学生が60-80%であり、授業の内

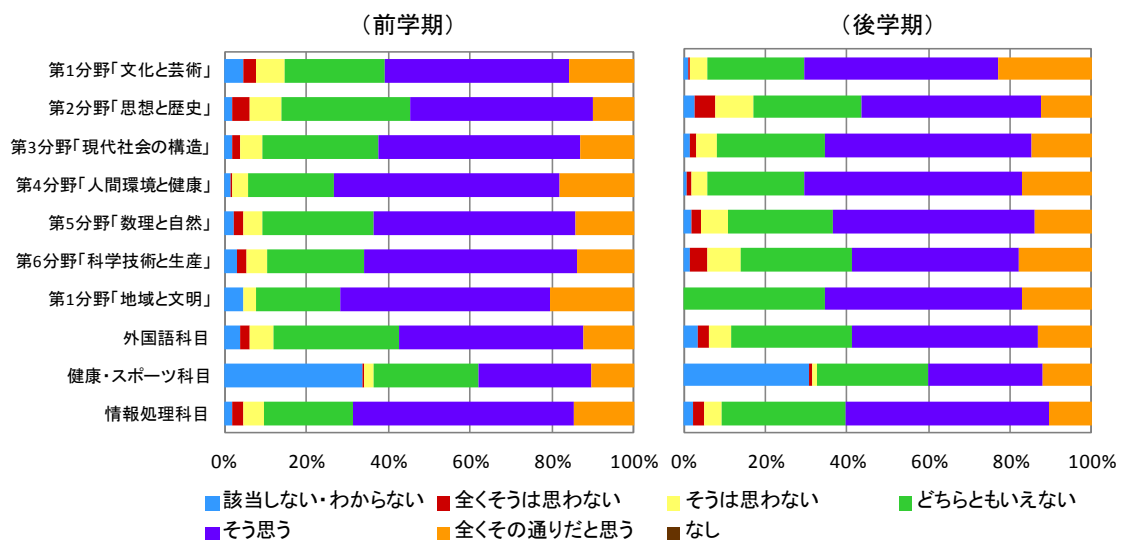
容は概ね学生に適切であると判断される。しかし、いくつかの分野は10%近くの学生が「全くそうは思わない」と回答している。特に、第5分野と情報処理科目で顕著である。

B-2 この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた



概ね60-80%の学生が「全くその通りだと思う」と「そう思う」と回答しており、多くの授業で学生の興味を増す授業がおこなわれていると判断される。

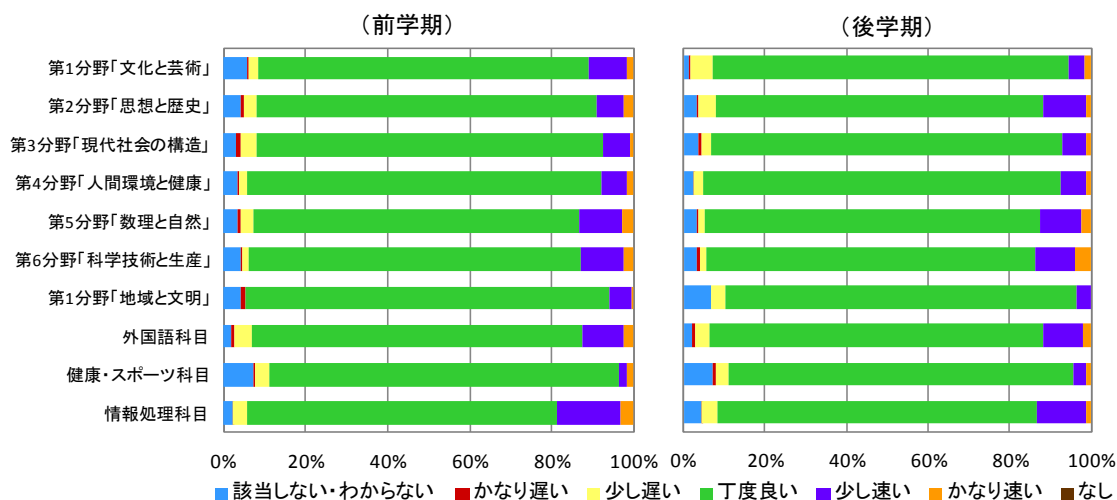
B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である



黒板、ホワイトボード、スライド等視聴覚教材の使用に関しては、概ね好評であると判断

「丁度良い」と回答している学生が 80-90%であり、ほとんどの授業が適切におこなわれていると判断される。

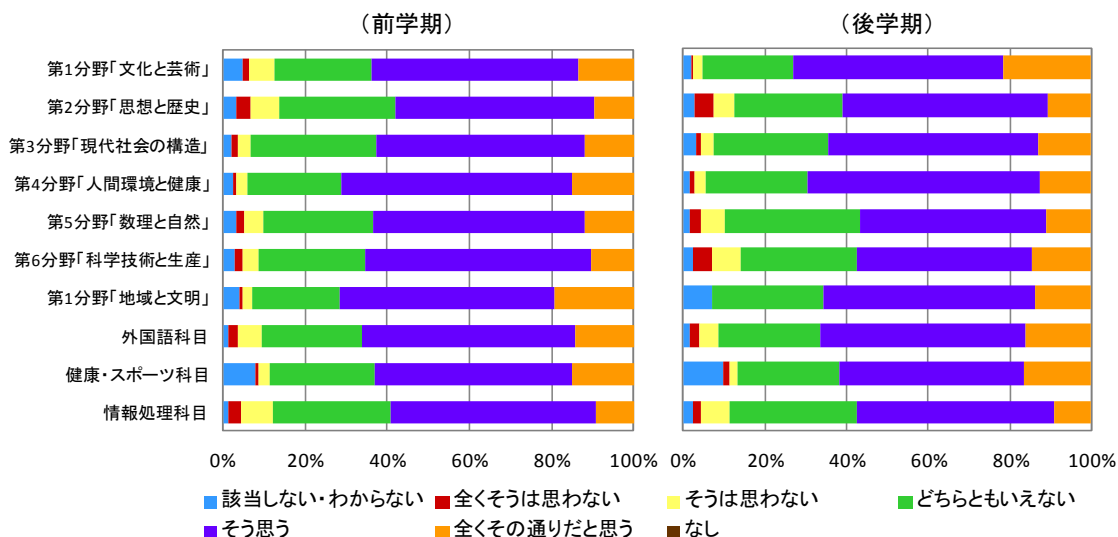
B-9 授業の進む速さは適切だった



「丁度良い」と回答している学生が 80-90%であり、ほとんどの授業が適切におこなわれていると判断される。

C. 教員の対応

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる



「全くその通りだと思う」と「そう思う」との回答が 60%強あり、教員の授業への取り組みが評価されている。情報処理科目で「全くそうは思わない」の回答がやや高い。

3. 学生から高い評価を得ている授業科目の選定基準

教養教育運営機構では、この項目に対する明確な選考基準の確定に至っていない。なお、表彰教員（第2号）の選出は卒業・修了予定者アンケートの結果を使用した。

4. 授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点

優れた点：

特になし

改善すべき点：

授業改善に対する取り組みとして、シラバスの改訂、教養教育運営機構 FD 講演会の開催、授業評価アンケートの実施、TA 実施報告書の作成、および授業点検・評価報告書のオンライン入力を行った。実施の過程で、非常勤講師担当科目のシラバス入力やアンケート点検・評価報告の入力に関し、学外からのアクセスの必要性が検討された。今後、ネットワーク管理の問題を含めて議論が必要であろう。

5. 次年度の授業改善目標

佐賀大学学士力を担保するため、授業ごとに学士力との対応関係を検討する。

おわりに

平成 24 年の授業評価アンケートは LiveCampus による共通アンケートシステムを用いて実施された。Web システムによるアンケートのため、アンケートの実施率は高いが、回答率は必ずしも高いとはいえず、今後は回答率の向上が望まれる。

平成 20 年度から義務化された FD 活動も見直しの時期に来ており、本学でも平成 23 年度の佐賀大学ポートフォリオ学習統合システムの運用開始、平成 24 年度のティーチング・ポートフォリオ実施要項および実施要領の策定など、FD 活動の改善を図っている。しかしながら、佐賀大学の全教員がその趣旨を理解し、授業改善に利用されているかと問われれば、答えは否定的にならざるを得ない。「授業評価結果を用いた授業改善実施要領」に基づき実施されている「授業点検・評価報告書」の提出であるが、年々低下する一方である。しかし、これらの活動状況だけで教員の授業への取り組みは計れないのは言うまでもない。おそらく学内のほとんど全ての教員は毎回の授業のために多くの時間を割いて準備し、全力で授業を行い、出席している学生の様子から学生の理解の程度を推しはかり、次週の授業の準備に取りかかっていると思われる。これは授業評価アンケートの満足度の良好な分布から見ても判断される。

第二期中期計画期間中には、教育の質保証が問われ、教員による授業改善を主とする PDCA サイクルの実行が強く求められている。やらされるのではなく、平素の教員の授業への取り組みをどのように PDCA サイクルの活動として記録するかがその課題となるであろう。そのために、平成 24 年度の FD 専門委員会では、ティーチング・ポートフォリオ実施要項および実施要領を定め、ティーチング・ポートフォリオとして教育活動を記録し、これに基づく教育改善への取り組みを組織的に行えるような仕組みを構築した。また、「授業評価結果を用いた授業改善実施要領」を改訂し、佐賀大学ポートフォリオ学習統合システムへ「授業点検・評価報告書」を組み込み、これを作成しやすくした。これらの活動が、実を結び本学全体の教育力の向上につながることを切に願っている。

資料 1 佐賀大学学生による授業評価実施要領

(趣旨)

第1条 授業改善を目的とする学生による授業評価（以下「授業評価」という。）の実施に関する事項は、この要領に定めるところによる。

(評価の実施)

第2条 授業を担当する教員（非常勤講師を含む。）は、授業科目毎に授業評価（以下「個別授業評価」という。）を実施する。

2 学部及び学科等の教育組織（以下「教育組織」という。）は、前項の個別授業評価等を分析し、教育組織毎に授業評価（以下「組織別授業評価」という。）を実施する。

(評価の支援)

第3条 大学は、授業評価の実施に必要な全学共通のアンケートシステム（以下「授業評価アンケートシステム」という。）を提供し、集計を行うなどの方法により、前条の授業評価の実施を支援する。

(個別評価結果の利用)

第4条 個別授業評価の結果は、授業担当者に提供し、授業担当者は、個別授業評価の結果を授業の改善等に利用するものとする。

2 前項の規定は、各授業担当者による評価結果の公表又は提供及び組織別授業評価のための集計を妨げるものではない。

3 個別授業評価の結果は、教員個人の評価には用いない。

4 個別授業評価の結果は、学生個人の成績評価に利用してはならない。

(組織別評価結果の利用)

第5条 教育改善のための調査研究を行う組織は、大学教育委員会の了承を得て、授業評価の結果を利用することができる。

(調査方法)

第6条 大学教育委員会は、個別授業評価のための授業評価アンケートシステムを利用した調査方法等について定める。

2 前項の規定は、教員又は教育組織が調査項目等を追加することを妨げるものではない。

(調査対象)

第7条 個別授業評価の対象となる授業科目は、次の各号に掲げるものとする。

- (1) 学部が開設する授業科目
- (2) 教養教育運営機構が開設する授業科目
- (3) 研究科が開設する授業科目

2 授業科目を開設する学部等（教養教育運営機構及び研究科を含む。）の長が、授業科目の特性により、授業評価アンケートシステムを用いて調査することが適切でない

と判断した場合は、他の方法により調査することができるものとする。この場合において、授業評価アンケートシステムを用いない授業担当者は、大学教育委員会が指定する日までに当該授業科目名を教務課に届け出るものとする。

(実施方法)

第8条 個別授業評価の実施、集計及び集計結果の公表の方法については、大学教育委員会の議を経て、委員長が別に定める。

2 前項の規定は、教員又は教育組織が、独自の調査を実施することを妨げるものではない。

(雑則)

第9条 この要領に定めるものの他、授業評価の実施に関して必要な事項は、大学教育委員会の議を経て、委員長が定める。

附 則

1 この要領は、平成18年10月1日から実施する。

2 この要領は、当分の間、医学部・医学系研究科には適用しない。

附 則 (平成22年11月22日改正)

この要領は、平成22年11月22日から実施する。

資料 2 授業評価結果を用いた授業改善実施要領

(趣旨)

第1条 佐賀大学学生による授業評価実施要領（平成18年6月27日制定。以下「授業評価実施要領」という。）第2条に定める個別授業評価及び組織別授業評価の結果は、授業評価実施要領に定めるもののほか、この要領の定めるところにより、授業の改善を通じて教育の質の向上に利用するものとする。

(報告)

第2条 授業を担当する教員（非常勤講師を含む。）は、授業科目ごとに実施する授業評価の結果及び授業の改善目標について、所定の期間内に定められた方法により個別授業点検・評価報告書として提出する。

2 学部又は学科等（以下「教育組織」という。）は、個別授業評価及び組織別授業評価の結果に基づき、次に掲げる事項について組織別授業点検・評価報告書を作成する。

- (1) 各種アンケートの学科等別及び授業科目別の集計結果
- (2) 各種アンケートの結果から総合的に判断して、学生から高い評価を得ていると教育組織が認定する授業科目
- (3) 個別授業評価に係る情報が一切ない授業科目
- (4) 教育組織の授業改善の取組状況に係る優れた点及び改善を要する点
- (5) 次年度の学部又は学科等の授業改善目標

(報告書等の利用)

第3条 教育組織の長は、前条第2項に定める組織別授業点検・評価報告書に基づき、必要に応じて教育課程の見直し等の具体的かつ継続的な方策を講じるものとする。

- 2 前条第1項の個別授業点検・評価報告書及び同条第2項の組織別授業点検・評価報告書は、教育組織が実施する研修会等に利用し、オンラインで公表する。
- 3 前条第2項第2号に該当する授業科目における取組は、授業の改善に広く資するよう、教育組織が実施する研修会等又は公開授業により周知する。

附 則

- 1 この要領は、平成18年12月22日から実施する。
- 2 この要領は、当分の間、医学部及び医学系研究科において実施される授業評価には適用しない。

附 則

この要領は、平成20年2月8日から実施する。

資料3 学生による授業評価アンケート様式



ホーム > 授業評価アンケートメニュー > 授業評価アンケート管理メニュー > 授業評価アンケート詳細 > 授業評価アンケート設問一覧 > 授業評価アンケートプレビュー

アンケート 授業評価アンケートプレビュー

← 一覧へ戻る

一部結果公開中

平成23年度前学期 学生による授業評価アンケート

提出有効期限 2011/06/10【08:30】 - 2011/09/03【00:00】

匿名区分 匿名

プレビュー

このアンケートは授業改善に役立てることを目的としています。回答は、成績評価に影響することは一切ありません。This survey is used to improve the classes. This survey is never connected with your grading.

参考資料

出席率はどのくらいですか。(What is the percentage of your class attendance?)

A-1 あなた自身について *

<input checked="" type="radio"/> 20%未満 (under 20%)	<input type="radio"/> 20~40%未 満(20~40%)	<input type="radio"/> 40~60%未 満(40~60%)	<input type="radio"/> 60~80%未 満(60~80%)	<input type="radio"/> 80%以上(more than80%)
---	--	--	--	--

予習を毎週どの程度していますか。(How much do you prepare each lesson?)

A-2 あなた自身について *

<input type="radio"/> 0時間(0 hours)	<input type="radio"/> 1時間未満 (under 1 hours)	<input type="radio"/> 2時間未満 (under 2 hours)	<input type="radio"/> 3時間未満 (under 3 hours)	<input type="radio"/> 3時間以上(More than 3 hours)
---------------------------------------	--	--	--	---

復習を毎週どの程度していますか。(How much do you review each lesson?)

A-3 あなた自身について *

<input type="radio"/> 0時間(0 hours)	<input type="radio"/> 1時間未満 (under 1 hours)	<input type="radio"/> 2時間未満 (under 2 hours)	<input type="radio"/> 3時間未満 (under 3 hours)	<input type="radio"/> 3時間以上(More than 3 hours)
---------------------------------------	--	--	--	---

この授業の学習目標を把握している。(Do you understand the aim of this class?)

A-4 あなた自身について *

<input type="radio"/> 説明がなかつた。(no explanation)	<input type="radio"/> 全く把握し ていない。 (never)	<input type="radio"/> 把握して いない。 (little)	<input type="radio"/> どちらとも いえない。 (can't tell)	<input type="radio"/> 少しは把 握している。 (a little)	<input type="radio"/> 完全に把握して いる。(completely)
---	---	--	--	--	--

この授業の成績評価基準を把握している。(Do you understand how you are graded in this class?)

A-5 あなた自身について *

<input type="radio"/> 説明がなかつた。(no explanation)	<input type="radio"/> 全く把握し ていない。 (never)	<input type="radio"/> 把握して いない。 (little)	<input type="radio"/> どちらとも いえない。 (can't tell)	<input type="radio"/> 少しは把 握している。 (a little)	<input type="radio"/> 完全に把握して いる。(completely)
---	---	--	--	--	--

この授業の内容は理解できる。(Do you understand the class?)

B-1 授業内容及び授業方法 *

<input type="radio"/> 該当しない。わから ない。(no idea)	<input type="radio"/> 全くそうは 思わない。 (never)	<input type="radio"/> そうは思 わない。 (little)	<input type="radio"/> どちらとも いえない。 (can't tell)	<input type="radio"/> そう思う。 (to some extent)	<input type="radio"/> 全くそのとおりだと 思う。(completely)
---	---	--	--	--	--

この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた。(Did this class inspire your interest in its contents?)

B-2 授業内容及び授業方法 *

<input type="radio"/> 該当しない。わから ない。(no idea)	<input type="radio"/> 全くそうは 思わない。 (never)	<input type="radio"/> そうは思 わない。 (little)	<input type="radio"/> どちらとも いえない。 (can't tell)	<input type="radio"/> そう思う。 (to some extent)	<input type="radio"/> 全くそのとおりだと 思う。(completely)
---	---	--	--	--	--

黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である。(Did the teacher use effectively visual devices, such as blackboard, whiteboard, or slids?)

B-3 授業内容及び授業方法 *

<input type="radio"/> 該当しない。わから ない。(no idea)	<input type="radio"/> 全くそうは 思わない。 (never)	<input type="radio"/> そうは思 わない。 (little)	<input type="radio"/> どちらとも いえない。 (can't tell)	<input type="radio"/> そう思う。 (to some extent)	<input type="radio"/> 全くそのとおりだと 思う。(completely)
---	---	--	--	--	--

教材(テキスト、配布資料、その他)はわかりやすかった。(Are teaching materials(textbooks, handouts, etc.)suitable to your level?)

B-4 授業内容及び授業方法 *

<input type="radio"/> 該当しない。わから ない。(no idea)	<input type="radio"/> 全くそうは 思わない。 (never)	<input type="radio"/> そうは思 わない。 (little)	<input type="radio"/> どちらとも いえない。 (can't tell)	<input type="radio"/> そう思う。 (to some extent)	<input type="radio"/> 全くそのとおりだと 思う。(completely)
---	---	--	--	--	--

シラバスは学習する上で役に立っている。(Is the syllabus useful to your learning in the class?)

B-5 授業内容及び授業方法 *

<input type="radio"/> 該当しない。わから ない。(no idea)	<input type="radio"/> 全くそうは 思わない。 (never)	<input type="radio"/> そうは思 わない。 (little)	<input type="radio"/> どちらとも いえない。 (can't tell)	<input type="radio"/> そう思う。 (to some extent)	<input type="radio"/> 全くそのとおりだと 思う。(completely)
---	---	--	--	--	--

授業内容はシラバスに沿っている。(Has the class been conducted according to its syllabus?)

B-6 授業内容及び授業方法 *

<input type="radio"/> 該当しない。わから ない。(no idea)	<input type="radio"/> 全くそうは 思わない。 (never)	<input type="radio"/> そうは思 わない。 (little)	<input type="radio"/> どちらとも いえない。 (can't tell)	<input type="radio"/> そう思う。 (to some extent)	<input type="radio"/> 全くそのとおりだと 思う。(completely)
---	---	--	--	--	--

声の大きさ・明瞭さは適切だった。(Is the teacher's voice big and clear enough?)

B-7 授業内容及び授業方法 *

<input type="radio"/> 該当しない。わから ない。(no idea)	<input type="radio"/> 全くそうは 思わない。 (never)	<input type="radio"/> そうは思 わない。 (little)	<input type="radio"/> どちらとも いえない。 (can't tell)	<input type="radio"/> そう思う。 (to some extent)	<input type="radio"/> 全くそのとおりだと 思う。(completely)
---	---	--	--	--	--

話す速さは適切だった。(Does the teacher talk at a moderate speed?)

B-8 授業内容

<input type="radio"/> 該当しない。わ	<input type="radio"/> かなり遅	<input type="radio"/> 少し遅い。	<input type="radio"/> 丁度良い。	<input type="radio"/> 少し速い。	<input type="radio"/> かなり速
-------------------------------	----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	----------------------------

及び授業方法	からない。(no idea)	い。(very slow)	(a little slow)	(moderate)	(a little fast)	い。(very fast)
B-9 授業内容及び授業方法	授業の進む速さは適切だった。(Is the class conducted at a proper speed?)					
	<input type="radio"/> 該当しない。わからない。(no idea)	<input type="radio"/> かなり遅い。(very slow)	<input type="radio"/> 少し遅い。(a little slow)	<input type="radio"/> 丁度良い。(moderate)	<input type="radio"/> 少し速い。(a little fast)	<input type="radio"/> かなり速い。(very fast)
C-1 教員の対応	授業をわかりやすくする工夫が感じられる。(Did the teacher try to conduct the class effectively so that students can understand it?)					
	<input type="radio"/> 該当しない。わからない。(no idea)	<input type="radio"/> 全くそうは思わない。(never)	<input type="radio"/> そうは思わない。(little)	<input type="radio"/> どちらともいえない。(can't tell)	<input type="radio"/> そう思う。(to some extent)	<input type="radio"/> 全くそのとおりだと思う。(completely)
C-2 教員の対応	学生の質問に適切に対応してくれている。(Did the teacher respond properly to students' questions?)					
	<input type="radio"/> 該当しない。わからない。(no idea)	<input type="radio"/> 全くそうは思わない。(never)	<input type="radio"/> そうは思わない。(little)	<input type="radio"/> どちらともいえない。(can't tell)	<input type="radio"/> そう思う。(to some extent)	<input type="radio"/> 全くそのとおりだと思う。(completely)
D-1 満足度	この授業を受講して満足が得られた。(I am satisfied with the class.)					
	<input type="radio"/> 該当しない。わからない。(no idea)	<input type="radio"/> 全くそうは思わない。(never)	<input type="radio"/> そうは思わない。(little)	<input type="radio"/> どちらともいえない。(can't tell)	<input type="radio"/> そう思う。(to some extent)	<input type="radio"/> 全くそのとおりだと思う。(completely)
E-1. 指定項目①	E-1. Questions specially given. (Use this column according to the teacher's instruction)					
(この部分は教員の指示に従って記入してください。)	<input type="radio"/> 該当しない。わからない。(no idea)	<input type="radio"/> 全くそうは思わない。(never)	<input type="radio"/> そうは思わない。(little)	<input type="radio"/> どちらともいえない。(can't tell)	<input type="radio"/> そう思う。(to some extent)	<input type="radio"/> 全くそのとおりだと思う。(completely)
E-2. 指定項目①	E-2. Questions specially given. (Use this column according to the teacher's instruction)					
(この部分は教員の指示に従って記入してください。)	<input type="radio"/> 該当しない。わからない。(no idea)	<input type="radio"/> 全くそうは思わない。(never)	<input type="radio"/> そうは思わない。(little)	<input type="radio"/> どちらともいえない。(can't tell)	<input type="radio"/> そう思う。(to some extent)	<input type="radio"/> 全くそのとおりだと思う。(completely)
E-3. 指定項目①	E-3. Questions specially given. (Use this column according to the teacher's instruction)					
(この部分は教員の指示に従って記入してください。)	<input type="radio"/> 該当しない。わからない。(no idea)	<input type="radio"/> 全くそうは思わない。(never)	<input type="radio"/> そうは思わない。(little)	<input type="radio"/> どちらともいえない。(can't tell)	<input type="radio"/> そう思う。(to some extent)	<input type="radio"/> 全くそのとおりだと思う。(completely)
E-4. 指定項目①	E-4. Questions specially given. (Use this column according to the teacher's instruction)					
(この部分は教員の指示に従って記入してください。)	<input type="radio"/> 該当しない。わからない。(no idea)	<input type="radio"/> 全くそうは思わない。(never)	<input type="radio"/> そうは思わない。(little)	<input type="radio"/> どちらともいえない。(can't tell)	<input type="radio"/> そう思う。(to some extent)	<input type="radio"/> 全くそのとおりだと思う。(completely)
E-5. 指定項目①	E-5. Questions specially given. (Use this column according to the teacher's instruction)					
(この部分は教員の指示に従って記入してください。)	<input type="radio"/> 該当しない。わからない。(no idea)	<input type="radio"/> 全くそうは思わない。(never)	<input type="radio"/> そうは思わない。(little)	<input type="radio"/> どちらともいえない。(can't tell)	<input type="radio"/> そう思う。(to some extent)	<input type="radio"/> 全くそのとおりだと思う。(completely)
F-1. 指定項目②	F-1. Questions specially given. (Use this column according to the teacher's instruction)					
(この部分は教員の指示に従って記入してください。)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
F-2. 指定項目②	F-2. Questions specially given. (Use this column according to the teacher's instruction)					
(この部分は教員の指示に従って記入してください。)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
F-3. 指定項目②	F-3. Questions specially given. (Use this column according to the teacher's instruction)					
(この部分は教員の指示に従って記入してください。)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
F-4. 指定項目②	F-4. Questions specially given. (Use this column according to the teacher's instruction)					
(この部分は教員の指示に従って記入してください。)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
F-5. 指定項目②	F-5. Questions specially given. (Use this column according to the teacher's instruction)					
(この部分は教員の指示に従って記入してください。)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

資料 4 共通様式以外のアンケート様式
 < 医学部アンケート様式 >

学生による授業評価アンケート I (講義科目)

※5桁の場合は左づめで記入すること
 8桁の場合は初めの0を省略

実施年月日：平成 年 月 日

氏名	
----	--

授業科目名	
-------	--

〔注意事項〕

- (1) 折り曲げたり、汚したりしないで下さい。
- (2) 記入にはHBの黒鉛筆を使用して下さい。
- (3) 訂正はプラスチック消しゴムで完全に消して下さい。
- (4) ◁ ▷ の枠をはみ出さないようにぬりつぶして下さい。



※ 学 籍 番 号							
◁0▷	◁0▷	◁0▷	◁0▷	◁0▷	◁0▷	◁0▷	◁0▷
◁1▷	◁1▷	◁1▷	◁1▷	◁1▷	◁1▷	◁1▷	◁1▷
◁2▷	◁2▷	◁2▷	◁2▷	◁2▷	◁2▷	◁2▷	◁2▷
◁3▷	◁3▷	◁3▷	◁3▷	◁3▷	◁3▷	◁3▷	◁3▷
◁4▷	◁4▷	◁4▷	◁4▷	◁4▷	◁4▷	◁4▷	◁4▷
◁5▷	◁5▷	◁5▷	◁5▷	◁5▷	◁5▷	◁5▷	◁5▷
◁6▷	◁6▷	◁6▷	◁6▷	◁6▷	◁6▷	◁6▷	◁6▷
◁7▷	◁7▷	◁7▷	◁7▷	◁7▷	◁7▷	◁7▷	◁7▷
◁8▷	◁8▷	◁8▷	◁8▷	◁8▷	◁8▷	◁8▷	◁8▷
◁9▷	◁9▷	◁9▷	◁9▷	◁9▷	◁9▷	◁9▷	◁9▷

1. この授業に関して、あなた自身を5段階（5高い・4やや高い・3中間・2やや低い・1低い）で自己評価した数値をマークして下さい。	高 い	やや 高い	中 間	やや 低い	低 い
1) 講義に対する出席の程度	◁5▷	◁4▷	◁3▷	◁2▷	◁1▷
2) 復習や関連事項の自己学習の程度	◁5▷	◁4▷	◁3▷	◁2▷	◁1▷
3) 授業内容の修得、理解度	◁5▷	◁4▷	◁3▷	◁2▷	◁1▷

2-1. この授業科目全般の内容について5段階（5高い・4やや高い・3中間・2やや低い・1低い）で評価した数値をマークして下さい。	高 い	やや 高い	中 間	やや 低い	低 い
1) この授業に対する総合的満足度	◁5▷	◁4▷	◁3▷	◁2▷	◁1▷
2) あなたが感じたこの教科目の重要性の程度	◁5▷	◁4▷	◁3▷	◁2▷	◁1▷
3) 授業内容に対して抱いた興味の程度	◁5▷	◁4▷	◁3▷	◁2▷	◁1▷
4) 講義の編成や内容における一貫性、統合性の程度	◁5▷	◁4▷	◁3▷	◁2▷	◁1▷
5) 講義の工夫、講義資料等の活用・有効性の程度	◁5▷	◁4▷	◁3▷	◁2▷	◁1▷
6) この授業に対する配分時間の妥当性	◁5▷	◁4▷	◁3▷	◁2▷	◁1▷

2-2. 上記の評価に関連して、以下の項目で該当するものがあれば（複数選択可）、その記号をマークして下さい。
◁A▷ 学習要項(シラバス)と講義の内容が一致していない ◁B▷ 講義の内容がばらばらである ◁C▷ 講義内容に無意味な重複がある ◁D▷ 一方的な講義で追いついていけない ◁E▷ 講義資料が分かりにくい ◁F▷ スライド、OHPなどが分かりにくい ◁G▷ 講義内容が多すぎる ◁H▷ 授業時間が多すぎる ◁I▷ もっと授業時間を増やして欲しい ◁J▷ 現行より早い時期に開講して欲しい ◁K▷ 現行より遅い時期に開講して欲しい

2-3. この授業科目について、上記以外で改善すべきと思うことを書いて下さい。
.....
.....

2-4. この授業科目について、よかったと思うことを書いて下さい。
.....
.....

学生による授業評価アンケートⅡ（実習科目）

※5桁の場合は左づめで記入すること
8桁の場合は初めの0を省略

実施年月日：平成 年 月 日

氏名	
----	--

授業科目名	
-------	--

〔注意事項〕

- (1) 折り曲げたり、汚したりしないで下さい。
- (2) 記入にはHBの黒鉛筆を使用して下さい。
- (3) 訂正はプラスチック消しゴムで完全に消して下さい。
- (4) < > の枠をはみ出さないようにぬりつぶして下さい。



※ 学 籍 番 号						
<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>
<1>	<1>	<1>	<1>	<1>	<1>	<1>
<2>	<2>	<2>	<2>	<2>	<2>	<2>
<3>	<3>	<3>	<3>	<3>	<3>	<3>
<4>	<4>	<4>	<4>	<4>	<4>	<4>
<5>	<5>	<5>	<5>	<5>	<5>	<5>
<6>	<6>	<6>	<6>	<6>	<6>	<6>
<7>	<7>	<7>	<7>	<7>	<7>	<7>
<8>	<8>	<8>	<8>	<8>	<8>	<8>
<9>	<9>	<9>	<9>	<9>	<9>	<9>

	高 い	やや 高い	中 間	やや 低い	低 い
1. この実習に関して、あなた自身を5段階（5高い・4やや高い・3中間・2やや低い・1低い）で自己評価した数値をマークして下さい。					
1) 実習に対する出席の程度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
2) 復習や関連事項の自己学習の程度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
3) 実習内容の修得、理解度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>

	高 い	やや 高い	中 間	やや 低い	低 い
2-1. この実習全般の内容について5段階（5高い・4やや高い・3中間・2やや低い・1低い）で評価した数値をマークして下さい。					
1) この実習に対する総合的満足度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
2) あなたが感じたこの実習の重要性の程度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
3) 実習内容に対して抱いた興味の種類	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
4) 実習の編成や内容における一貫性、統合性の程度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
5) 実習の工夫、実習書や配布資料の活用・有効性の程度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
6) この実習に対する配分時間の妥当性	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
7) 実習環境の充実性	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>

2-2. 上記の評価に関連して、以下の項目で該当するものがあれば（複数選択可）、その記号をマークして下さい。		
<A> 学習要項(シラバス)と実習の内容が一致していない	 実習内容が多すぎる	<C> 実習時間が多すぎる
<D> もっと実習時間を増やして欲しい	<E> 現行より早い時期に開講して欲しい	<F> もっと遅い時期に開講して欲しい
<G> もっと指導教官を増やして欲しい	<H> 実習書が分かりにくい	<I> 機材が不足している
<J> グループの人数が多すぎる		

2-3. この実習について、上記以外で改善すべきと思うことを書いて下さい。
.....

2-4. この実習について、よかったと思うことを書いて下さい。
.....

資料5 項目の基礎集計表

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20-40%	40-60%	60-80%	80%以上	なし
文化教育学部	1.12%	0.20%	1.77%	9.10%	87.81%	0.00%
経済学部	2.80%	2.49%	4.59%	16.42%	73.70%	0.00%
理工学部	0.45%	0.36%	1.12%	8.00%	90.07%	0.00%
農学部	0.21%	0.11%	0.69%	4.30%	94.69%	0.00%
教養教育運営機構	1.41%	0.70%	1.52%	8.07%	88.30%	0.00%

A-2 予習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
文化教育学部	53.49%	29.73%	9.07%	3.40%	4.31%	0.00%
経済学部	52.11%	34.05%	8.19%	2.78%	2.86%	0.00%
理工学部	29.93%	46.08%	13.48%	4.75%	5.75%	0.00%
農学部	48.44%	37.57%	7.43%	2.42%	4.14%	0.00%
教養教育運営機構	55.47%	31.04%	8.63%	2.66%	2.20%	0.00%

A-3 復習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
文化教育学部	46.38%	39.22%	7.90%	2.68%	3.83%	0.00%
経済学部	42.90%	40.21%	9.99%	3.49%	3.41%	0.00%
理工学部	19.28%	51.04%	16.57%	5.86%	7.25%	0.00%
農学部	34.50%	47.53%	11.91%	2.25%	3.81%	0.00%
教養教育運営機構	51.84%	35.84%	7.96%	2.37%	1.99%	0.00%

A-4 この授業の学習目標を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
文化教育学部	1.90%	1.16%	4.31%	18.36%	57.26%	17.00%	0.00%
経済学部	1.78%	2.32%	8.59%	22.68%	52.17%	12.46%	0.00%
理工学部	1.01%	2.11%	6.69%	25.56%	51.67%	12.96%	0.00%
農学部	1.16%	2.27%	8.60%	23.91%	51.45%	12.61%	0.00%
教養教育運営機構	1.37%	2.61%	6.50%	24.83%	52.01%	12.69%	0.00%

A-5 この授業の成績評価基準を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
文化教育学部	1.39%	1.16%	3.43%	14.61%	56.84%	22.56%	0.00%
経済学部	1.47%	1.78%	6.11%	18.27%	52.24%	20.12%	0.00%
理工学部	0.67%	1.57%	4.78%	19.34%	53.16%	20.48%	0.00%
農学部	1.06%	1.48%	5.80%	17.52%	54.88%	19.26%	0.00%
教養教育運営機構	1.03%	2.00%	5.28%	20.11%	52.13%	19.45%	0.00%

B-1 この授業の内容は理解できる

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
文化教育学部	0.79%	1.50%	4.54%	14.81%	58.37%	19.98%	0.00%
経済学部	2.71%	3.02%	9.29%	22.06%	51.78%	11.15%	0.00%
理工学部	1.13%	3.57%	8.23%	27.09%	49.93%	10.05%	0.00%
農学部	0.69%	1.79%	7.86%	24.85%	51.87%	12.93%	0.00%
教養教育運営機構	1.31%	2.23%	5.53%	21.53%	54.22%	15.17%	0.00%

全体(前期)%

B-2 この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
文化教育学部	0.82%	1.62%	5.70%	16.03%	49.23%	26.59%	0.00%
経済学部	2.79%	2.94%	9.91%	24.07%	48.68%	11.61%	0.00%
理工学部	1.01%	3.73%	8.44%	30.35%	44.39%	12.07%	0.00%
農学部	0.69%	2.27%	8.50%	25.80%	45.75%	16.99%	0.00%
教養教育運営機構	1.06%	2.87%	6.32%	24.33%	47.24%	18.18%	0.00%

B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
文化教育学部	9.53%	1.82%	6.50%	23.07%	42.88%	16.20%	0.00%
経済学部	3.87%	3.48%	9.37%	22.76%	46.52%	14.01%	0.00%
理工学部	4.07%	3.63%	8.13%	28.63%	43.96%	11.57%	0.00%
農学部	4.75%	3.17%	9.08%	26.91%	44.12%	11.98%	0.00%
教養教育運営機構	7.02%	2.01%	5.02%	26.43%	45.86%	13.66%	0.00%

B-4 教材(テキスト、配布資料、その他)はわかりやすかった

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
文化教育学部	7.41%	1.08%	4.37%	21.31%	47.90%	17.93%	0.00%
経済学部	3.72%	3.02%	7.74%	23.30%	49.46%	12.77%	0.00%
理工学部	2.65%	3.24%	7.66%	28.40%	46.47%	11.58%	0.00%
農学部	2.59%	1.95%	8.97%	27.02%	45.96%	13.51%	0.00%
教養教育運営機構	7.81%	1.81%	4.29%	26.24%	46.77%	13.08%	0.00%

B-5 シラバスは学習する上で役に立っている

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
文化教育学部	14.02%	1.62%	4.09%	34.62%	35.05%	10.61%	0.00%
経済学部	12.23%	2.63%	4.49%	34.91%	38.31%	7.43%	0.00%
理工学部	5.69%	2.98%	5.81%	38.94%	37.39%	9.20%	0.00%
農学部	10.71%	0.74%	7.28%	39.53%	33.56%	8.18%	0.00%
教養教育運営機構	11.42%	2.11%	4.86%	41.66%	32.24%	7.71%	0.00%

B-6 授業内容はシラバスに沿っている

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
文化教育学部	14.36%	0.79%	1.99%	30.73%	39.33%	12.80%	0.00%
経済学部	14.40%	1.32%	2.79%	29.41%	43.58%	8.51%	0.00%
理工学部	7.85%	1.46%	2.21%	30.68%	46.47%	11.34%	0.00%
農学部	14.14%	0.47%	2.80%	34.35%	39.63%	8.60%	0.00%
教養教育運営機構	12.94%	1.32%	2.13%	35.54%	39.08%	8.99%	0.00%

B-7 声の大きさ・明瞭さは適切だった

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
文化教育学部	1.76%	0.99%	5.25%	12.43%	56.36%	23.21%	0.00%
経済学部	2.86%	2.32%	6.89%	16.64%	56.19%	15.09%	0.00%
理工学部	2.75%	2.88%	5.76%	20.16%	54.88%	13.58%	0.00%
農学部	1.64%	1.69%	7.12%	18.89%	57.36%	13.30%	0.00%

全体(前期)%

教養教育運営機構	1.41%	1.69%	5.01%	17.29%	57.33%	17.26%	0.00%
----------	-------	-------	-------	--------	--------	--------	-------

B-8 話す速さは適切だった

	該当しない・わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
文化教育学部	3.21%	0.23%	2.21%	86.63%	6.95%	0.77%	0.00%
経済学部	4.26%	0.54%	2.24%	76.86%	13.78%	2.32%	0.00%
理工学部	4.38%	0.61%	1.95%	80.35%	10.19%	2.52%	0.00%
農学部	2.96%	0.32%	2.85%	84.59%	8.23%	1.06%	0.00%
教養教育運営機構	2.76%	0.57%	2.46%	84.22%	8.07%	1.92%	0.00%

B-9 授業の進む速さは適切だった

	該当しない・わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
文化教育学部	3.69%	0.54%	2.75%	83.14%	8.71%	1.16%	0.00%
経済学部	5.03%	0.39%	1.78%	77.94%	12.54%	2.32%	0.00%
理工学部	4.61%	0.54%	2.16%	74.28%	14.25%	4.16%	0.00%
農学部	4.12%	0.47%	3.43%	76.52%	13.35%	2.11%	0.00%
教養教育運営機構	3.42%	0.65%	3.27%	81.85%	8.62%	2.18%	0.00%

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
文化教育学部	2.81%	1.53%	4.77%	19.89%	52.19%	18.81%	0.00%
経済学部	3.87%	2.48%	6.81%	22.45%	52.40%	12.00%	0.00%
理工学部	3.27%	3.57%	6.63%	28.16%	48.18%	10.19%	0.00%
農学部	1.85%	2.06%	6.23%	28.23%	48.65%	12.98%	0.00%
教養教育運営機構	3.01%	1.90%	4.93%	25.90%	51.37%	12.91%	0.00%

C-2 学生の質問に適切に対応している

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
文化教育学部	3.18%	0.82%	2.75%	15.64%	51.05%	26.56%	0.00%
経済学部	7.82%	1.39%	3.10%	24.54%	46.83%	16.33%	0.00%
理工学部	4.06%	2.05%	3.35%	24.07%	51.69%	14.79%	0.00%
農学部	4.91%	0.95%	2.90%	25.12%	46.54%	19.58%	0.00%
教養教育運営機構	5.47%	1.42%	2.69%	24.41%	49.42%	16.59%	0.00%

D-1 この授業を受講して満足が得られた

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
文化教育学部	1.16%	1.67%	4.48%	17.40%	48.58%	26.70%	0.00%
経済学部	3.10%	3.10%	6.73%	26.16%	47.52%	13.39%	0.00%
理工学部	1.49%	3.78%	6.17%	29.78%	47.07%	11.71%	0.00%
農学部	0.90%	2.22%	7.39%	27.81%	45.01%	16.68%	0.00%
教養教育運営機構	1.77%	2.48%	4.88%	23.69%	48.55%	18.63%	0.00%

全体(後期)%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20-40%	40-60%	60-80%	80%以上	なし
文化教育学部	0.69%	0.79%	1.73%	9.83%	86.96%	0.00%
経済学部	2.34%	2.54%	6.74%	16.85%	71.53%	0.00%
理工学部	0.91%	0.57%	1.81%	8.49%	88.21%	0.00%
農学部	0.49%	0.25%	1.41%	7.43%	90.42%	0.00%
教養教育運営機構	1.02%	0.83%	2.30%	11.86%	83.98%	0.00%

A-2 予習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
文化教育学部	54.57%	30.16%	8.25%	2.57%	4.44%	0.00%
経済学部	45.68%	39.14%	8.01%	3.44%	3.72%	0.00%
理工学部	28.94%	47.68%	13.74%	4.61%	5.04%	0.00%
農学部	55.56%	35.11%	6.24%	1.67%	1.42%	0.00%
教養教育運営機構	53.57%	32.77%	8.54%	2.76%	2.37%	0.00%

A-3 復習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
文化教育学部	47.29%	37.67%	8.88%	2.29%	3.88%	0.00%
経済学部	36.69%	45.59%	10.50%	3.78%	3.43%	0.00%
理工学部	21.41%	51.55%	16.61%	4.84%	5.59%	0.00%
農学部	38.93%	46.39%	10.80%	2.16%	1.73%	0.00%
教養教育運営機構	49.81%	38.19%	7.23%	2.63%	2.14%	0.00%

A-4 この授業の学習目標を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
文化教育学部	0.92%	1.20%	4.51%	15.22%	57.28%	20.86%	0.00%
経済学部	1.90%	2.18%	8.37%	20.82%	52.45%	14.29%	0.00%
理工学部	1.11%	1.57%	5.73%	25.84%	51.11%	14.63%	0.00%
農学部	1.22%	1.95%	6.52%	21.27%	54.91%	14.14%	0.00%
教養教育運営機構	1.51%	2.27%	5.17%	23.89%	52.31%	14.84%	0.00%

A-5 この授業の成績評価基準を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
文化教育学部	0.75%	0.68%	3.93%	13.03%	55.98%	25.62%	0.00%
経済学部	1.77%	1.29%	5.58%	17.62%	51.56%	22.18%	0.00%
理工学部	0.83%	0.91%	4.00%	19.86%	51.70%	22.71%	0.00%
農学部	0.91%	1.22%	4.27%	14.99%	57.83%	20.78%	0.00%
教養教育運営機構	1.17%	1.69%	3.95%	20.29%	51.35%	21.54%	0.00%

B-1 この授業の内容は理解できる

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
文化教育学部	0.58%	0.82%	3.42%	12.86%	58.79%	23.53%	0.00%
経済学部	1.56%	3.54%	7.01%	24.22%	49.86%	13.81%	0.00%
理工学部	1.15%	2.56%	7.61%	28.52%	49.48%	10.68%	0.00%
農学部	1.04%	2.01%	8.59%	21.27%	55.15%	11.94%	0.00%
教養教育運営機構	1.23%	2.15%	4.44%	22.05%	54.32%	15.81%	0.00%

全体(後期)%

B-2 この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
文化教育学部	0.58%	0.99%	3.66%	15.01%	49.59%	30.16%	0.00%
経済学部	1.50%	3.61%	7.35%	21.90%	47.96%	17.69%	0.00%
理工学部	1.21%	2.40%	7.27%	30.62%	44.09%	14.41%	0.00%
農学部	1.10%	2.25%	7.56%	19.62%	51.74%	17.73%	0.00%
教養教育運営機構	1.04%	2.45%	5.56%	24.18%	47.78%	18.99%	0.00%

B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
文化教育学部	8.62%	1.13%	4.51%	19.60%	46.48%	19.66%	0.00%
経済学部	2.45%	4.49%	7.35%	22.24%	46.33%	17.14%	0.00%
理工学部	3.03%	2.68%	7.39%	28.54%	45.32%	13.04%	0.00%
農学部	4.08%	2.19%	8.10%	21.76%	49.48%	14.38%	0.00%
教養教育運営機構	6.27%	2.03%	4.93%	27.13%	45.08%	14.56%	0.00%

B-4 教材(テキスト、配布資料、その他)はわかりやすかった

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
文化教育学部	7.87%	1.03%	3.56%	17.72%	49.35%	20.49%	0.00%
経済学部	1.97%	3.06%	7.76%	22.93%	48.30%	15.99%	0.00%
理工学部	2.54%	2.28%	6.72%	28.89%	46.85%	12.72%	0.00%
農学部	3.90%	1.46%	6.70%	24.56%	49.36%	14.02%	0.00%
教養教育運営機構	7.22%	1.97%	4.04%	26.72%	46.11%	13.95%	0.00%

B-5 シラバスは学習する上で役に立っている

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
文化教育学部	10.36%	1.30%	3.86%	33.86%	36.90%	13.71%	0.00%
経済学部	8.50%	2.24%	5.51%	34.08%	38.16%	11.50%	0.00%
理工学部	6.52%	1.94%	5.07%	37.61%	38.96%	9.91%	0.00%
農学部	9.99%	0.85%	3.78%	36.99%	40.34%	8.04%	0.00%
教養教育運営機構	10.74%	1.75%	4.16%	39.19%	34.84%	9.33%	0.00%

B-6 授業内容はシラバスに沿っている

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
文化教育学部	11.25%	0.68%	1.57%	28.76%	43.19%	14.53%	0.00%
経済学部	10.00%	1.56%	3.06%	30.27%	42.93%	12.18%	0.00%
理工学部	7.47%	1.13%	2.04%	30.82%	46.25%	12.29%	0.00%
農学部	12.68%	0.37%	1.10%	31.87%	45.09%	8.90%	0.00%
教養教育運営機構	11.36%	1.06%	2.12%	35.41%	39.78%	10.27%	0.00%

B-7 声の大きさ・明瞭さは適切だった

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
文化教育学部	1.23%	0.75%	3.18%	10.36%	59.34%	25.14%	0.00%
経済学部	1.84%	3.40%	8.91%	15.03%	53.47%	17.35%	0.00%
理工学部	1.84%	1.80%	5.17%	21.72%	54.40%	15.08%	0.00%
農学部	1.71%	1.34%	6.76%	17.00%	59.35%	13.83%	0.00%

全体(後期)%

教養教育運営機構	1.45%	1.58%	3.73%	18.91%	56.39%	17.95%	0.00%
----------	-------	-------	-------	--------	--------	--------	-------

B-8 話す速さは適切だった

	該当しない・わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
文化教育学部	2.19%	0.38%	2.05%	86.70%	7.25%	1.44%	0.00%
経済学部	4.63%	0.68%	2.24%	77.82%	12.24%	2.38%	0.00%
理工学部	3.55%	0.30%	1.72%	83.04%	9.43%	1.96%	0.00%
農学部	3.41%	0.37%	1.46%	84.03%	9.87%	0.85%	0.00%
教養教育運営機構	2.87%	0.55%	2.05%	85.55%	7.59%	1.41%	0.00%

B-9 授業の進む速さは適切だった

	該当しない・わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
文化教育学部	3.11%	0.48%	3.21%	84.88%	6.94%	1.37%	0.00%
経済学部	5.10%	0.95%	3.27%	76.26%	11.50%	2.93%	0.00%
理工学部	3.98%	0.36%	1.88%	79.17%	12.03%	2.58%	0.00%
農学部	3.60%	0.37%	2.07%	78.00%	14.44%	1.52%	0.00%
教養教育運営機構	3.40%	0.57%	3.08%	83.47%	7.78%	1.69%	0.00%

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
文化教育学部	2.43%	1.23%	3.49%	17.27%	53.39%	22.20%	0.00%
経済学部	3.20%	3.74%	6.53%	24.15%	47.89%	14.49%	0.00%
理工学部	2.91%	2.14%	5.23%	29.47%	48.43%	11.83%	0.00%
農学部	2.38%	1.52%	6.40%	22.85%	52.71%	14.14%	0.00%
教養教育運営機構	3.15%	2.01%	4.20%	26.10%	50.07%	14.47%	0.00%

C-2 学生の質問に適切に対応している

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
文化教育学部	2.53%	0.75%	1.92%	12.86%	51.92%	30.03%	0.00%
経済学部	7.69%	1.90%	3.88%	22.79%	48.37%	15.37%	0.00%
理工学部	4.34%	1.37%	3.07%	25.62%	49.84%	15.77%	0.00%
農学部	6.09%	0.55%	1.65%	21.51%	50.94%	19.26%	0.00%
教養教育運営機構	5.38%	1.28%	2.41%	25.73%	47.56%	17.65%	0.00%

D-1 この授業を受講して満足が得られた

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
文化教育学部	0.82%	1.30%	2.84%	15.12%	50.75%	29.17%	0.00%
経済学部	2.24%	4.15%	6.73%	22.45%	48.03%	16.39%	0.00%
理工学部	1.76%	2.64%	5.09%	31.33%	46.06%	13.12%	0.00%
農学部	1.34%	1.58%	5.18%	22.73%	52.35%	16.82%	0.00%
教養教育運営機構	1.51%	2.37%	4.00%	23.90%	48.76%	19.46%	0.00%

文教(前期)%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20-40%	40-60%	60-80%	80%以上	なし
学校教育課程	0.47%	0.07%	1.62%	7.28%	90.56%	0.00%
国際文化課程	1.60%	0.32%	1.70%	9.15%	87.23%	0.00%
人間環境課程	2.02%	0.38%	2.77%	13.10%	81.74%	0.00%
美術・工芸課程	0.36%	0.00%	0.00%	7.19%	92.45%	0.00%

A-2 予習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
学校教育課程	57.51%	27.96%	6.34%	2.27%	5.92%	0.00%
国際文化課程	40.11%	37.72%	13.15%	5.87%	3.15%	0.00%
人間環境課程	57.58%	26.86%	11.17%	2.93%	1.46%	0.00%
美術・工芸課程	66.54%	19.62%	3.85%	2.31%	7.69%	0.00%

A-3 復習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
学校教育課程	49.66%	37.12%	5.89%	2.12%	5.21%	0.00%
国際文化課程	38.06%	45.15%	11.01%	3.60%	2.18%	0.00%
人間環境課程	46.42%	40.19%	9.02%	2.52%	1.86%	0.00%
美術・工芸課程	57.03%	27.38%	4.94%	3.04%	7.60%	0.00%

A-4 この授業の学習目標を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
学校教育課程	1.60%	1.67%	4.67%	18.28%	55.57%	18.21%	0.00%
国際文化課程	1.69%	0.63%	3.91%	16.79%	58.61%	18.37%	0.00%
人間環境課程	3.38%	1.25%	5.39%	22.31%	56.14%	11.53%	0.00%
美術・工芸課程	0.00%	0.00%	0.71%	12.86%	65.00%	21.43%	0.00%

A-5 この授業の成績評価基準を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
学校教育課程	1.27%	1.53%	3.94%	14.28%	57.71%	21.28%	0.00%
国際文化課程	1.06%	0.74%	1.69%	11.83%	56.92%	27.77%	0.00%
人間環境課程	2.38%	1.25%	4.76%	18.55%	56.27%	16.79%	0.00%
美術・工芸課程	0.36%	0.36%	2.86%	14.64%	53.57%	28.21%	0.00%

B-1 この授業の内容は理解できる

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
学校教育課程	0.73%	1.13%	5.27%	15.08%	56.77%	21.01%	0.00%
国際文化課程	0.63%	1.27%	4.12%	13.62%	59.35%	21.01%	0.00%
人間環境課程	0.88%	3.01%	5.26%	18.30%	58.15%	14.41%	0.00%
美術・工芸課程	1.43%	0.00%	0.00%	7.50%	64.29%	26.79%	0.00%

B-2 この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
学校教育課程	0.67%	1.47%	6.60%	17.95%	47.70%	25.62%	0.00%
国際文化課程	0.84%	1.16%	4.22%	12.78%	51.53%	29.46%	0.00%
人間環境課程	1.00%	2.76%	7.14%	19.67%	50.13%	19.30%	0.00%

文教(前期)%

美術・工芸課程	1.07%	0.71%	1.79%	6.43%	47.14%	42.86%	0.00%
---------	-------	-------	-------	-------	--------	--------	-------

B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
学校教育課程	11.21%	1.40%	6.80%	23.62%	41.43%	15.54%	0.00%
国際文化課程	3.59%	2.22%	6.76%	19.32%	48.15%	19.96%	0.00%
人間環境課程	9.90%	2.63%	7.14%	27.57%	40.35%	12.41%	0.00%
美術・工芸課程	19.64%	0.36%	2.14%	20.00%	40.00%	17.86%	0.00%

B-4 教材(テキスト、配布資料、その他)はわかりやすかった

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
学校教育課程	7.27%	1.20%	4.47%	21.15%	47.10%	18.81%	0.00%
国際文化課程	2.22%	1.16%	5.07%	17.00%	51.43%	23.13%	0.00%
人間環境課程	8.40%	1.13%	4.26%	26.32%	48.75%	11.15%	0.00%
美術・工芸課程	22.86%	0.00%	1.79%	22.50%	37.86%	15.00%	0.00%

B-5 シラバスは学習する上で役に立っている

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
学校教育課程	15.01%	1.13%	3.87%	34.76%	34.16%	11.07%	0.00%
国際文化課程	11.09%	2.11%	3.48%	29.04%	40.65%	13.62%	0.00%
人間環境課程	14.41%	1.75%	3.51%	40.85%	33.21%	6.27%	0.00%
美術・工芸課程	17.50%	2.14%	8.93%	35.00%	26.07%	10.36%	0.00%

B-6 授業内容はシラバスに沿っている

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
学校教育課程	14.88%	0.47%	1.60%	28.75%	40.56%	13.74%	0.00%
国際文化課程	12.04%	1.06%	2.75%	24.92%	43.72%	15.52%	0.00%
人間環境課程	14.54%	1.00%	1.75%	39.22%	35.59%	7.89%	0.00%
美術・工芸課程	18.93%	1.07%	2.14%	36.79%	28.57%	12.50%	0.00%

B-7 声の大きさ・明瞭さは適切だった

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
学校教育課程	2.40%	0.93%	5.60%	14.08%	53.64%	23.35%	0.00%
国際文化課程	0.84%	1.06%	5.39%	8.98%	56.60%	27.14%	0.00%
人間環境課程	1.00%	1.38%	6.02%	15.54%	59.27%	16.79%	0.00%
美術・工芸課程	3.57%	0.00%	0.71%	6.43%	61.79%	27.50%	0.00%

B-8 話す速さは適切だった

	該当しない・わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
学校教育課程	3.87%	0.27%	2.47%	86.32%	6.54%	0.53%	0.00%
国際文化課程	1.90%	0.00%	1.90%	86.06%	8.87%	1.27%	0.00%
人間環境課程	3.26%	0.38%	2.26%	85.96%	7.39%	0.75%	0.00%
美術・工芸課程	3.93%	0.36%	1.79%	92.14%	1.43%	0.36%	0.00%

B-9 授業の進む速さは適切だった

文教(前期)%

	該当しない・ わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
学校教育課程	4.34%	0.47%	2.40%	83.59%	7.87%	1.33%	0.00%
国際文化課程	2.22%	0.42%	3.59%	82.26%	10.03%	1.48%	0.00%
人間環境課程	4.01%	0.88%	2.76%	83.33%	8.27%	0.75%	0.00%
美術・工芸課程	4.29%	0.36%	1.79%	83.21%	10.00%	0.36%	0.00%

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
学校教育課程	3.87%	1.53%	4.74%	21.88%	50.23%	17.75%	0.00%
国際文化課程	1.27%	1.37%	4.12%	15.52%	54.49%	23.23%	0.00%
人間環境課程	2.26%	2.26%	6.77%	24.19%	51.63%	12.91%	0.00%
美術・工芸課程	3.93%	0.00%	1.43%	11.79%	56.43%	26.43%	0.00%

C-2 学生の質問に適切に対応している

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
学校教育課程	3.40%	0.87%	3.47%	16.88%	51.23%	24.15%	0.00%
国際文化課程	2.96%	0.84%	1.80%	13.20%	49.84%	31.36%	0.00%
人間環境課程	3.38%	0.88%	3.51%	20.68%	51.63%	19.92%	0.00%
美術・工芸課程	2.14%	0.36%	0.00%	2.86%	52.50%	42.14%	0.00%

D-1 この授業を受講して満足が得られた

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
学校教育課程	1.33%	1.47%	4.80%	19.08%	48.43%	24.88%	0.00%
国際文化課程	1.06%	1.58%	3.70%	14.15%	49.10%	30.41%	0.00%
人間環境課程	0.88%	2.63%	6.02%	22.56%	50.25%	17.67%	0.00%
美術・工芸課程	1.43%	0.36%	1.07%	4.64%	42.86%	49.64%	0.00%

文教(後期)%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20-40%	40-60%	60-80%	80%以上	なし
学校教育課程	1.23%	0.41%	1.23%	6.83%	90.30%	0.00%
国際文化課程	0.46%	1.27%	3.11%	12.43%	82.74%	0.00%
人間環境課程	0.17%	1.21%	1.04%	10.71%	86.87%	0.00%
美術・工芸課程	0.00%	0.00%	0.85%	13.68%	85.47%	0.00%

A-2 予習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
学校教育課程	56.53%	29.34%	8.06%	1.91%	4.16%	0.00%
国際文化課程	46.49%	34.07%	12.41%	3.63%	3.40%	0.00%
人間環境課程	57.72%	28.95%	4.39%	2.11%	6.84%	0.00%
美術・工芸課程	67.79%	22.12%	2.88%	3.37%	3.85%	0.00%

A-3 復習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
学校教育課程	46.85%	37.23%	10.45%	1.74%	3.73%	0.00%
国際文化課程	46.42%	37.40%	10.20%	3.05%	2.93%	0.00%
人間環境課程	45.45%	41.08%	5.24%	2.10%	6.12%	0.00%
美術・工芸課程	58.45%	31.88%	4.35%	2.90%	2.42%	0.00%

A-4 この授業の学習目標を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
学校教育課程	0.89%	1.38%	5.20%	14.72%	56.91%	20.89%	0.00%
国際文化課程	0.80%	1.15%	4.13%	17.55%	55.85%	20.53%	0.00%
人間環境課程	1.54%	1.37%	4.12%	15.44%	59.52%	18.01%	0.00%
美術・工芸課程	0.00%	0.00%	3.35%	8.79%	59.00%	28.87%	0.00%

A-5 この授業の成績評価基準を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
学校教育課程	0.73%	0.65%	4.15%	12.28%	57.15%	25.04%	0.00%
国際文化課程	0.69%	0.34%	3.33%	12.73%	54.82%	28.10%	0.00%
人間環境課程	1.20%	1.54%	4.46%	15.44%	56.78%	20.58%	0.00%
美術・工芸課程	0.00%	0.00%	3.77%	12.13%	52.30%	31.80%	0.00%

B-1 この授業の内容は理解できる

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
学校教育課程	0.57%	1.06%	3.90%	13.41%	56.91%	24.15%	0.00%
国際文化課程	0.23%	0.92%	4.01%	15.02%	57.45%	22.36%	0.00%
人間環境課程	1.20%	0.51%	2.74%	11.32%	62.95%	21.27%	0.00%
美術・工芸課程	0.42%	0.00%	0.42%	5.86%	63.18%	30.13%	0.00%

B-2 この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
学校教育課程	0.57%	1.14%	4.72%	14.96%	48.29%	30.33%	0.00%
国際文化課程	0.23%	1.03%	3.21%	18.69%	47.82%	29.01%	0.00%
人間環境課程	1.03%	1.03%	2.92%	13.55%	57.29%	24.19%	0.00%

文教(後期)%

美術・工芸課程	0.84%	0.00%	1.67%	5.44%	43.93%	48.12%	0.00%
---------	-------	-------	-------	-------	--------	--------	-------

B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
学校教育課程	11.87%	0.98%	4.80%	20.41%	43.66%	18.29%	0.00%
国際文化課程	3.44%	1.38%	5.62%	20.18%	48.97%	20.41%	0.00%
人間環境課程	6.17%	1.54%	3.77%	20.07%	50.43%	18.01%	0.00%
美術・工芸課程	16.74%	0.00%	0.84%	12.13%	42.26%	28.03%	0.00%

B-4 教材(テキスト、配布資料、その他)はわかりやすかった

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
学校教育課程	10.57%	0.98%	3.74%	17.40%	46.91%	20.41%	0.00%
国際文化課程	2.52%	1.38%	3.67%	19.27%	51.61%	21.56%	0.00%
人間環境課程	6.17%	1.03%	4.12%	18.70%	51.29%	18.70%	0.00%
美術・工芸課程	17.57%	0.00%	0.84%	11.30%	48.95%	21.34%	0.00%

B-5 シラバスは学習する上で役に立っている

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
学校教育課程	9.27%	1.30%	4.31%	32.93%	39.11%	13.09%	0.00%
国際文化課程	6.08%	1.03%	3.44%	38.19%	35.67%	15.60%	0.00%
人間環境課程	12.35%	1.72%	2.74%	31.56%	37.91%	13.72%	0.00%
美術・工芸課程	26.78%	1.26%	5.86%	28.45%	27.62%	10.04%	0.00%

B-6 授業内容はシラバスに沿っている

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
学校教育課程	10.65%	0.73%	1.54%	26.91%	45.20%	14.96%	0.00%
国際文化課程	6.31%	0.57%	2.18%	31.65%	43.81%	15.48%	0.00%
人間環境課程	12.86%	1.03%	1.20%	28.30%	42.71%	13.89%	0.00%
美術・工芸課程	28.45%	0.00%	0.42%	28.87%	31.80%	10.46%	0.00%

B-7 声の大きさ・明瞭さは適切だった

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
学校教育課程	1.63%	0.81%	4.07%	11.06%	57.80%	24.63%	0.00%
国際文化課程	0.23%	1.15%	3.90%	13.07%	56.88%	24.77%	0.00%
人間環境課程	1.37%	0.34%	0.69%	7.89%	65.87%	23.84%	0.00%
美術・工芸課程	2.51%	0.00%	2.09%	2.93%	60.25%	32.22%	0.00%

B-8 話す速さは適切だった

	該当しない・わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
学校教育課程	3.01%	0.16%	1.87%	86.75%	6.91%	1.30%	0.00%
国際文化課程	1.38%	0.34%	2.29%	83.14%	10.67%	2.18%	0.00%
人間環境課程	1.72%	0.86%	1.72%	89.02%	5.49%	1.20%	0.00%
美術・工芸課程	2.09%	0.42%	2.93%	93.72%	0.84%	0.00%	0.00%

B-9 授業の進む速さは適切だった

文教(後期)%

	該当しない・ わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
学校教育課程	4.07%	0.49%	2.93%	84.96%	6.18%	1.38%	0.00%
国際文化課程	2.52%	0.46%	4.70%	82.22%	8.49%	1.61%	0.00%
人間環境課程	2.57%	0.51%	2.40%	85.59%	7.38%	1.54%	0.00%
美術・工芸課程	1.67%	0.42%	1.26%	92.47%	4.18%	0.00%	0.00%

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
学校教育課程	3.25%	1.38%	4.55%	17.56%	49.35%	23.90%	0.00%
国際文化課程	1.15%	1.49%	3.21%	18.92%	54.47%	20.76%	0.00%
人間環境課程	1.89%	1.03%	2.74%	16.98%	57.80%	19.55%	0.00%
美術・工芸課程	4.18%	0.00%	0.84%	10.46%	59.41%	25.10%	0.00%

C-2 学生の質問に適切に対応している

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
学校教育課程	1.71%	1.14%	2.76%	13.74%	50.00%	30.65%	0.00%
国際文化課程	3.90%	0.80%	1.61%	15.14%	49.89%	28.67%	0.00%
人間環境課程	2.06%	0.17%	1.20%	11.49%	59.86%	25.21%	0.00%
美術・工芸課程	2.93%	0.00%	0.42%	3.35%	49.79%	43.51%	0.00%

D-1 この授業を受講して満足が得られた

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
学校教育課程	0.49%	1.63%	4.07%	15.20%	48.46%	30.16%	0.00%
国際文化課程	0.80%	1.15%	2.06%	19.27%	48.97%	27.75%	0.00%
人間環境課程	1.20%	1.20%	2.40%	12.69%	57.29%	25.21%	0.00%
美術・工芸課程	1.67%	0.42%	0.42%	5.44%	53.14%	38.91%	0.00%

経済(前期)%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20-40%	40-60%	60-80%	80%以上	なし
国際経済社会コース	1.87%	2.62%	7.12%	16.48%	71.91%	0.00%
総合政策コース	2.92%	3.80%	3.80%	13.45%	76.02%	0.00%
企業経営コース	3.12%	0.96%	2.88%	17.51%	75.54%	0.00%
法務管理コース	3.09%	3.09%	5.79%	18.53%	69.50%	0.00%

A-2 予習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
国際経済社会コース	45.59%	35.63%	11.88%	3.07%	3.83%	0.00%
総合政策コース	52.37%	33.73%	7.99%	3.85%	2.07%	0.00%
企業経営コース	53.58%	34.81%	5.19%	1.98%	4.44%	0.00%
法務管理コース	56.13%	31.62%	9.49%	2.37%	0.40%	0.00%

A-3 復習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
国際経済社会コース	34.10%	45.21%	13.41%	3.45%	3.83%	0.00%
総合政策コース	44.71%	39.41%	9.12%	3.24%	3.53%	0.00%
企業経営コース	44.23%	40.05%	8.35%	2.95%	4.42%	0.00%
法務管理コース	47.43%	36.36%	10.28%	4.74%	1.19%	0.00%

A-4 この授業の学習目標を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
国際経済社会コース	1.12%	2.24%	8.58%	22.76%	50.37%	14.93%	0.00%
総合政策コース	2.03%	2.90%	8.41%	22.32%	53.91%	10.43%	0.00%
企業経営コース	1.20%	1.67%	6.94%	18.66%	55.98%	15.55%	0.00%
法務管理コース	3.07%	2.68%	11.49%	29.50%	45.59%	7.66%	0.00%

A-5 この授業の成績評価基準を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
国際経済社会コース	0.75%	1.12%	5.60%	16.42%	53.36%	22.76%	0.00%
総合政策コース	1.74%	1.74%	5.51%	20.87%	52.46%	17.68%	0.00%
企業経営コース	1.20%	1.20%	5.74%	15.07%	50.72%	26.08%	0.00%
法務管理コース	2.30%	3.45%	8.05%	21.84%	53.26%	11.11%	0.00%

B-1 この授業の内容は理解できる

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
国際経済社会コース	1.12%	2.61%	11.57%	26.49%	49.25%	8.96%	0.00%
総合政策コース	3.48%	3.48%	7.54%	25.51%	53.33%	6.67%	0.00%
企業経営コース	2.63%	1.91%	8.37%	14.59%	52.63%	19.86%	0.00%
法務管理コース	3.45%	4.60%	10.73%	24.90%	50.96%	5.36%	0.00%

経済(前期)%

B-2 この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
国際経済社会コース	2.24%	2.61%	14.18%	22.76%	49.25%	8.96%	0.00%
総合政策コース	3.19%	2.61%	8.70%	26.67%	50.72%	8.12%	0.00%
企業経営コース	2.39%	1.67%	8.37%	18.90%	50.24%	18.42%	0.00%
法務管理コース	3.45%	5.75%	9.58%	30.27%	42.91%	8.05%	0.00%

B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
国際経済社会コース	2.61%	2.24%	8.96%	20.52%	49.25%	16.42%	0.00%
総合政策コース	5.22%	4.35%	10.72%	27.83%	44.93%	6.96%	0.00%
企業経営コース	3.35%	2.15%	6.94%	16.75%	48.56%	22.25%	0.00%
法務管理コース	4.21%	5.75%	11.88%	27.97%	42.53%	7.66%	0.00%

B-4 教材(テキスト、配布資料、その他)はわかりやすかった

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
国際経済社会コース	4.10%	1.49%	9.33%	20.90%	50.75%	13.43%	0.00%
総合政策コース	3.77%	3.19%	6.96%	28.99%	48.70%	8.41%	0.00%
企業経営コース	3.11%	1.91%	5.98%	17.94%	52.63%	18.42%	0.00%
法務管理コース	4.21%	6.13%	9.96%	26.82%	44.06%	8.81%	0.00%

B-5 シラバスは学習する上で役に立っている

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
国際経済社会コース	9.70%	0.75%	5.97%	35.45%	41.04%	7.09%	0.00%
総合政策コース	11.59%	4.06%	3.48%	37.39%	39.71%	3.77%	0.00%
企業経営コース	11.24%	1.91%	3.83%	28.71%	42.11%	12.20%	0.00%
法務管理コース	17.24%	3.83%	5.36%	41.00%	27.59%	4.98%	0.00%

B-6 授業内容はシラバスに沿っている

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
国際経済社会コース	10.82%	0.37%	4.10%	24.63%	52.24%	7.84%	0.00%
総合政策コース	15.36%	1.16%	2.61%	30.43%	46.38%	4.06%	0.00%
企業経営コース	12.44%	0.96%	2.15%	25.84%	43.54%	15.07%	0.00%
法務管理コース	19.92%	3.07%	2.68%	38.70%	31.03%	4.60%	0.00%

B-7 声の大きさ・明瞭さは適切だった

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
国際経済社会コース	1.87%	1.12%	9.33%	12.69%	60.45%	14.55%	0.00%
総合政策コース	3.19%	4.93%	9.28%	21.74%	49.57%	11.30%	0.00%
企業経営コース	2.87%	0.72%	4.31%	11.72%	58.37%	22.01%	0.00%
法務管理コース	3.45%	2.68%	5.36%	21.84%	57.09%	9.58%	0.00%

経済(前期)%

B-8 話す速さは適切だった

	該当しない・ わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
国際経済社会コース	2.99%	0.37%	2.99%	80.60%	12.69%	0.37%	0.00%
総合政策コース	5.22%	0.58%	2.90%	72.46%	16.23%	2.61%	0.00%
企業経営コース	3.59%	0.24%	1.67%	77.75%	13.16%	3.59%	0.00%
法務管理コース	5.36%	1.15%	1.53%	77.39%	12.64%	1.92%	0.00%

B-9 授業の進む速さは適切だった

	該当しない・ わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
国際経済社会コース	3.36%	0.00%	2.61%	76.49%	16.79%	0.75%	0.00%
総合政策コース	5.51%	0.58%	1.74%	77.10%	13.33%	1.74%	0.00%
企業経営コース	4.07%	0.24%	1.67%	79.43%	11.48%	3.11%	0.00%
法務管理コース	7.66%	0.77%	1.15%	78.16%	8.81%	3.45%	0.00%

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
国際経済社会コース	4.48%	1.12%	8.21%	23.51%	51.12%	11.57%	0.00%
総合政策コース	3.77%	2.90%	6.09%	26.67%	53.62%	6.96%	0.00%
企業経営コース	3.35%	0.72%	5.26%	17.22%	54.31%	19.14%	0.00%
法務管理コース	4.21%	6.13%	8.81%	24.14%	49.04%	7.66%	0.00%

C-2 学生の質問に適切に対応してくれている

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
国際経済社会コース	7.09%	0.37%	3.73%	25.00%	40.67%	23.13%	0.00%
総合政策コース	10.14%	1.45%	2.32%	26.67%	50.43%	8.99%	0.00%
企業経営コース	5.74%	0.72%	3.11%	20.33%	49.76%	20.33%	0.00%
法務管理コース	8.81%	3.45%	3.45%	27.97%	43.68%	12.64%	0.00%

D-1 この授業を受講して満足が得られた

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
国際経済社会コース	3.36%	1.87%	7.09%	25.37%	48.51%	13.81%	0.00%
総合政策コース	3.19%	2.90%	6.67%	31.01%	48.12%	8.12%	0.00%
企業経営コース	2.87%	1.67%	6.46%	19.38%	49.28%	20.33%	0.00%
法務管理コース	3.07%	6.90%	6.90%	31.42%	42.91%	8.81%	0.00%

経済(後期)%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20-40%	40-60%	60-80%	80%以上	なし
国際経済社会コース	3.52%	2.64%	7.05%	16.74%	70.04%	0.00%
総合政策コース	0.76%	1.90%	6.46%	13.69%	77.19%	0.00%
企業経営コース	2.52%	1.96%	8.12%	18.49%	68.91%	0.00%
法務管理コース	1.84%	3.42%	5.26%	17.63%	71.84%	0.00%

A-2 予習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
国際経済社会コース	43.47%	43.47%	7.21%	2.93%	2.93%	0.00%
総合政策コース	48.82%	37.80%	7.09%	3.54%	2.76%	0.00%
企業経営コース	50.43%	30.37%	9.46%	4.01%	5.73%	0.00%
法務管理コース	41.76%	43.09%	8.24%	3.46%	3.46%	0.00%

A-3 復習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
国際経済社会コース	33.56%	50.68%	10.14%	3.38%	2.25%	0.00%
総合政策コース	43.31%	40.94%	9.84%	3.54%	2.36%	0.00%
企業経営コース	38.81%	41.36%	9.63%	4.53%	5.67%	0.00%
法務管理コース	33.95%	46.68%	12.20%	3.71%	3.45%	0.00%

A-4 この授業の学習目標を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
国際経済社会コース	2.41%	2.63%	11.16%	23.85%	45.73%	14.22%	0.00%
総合政策コース	2.25%	2.25%	5.99%	15.36%	58.05%	16.10%	0.00%
企業経営コース	1.38%	1.66%	8.01%	19.34%	53.87%	15.75%	0.00%
法務管理コース	1.56%	2.08%	7.03%	22.40%	55.21%	11.72%	0.00%

A-5 この授業の成績評価基準を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
国際経済社会コース	1.97%	1.75%	8.10%	19.26%	50.33%	18.60%	0.00%
総合政策コース	1.50%	0.37%	4.12%	14.23%	54.31%	25.47%	0.00%
企業経営コース	1.93%	1.38%	5.25%	19.06%	48.62%	23.76%	0.00%
法務管理コース	1.56%	1.30%	3.91%	16.67%	53.91%	22.66%	0.00%

B-1 この授業の内容は理解できる

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
国際経済社会コース	2.19%	3.50%	9.85%	30.42%	41.58%	12.47%	0.00%
総合政策コース	1.87%	2.62%	3.75%	21.72%	55.81%	14.23%	0.00%
企業経営コース	0.28%	6.63%	8.84%	23.48%	46.69%	14.09%	0.00%
法務管理コース	1.82%	1.30%	4.17%	19.27%	58.59%	14.84%	0.00%

経済(後期)%

B-2 この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
国際経済社会コース	1.97%	3.72%	9.63%	24.95%	44.20%	15.54%	0.00%
総合政策コース	1.87%	1.87%	5.62%	18.73%	53.18%	18.73%	0.00%
企業経営コース	0.55%	6.63%	8.56%	22.38%	46.13%	15.75%	0.00%
法務管理コース	1.56%	1.82%	4.69%	20.05%	50.52%	21.35%	0.00%

B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
国際経済社会コース	3.06%	3.72%	6.35%	25.60%	45.51%	15.75%	0.00%
総合政策コース	3.37%	2.25%	6.74%	23.22%	48.69%	15.73%	0.00%
企業経営コース	1.66%	8.56%	9.67%	20.44%	41.71%	17.96%	0.00%
法務管理コース	1.82%	3.13%	6.77%	19.27%	50.00%	19.01%	0.00%

B-4 教材(テキスト、配布資料、その他)はわかりやすかった

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
国際経済社会コース	2.84%	3.28%	5.91%	28.01%	44.42%	15.54%	0.00%
総合政策コース	1.87%	1.87%	8.24%	19.10%	54.68%	14.23%	0.00%
企業経営コース	1.38%	5.25%	8.01%	25.97%	42.82%	16.57%	0.00%
法務管理コース	1.56%	1.56%	9.38%	16.67%	53.65%	17.19%	0.00%

B-5 シラバスは学習する上で役に立っている

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
国際経済社会コース	9.85%	2.84%	5.03%	38.73%	32.39%	11.16%	0.00%
総合政策コース	5.99%	1.12%	4.49%	30.71%	46.82%	10.86%	0.00%
企業経営コース	9.39%	3.04%	6.08%	33.15%	36.74%	11.60%	0.00%
法務管理コース	7.81%	1.56%	6.25%	31.77%	40.36%	12.24%	0.00%

B-6 授業内容はシラバスに沿っている

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
国際経済社会コース	11.16%	1.75%	3.94%	31.95%	40.70%	10.50%	0.00%
総合政策コース	7.12%	1.87%	2.62%	26.22%	50.19%	11.99%	0.00%
企業経営コース	11.88%	1.38%	3.04%	33.43%	37.02%	13.26%	0.00%
法務管理コース	8.85%	1.30%	2.34%	28.13%	46.09%	13.28%	0.00%

B-7 声の大きさ・明瞭さは適切だった

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
国際経済社会コース	2.19%	5.47%	15.97%	20.35%	44.20%	11.82%	0.00%
総合政策コース	1.12%	2.25%	8.24%	13.86%	59.93%	14.61%	0.00%
企業経営コース	1.93%	4.42%	6.63%	15.75%	51.38%	19.89%	0.00%
法務管理コース	1.82%	0.78%	3.13%	8.85%	61.98%	23.44%	0.00%

経済(後期)%

B-8 話す速さは適切だった

	該当しない・わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
国際経済社会コース	5.91%	1.09%	3.50%	77.46%	8.97%	3.06%	0.00%
総合政策コース	3.00%	0.75%	1.87%	77.15%	16.85%	0.37%	0.00%
企業経営コース	6.08%	0.55%	1.38%	76.24%	12.71%	3.04%	0.00%
法務管理コース	2.86%	0.26%	1.82%	80.21%	12.50%	2.34%	0.00%

B-9 授業の進む速さは適切だった

	該当しない・わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
国際経済社会コース	5.69%	0.88%	4.81%	75.71%	10.50%	2.41%	0.00%
総合政策コース	3.75%	0.75%	2.62%	79.78%	12.36%	0.75%	0.00%
企業経営コース	7.46%	1.66%	3.31%	70.99%	11.88%	4.70%	0.00%
法務管理コース	3.13%	0.52%	1.82%	79.43%	11.72%	3.39%	0.00%

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
国際経済社会コース	4.16%	3.06%	8.10%	30.42%	42.23%	12.04%	0.00%
総合政策コース	2.25%	2.62%	5.24%	22.47%	54.31%	13.11%	0.00%
企業経営コース	3.59%	7.18%	7.46%	20.99%	43.65%	17.13%	0.00%
法務管理コース	2.34%	2.08%	4.69%	20.83%	54.17%	15.89%	0.00%

C-2 学生の質問に適切に対応してくれている

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
国際経済社会コース	8.10%	1.75%	4.38%	24.73%	43.98%	17.07%	0.00%
総合政策コース	5.62%	1.87%	2.62%	17.23%	59.55%	13.11%	0.00%
企業経営コース	7.73%	2.76%	5.25%	22.10%	45.30%	16.85%	0.00%
法務管理コース	8.59%	1.30%	2.86%	25.00%	48.70%	13.54%	0.00%

D-1 この授業を受講して満足が得られた

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
国際経済社会コース	2.19%	2.84%	9.41%	26.04%	45.08%	14.44%	0.00%
総合政策コース	1.87%	3.00%	3.37%	22.47%	53.18%	16.10%	0.00%
企業経営コース	2.49%	7.73%	8.29%	22.10%	41.99%	17.40%	0.00%
法務管理コース	2.34%	3.13%	4.43%	18.49%	53.65%	17.97%	0.00%

理工(前期)%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20-40%	40-60%	60-80%	80%以上	なし
数理科学科	0.81%	1.08%	0.54%	4.30%	93.28%	0.00%
物理科学科	1.80%	0.45%	1.80%	9.46%	86.49%	0.00%
知能情報システム学科	0.66%	0.44%	1.09%	9.52%	88.29%	0.00%
機能物質化学科	0.46%	0.23%	0.23%	6.16%	92.92%	0.00%
機械システム工学科	0.00%	0.00%	0.37%	2.08%	97.56%	0.00%
電気電子工学科	0.32%	0.40%	1.21%	9.58%	88.49%	0.00%
都市工学科	0.34%	0.42%	2.62%	12.19%	84.42%	0.00%

A-2 予習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
数理科学科	30.16%	46.20%	15.22%	2.99%	5.43%	0.00%
物理科学科	30.80%	41.07%	16.07%	7.14%	4.91%	0.00%
知能情報システム学科	24.48%	40.24%	18.74%	11.25%	5.29%	0.00%
機能物質化学科	23.91%	52.63%	13.33%	4.49%	5.64%	0.00%
機械システム工学科	32.47%	53.41%	9.42%	1.49%	3.22%	0.00%
電気電子工学科	29.80%	49.80%	14.14%	1.93%	4.34%	0.00%
都市工学科	39.18%	35.01%	10.60%	5.39%	9.82%	0.00%

A-3 復習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
数理科学科	22.04%	51.08%	17.47%	4.57%	4.84%	0.00%
物理科学科	9.38%	45.54%	25.89%	10.71%	8.48%	0.00%
知能情報システム学科	15.62%	45.87%	22.99%	10.67%	4.84%	0.00%
機能物質化学科	14.22%	54.22%	15.97%	7.07%	8.52%	0.00%
機械システム工学科	21.18%	58.75%	13.71%	2.69%	3.67%	0.00%
電気電子工学科	19.16%	55.80%	15.70%	2.25%	7.09%	0.00%
都市工学科	27.69%	42.05%	13.07%	6.28%	10.92%	0.00%

A-4 この授業の学習目標を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
数理科学科	3.74%	4.81%	7.22%	24.87%	39.84%	19.52%	0.00%
物理科学科	0.88%	2.20%	7.05%	29.52%	45.81%	14.54%	0.00%
知能情報システム学科	0.44%	2.61%	6.86%	29.60%	51.14%	9.36%	0.00%
機能物質化学科	0.61%	1.59%	5.45%	26.27%	56.25%	9.84%	0.00%
機械システム工学科	0.73%	2.43%	6.93%	27.62%	49.76%	12.53%	0.00%
電気電子工学科	1.28%	1.59%	7.74%	20.73%	52.87%	15.79%	0.00%
都市工学科	1.00%	1.76%	6.44%	24.77%	51.88%	14.14%	0.00%

A-5 この授業の成績評価基準を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
数理科学科	2.14%	3.48%	4.28%	18.45%	43.32%	28.34%	0.00%
物理科学科	0.44%	0.00%	2.20%	14.10%	51.54%	31.72%	0.00%
知能情報システム学科	0.11%	2.07%	5.77%	22.74%	47.55%	21.76%	0.00%
機能物質化学科	0.61%	1.51%	3.94%	19.61%	59.05%	15.29%	0.00%
機械システム工学科	0.49%	1.70%	6.08%	19.22%	49.51%	22.99%	0.00%
電気電子工学科	0.88%	1.20%	4.47%	16.35%	55.02%	22.09%	0.00%
都市工学科	0.67%	1.26%	5.02%	20.92%	54.90%	17.24%	0.00%

B-1 この授業の内容は理解できる

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理科学科	1.07%	10.96%	9.36%	24.06%	39.04%	15.51%	0.00%
物理科学科	0.88%	1.76%	9.25%	30.84%	47.58%	9.69%	0.00%
知能情報システム学科	0.22%	3.05%	7.18%	30.03%	51.47%	8.05%	0.00%
機能物質化学科	1.82%	3.18%	7.27%	24.60%	55.26%	7.87%	0.00%
機械システム工学科	0.36%	3.89%	10.22%	27.86%	45.86%	11.80%	0.00%
電気電子工学科	1.20%	3.03%	9.09%	25.76%	50.56%	10.37%	0.00%
都市工学科	1.59%	2.76%	7.28%	28.70%	48.87%	10.79%	0.00%

B-2 この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理科学科	0.27%	10.70%	7.49%	27.54%	35.56%	18.45%	0.00%
物理科学科	0.88%	2.64%	4.85%	24.23%	46.26%	21.15%	0.00%
知能情報システム学科	0.33%	2.39%	8.27%	34.82%	44.07%	10.12%	0.00%
機能物質化学科	1.67%	3.79%	6.66%	25.97%	50.26%	11.66%	0.00%
機械システム工学科	0.24%	4.14%	8.52%	33.21%	43.07%	10.83%	0.00%
電気電子工学科	1.28%	3.43%	9.25%	32.70%	43.54%	9.81%	0.00%
都市工学科	1.34%	2.76%	10.63%	29.37%	42.34%	13.56%	0.00%

B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理科学科	2.14%	13.10%	8.82%	23.53%	33.69%	18.72%	0.00%
物理科学科	1.32%	2.20%	7.93%	23.35%	51.10%	14.10%	0.00%
知能情報システム学科	2.39%	2.29%	7.94%	28.18%	47.77%	11.43%	0.00%
機能物質化学科	3.71%	3.33%	6.43%	27.48%	48.52%	10.52%	0.00%
機械システム工学科	2.19%	4.50%	9.49%	33.33%	38.44%	12.04%	0.00%
電気電子工学科	4.31%	2.63%	9.81%	27.67%	44.42%	11.16%	0.00%
都市工学科	7.95%	2.76%	7.28%	30.63%	41.17%	10.21%	0.00%

B-4 教材(テキスト、配布資料、その他)はわかりやすかった

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理科学科	5.35%	9.09%	7.75%	24.60%	36.10%	17.11%	0.00%
物理科学科	2.20%	3.08%	5.73%	26.87%	46.26%	15.86%	0.00%
知能情報システム学科	0.98%	1.96%	6.96%	29.27%	50.05%	10.77%	0.00%
機能物質化学科	2.35%	2.88%	6.59%	27.63%	50.95%	9.61%	0.00%
機械システム工学科	0.73%	3.89%	9.61%	28.47%	45.13%	12.17%	0.00%
電気電子工学科	1.83%	3.03%	8.13%	30.14%	44.50%	12.36%	0.00%
都市工学科	5.69%	2.59%	7.87%	28.20%	45.02%	10.63%	0.00%

B-5 シラバスは学習する上で役に立っている

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理科学科	7.49%	10.16%	4.01%	40.91%	23.53%	13.90%	0.00%
物理科学科	9.69%	4.41%	8.81%	40.09%	28.63%	8.37%	0.00%
知能情報システム学科	5.01%	1.96%	6.53%	45.59%	35.04%	5.88%	0.00%
機能物質化学科	4.54%	1.82%	3.71%	36.64%	44.21%	9.08%	0.00%

理工(前期)%

機械システム工学科	3.28%	3.04%	7.30%	43.19%	32.60%	10.58%	0.00%
電気電子工学科	3.67%	2.23%	7.26%	34.69%	41.79%	10.37%	0.00%
都市工学科	9.96%	3.26%	5.02%	37.07%	36.32%	8.37%	0.00%

B-6 授業内容はシラバスに沿っている

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
数理科学科	11.23%	6.68%	1.34%	36.63%	28.88%	15.24%	0.00%
物理科学科	14.54%	0.88%	0.88%	35.68%	38.33%	9.69%	0.00%
知能情報システム学科	7.29%	0.98%	1.41%	31.88%	50.05%	8.38%	0.00%
機能物質化学科	5.60%	1.29%	2.65%	30.43%	49.13%	10.90%	0.00%
機械システム工学科	4.99%	1.22%	3.04%	32.60%	44.65%	13.50%	0.00%
電気電子工学科	5.66%	0.72%	1.75%	27.75%	50.88%	13.24%	0.00%
都市工学科	12.72%	1.42%	2.76%	28.95%	44.44%	9.71%	0.00%

B-7 声の大きさ・明瞭さは適切だった

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
数理科学科	0.80%	10.96%	8.02%	20.05%	38.50%	21.66%	0.00%
物理科学科	1.32%	1.32%	7.93%	17.18%	52.86%	19.38%	0.00%
知能情報システム学科	0.65%	1.41%	3.92%	20.13%	60.17%	13.71%	0.00%
機能物質化学科	3.56%	2.95%	6.36%	19.68%	54.81%	12.64%	0.00%
機械システム工学科	0.49%	2.43%	4.99%	20.56%	57.91%	13.63%	0.00%
電気電子工学科	2.55%	2.39%	5.82%	19.78%	55.50%	13.96%	0.00%
都市工学科	6.11%	2.51%	5.86%	21.42%	53.64%	10.46%	0.00%

B-8 話す速さは適切だった

	該当しない・わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
数理科学科	3.21%	1.60%	2.67%	72.73%	10.96%	8.82%	0.00%
物理科学科	4.85%	0.44%	1.76%	81.50%	10.13%	1.32%	0.00%
知能情報システム学科	1.63%	0.76%	1.96%	83.79%	10.99%	0.87%	0.00%
機能物質化学科	5.15%	0.76%	2.20%	78.05%	11.66%	2.20%	0.00%
機械システム工学科	1.34%	0.49%	1.34%	82.60%	10.83%	3.41%	0.00%
電気電子工学科	4.39%	0.32%	1.91%	82.38%	9.25%	1.75%	0.00%
都市工学科	8.03%	0.42%	1.92%	78.74%	8.28%	2.59%	0.00%

B-9 授業の進む速さは適切だった

	該当しない・わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
数理科学科	6.95%	1.34%	0.80%	68.72%	15.51%	6.68%	0.00%
物理科学科	6.61%	0.00%	1.76%	76.21%	13.22%	2.20%	0.00%
知能情報システム学科	1.09%	0.76%	1.74%	81.07%	13.71%	1.63%	0.00%
機能物質化学科	4.77%	0.53%	2.73%	72.14%	15.97%	3.86%	0.00%
機械システム工学科	1.58%	0.24%	1.58%	73.97%	14.60%	8.03%	0.00%
電気電子工学科	4.15%	0.48%	2.31%	74.32%	14.91%	3.83%	0.00%
都市工学科	8.62%	0.50%	2.59%	72.97%	11.63%	3.68%	0.00%

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
数理科学科	2.41%	11.76%	8.02%	24.60%	36.10%	17.11%	0.00%

理工(前期)%

物理科学科	4.41%	1.76%	5.29%	27.75%	48.02%	12.78%	0.00%
知能情報システム学科	0.87%	2.29%	6.31%	27.64%	54.19%	8.71%	0.00%
機能物質化学科	3.79%	3.18%	5.83%	26.72%	50.34%	10.14%	0.00%
機械システム工学科	0.24%	4.62%	7.66%	29.93%	47.32%	10.22%	0.00%
電気電子工学科	2.95%	2.63%	6.70%	28.31%	49.52%	9.89%	0.00%
都市工学科	7.03%	3.01%	6.78%	29.96%	44.18%	9.04%	0.00%

C-2 学生の質問に適切に対応している

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理科学科	4.01%	7.75%	5.61%	20.86%	37.17%	24.60%	0.00%
物理科学科	7.93%	1.76%	2.20%	16.74%	48.46%	22.91%	0.00%
知能情報システム学科	2.29%	1.41%	2.29%	26.22%	54.19%	13.60%	0.00%
機能物質化学科	4.47%	1.74%	3.18%	20.82%	56.70%	13.10%	0.00%
機械システム工学科	2.68%	2.80%	3.53%	26.89%	50.24%	13.87%	0.00%
電気電子工学科	4.39%	1.04%	2.63%	26.00%	53.43%	12.52%	0.00%
都市工学科	4.85%	1.67%	4.52%	24.44%	48.54%	15.98%	0.00%

D-1 この授業を受講して満足が得られた

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理科学科	0.80%	9.63%	8.82%	24.60%	35.03%	21.12%	0.00%
物理科学科	2.64%	3.52%	5.29%	24.67%	45.81%	18.06%	0.00%
知能情報システム学科	0.87%	2.07%	5.11%	31.56%	52.01%	8.38%	0.00%
機能物質化学科	0.91%	3.94%	4.31%	26.12%	52.54%	12.19%	0.00%
機械システム工学科	0.36%	4.01%	7.42%	33.45%	44.40%	10.34%	0.00%
電気電子工学科	1.83%	2.87%	7.18%	33.25%	45.14%	9.73%	0.00%
都市工学科	3.01%	3.93%	6.44%	28.87%	45.10%	12.64%	0.00%

理工(後期)%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20-40%	40-60%	60-80%	80%以上	なし
数理科学科	0.33%	0.00%	0.33%	8.14%	91.21%	0.00%
物理科学科	4.13%	5.37%	6.61%	11.16%	72.73%	0.00%
知能情報システム学科	2.02%	0.43%	2.02%	9.96%	85.57%	0.00%
機能物質化学科	0.09%	0.38%	1.04%	5.30%	93.19%	0.00%
機械システム工学科	1.00%	0.00%	0.17%	4.81%	94.03%	0.00%
電気電子工学科	0.32%	0.16%	1.19%	11.34%	86.99%	0.00%
都市工学科	1.19%	0.79%	4.09%	9.10%	84.83%	0.00%

A-2 予習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
数理科学科	21.78%	53.80%	20.46%	0.66%	3.30%	0.00%
物理科学科	42.15%	45.04%	9.09%	1.65%	2.07%	0.00%
知能情報システム学科	21.93%	43.42%	13.74%	9.36%	11.55%	0.00%
機能物質化学科	22.87%	50.19%	15.12%	7.66%	4.16%	0.00%
機械システム工学科	33.00%	49.50%	14.17%	1.83%	1.50%	0.00%
電気電子工学科	27.16%	52.10%	13.03%	2.46%	5.24%	0.00%
都市工学科	42.08%	37.60%	11.48%	4.35%	4.49%	0.00%

A-3 復習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
数理科学科	17.76%	54.93%	21.05%	1.64%	4.61%	0.00%
物理科学科	24.79%	51.65%	16.12%	3.72%	3.72%	0.00%
知能情報システム学科	12.79%	52.76%	19.48%	8.43%	6.54%	0.00%
機能物質化学科	17.15%	50.71%	16.97%	8.77%	6.41%	0.00%
機械システム工学科	22.26%	51.33%	19.77%	2.16%	4.49%	0.00%
電気電子工学科	24.07%	54.96%	13.19%	2.07%	5.72%	0.00%
都市工学科	30.45%	44.75%	15.09%	4.46%	5.25%	0.00%

A-4 この授業の学習目標を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
数理科学科	4.56%	1.95%	7.17%	26.06%	43.97%	16.29%	0.00%
物理科学科	0.41%	2.89%	5.37%	24.38%	55.79%	11.16%	0.00%
知能情報システム学科	1.01%	2.01%	4.89%	25.57%	52.44%	14.08%	0.00%
機能物質化学科	0.56%	1.03%	5.25%	27.18%	53.89%	12.09%	0.00%
機械システム工学科	0.99%	1.98%	7.25%	25.70%	52.39%	11.70%	0.00%
電気電子工学科	0.87%	1.34%	5.76%	22.71%	48.19%	21.14%	0.00%
都市工学科	1.30%	1.43%	5.48%	29.86%	51.24%	10.69%	0.00%

A-5 この授業の成績評価基準を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
数理科学科	2.28%	1.95%	6.19%	15.64%	48.86%	25.08%	0.00%
物理科学科	0.00%	2.07%	3.72%	20.66%	53.31%	20.25%	0.00%
知能情報システム学科	1.01%	0.57%	2.87%	16.38%	49.28%	29.89%	0.00%
機能物質化学科	0.47%	0.84%	3.66%	20.06%	56.61%	18.37%	0.00%
機械システム工学科	1.32%	0.82%	6.10%	17.30%	56.51%	17.96%	0.00%
電気電子工学科	0.63%	0.63%	3.47%	19.56%	47.00%	28.71%	0.00%
都市工学科	0.78%	1.04%	3.91%	26.73%	51.63%	15.91%	0.00%

B-1 この授業の内容は理解できる

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理科学科	1.95%	5.21%	8.79%	27.69%	44.63%	11.73%	0.00%
物理科学科	2.89%	2.07%	11.57%	26.86%	47.11%	9.50%	0.00%
知能情報システム学科	1.01%	1.87%	7.04%	25.29%	54.89%	9.91%	0.00%
機能物質化学科	1.50%	2.25%	5.72%	29.90%	51.92%	8.72%	0.00%
機械システム工学科	1.32%	2.31%	8.90%	22.73%	55.02%	9.72%	0.00%
電気電子工学科	0.47%	2.13%	7.33%	28.71%	45.82%	15.54%	0.00%
都市工学科	0.91%	3.65%	8.47%	34.68%	45.50%	6.78%	0.00%

B-2 この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理科学科	2.28%	4.89%	8.47%	29.32%	39.41%	15.64%	0.00%
物理科学科	2.48%	0.83%	6.20%	31.40%	39.67%	19.42%	0.00%
知能情報システム学科	1.01%	1.87%	6.61%	30.89%	46.70%	12.93%	0.00%
機能物質化学科	1.59%	1.59%	5.15%	30.37%	48.36%	12.93%	0.00%
機械システム工学科	1.48%	1.98%	9.23%	24.22%	49.42%	13.67%	0.00%
電気電子工学科	0.47%	2.37%	7.26%	31.55%	41.09%	17.27%	0.00%
都市工学科	1.04%	3.91%	9.13%	34.55%	39.77%	11.60%	0.00%

B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理科学科	4.89%	5.21%	10.42%	32.57%	32.90%	14.01%	0.00%
物理科学科	3.31%	2.07%	4.55%	23.97%	50.83%	15.29%	0.00%
知能情報システム学科	1.87%	2.01%	5.03%	23.99%	54.31%	12.79%	0.00%
機能物質化学科	2.53%	2.25%	5.90%	26.43%	51.17%	11.72%	0.00%
機械システム工学科	4.94%	3.46%	7.25%	25.04%	45.14%	14.17%	0.00%
電気電子工学科	2.92%	2.68%	7.97%	30.91%	40.38%	15.14%	0.00%
都市工学科	2.61%	2.48%	10.43%	34.29%	40.55%	9.65%	0.00%

B-4 教材(テキスト、配布資料、その他)はわかりやすかった

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理科学科	4.56%	3.58%	7.49%	30.62%	40.07%	13.68%	0.00%
物理科学科	4.13%	1.65%	7.02%	24.79%	48.76%	13.64%	0.00%
知能情報システム学科	1.44%	2.30%	5.89%	25.57%	53.02%	11.78%	0.00%
機能物質化学科	1.97%	1.41%	3.84%	28.68%	52.67%	11.43%	0.00%
機械システム工学科	3.95%	2.80%	9.72%	21.42%	48.93%	13.18%	0.00%
電気電子工学科	2.44%	2.37%	6.31%	31.86%	40.54%	16.48%	0.00%
都市工学科	2.09%	2.61%	9.39%	33.77%	44.07%	8.08%	0.00%

B-5 シラバスは学習する上で役に立っている

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理科学科	16.29%	5.86%	8.47%	38.11%	19.87%	11.40%	0.00%
物理科学科	9.92%	3.31%	4.13%	42.56%	33.88%	6.20%	0.00%
知能情報システム学科	8.33%	1.29%	6.47%	39.22%	36.64%	8.05%	0.00%
機能物質化学科	6.65%	1.31%	3.84%	34.21%	44.24%	9.75%	0.00%

理工(後期)%

機械システム工学科	4.28%	1.65%	4.28%	38.71%	41.02%	10.05%	0.00%
電気電子工学科	4.10%	1.81%	5.28%	35.73%	39.04%	14.04%	0.00%
都市工学科	5.48%	1.83%	4.69%	41.33%	41.20%	5.48%	0.00%

B-6 授業内容はシラバスに沿っている

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理科学科	18.24%	1.95%	3.58%	36.81%	26.38%	13.03%	0.00%
物理科学科	13.22%	0.00%	0.83%	37.60%	40.91%	7.44%	0.00%
知能情報システム学科	9.63%	0.86%	1.01%	28.02%	49.86%	10.63%	0.00%
機能物質化学科	6.56%	1.59%	2.44%	29.05%	47.70%	12.65%	0.00%
機械システム工学科	5.60%	0.66%	2.31%	25.37%	53.05%	13.01%	0.00%
電気電子工学科	5.05%	1.10%	1.58%	30.05%	45.98%	16.25%	0.00%
都市工学科	6.13%	1.17%	2.74%	36.90%	45.63%	7.43%	0.00%

B-7 声の大きさ・明瞭さは適切だった

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理科学科	1.95%	2.61%	12.05%	19.22%	45.28%	18.89%	0.00%
物理科学科	3.72%	0.83%	4.13%	18.18%	54.13%	19.01%	0.00%
知能情報システム学科	1.15%	2.01%	4.31%	17.96%	60.20%	14.37%	0.00%
機能物質化学科	1.78%	0.94%	4.87%	22.02%	57.36%	13.03%	0.00%
機械システム工学科	2.64%	2.14%	5.44%	13.84%	60.96%	14.99%	0.00%
電気電子工学科	1.97%	1.42%	3.39%	24.29%	51.03%	17.90%	0.00%
都市工学科	1.04%	3.13%	6.65%	28.81%	49.15%	11.21%	0.00%

B-8 話す速さは適切だった

	該当しない・ わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
数理科学科	4.23%	0.00%	1.30%	77.85%	13.36%	3.26%	0.00%
物理科学科	5.79%	0.00%	1.65%	83.88%	7.44%	1.24%	0.00%
知能情報システム学科	2.01%	0.29%	1.72%	86.06%	8.33%	1.58%	0.00%
機能物質化学科	2.44%	0.37%	1.87%	83.79%	10.03%	1.50%	0.00%
機械システム工学科	4.45%	0.49%	1.15%	82.54%	9.23%	2.14%	0.00%
電気電子工学科	4.10%	0.16%	0.79%	84.54%	8.28%	2.13%	0.00%
都市工学科	3.91%	0.52%	3.65%	79.01%	10.69%	2.22%	0.00%

B-9 授業の進む速さは適切だった

	該当しない・ わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
数理科学科	4.89%	0.65%	1.95%	72.31%	16.61%	3.58%	0.00%
物理科学科	6.61%	0.41%	3.31%	79.34%	8.68%	1.65%	0.00%
知能情報システム学科	2.16%	0.43%	2.73%	81.32%	11.21%	2.16%	0.00%
機能物質化学科	2.44%	0.28%	1.69%	78.44%	14.34%	2.81%	0.00%
機械システム工学科	5.11%	0.00%	1.15%	77.10%	13.34%	3.29%	0.00%
電気電子工学科	4.97%	0.32%	1.03%	82.10%	9.07%	2.52%	0.00%
都市工学科	4.04%	0.65%	2.87%	77.71%	12.65%	2.09%	0.00%

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理科学科	2.61%	4.89%	8.14%	30.94%	37.13%	16.29%	0.00%

理工(後期)%

物理科学科	4.55%	1.65%	3.72%	20.25%	54.55%	15.29%	0.00%
知能情報システム学科	1.72%	1.87%	5.32%	27.73%	51.72%	11.64%	0.00%
機能物質化学科	2.91%	1.50%	3.94%	28.02%	53.14%	10.50%	0.00%
機械システム工学科	3.46%	2.80%	6.59%	22.73%	50.74%	13.67%	0.00%
電気電子工学科	3.31%	1.89%	3.79%	33.12%	45.19%	12.70%	0.00%
都市工学科	2.48%	2.22%	7.56%	34.68%	44.98%	8.08%	0.00%

C-2 学生の質問に適切に対応している

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理科学科	1.63%	2.93%	4.89%	18.89%	47.56%	24.10%	0.00%
物理科学科	7.44%	1.24%	2.48%	24.79%	44.63%	19.42%	0.00%
知能情報システム学科	3.16%	1.29%	2.59%	25.29%	50.29%	17.39%	0.00%
機能物質化学科	4.59%	0.28%	2.53%	25.02%	54.45%	13.12%	0.00%
機械システム工学科	4.61%	2.31%	4.45%	18.95%	53.05%	16.64%	0.00%
電気電子工学科	5.05%	1.42%	1.66%	26.18%	49.76%	15.93%	0.00%
都市工学科	3.78%	1.56%	4.95%	34.03%	43.16%	12.52%	0.00%

D-1 この授業を受講して満足が得られた

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理科学科	0.98%	4.89%	6.19%	28.34%	42.35%	17.26%	0.00%
物理科学科	4.13%	2.07%	6.20%	28.51%	42.15%	16.94%	0.00%
知能情報システム学科	1.44%	2.59%	4.02%	31.32%	48.56%	12.07%	0.00%
機能物質化学科	1.03%	1.22%	4.69%	28.96%	52.01%	12.09%	0.00%
機械システム工学科	2.14%	3.29%	6.43%	26.52%	46.95%	14.66%	0.00%
電気電子工学科	1.97%	2.37%	3.86%	33.52%	43.85%	14.43%	0.00%
都市工学科	1.96%	3.91%	6.78%	36.90%	41.20%	9.26%	0.00%

農(前期)%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20-40%	40-60%	60-80%	80%以上	なし
応用生物科学科	0.18%	0.00%	1.09%	3.80%	94.93%	0.00%
生物環境保全学コース	0.49%	0.24%	0.24%	4.89%	94.13%	0.00%
資源循環生産学コース	0.00%	0.23%	0.46%	3.42%	95.89%	0.00%
地域社会開発学コース	1.52%	0.00%	4.55%	7.58%	86.36%	0.00%
生命機能科学科	0.00%	0.00%	0.24%	4.80%	94.96%	0.00%

A-2 予習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
応用生物科学科	46.53%	39.96%	5.29%	3.28%	4.93%	0.00%
生物環境保全学コース	48.37%	40.60%	4.51%	1.25%	5.26%	0.00%
資源循環生産学コース	61.66%	32.33%	3.93%	0.92%	1.15%	0.00%
地域社会開発学コース	47.69%	27.69%	6.15%	4.62%	13.85%	0.00%
生命機能科学科	37.29%	38.50%	16.95%	3.63%	3.63%	0.00%

A-3 復習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
応用生物科学科	32.42%	52.28%	8.93%	2.91%	3.46%	0.00%
生物環境保全学コース	32.92%	50.37%	10.22%	1.25%	5.24%	0.00%
資源循環生産学コース	41.38%	44.37%	9.89%	2.53%	1.84%	0.00%
地域社会開発学コース	46.15%	36.92%	3.08%	0.00%	13.85%	0.00%
生命機能科学科	29.71%	43.48%	21.01%	2.42%	3.38%	0.00%

A-4 この授業の学習目標を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
応用生物科学科	0.72%	1.62%	8.62%	23.16%	52.96%	12.93%	0.00%
生物環境保全学コース	1.95%	4.63%	10.24%	28.29%	42.44%	12.44%	0.00%
資源循環生産学コース	1.36%	2.04%	7.92%	23.53%	55.20%	9.95%	0.00%
地域社会開発学コース	1.47%	0.00%	4.41%	7.35%	63.24%	23.53%	0.00%
生命機能科学科	0.72%	1.44%	8.37%	23.68%	52.39%	13.40%	0.00%

A-5 この授業の成績評価基準を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
応用生物科学科	0.54%	1.08%	4.67%	13.82%	58.89%	21.01%	0.00%
生物環境保全学コース	1.22%	1.71%	6.83%	18.05%	50.73%	21.46%	0.00%
資源循環生産学コース	1.36%	2.04%	5.88%	20.81%	52.04%	17.87%	0.00%
地域社会開発学コース	2.94%	0.00%	1.47%	10.29%	63.24%	22.06%	0.00%
生命機能科学科	0.96%	1.44%	6.94%	19.62%	55.26%	15.79%	0.00%

B-1 この授業の内容は理解できる

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
応用生物科学科	0.72%	1.80%	4.31%	23.52%	57.63%	12.03%	0.00%
生物環境保全学コース	0.24%	2.20%	11.71%	28.78%	40.00%	17.07%	0.00%
資源循環生産学コース	0.00%	2.26%	8.14%	22.17%	56.79%	10.63%	0.00%
地域社会開発学コース	5.88%	0.00%	5.88%	10.29%	51.47%	26.47%	0.00%
生命機能科学科	0.96%	1.20%	8.85%	27.99%	50.72%	10.29%	0.00%

B-2 この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
応用生物科学科	0.90%	1.80%	4.13%	24.60%	49.37%	19.21%	0.00%
生物環境保全学コース	0.98%	3.90%	16.10%	33.66%	33.41%	11.95%	0.00%
資源循環生産学コース	0.00%	2.71%	7.69%	23.98%	46.61%	19.00%	0.00%
地域社会開発学コース	2.94%	0.00%	5.88%	16.18%	44.12%	30.88%	0.00%
生命機能科学科	0.48%	1.20%	8.13%	23.21%	52.39%	14.59%	0.00%

B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
応用生物科学科	3.77%	2.69%	6.46%	23.88%	48.83%	14.36%	0.00%
生物環境保全学コース	3.17%	4.88%	13.90%	39.02%	29.02%	10.00%	0.00%
資源循環生産学コース	8.14%	4.75%	11.54%	25.79%	41.40%	8.37%	0.00%
地域社会開発学コース	19.12%	0.00%	1.47%	7.35%	51.47%	20.59%	0.00%
生命機能科学科	1.67%	0.96%	6.46%	23.44%	54.31%	13.16%	0.00%

B-4 教材(テキスト、配布資料、その他)はわかりやすかった

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
応用生物科学科	1.80%	1.80%	5.92%	24.60%	50.09%	15.80%	0.00%
生物環境保全学コース	2.44%	3.66%	15.37%	32.44%	34.15%	11.95%	0.00%
資源循環生産学コース	3.62%	1.58%	7.69%	25.79%	49.10%	12.22%	0.00%
地域社会開発学コース	16.18%	0.00%	1.47%	10.29%	48.53%	23.53%	0.00%
生命機能科学科	0.48%	1.20%	9.33%	28.95%	48.33%	11.72%	0.00%

B-5 シラバスは学習する上で役に立っている

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
応用生物科学科	12.21%	0.90%	4.49%	39.86%	34.65%	7.90%	0.00%
生物環境保全学コース	10.73%	1.22%	10.00%	43.66%	26.83%	7.56%	0.00%
資源循環生産学コース	11.09%	0.45%	6.79%	40.27%	34.62%	6.79%	0.00%
地域社会開発学コース	22.06%	0.00%	7.35%	11.76%	38.24%	20.59%	0.00%
生命機能科学科	6.46%	0.48%	8.85%	38.76%	36.84%	8.61%	0.00%

B-6 授業内容はシラバスに沿っている

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
応用生物科学科	14.36%	0.00%	1.97%	32.32%	42.37%	8.98%	0.00%
生物環境保全学コース	15.61%	1.22%	3.90%	39.27%	31.71%	8.29%	0.00%
資源循環生産学コース	14.93%	0.45%	2.04%	36.88%	38.69%	7.01%	0.00%
地域社会開発学コース	27.94%	0.00%	2.94%	11.76%	39.71%	17.65%	0.00%
生命機能科学科	9.33%	0.48%	3.59%	33.25%	44.74%	8.61%	0.00%

B-7 声の大きさ・明瞭さは適切だった

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
応用生物科学科	1.97%	1.97%	3.41%	17.24%	62.12%	13.29%	0.00%
生物環境保全学コース	1.22%	2.93%	13.90%	23.17%	45.12%	13.66%	0.00%
資源循環生産学コース	1.13%	1.58%	8.37%	17.65%	59.73%	11.54%	0.00%
地域社会開発学コース	5.88%	0.00%	0.00%	8.82%	60.29%	25.00%	0.00%

農(前期)%

生命機能科学科	1.44%	0.48%	5.26%	19.86%	60.05%	12.92%	0.00%
---------	-------	-------	-------	--------	--------	--------	-------

B-8 話す速さは適切だった

	該当しない・ わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
応用生物科学科	2.51%	0.18%	0.72%	85.10%	10.59%	0.90%	0.00%
生物環境保全学コース	2.44%	0.73%	7.56%	83.66%	5.12%	0.49%	0.00%
資源循環生産学コース	3.39%	0.45%	2.49%	84.16%	7.92%	1.58%	0.00%
地域社会開発学コース	5.88%	0.00%	0.00%	80.88%	8.82%	4.41%	0.00%
生命機能科学科	3.11%	0.00%	1.91%	85.89%	8.37%	0.72%	0.00%

B-9 授業の進む速さは適切だった

	該当しない・ わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
応用生物科学科	2.87%	0.18%	0.90%	78.10%	15.26%	2.69%	0.00%
生物環境保全学コース	5.37%	1.95%	11.46%	70.24%	9.76%	1.22%	0.00%
資源循環生産学コース	3.85%	0.00%	0.68%	83.48%	10.18%	1.81%	0.00%
地域社会開発学コース	10.29%	0.00%	1.47%	79.41%	4.41%	4.41%	0.00%
生命機能科学科	3.83%	0.00%	2.15%	72.73%	19.14%	2.15%	0.00%

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
応用生物科学科	1.62%	2.15%	3.59%	27.29%	51.17%	14.18%	0.00%
生物環境保全学コース	1.71%	3.66%	9.02%	36.10%	39.02%	10.49%	0.00%
資源循環生産学コース	1.36%	2.26%	7.47%	23.76%	54.07%	11.09%	0.00%
地域社会開発学コース	8.82%	0.00%	1.47%	5.88%	57.35%	26.47%	0.00%
生命機能科学科	1.67%	0.48%	6.46%	30.14%	47.61%	13.64%	0.00%

C-2 学生の質問に適切に対応している

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
応用生物科学科	5.57%	1.08%	1.80%	25.67%	44.70%	21.18%	0.00%
生物環境保全学コース	5.61%	1.22%	3.17%	24.15%	44.39%	21.46%	0.00%
資源循環生産学コース	5.43%	0.90%	3.39%	25.34%	47.29%	17.65%	0.00%
地域社会開発学コース	2.94%	0.00%	1.47%	1.47%	54.41%	39.71%	0.00%
生命機能科学科	3.11%	0.72%	3.83%	28.95%	49.04%	14.35%	0.00%

D-1 この授業を受講して満足が得られた

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思	なし
応用生物科学科	1.44%	1.97%	4.49%	26.03%	47.94%	18.13%	0.00%
生物環境保全学コース	0.98%	5.12%	11.22%	33.41%	34.63%	14.63%	0.00%
資源循環生産学コース	0.45%	1.36%	8.14%	24.21%	49.32%	16.52%	0.00%
地域社会開発学コース	0.00%	0.00%	1.47%	10.29%	50.00%	38.24%	0.00%
生命機能科学科	0.72%	0.96%	7.66%	31.34%	45.93%	13.40%	0.00%

農(後期)%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20-40%	40-60%	60-80%	80%以上	なし
応用生物科学科	0.59%	0.30%	2.07%	9.04%	88.00%	0.00%
生物環境保全学コース	0.00%	0.00%	0.00%	4.04%	95.96%	0.00%
資源循環生産学コース	0.00%	0.00%	0.00%	4.10%	95.90%	0.00%
地域社会開発学コース	1.09%	1.09%	1.64%	9.29%	86.89%	0.00%
生命機能科学科	0.50%	0.00%	1.49%	6.93%	91.09%	0.00%

A-2 予習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
応用生物科学科	56.48%	35.17%	4.32%	1.94%	2.09%	0.00%
生物環境保全学コース	66.33%	30.61%	2.04%	1.02%	0.00%	0.00%
資源循環生産学コース	65.25%	27.80%	5.41%	1.16%	0.39%	0.00%
地域社会開発学コース	64.48%	32.24%	2.19%	1.09%	0.00%	0.00%
生命機能科学科	41.28%	42.01%	12.78%	1.97%	1.97%	0.00%

A-3 復習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
応用生物科学科	35.62%	50.52%	10.88%	1.79%	1.19%	0.00%
生物環境保全学コース	47.96%	44.90%	5.10%	2.04%	0.00%	0.00%
資源循環生産学コース	54.79%	34.10%	9.58%	1.53%	0.00%	0.00%
地域社会開発学コース	47.54%	49.73%	1.64%	1.09%	0.00%	0.00%
生命機能科学科	28.19%	46.32%	16.91%	3.68%	4.90%	0.00%

A-4 この授業の学習目標を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
応用生物科学科	1.03%	2.65%	5.60%	25.07%	54.57%	11.06%	0.00%
生物環境保全学コース	0.00%	3.03%	10.10%	20.20%	49.49%	17.17%	0.00%
資源循環生産学コース	2.58%	0.74%	4.43%	19.56%	53.14%	19.56%	0.00%
地域社会開発学コース	3.24%	3.24%	10.81%	23.24%	48.65%	10.81%	0.00%
生命機能科学科	0.00%	0.74%	6.62%	15.44%	60.78%	16.42%	0.00%

A-5 この授業の成績評価基準を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
応用生物科学科	0.74%	1.92%	3.69%	15.49%	59.00%	19.17%	0.00%
生物環境保全学コース	0.00%	1.01%	5.05%	20.20%	49.49%	24.24%	0.00%
資源循環生産学コース	2.21%	0.74%	4.06%	15.87%	50.55%	26.57%	0.00%
地域社会開発学コース	2.16%	1.62%	4.32%	16.76%	57.30%	17.84%	0.00%
生命機能科学科	0.00%	0.25%	5.15%	11.52%	62.99%	20.10%	0.00%

B-1 この授業の内容は理解できる

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
応用生物科学科	1.03%	2.21%	9.59%	21.68%	56.05%	9.44%	0.00%
生物環境保全学コース	0.00%	3.03%	7.07%	28.28%	40.40%	21.21%	0.00%
資源循環生産学コース	1.85%	1.48%	5.54%	16.97%	52.77%	21.40%	0.00%
地域社会開発学コース	1.62%	2.16%	10.81%	28.65%	47.57%	9.19%	0.00%
生命機能科学科	0.49%	1.72%	8.33%	18.38%	62.25%	8.82%	0.00%

B-2 この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
応用生物科学科	1.18%	2.36%	7.96%	22.57%	51.33%	14.60%	0.00%
生物環境保全学コース	0.00%	3.03%	6.06%	22.22%	39.39%	29.29%	0.00%
資源循環生産学コース	2.21%	2.21%	6.64%	16.24%	47.23%	25.46%	0.00%
地域社会開発学コース	1.62%	4.32%	13.51%	21.62%	46.49%	12.43%	0.00%
生命機能科学科	0.25%	0.98%	5.15%	15.44%	60.78%	17.40%	0.00%

B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
応用生物科学科	2.80%	1.33%	9.44%	24.48%	50.00%	11.95%	0.00%
生物環境保全学コース	1.01%	3.03%	7.07%	22.22%	41.41%	25.25%	0.00%
資源循環生産学コース	13.65%	1.48%	4.43%	21.77%	41.70%	16.97%	0.00%
地域社会開発学コース	2.16%	9.19%	15.14%	22.70%	39.46%	11.35%	0.00%
生命機能科学科	1.47%	0.74%	5.39%	16.67%	60.29%	15.44%	0.00%

B-4 教材(テキスト、配布資料、その他)はわかりやすかった

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
応用生物科学科	2.95%	0.88%	6.19%	27.58%	49.85%	12.54%	0.00%
生物環境保全学コース	3.03%	2.02%	8.08%	23.23%	41.41%	22.22%	0.00%
資源循環生産学コース	8.12%	1.48%	1.85%	23.62%	49.08%	15.87%	0.00%
地域社会開発学コース	8.11%	3.24%	9.73%	30.27%	35.68%	12.97%	0.00%
生命機能科学科	0.98%	1.47%	9.07%	17.89%	56.86%	13.73%	0.00%

B-5 シラバスは学習する上で役に立っている

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
応用生物科学科	12.09%	0.44%	3.83%	37.17%	39.68%	6.78%	0.00%
生物環境保全学コース	6.06%	2.02%	5.05%	36.36%	34.34%	16.16%	0.00%
資源循環生産学コース	14.76%	1.85%	2.58%	37.64%	31.37%	11.81%	0.00%
地域社会開発学コース	8.65%	0.54%	3.24%	41.08%	38.38%	8.11%	0.00%
生命機能科学科	4.90%	0.74%	4.41%	34.56%	49.75%	5.64%	0.00%

B-6 授業内容はシラバスに沿っている

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
応用生物科学科	14.01%	0.00%	0.74%	31.42%	45.58%	8.26%	0.00%
生物環境保全学コース	8.08%	2.02%	0.00%	33.33%	43.43%	13.13%	0.00%
資源循環生産学コース	15.87%	0.37%	1.48%	36.16%	33.95%	12.18%	0.00%
地域社会開発学コース	16.22%	0.00%	2.16%	31.89%	41.62%	8.11%	0.00%
生命機能科学科	7.84%	0.74%	1.23%	29.41%	53.68%	7.11%	0.00%

B-7 声の大きさ・明瞭さは適切だった

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
応用生物科学科	1.77%	0.74%	6.34%	16.22%	63.86%	11.06%	0.00%
生物環境保全学コース	0.00%	1.01%	5.05%	24.24%	47.47%	22.22%	0.00%
資源循環生産学コース	3.69%	4.80%	6.27%	11.81%	54.24%	19.19%	0.00%
地域社会開発学コース	2.16%	0.54%	10.27%	23.24%	51.89%	11.89%	0.00%

農(後期)%

生命機能科学科	0.49%	0.49%	6.62%	17.16%	61.52%	13.73%	0.00%
---------	-------	-------	-------	--------	--------	--------	-------

B-8 話す速さは適切だった

	該当しない・わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
応用生物科学科	2.95%	0.15%	1.47%	83.33%	11.50%	0.59%	0.00%
生物環境保全学コース	3.03%	1.01%	4.04%	88.89%	3.03%	0.00%	0.00%
資源循環生産学コース	6.64%	0.74%	0.74%	84.13%	6.64%	1.11%	0.00%
地域社会開発学コース	4.32%	0.54%	3.78%	79.46%	10.27%	1.62%	0.00%
生命機能科学科	1.72%	0.25%	0.25%	86.03%	10.78%	0.98%	0.00%

B-9 授業の進む速さは適切だった

	該当しない・わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
応用生物科学科	2.80%	0.29%	1.47%	75.81%	17.99%	1.62%	0.00%
生物環境保全学コース	3.03%	1.01%	5.05%	82.83%	8.08%	0.00%	0.00%
資源循環生産学コース	7.75%	0.37%	2.58%	78.60%	9.59%	1.11%	0.00%
地域社会開発学コース	5.95%	0.54%	5.41%	77.84%	8.65%	1.62%	0.00%
生命機能科学科	1.23%	0.25%	0.49%	80.15%	15.93%	1.96%	0.00%

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
応用生物科学科	2.36%	1.18%	5.46%	26.40%	53.54%	11.06%	0.00%
生物環境保全学コース	2.02%	2.02%	6.06%	23.23%	41.41%	25.25%	0.00%
資源循環生産学コース	4.80%	1.11%	6.64%	16.61%	50.18%	20.66%	0.00%
地域社会開発学コース	2.16%	5.41%	13.51%	26.49%	38.92%	13.51%	0.00%
生命機能科学科	0.98%	0.49%	4.66%	19.36%	62.01%	12.50%	0.00%

C-2 学生の質問に適切に対応している

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
応用生物科学科	8.11%	0.44%	1.92%	23.89%	49.41%	16.22%	0.00%
生物環境保全学コース	4.04%	1.01%	3.03%	23.23%	39.39%	29.29%	0.00%
資源循環生産学コース	4.43%	0.74%	2.58%	18.82%	48.71%	24.72%	0.00%
地域社会開発学コース	10.27%	1.08%	0.54%	29.19%	42.70%	16.22%	0.00%
生命機能科学科	2.45%	0.25%	0.74%	15.44%	61.52%	19.61%	0.00%

D-1 この授業を受講して満足が得られた

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
応用生物科学科	1.47%	1.03%	5.16%	26.25%	52.51%	13.57%	0.00%
生物環境保全学コース	2.02%	3.03%	3.03%	19.19%	48.48%	24.24%	0.00%
資源循環生産学コース	1.85%	1.48%	5.90%	16.24%	47.60%	26.94%	0.00%
地域社会開発学コース	1.62%	4.32%	9.73%	28.65%	43.78%	11.89%	0.00%
生命機能科学科	0.49%	0.98%	3.19%	19.36%	60.05%	15.93%	0.00%

教養(前期)%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20-40%	40-60%	60-80%	80%以上	なし
第1分野「文化と芸術」	3.13%	1.10%	1.57%	11.91%	82.29%	0.00%
第2分野「思想と歴史」	3.30%	1.72%	3.87%	12.46%	78.65%	0.00%
第3分野「現代社会の構造」	2.22%	1.64%	3.74%	10.75%	81.66%	0.00%
第4分野「人間環境と健康」	1.79%	0.60%	2.13%	13.35%	82.14%	0.00%
第5分野「数理と自然」	2.56%	1.46%	2.31%	10.84%	82.83%	0.00%
第6分野「科学技術と生産」	1.91%	1.39%	1.74%	11.81%	83.16%	0.00%
第1分野「地域と文明」	4.03%	0.00%	3.36%	8.05%	84.56%	0.00%
外国語科目	0.82%	0.29%	0.61%	6.06%	92.23%	0.00%
健康・スポーツ科目	0.14%	0.14%	0.56%	2.87%	96.29%	0.00%
情報処理科目	0.15%	0.22%	0.52%	4.07%	95.04%	0.00%

A-2 予習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
第1分野「文化と芸術」	56.08%	30.81%	6.48%	3.48%	3.16%	0.00%
第2分野「思想と歴史」	61.86%	31.88%	3.35%	1.60%	1.31%	0.00%
第3分野「現代社会の構造」	67.14%	22.86%	5.36%	2.74%	1.90%	0.00%
第4分野「人間環境と健康」	70.34%	22.64%	3.47%	1.73%	1.82%	0.00%
第5分野「数理と自然」	57.99%	33.33%	5.45%	1.86%	1.36%	0.00%
第6分野「科学技術と生産」	59.19%	30.39%	4.77%	3.53%	2.12%	0.00%
第1分野「地域と文明」	73.15%	20.13%	4.03%	1.34%	1.34%	0.00%
外国語科目	23.19%	48.84%	20.33%	4.57%	3.07%	0.00%
健康・スポーツ科目	82.29%	10.74%	3.27%	1.23%	2.47%	0.00%
情報処理科目	66.62%	26.86%	3.98%	1.28%	1.28%	0.00%

A-3 復習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
第1分野「文化と芸術」	48.18%	38.70%	7.27%	3.32%	2.53%	0.00%
第2分野「思想と歴史」	53.20%	38.37%	5.52%	1.60%	1.31%	0.00%
第3分野「現代社会の構造」	57.38%	32.02%	6.43%	2.26%	1.90%	0.00%
第4分野「人間環境と健康」	61.83%	29.74%	4.87%	2.00%	1.57%	0.00%
第5分野「数理と自然」	49.07%	39.56%	7.66%	1.98%	1.73%	0.00%
第6分野「科学技術と生産」	47.10%	39.54%	8.26%	3.16%	1.93%	0.00%
第1分野「地域と文明」	67.11%	26.17%	4.03%	1.34%	1.34%	0.00%
外国語科目	30.59%	50.90%	12.71%	3.33%	2.47%	0.00%
健康・スポーツ科目	81.30%	12.66%	2.84%	1.02%	2.18%	0.00%
情報処理科目	56.90%	30.50%	8.95%	2.09%	1.57%	0.00%

A-4 この授業の学習目標を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
第1分野「文化と芸術」	1.70%	4.79%	7.42%	21.02%	50.85%	14.22%	0.00%
第2分野「思想と歴史」	2.14%	4.70%	11.40%	29.49%	45.01%	7.26%	0.00%
第3分野「現代社会の構造」	1.04%	3.24%	6.84%	29.43%	49.48%	9.97%	0.00%
第4分野「人間環境と健康」	1.18%	2.02%	5.99%	23.19%	54.72%	12.90%	0.00%
第5分野「数理と自然」	1.08%	3.86%	5.90%	29.76%	48.19%	11.20%	0.00%
第6分野「科学技術と生産」	1.38%	2.58%	8.43%	24.78%	50.60%	12.22%	0.00%
第1分野「地域と文明」	1.97%	2.63%	3.29%	23.03%	50.66%	18.42%	0.00%
外国語科目	1.49%	1.81%	5.32%	23.96%	54.42%	12.99%	0.00%

教養(前期)%

健康・スポーツ科目	1.04%	2.29%	4.86%	20.85%	51.42%	19.53%	0.00%
情報処理科目	1.40%	1.84%	7.79%	25.96%	54.12%	8.90%	0.00%

A-5 この授業の成績評価基準を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
第1分野「文化と芸術」	1.39%	3.71%	7.11%	20.56%	50.85%	16.38%	0.00%
第2分野「思想と歴史」	1.57%	2.42%	7.98%	24.64%	48.58%	14.81%	0.00%
第3分野「現代社会の構造」	0.46%	2.32%	4.40%	22.71%	50.52%	19.58%	0.00%
第4分野「人間環境と健康」	1.10%	1.94%	4.05%	18.63%	54.38%	19.90%	0.00%
第5分野「数理と自然」	1.45%	2.41%	3.86%	21.45%	46.87%	23.98%	0.00%
第6分野「科学技術と生産」	1.03%	2.07%	6.54%	21.17%	49.57%	19.62%	0.00%
第1分野「地域と文明」	1.32%	3.29%	3.29%	18.42%	51.97%	21.71%	0.00%
外国語科目	1.03%	1.67%	4.90%	18.78%	54.28%	19.35%	0.00%
健康・スポーツ科目	0.35%	1.60%	3.20%	15.91%	52.33%	26.62%	0.00%
情報処理科目	1.32%	1.54%	8.16%	23.31%	53.31%	12.35%	0.00%

B-1 この授業の内容は理解できる

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
第1分野「文化と芸術」	3.09%	3.40%	6.18%	25.04%	49.00%	13.29%	0.00%
第2分野「思想と歴史」	1.71%	4.13%	7.26%	28.21%	49.15%	9.54%	0.00%
第3分野「現代社会の構造」	1.27%	2.09%	3.82%	24.57%	55.39%	12.86%	0.00%
第4分野「人間環境と健康」	1.10%	0.93%	3.29%	17.62%	60.79%	16.27%	0.00%
第5分野「数理と自然」	1.69%	4.22%	7.71%	30.24%	44.70%	11.45%	0.00%
第6分野「科学技術と生産」	1.55%	3.10%	10.67%	24.10%	52.50%	8.09%	0.00%
第1分野「地域と文明」	2.63%	0.00%	3.29%	20.39%	54.61%	19.08%	0.00%
外国語科目	0.53%	1.88%	4.86%	19.70%	57.29%	15.73%	0.00%
健康・スポーツ科目	2.50%	0.69%	1.53%	13.13%	55.18%	26.96%	0.00%
情報処理科目	0.37%	2.94%	9.71%	24.26%	51.99%	10.74%	0.00%

B-2 この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
第1分野「文化と芸術」	2.63%	4.33%	6.18%	23.03%	46.52%	17.31%	0.00%
第2分野「思想と歴史」	1.99%	5.41%	8.97%	26.35%	44.02%	13.25%	0.00%
第3分野「現代社会の構造」	0.81%	2.55%	8.57%	27.35%	45.54%	15.18%	0.00%
第4分野「人間環境と健康」	1.01%	0.93%	3.12%	18.21%	52.45%	24.28%	0.00%
第5分野「数理と自然」	1.45%	3.98%	6.39%	30.24%	43.25%	14.70%	0.00%
第6分野「科学技術と生産」	1.38%	3.61%	7.75%	27.88%	46.13%	13.25%	0.00%
第1分野「地域と文明」	2.63%	0.00%	4.61%	20.39%	48.68%	23.68%	0.00%
外国語科目	0.60%	2.66%	6.60%	24.88%	47.75%	17.50%	0.00%
健康・スポーツ科目	1.18%	1.25%	2.57%	17.30%	49.06%	28.63%	0.00%
情報処理科目	0.29%	4.26%	9.26%	28.90%	45.59%	11.69%	0.00%

B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
第1分野「文化と芸術」	4.79%	3.09%	6.96%	24.11%	45.29%	15.77%	0.00%
第2分野「思想と歴史」	1.99%	3.99%	7.83%	31.62%	44.44%	10.11%	0.00%
第3分野「現代社会の構造」	1.97%	1.97%	5.21%	28.62%	48.90%	13.33%	0.00%

教養(前期)%

第4分野「人間環境と健康」	1.35%	0.59%	3.71%	20.99%	54.97%	18.38%	0.00%
第5分野「数理と自然」	2.29%	2.41%	4.46%	27.11%	49.28%	14.46%	0.00%
第6分野「科学技術と生産」	3.10%	2.41%	4.82%	23.92%	51.98%	13.77%	0.00%
第1分野「地域と文明」	4.61%	0.00%	3.29%	20.39%	51.32%	20.39%	0.00%
外国語科目	3.80%	2.41%	5.93%	30.60%	44.73%	12.53%	0.00%
健康・スポーツ科目	33.84%	0.28%	2.29%	25.57%	27.38%	10.63%	0.00%
情報処理科目	1.91%	2.57%	5.29%	21.76%	53.60%	14.85%	0.00%

B-4 教材(テキスト、配布資料、その他)はわかりやすかった

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
第1分野「文化と芸術」	4.64%	2.94%	6.49%	22.10%	49.61%	14.22%	0.00%
第2分野「思想と歴史」	2.42%	3.56%	6.41%	30.20%	47.58%	9.83%	0.00%
第3分野「現代社会の構造」	2.43%	1.85%	2.09%	30.24%	49.13%	14.25%	0.00%
第4分野「人間環境と健康」	4.22%	0.59%	2.36%	22.60%	53.79%	16.44%	0.00%
第5分野「数理と自然」	6.27%	2.29%	4.34%	29.76%	45.90%	11.45%	0.00%
第6分野「科学技術と生産」	3.44%	2.75%	4.65%	31.15%	46.30%	11.70%	0.00%
第1分野「地域と文明」	4.61%	0.00%	2.63%	15.79%	57.24%	19.74%	0.00%
外国語科目	1.70%	1.81%	5.08%	25.56%	51.15%	14.70%	0.00%
健康・スポーツ科目	36.07%	0.56%	2.02%	24.67%	26.75%	9.94%	0.00%
情報処理科目	4.56%	2.21%	6.03%	26.76%	49.04%	11.40%	0.00%

B-5 シラバスは学習する上で役に立っている

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
第1分野「文化と芸術」	9.74%	2.01%	6.96%	36.63%	36.48%	8.19%	0.00%
第2分野「思想と歴史」	9.26%	3.99%	7.26%	41.74%	31.20%	6.55%	0.00%
第3分野「現代社会の構造」	8.69%	1.97%	4.75%	44.15%	34.18%	6.26%	0.00%
第4分野「人間環境と健康」	9.87%	1.35%	4.30%	38.03%	37.10%	9.36%	0.00%
第5分野「数理と自然」	8.80%	2.89%	3.73%	44.46%	33.37%	6.75%	0.00%
第6分野「科学技術と生産」	8.78%	2.75%	4.48%	42.17%	35.11%	6.71%	0.00%
第1分野「地域と文明」	17.11%	0.66%	5.26%	37.50%	27.63%	11.84%	0.00%
外国語科目	10.33%	2.13%	4.83%	43.02%	31.70%	7.99%	0.00%
健康・スポーツ科目	20.78%	1.39%	3.61%	40.31%	24.74%	9.17%	0.00%
情報処理科目	10.88%	2.06%	5.37%	42.72%	32.94%	6.03%	0.00%

B-6 授業内容はシラバスに沿っている

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
第1分野「文化と芸術」	10.36%	0.77%	2.78%	31.99%	43.59%	10.51%	0.00%
第2分野「思想と歴史」	11.11%	2.56%	2.99%	37.32%	38.60%	7.41%	0.00%
第3分野「現代社会の構造」	10.54%	1.97%	2.43%	38.24%	39.86%	6.95%	0.00%
第4分野「人間環境と健康」	11.21%	0.76%	1.26%	31.96%	43.93%	10.88%	0.00%
第5分野「数理と自然」	10.24%	1.93%	2.29%	36.63%	40.00%	8.92%	0.00%
第6分野「科学技術と生産」	9.47%	1.55%	2.24%	35.11%	42.34%	9.29%	0.00%
第1分野「地域と文明」	18.42%	0.66%	1.32%	31.58%	34.87%	13.16%	0.00%
外国語科目	12.18%	1.46%	2.41%	36.67%	38.13%	9.16%	0.00%
健康・スポーツ科目	21.68%	0.76%	1.53%	35.58%	31.27%	9.17%	0.00%
情報処理科目	13.01%	0.96%	1.91%	35.29%	41.18%	7.65%	0.00%

B-7 声の大きさ・明瞭さは適切だった

教養(前期)%

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
第1分野「文化と芸術」	2.94%	1.08%	3.71%	17.62%	57.81%	16.85%	0.00%
第2分野「思想と歴史」	1.85%	4.42%	8.12%	20.09%	52.85%	12.68%	0.00%
第3分野「現代社会の構造」	0.81%	1.39%	2.43%	20.05%	58.17%	17.15%	0.00%
第4分野「人間環境と健康」	1.26%	0.59%	4.22%	16.27%	62.39%	15.26%	0.00%
第5分野「数理と自然」	2.29%	1.93%	3.86%	21.81%	56.27%	13.86%	0.00%
第6分野「科学技術と生産」	2.07%	1.38%	2.93%	21.51%	58.18%	13.94%	0.00%
第1分野「地域と文明」	3.29%	0.66%	1.32%	17.11%	59.21%	18.42%	0.00%
外国語科目	0.64%	1.63%	5.08%	15.05%	58.71%	18.89%	0.00%
健康・スポーツ科目	2.36%	1.04%	2.78%	13.48%	54.55%	25.78%	0.00%
情報処理科目	0.51%	2.65%	10.59%	18.97%	54.63%	12.65%	0.00%

B-8 話す速さは適切だった

	該当しない・わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
第1分野「文化と芸術」	4.33%	0.15%	2.94%	81.30%	9.43%	1.85%	0.00%
第2分野「思想と歴史」	3.28%	0.71%	4.42%	82.91%	6.70%	1.99%	0.00%
第3分野「現代社会の構造」	2.32%	0.81%	1.85%	86.67%	7.30%	1.04%	0.00%
第4分野「人間環境と健康」	3.20%	0.17%	1.60%	88.36%	5.31%	1.35%	0.00%
第5分野「数理と自然」	3.25%	0.84%	2.29%	83.86%	8.07%	1.69%	0.00%
第6分野「科学技術と生産」	3.96%	0.69%	1.38%	84.34%	8.43%	1.20%	0.00%
第1分野「地域と文明」	3.29%	0.66%	1.32%	89.47%	4.61%	0.66%	0.00%
外国語科目	1.42%	0.43%	2.56%	82.39%	10.65%	2.56%	0.00%
健康・スポーツ科目	4.59%	1.11%	2.64%	87.91%	2.08%	1.67%	0.00%
情報処理科目	1.62%	0.37%	2.65%	80.59%	12.28%	2.50%	0.00%

B-9 授業の進む速さは適切だった

	該当しない・わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
第1分野「文化と芸術」	5.56%	0.31%	2.63%	80.68%	9.12%	1.70%	0.00%
第2分野「思想と歴史」	3.99%	0.85%	2.99%	83.33%	6.55%	2.28%	0.00%
第3分野「現代社会の構造」	2.78%	1.27%	3.94%	84.59%	6.37%	1.04%	0.00%
第4分野「人間環境と健康」	3.46%	0.17%	2.19%	86.17%	6.32%	1.69%	0.00%
第5分野「数理と自然」	3.49%	0.60%	3.01%	79.76%	10.24%	2.89%	0.00%
第6分野「科学技術と生産」	4.13%	0.52%	1.38%	81.24%	10.50%	2.24%	0.00%
第1分野「地域と文明」	3.95%	1.32%	0.00%	88.82%	5.26%	0.66%	0.00%
外国語科目	1.63%	0.89%	4.15%	80.72%	10.15%	2.45%	0.00%
健康・スポーツ科目	7.02%	0.56%	3.68%	85.20%	1.95%	1.60%	0.00%
情報処理科目	1.99%	0.37%	3.31%	75.66%	15.37%	3.31%	0.00%

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
第1分野「文化と芸術」	4.64%	1.85%	5.87%	23.65%	50.39%	13.60%	0.00%
第2分野「思想と歴史」	3.13%	3.70%	6.84%	28.49%	48.29%	9.54%	0.00%
第3分野「現代社会の構造」	2.09%	1.51%	3.01%	30.71%	50.98%	11.70%	0.00%
第4分野「人間環境と健康」	2.61%	0.51%	2.95%	22.60%	56.41%	14.92%	0.00%
第5分野「数理と自然」	3.25%	1.81%	4.70%	26.99%	51.33%	11.93%	0.00%
第6分野「科学技術と生産」	2.75%	2.07%	3.79%	25.99%	55.25%	10.15%	0.00%
第1分野「地域と文明」	3.95%	0.66%	2.63%	21.05%	52.63%	19.08%	0.00%

教養(前期)%

外国語科目	1.35%	2.24%	5.93%	24.32%	51.83%	14.34%	0.00%
健康・スポーツ科目	7.92%	0.69%	2.64%	25.57%	48.16%	15.01%	0.00%
情報処理科目	1.18%	3.16%	7.65%	28.90%	49.93%	9.19%	0.00%

C-2 学生の質問に適切に対応している

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
第1分野「文化と芸術」	8.96%	1.08%	3.25%	26.28%	42.81%	17.62%	0.00%
第2分野「思想と歴史」	7.69%	1.85%	5.13%	28.35%	47.29%	9.69%	0.00%
第3分野「現代社会の構造」	5.91%	1.39%	2.09%	31.40%	47.74%	11.47%	0.00%
第4分野「人間環境と健康」	5.56%	0.25%	1.85%	27.57%	50.51%	14.25%	0.00%
第5分野「数理と自然」	6.99%	1.69%	2.89%	27.59%	44.82%	16.02%	0.00%
第6分野「科学技術と生産」	5.51%	1.38%	1.89%	33.05%	46.13%	12.05%	0.00%
第1分野「地域と文明」	6.58%	0.66%	1.32%	17.11%	40.79%	33.55%	0.00%
外国語科目	2.41%	1.81%	2.95%	20.52%	52.75%	19.56%	0.00%
健康・スポーツ科目	10.15%	0.76%	0.90%	22.59%	48.37%	17.23%	0.00%
情報処理科目	2.65%	2.21%	3.97%	19.49%	53.16%	18.53%	0.00%

D-1 この授業を受講して満足が得られた

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
第1分野「文化と芸術」	3.09%	4.02%	5.56%	26.28%	45.13%	15.92%	0.00%
第2分野「思想と歴史」	3.56%	3.99%	6.98%	28.92%	44.73%	11.82%	0.00%
第3分野「現代社会の構造」	1.62%	2.43%	4.98%	28.16%	47.28%	15.53%	0.00%
第4分野「人間環境と健康」	2.28%	0.84%	2.36%	20.24%	54.05%	20.24%	0.00%
第5分野「数理と自然」	2.77%	2.29%	5.06%	29.28%	46.75%	13.86%	0.00%
第6分野「科学技術と生産」	2.24%	3.10%	6.02%	27.71%	49.05%	11.88%	0.00%
第1分野「地域と文明」	3.29%	0.66%	1.97%	21.05%	44.08%	28.95%	0.00%
外国語科目	1.24%	2.63%	5.89%	23.11%	48.17%	18.96%	0.00%
健康・スポーツ科目	0.90%	1.25%	2.02%	13.97%	49.06%	32.80%	0.00%
情報処理科目	0.88%	3.46%	6.25%	26.62%	49.78%	13.01%	0.00%

教養(後期)%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20-40%	40-60%	60-80%	80%以上	なし
第1分野「文化と芸術」	0.83%	0.42%	1.88%	16.04%	80.83%	0.00%
第2分野「思想と歴史」	2.26%	0.90%	3.61%	15.58%	77.65%	0.00%
第3分野「現代社会の構造」	1.60%	1.96%	4.09%	15.48%	76.87%	0.00%
第4分野「人間環境と健康」	0.66%	1.18%	2.51%	14.66%	80.99%	0.00%
第5分野「数理と自然」	2.25%	1.35%	2.70%	13.96%	79.73%	0.00%
第6分野「科学技術と生産」	1.61%	1.61%	3.22%	13.88%	79.68%	0.00%
第1分野「地域と文明」	3.45%	3.45%	0.00%	17.24%	75.86%	0.00%
外国語科目	0.59%	0.23%	1.13%	8.16%	89.89%	0.00%
健康・スポーツ科目	0.18%	0.28%	1.38%	8.45%	89.72%	0.00%
情報処理科目	2.27%	1.32%	4.91%	12.48%	79.02%	0.00%

A-2 予習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
第1分野「文化と芸術」	62.34%	27.45%	4.89%	2.98%	2.34%	0.00%
第2分野「思想と歴史」	60.92%	29.66%	3.91%	2.30%	3.22%	0.00%
第3分野「現代社会の構造」	64.66%	27.14%	4.37%	2.19%	1.64%	0.00%
第4分野「人間環境と健康」	68.26%	24.55%	3.97%	1.65%	1.57%	0.00%
第5分野「数理と自然」	64.63%	26.53%	4.76%	2.49%	1.59%	0.00%
第6分野「科学技術と生産」	59.76%	30.28%	5.08%	2.03%	2.85%	0.00%
第1分野「地域と文明」	68.97%	17.24%	13.79%	0.00%	0.00%	0.00%
外国語科目	21.97%	51.72%	18.84%	4.26%	3.22%	0.00%
健康・スポーツ科目	77.07%	15.16%	3.40%	2.24%	2.14%	0.00%
情報処理科目	61.61%	30.13%	4.41%	2.11%	1.73%	0.00%

A-3 復習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
第1分野「文化と芸術」	53.40%	37.02%	4.26%	2.98%	2.34%	0.00%
第2分野「思想と歴史」	51.95%	36.32%	5.52%	3.22%	2.99%	0.00%
第3分野「現代社会の構造」	52.99%	37.57%	5.63%	2.54%	1.27%	0.00%
第4分野「人間環境と健康」	56.17%	34.93%	5.61%	1.80%	1.50%	0.00%
第5分野「数理と自然」	55.20%	34.62%	5.88%	2.49%	1.81%	0.00%
第6分野「科学技術と生産」	49.90%	35.70%	9.53%	1.62%	3.25%	0.00%
第1分野「地域と文明」	62.07%	20.69%	17.24%	0.00%	0.00%	0.00%
外国語科目	31.87%	51.68%	10.38%	3.67%	2.40%	0.00%
健康・スポーツ科目	75.36%	16.68%	3.98%	1.65%	2.33%	0.00%
情報処理科目	45.11%	41.65%	8.64%	2.88%	1.73%	0.00%

A-4 この授業の学習目標を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
第1分野「文化と芸術」	0.41%	1.66%	3.73%	24.90%	55.81%	13.49%	0.00%
第2分野「思想と歴史」	1.79%	3.14%	10.54%	22.42%	48.88%	13.23%	0.00%
第3分野「現代社会の構造」	1.06%	2.83%	6.89%	26.68%	49.47%	13.07%	0.00%
第4分野「人間環境と健康」	1.18%	2.20%	5.14%	23.44%	55.47%	12.56%	0.00%
第5分野「数理と自然」	1.79%	4.71%	7.17%	23.99%	51.57%	10.76%	0.00%
第6分野「科学技術と生産」	1.60%	2.60%	5.00%	28.40%	46.40%	16.00%	0.00%
第1分野「地域と文明」	0.00%	3.45%	10.34%	24.14%	41.38%	20.69%	0.00%
外国語科目	1.62%	1.89%	4.01%	21.34%	54.75%	16.39%	0.00%

教養(後期)%

健康・スポーツ科目	2.11%	1.01%	3.57%	24.29%	48.49%	20.53%	0.00%
情報処理科目	1.69%	3.39%	6.59%	27.87%	51.41%	9.04%	0.00%

A-5 この授業の成績評価基準を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
第1分野「文化と芸術」	0.83%	1.24%	2.49%	21.99%	51.04%	22.41%	0.00%
第2分野「思想と歴史」	1.79%	2.24%	5.16%	22.65%	50.67%	17.49%	0.00%
第3分野「現代社会の構造」	0.53%	2.65%	5.83%	19.08%	50.35%	21.55%	0.00%
第4分野「人間環境と健康」	0.59%	1.62%	4.11%	20.21%	53.20%	20.28%	0.00%
第5分野「数理と自然」	2.02%	2.91%	4.48%	19.06%	50.22%	21.30%	0.00%
第6分野「科学技術と生産」	1.00%	1.00%	3.60%	22.60%	47.00%	24.80%	0.00%
第1分野「地域と文明」	0.00%	3.45%	3.45%	27.59%	41.38%	24.14%	0.00%
外国語科目	1.17%	1.76%	2.97%	18.19%	52.99%	22.92%	0.00%
健康・スポーツ科目	1.47%	0.82%	3.67%	20.26%	48.76%	25.02%	0.00%
情報処理科目	2.07%	1.88%	6.40%	25.61%	52.54%	11.49%	0.00%

B-1 この授業の内容は理解できる

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
第1分野「文化と芸術」	0.41%	0.41%	3.32%	23.03%	56.85%	15.98%	0.00%
第2分野「思想と歴史」	1.57%	3.36%	8.52%	22.20%	51.57%	12.78%	0.00%
第3分野「現代社会の構造」	1.41%	1.59%	4.42%	23.50%	54.59%	14.49%	0.00%
第4分野「人間環境と健康」	0.51%	1.40%	1.91%	21.01%	60.25%	14.92%	0.00%
第5分野「数理と自然」	2.24%	6.73%	11.43%	22.65%	47.09%	9.87%	0.00%
第6分野「科学技術と生産」	1.60%	3.80%	6.60%	28.40%	44.20%	15.40%	0.00%
第1分野「地域と文明」	0.00%	0.00%	0.00%	20.69%	58.62%	20.69%	0.00%
外国語科目	0.68%	2.30%	4.28%	20.26%	56.96%	15.53%	0.00%
健康・スポーツ科目	2.66%	0.46%	1.65%	18.33%	50.87%	26.03%	0.00%
情報処理科目	1.51%	2.82%	7.34%	30.89%	50.28%	7.16%	0.00%

B-2 この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
第1分野「文化と芸術」	0.41%	0.62%	3.11%	19.29%	47.51%	29.05%	0.00%
第2分野「思想と歴史」	1.57%	4.93%	9.42%	24.44%	44.39%	15.25%	0.00%
第3分野「現代社会の構造」	1.41%	2.30%	6.54%	24.91%	46.11%	18.73%	0.00%
第4分野「人間環境と健康」	0.44%	1.40%	2.20%	19.91%	55.47%	20.57%	0.00%
第5分野「数理と自然」	1.79%	5.38%	8.30%	26.01%	45.74%	12.78%	0.00%
第6分野「科学技術と生産」	1.40%	3.20%	7.40%	28.60%	39.80%	19.60%	0.00%
第1分野「地域と文明」	0.00%	0.00%	0.00%	31.03%	44.83%	24.14%	0.00%
外国語科目	0.68%	3.11%	6.53%	25.44%	47.50%	16.75%	0.00%
健康・スポーツ科目	1.65%	0.64%	3.21%	22.36%	46.01%	26.12%	0.00%
情報処理科目	1.69%	2.82%	9.23%	30.89%	47.08%	8.29%	0.00%

B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
第1分野「文化と芸術」	1.24%	0.41%	4.15%	23.65%	47.51%	23.03%	0.00%
第2分野「思想と歴史」	2.47%	5.38%	9.19%	26.46%	43.95%	12.56%	0.00%
第3分野「現代社会の構造」	1.59%	1.59%	4.95%	26.33%	50.71%	14.84%	0.00%

教養(後期)%

第4分野「人間環境と健康」	0.81%	1.03%	4.04%	23.81%	53.27%	17.05%	0.00%
第5分野「数理と自然」	2.02%	2.24%	6.50%	25.78%	49.55%	13.90%	0.00%
第6分野「科学技術と生産」	1.60%	4.00%	8.20%	27.40%	41.00%	17.80%	0.00%
第1分野「地域と文明」	0.00%	0.00%	0.00%	34.48%	48.28%	17.24%	0.00%
外国語科目	3.56%	2.57%	5.63%	29.49%	45.52%	13.24%	0.00%
健康・スポーツ科目	30.80%	0.55%	1.47%	27.31%	28.05%	11.82%	0.00%
情報処理科目	2.26%	2.64%	4.33%	30.51%	49.91%	10.36%	0.00%

B-4 教材(テキスト、配布資料、その他)はわかりやすかった

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
第1分野「文化と芸術」	3.94%	0.62%	3.53%	24.07%	47.72%	20.12%	0.00%
第2分野「思想と歴史」	2.69%	3.59%	6.50%	29.15%	46.19%	11.88%	0.00%
第3分野「現代社会の構造」	2.30%	1.94%	2.65%	24.20%	54.59%	14.31%	0.00%
第4分野「人間環境と健康」	2.87%	0.81%	3.23%	24.25%	54.08%	14.77%	0.00%
第5分野「数理と自然」	6.50%	2.47%	5.83%	30.27%	42.60%	12.33%	0.00%
第6分野「科学技術と生産」	6.40%	4.80%	6.20%	29.80%	35.80%	17.00%	0.00%
第1分野「地域と文明」	0.00%	0.00%	3.45%	24.14%	55.17%	17.24%	0.00%
外国語科目	1.58%	2.70%	4.91%	25.62%	50.79%	14.41%	0.00%
健康・スポーツ科目	32.45%	0.55%	1.28%	27.68%	26.49%	11.55%	0.00%
情報処理科目	3.95%	1.69%	4.52%	32.96%	48.02%	8.85%	0.00%

B-5 シラバスは学習する上で役に立っている

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
第1分野「文化と芸術」	8.92%	1.24%	3.32%	41.29%	34.85%	10.37%	0.00%
第2分野「思想と歴史」	8.30%	3.14%	2.69%	40.58%	36.55%	8.74%	0.00%
第3分野「現代社会の構造」	11.13%	1.41%	4.42%	42.40%	32.51%	8.13%	0.00%
第4分野「人間環境と健康」	8.89%	1.32%	3.23%	34.83%	41.95%	9.77%	0.00%
第5分野「数理と自然」	12.56%	2.47%	6.95%	38.57%	30.72%	8.74%	0.00%
第6分野「科学技術と生産」	5.40%	3.40%	5.20%	38.00%	35.60%	12.40%	0.00%
第1分野「地域と文明」	6.90%	0.00%	0.00%	44.83%	37.93%	10.34%	0.00%
外国語科目	10.00%	2.03%	4.82%	38.99%	35.16%	9.00%	0.00%
健康・スポーツ科目	18.06%	0.64%	3.21%	40.15%	27.41%	10.54%	0.00%
情報処理科目	10.55%	1.51%	4.33%	44.07%	34.09%	5.46%	0.00%

B-6 授業内容はシラバスに沿っている

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
第1分野「文化と芸術」	10.17%	0.21%	2.70%	34.44%	40.66%	11.83%	0.00%
第2分野「思想と歴史」	9.19%	2.02%	2.02%	38.34%	39.46%	8.97%	0.00%
第3分野「現代社会の構造」	11.66%	1.24%	2.65%	36.93%	38.69%	8.83%	0.00%
第4分野「人間環境と健康」	9.33%	0.73%	1.25%	31.30%	46.88%	10.51%	0.00%
第5分野「数理と自然」	14.80%	1.12%	2.02%	37.00%	34.53%	10.54%	0.00%
第6分野「科学技術と生産」	6.20%	1.80%	3.00%	34.40%	41.60%	13.00%	0.00%
第1分野「地域と文明」	6.90%	0.00%	0.00%	37.93%	41.38%	13.79%	0.00%
外国語科目	10.49%	1.49%	2.57%	36.02%	39.35%	10.09%	0.00%
健康・スポーツ科目	17.97%	0.18%	1.56%	36.11%	32.81%	11.37%	0.00%
情報処理科目	11.49%	0.94%	2.07%	38.23%	40.87%	6.40%	0.00%

B-7 声の大きさ・明瞭さは適切だった

教養(後期)%

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
第1分野「文化と芸術」	0.83%	0.41%	1.87%	14.94%	60.58%	21.37%	0.00%
第2分野「思想と歴史」	1.79%	3.36%	7.17%	21.97%	51.57%	14.13%	0.00%
第3分野「現代社会の構造」	1.24%	1.41%	2.65%	17.67%	62.01%	15.02%	0.00%
第4分野「人間環境と健康」	1.18%	0.66%	2.72%	18.15%	61.65%	15.65%	0.00%
第5分野「数理と自然」	1.79%	1.35%	3.14%	24.44%	55.83%	13.45%	0.00%
第6分野「科学技術と生産」	1.40%	2.20%	5.00%	23.60%	51.60%	16.20%	0.00%
第1分野「地域と文明」	3.45%	0.00%	0.00%	20.69%	58.62%	17.24%	0.00%
外国語科目	0.95%	2.21%	3.87%	16.88%	56.37%	19.72%	0.00%
健康・スポーツ科目	2.66%	1.10%	2.66%	15.58%	51.79%	26.21%	0.00%
情報処理科目	1.88%	1.69%	7.34%	29.38%	51.60%	8.10%	0.00%

B-8 話す速さは適切だった

	該当しない・わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
第1分野「文化と芸術」	1.66%	0.00%	2.90%	86.51%	7.47%	1.45%	0.00%
第2分野「思想と歴史」	2.91%	0.67%	4.71%	82.06%	8.97%	0.67%	0.00%
第3分野「現代社会の構造」	3.36%	0.88%	1.41%	86.75%	6.54%	1.06%	0.00%
第4分野「人間環境と健康」	2.13%	0.29%	1.62%	88.68%	6.54%	0.73%	0.00%
第5分野「数理と自然」	2.69%	0.45%	1.35%	86.32%	7.17%	2.02%	0.00%
第6分野「科学技術と生産」	3.40%	0.80%	1.00%	84.40%	7.60%	2.80%	0.00%
第1分野「地域と文明」	10.34%	0.00%	0.00%	82.76%	6.90%	0.00%	0.00%
外国語科目	1.94%	0.45%	2.07%	83.30%	10.58%	1.67%	0.00%
健康・スポーツ科目	5.04%	1.19%	1.65%	88.63%	2.02%	1.47%	0.00%
情報処理科目	3.95%	0.19%	3.20%	81.92%	9.60%	1.13%	0.00%

B-9 授業の進む速さは適切だった

	該当しない・わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
第1分野「文化と芸術」	1.45%	0.41%	5.39%	87.34%	3.94%	1.45%	0.00%
第2分野「思想と歴史」	3.36%	0.22%	4.26%	80.49%	10.31%	1.35%	0.00%
第3分野「現代社会の構造」	3.89%	0.71%	2.12%	86.04%	6.18%	1.06%	0.00%
第4分野「人間環境と健康」	2.42%	0.29%	2.28%	87.44%	6.39%	1.18%	0.00%
第5分野「数理と自然」	3.36%	0.22%	1.57%	82.51%	10.09%	2.24%	0.00%
第6分野「科学技術と生産」	3.40%	0.60%	1.60%	80.80%	9.80%	3.80%	0.00%
第1分野「地域と文明」	6.90%	0.00%	3.45%	86.21%	3.45%	0.00%	0.00%
外国語科目	2.25%	0.81%	3.42%	81.63%	9.91%	1.98%	0.00%
健康・スポーツ科目	7.06%	0.92%	3.30%	84.51%	2.84%	1.37%	0.00%
情報処理科目	4.33%	0.19%	3.77%	78.34%	12.05%	1.32%	0.00%

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
第1分野「文化と芸術」	1.87%	0.41%	2.28%	22.20%	51.66%	21.58%	0.00%
第2分野「思想と歴史」	2.91%	4.48%	5.16%	26.46%	50.22%	10.76%	0.00%
第3分野「現代社会の構造」	3.36%	0.88%	3.18%	28.09%	51.41%	13.07%	0.00%
第4分野「人間環境と健康」	1.62%	1.10%	2.94%	24.83%	56.80%	12.71%	0.00%
第5分野「数理と自然」	1.57%	2.91%	5.61%	33.41%	45.52%	10.99%	0.00%
第6分野「科学技術と生産」	2.40%	4.60%	7.20%	28.40%	42.80%	14.60%	0.00%
第1分野「地域と文明」	6.90%	0.00%	0.00%	27.59%	51.72%	13.79%	0.00%

教養(後期)%

外国語科目	1.76%	2.21%	4.82%	24.63%	50.52%	16.07%	0.00%
健康・スポーツ科目	9.72%	1.47%	2.29%	24.75%	45.37%	16.41%	0.00%
情報処理科目	2.45%	2.07%	6.97%	31.07%	48.21%	9.23%	0.00%

C-2 学生の質問に適切に対応している

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
第1分野「文化と芸術」	4.56%	0.21%	2.07%	23.03%	42.53%	27.59%	0.00%
第2分野「思想と歴史」	6.95%	2.47%	2.91%	29.15%	44.39%	14.13%	0.00%
第3分野「現代社会の構造」	6.54%	0.71%	2.65%	28.62%	44.70%	16.78%	0.00%
第4分野「人間環境と健康」	4.63%	0.66%	2.42%	27.41%	51.43%	13.45%	0.00%
第5分野「数理と自然」	7.17%	2.02%	1.57%	30.49%	44.62%	14.13%	0.00%
第6分野「科学技術と生産」	7.40%	1.80%	3.60%	29.40%	41.00%	16.80%	0.00%
第1分野「地域と文明」	6.90%	0.00%	0.00%	31.03%	41.38%	20.69%	0.00%
外国語科目	3.20%	1.71%	2.52%	20.98%	50.65%	20.94%	0.00%
健康・スポーツ科目	8.89%	1.01%	1.19%	25.02%	45.37%	18.52%	0.00%
情報処理科目	3.95%	1.13%	3.77%	31.45%	48.40%	11.30%	0.00%

D-1 この授業を受講して満足が得られた

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
第1分野「文化と芸術」	1.24%	1.04%	3.11%	18.88%	47.30%	28.42%	0.00%
第2分野「思想と歴史」	1.79%	5.16%	5.38%	25.11%	47.09%	15.47%	0.00%
第3分野「現代社会の構造」	2.47%	1.41%	4.42%	26.86%	47.53%	17.31%	0.00%
第4分野「人間環境と健康」	1.25%	1.10%	2.42%	20.65%	56.65%	17.93%	0.00%
第5分野「数理と自然」	2.02%	3.59%	4.71%	30.94%	47.09%	11.66%	0.00%
第6分野「科学技術と生産」	2.00%	4.40%	6.00%	27.40%	43.00%	17.20%	0.00%
第1分野「地域と文明」	6.90%	0.00%	0.00%	27.59%	51.72%	13.79%	0.00%
外国語科目	1.22%	3.11%	4.86%	23.55%	47.82%	19.45%	0.00%
健康・スポーツ科目	1.28%	1.37%	1.74%	18.79%	47.39%	29.42%	0.00%
情報処理科目	1.69%	1.69%	6.03%	35.22%	45.95%	9.42%	0.00%

教育研(前期)%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20-40%	40-60%	60-80%	80%以上	なし
学校教育専攻	0.00%	0.00%	0.00%	3.64%	96.36%	0.00%
教科教育専攻	0.92%	0.00%	0.00%	3.23%	95.85%	0.00%

A-2 予習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
学校教育専攻	21.43%	55.36%	5.36%	8.93%	8.93%	0.00%
教科教育専攻	11.52%	30.88%	20.28%	16.13%	21.20%	0.00%

A-3 復習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
学校教育専攻	14.29%	60.71%	10.71%	7.14%	7.14%	0.00%
教科教育専攻	8.76%	38.71%	19.35%	15.21%	17.97%	0.00%

A-4 この授業の学習目標を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
学校教育専攻	0.00%	0.00%	1.79%	8.93%	58.93%	30.36%	0.00%
教科教育専攻	0.92%	0.46%	0.00%	4.61%	49.31%	44.70%	0.00%

A-5 この授業の成績評価基準を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
学校教育専攻	0.00%	0.00%	3.57%	17.86%	58.93%	19.64%	0.00%
教科教育専攻	0.92%	0.46%	0.46%	5.07%	53.00%	40.09%	0.00%

B-1 この授業の内容は理解できる

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
学校教育専攻	0.00%	0.00%	0.00%	7.14%	50.00%	42.86%	0.00%
教科教育専攻	0.92%	0.46%	0.00%	3.69%	51.15%	43.78%	0.00%

B-2 この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
学校教育専攻	0.00%	0.00%	0.00%	5.36%	51.79%	42.86%	0.00%
教科教育専攻	0.92%	0.00%	0.92%	3.23%	41.47%	53.46%	0.00%

B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
学校教育専攻	1.79%	0.00%	0.00%	7.14%	53.57%	37.50%	0.00%
教科教育専攻	13.36%	0.00%	0.92%	7.37%	40.09%	38.25%	0.00%

B-4 教材(テキスト、配布資料、その他)はわかりやすかった

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
学校教育専攻	0.00%	0.00%	0.00%	5.36%	55.36%	39.29%	0.00%
教科教育専攻	7.37%	0.00%	1.84%	3.23%	43.78%	43.78%	0.00%

B-5 シラバスは学習する上で役に立っている

教育研(前期)%

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
学校教育専攻	1.79%	1.79%	0.00%	14.29%	50.00%	32.14%	0.00%
教科教育専攻	8.29%	0.00%	1.38%	10.14%	44.24%	35.94%	0.00%

B-6 授業内容はシラバスに沿っている

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
学校教育専攻	3.57%	0.00%	1.79%	7.14%	55.36%	32.14%	0.00%
教科教育専攻	7.83%	0.00%	1.38%	7.37%	44.24%	39.17%	0.00%

B-7 声の大きさ・明瞭さは適切だった

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
学校教育専攻	0.00%	0.00%	0.00%	5.36%	51.79%	42.86%	0.00%
教科教育専攻	0.92%	0.46%	0.46%	2.30%	50.23%	45.62%	0.00%

B-8 話す速さは適切だった

	該当しない・ わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
学校教育専攻	1.79%	0.00%	1.79%	92.86%	3.57%	0.00%	0.00%
教科教育専攻	0.92%	0.00%	0.46%	94.93%	3.23%	0.46%	0.00%

B-9 授業の進む速さは適切だった

	該当しない・ わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
学校教育専攻	0.00%	0.00%	7.14%	91.07%	1.79%	0.00%	0.00%
教科教育専攻	0.92%	0.46%	0.46%	94.01%	3.23%	0.92%	0.00%

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
学校教育専攻	0.00%	0.00%	1.79%	7.14%	50.00%	41.07%	0.00%
教科教育専攻	0.92%	0.00%	0.46%	3.23%	44.24%	51.15%	0.00%

C-2 学生の質問に適切に対応している

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
学校教育専攻	0.00%	0.00%	0.00%	5.36%	53.57%	41.07%	0.00%
教科教育専攻	0.92%	0.00%	0.00%	1.38%	37.79%	59.91%	0.00%

D-1 この授業を受講して満足が得られた

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
学校教育専攻	0.00%	0.00%	0.00%	5.36%	50.00%	44.64%	0.00%
教科教育専攻	0.92%	0.00%	0.46%	1.38%	36.41%	60.83%	0.00%

教育研(後期)%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20-40%	40-60%	60-80%	80%以上	なし
学校教育専攻	0.00%	0.00%	0.00%	25.00%	75.00%	0.00%
教科教育専攻	0.00%	0.00%	0.00%	9.78%	90.22%	0.00%

A-2 予習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
学校教育専攻	0.00%	62.50%	12.50%	0.00%	25.00%	0.00%
教科教育専攻	7.61%	25.00%	23.91%	7.61%	35.87%	0.00%

A-3 復習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
学校教育専攻	0.00%	75.00%	0.00%	0.00%	25.00%	0.00%
教科教育専攻	7.61%	29.35%	21.74%	13.04%	28.26%	0.00%

A-4 この授業の学習目標を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
学校教育専攻	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	37.50%	62.50%	0.00%
教科教育専攻	0.00%	0.00%	2.17%	4.35%	31.52%	61.96%	0.00%

A-5 この授業の成績評価基準を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
学校教育専攻	0.00%	0.00%	0.00%	37.50%	25.00%	37.50%	0.00%
教科教育専攻	0.00%	0.00%	3.26%	7.61%	35.87%	53.26%	0.00%

B-1 この授業の内容は理解できる

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
学校教育専攻	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	75.00%	25.00%	0.00%
教科教育専攻	0.00%	0.00%	2.17%	3.26%	43.48%	51.09%	0.00%

B-2 この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
学校教育専攻	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	50.00%	50.00%	0.00%
教科教育専攻	0.00%	0.00%	2.17%	0.00%	34.78%	63.04%	0.00%

B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
学校教育専攻	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	37.50%	62.50%	0.00%
教科教育専攻	18.48%	0.00%	2.17%	6.52%	33.70%	39.13%	0.00%

B-4 教材(テキスト、配布資料、その他)はわかりやすかった

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
学校教育専攻	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	50.00%	50.00%	0.00%
教科教育専攻	17.39%	0.00%	2.17%	6.52%	22.83%	51.09%	0.00%

B-5 シラバスは学習する上で役に立っている

教育研(後期)%

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
学校教育専攻	0.00%	0.00%	0.00%	25.00%	25.00%	50.00%	0.00%
教科教育専攻	11.96%	0.00%	3.26%	10.87%	29.35%	44.57%	0.00%

B-6 授業内容はシラバスに沿っている

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
学校教育専攻	0.00%	0.00%	0.00%	25.00%	25.00%	50.00%	0.00%
教科教育専攻	13.04%	0.00%	2.17%	13.04%	27.17%	44.57%	0.00%

B-7 声の大きさ・明瞭さは適切だった

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
学校教育専攻	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	37.50%	62.50%	0.00%
教科教育専攻	2.17%	0.00%	2.17%	0.00%	40.22%	55.43%	0.00%

B-8 話す速さは適切だった

	該当しない・ わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
学校教育専攻	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%	0.00%	0.00%	0.00%
教科教育専攻	2.17%	0.00%	0.00%	96.74%	1.09%	0.00%	0.00%

B-9 授業の進む速さは適切だった

	該当しない・ わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
学校教育専攻	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%	0.00%	0.00%	0.00%
教科教育専攻	4.35%	1.09%	0.00%	92.39%	1.09%	1.09%	0.00%

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
学校教育専攻	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	37.50%	62.50%	0.00%
教科教育専攻	3.26%	0.00%	0.00%	4.35%	31.52%	60.87%	0.00%

C-2 学生の質問に適切に対応している

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
学校教育専攻	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	25.00%	75.00%	0.00%
教科教育専攻	1.09%	0.00%	0.00%	1.09%	25.00%	72.83%	0.00%

D-1 この授業を受講して満足が得られた

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
学校教育専攻	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	50.00%	50.00%	0.00%
教科教育専攻	1.09%	0.00%	0.00%	3.26%	26.09%	69.57%	0.00%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20-40%	40-60%	60-80%	80%以上	なし
金融・経済政策専攻	0.00%	0.00%	0.00%	7.14%	92.86%	0.00%
企業経営専攻	3.03%	0.00%	0.00%	0.00%	96.97%	0.00%

A-2 予習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
金融・経済政策専攻	0.00%	35.71%	14.29%	21.43%	28.57%	0.00%
企業経営専攻	3.03%	42.42%	9.09%	15.15%	30.30%	0.00%

A-3 復習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
金融・経済政策専攻	0.00%	50.00%	14.29%	7.14%	28.57%	0.00%
企業経営専攻	6.25%	46.88%	9.38%	6.25%	31.25%	0.00%

A-4 この授業の学習目標を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
金融・経済政策専攻	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	71.43%	28.57%	0.00%
企業経営専攻	3.03%	3.03%	0.00%	0.00%	33.33%	60.61%	0.00%

A-5 この授業の成績評価基準を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
金融・経済政策専攻	0.00%	0.00%	0.00%	14.29%	50.00%	35.71%	0.00%
企業経営専攻	3.03%	3.03%	0.00%	0.00%	30.30%	63.64%	0.00%

B-1 この授業の内容は理解できる

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
金融・経済政策専攻	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	78.57%	21.43%	0.00%
企業経営専攻	3.03%	0.00%	0.00%	0.00%	45.45%	51.52%	0.00%

B-2 この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
金融・経済政策専攻	0.00%	0.00%	0.00%	7.14%	50.00%	42.86%	0.00%
企業経営専攻	3.03%	0.00%	0.00%	3.03%	39.39%	54.55%	0.00%

B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
金融・経済政策専攻	21.43%	0.00%	0.00%	0.00%	42.86%	35.71%	0.00%
企業経営専攻	3.03%	0.00%	0.00%	0.00%	27.27%	69.70%	0.00%

B-4 教材(テキスト、配布資料、その他)はわかりやすかった

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
金融・経済政策専攻	0.00%	0.00%	0.00%	14.29%	57.14%	28.57%	0.00%
企業経営専攻	3.03%	0.00%	0.00%	6.06%	24.24%	66.67%	0.00%

B-5 シラバスは学習する上で役に立っている

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
金融・経済政策専攻	0.00%	0.00%	0.00%	14.29%	57.14%	28.57%	0.00%
企業経営専攻	3.03%	0.00%	0.00%	3.03%	36.36%	57.58%	0.00%

B-6 授業内容はシラバスに沿っている

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
金融・経済政策専攻	0.00%	0.00%	0.00%	7.14%	64.29%	28.57%	0.00%
企業経営専攻	3.03%	0.00%	0.00%	0.00%	36.36%	60.61%	0.00%

B-7 声の大きさ・明瞭さは適切だった

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
金融・経済政策専攻	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	64.29%	35.71%	0.00%
企業経営専攻	3.03%	0.00%	0.00%	0.00%	33.33%	63.64%	0.00%

B-8 話す速さは適切だった

	該当しない・ わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
金融・経済政策専攻	0.00%	0.00%	0.00%	92.86%	0.00%	7.14%	0.00%
企業経営専攻	3.03%	0.00%	0.00%	75.76%	6.06%	15.15%	0.00%

B-9 授業の進む速さは適切だった

	該当しない・ わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
金融・経済政策専攻	0.00%	0.00%	0.00%	92.86%	0.00%	7.14%	0.00%
企業経営専攻	3.03%	0.00%	0.00%	78.79%	6.06%	12.12%	0.00%

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
金融・経済政策専攻	0.00%	0.00%	0.00%	7.14%	42.86%	50.00%	0.00%
企業経営専攻	3.03%	0.00%	0.00%	0.00%	39.39%	57.58%	0.00%

C-2 学生の質問に適切に対応してくれている

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
金融・経済政策専攻	7.14%	0.00%	0.00%	0.00%	28.57%	64.29%	0.00%
企業経営専攻	3.03%	0.00%	0.00%	0.00%	27.27%	69.70%	0.00%

D-1 この授業を受講して満足が得られた

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
金融・経済政策専攻	7.14%	0.00%	0.00%	0.00%	28.57%	64.29%	0.00%
企業経営専攻	3.03%	0.00%	0.00%	0.00%	33.33%	63.64%	0.00%

工学系(前期)%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20-40%	40-60%	60-80%	80%以上	なし
数理科学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	4.35%	95.65%	0.00%
物理科学専攻	3.85%	1.92%	5.77%	9.62%	78.85%	0.00%
知能情報システム学専攻	0.00%	0.00%	1.33%	0.00%	98.67%	0.00%
循環物質化学専攻	1.32%	0.00%	0.66%	9.27%	88.74%	0.00%
機械システム工学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%	0.00%
電気電子工学専攻	0.00%	0.75%	0.00%	0.75%	98.50%	0.00%
都市工学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	10.53%	89.47%	0.00%
先端融合工学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	1.35%	98.65%	0.00%

A-2 予習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
数理科学専攻	8.70%	56.52%	4.35%	0.00%	30.43%	0.00%
物理科学専攻	32.69%	19.23%	17.31%	9.62%	21.15%	0.00%
知能情報システム学専攻	13.41%	12.20%	26.83%	12.20%	35.37%	0.00%
循環物質化学専攻	7.84%	44.44%	31.37%	6.54%	9.80%	0.00%
機械システム工学専攻	90.91%	9.09%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
電気電子工学専攻	5.19%	54.07%	23.70%	5.93%	11.11%	0.00%
都市工学専攻	37.84%	21.62%	8.11%	5.41%	27.03%	0.00%
先端融合工学専攻	22.38%	32.17%	12.59%	9.09%	23.78%	0.00%

A-3 復習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
数理科学専攻	4.35%	47.83%	17.39%	0.00%	30.43%	0.00%
物理科学専攻	15.38%	44.23%	11.54%	9.62%	19.23%	0.00%
知能情報システム学専攻	15.66%	21.69%	21.69%	6.02%	34.94%	0.00%
循環物質化学専攻	7.14%	58.44%	25.32%	2.60%	6.49%	0.00%
機械システム工学専攻	63.64%	36.36%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
電気電子工学専攻	16.30%	40.74%	22.22%	9.63%	11.11%	0.00%
都市工学専攻	24.32%	21.62%	16.22%	8.11%	29.73%	0.00%
先端融合工学専攻	20.28%	38.46%	13.29%	8.39%	19.58%	0.00%

A-4 この授業の学習目標を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
数理科学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	8.70%	52.17%	39.13%	0.00%
物理科学専攻	0.00%	3.85%	23.08%	11.54%	42.31%	19.23%	0.00%
知能情報システム学専攻	0.00%	0.00%	2.41%	6.02%	54.22%	37.35%	0.00%
循環物質化学専攻	0.00%	1.95%	8.44%	20.13%	50.00%	19.48%	0.00%
機械システム工学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	33.33%	66.67%	0.00%	0.00%
電気電子工学専攻	0.00%	0.00%	8.15%	22.96%	55.56%	13.33%	0.00%
都市工学専攻	0.00%	0.00%	7.89%	7.89%	42.11%	42.11%	0.00%
先端融合工学専攻	0.00%	0.00%	4.05%	7.43%	50.68%	37.84%	0.00%

A-5 この授業の成績評価基準を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
数理科学専攻	4.35%	4.35%	0.00%	8.70%	39.13%	43.48%	0.00%
物理科学専攻	0.00%	1.92%	13.46%	3.85%	38.46%	42.31%	0.00%
知能情報システム学専攻	1.20%	0.00%	3.61%	7.23%	43.37%	44.58%	0.00%

工学系(前期)%

循環物質化学専攻	0.00%	1.95%	3.25%	14.94%	59.09%	20.78%	0.00%
機械システム工学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	25.00%	75.00%	0.00%	0.00%
電気電子工学専攻	0.00%	0.74%	1.48%	16.30%	69.63%	11.85%	0.00%
都市工学専攻	0.00%	2.63%	5.26%	13.16%	47.37%	31.58%	0.00%
先端融合工学専攻	0.00%	0.00%	2.70%	4.73%	55.41%	37.16%	0.00%

B-1 この授業の内容は理解できる

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理学専攻	0.00%	0.00%	4.35%	26.09%	60.87%	8.70%	0.00%
物理科学専攻	1.92%	1.92%	15.38%	9.62%	51.92%	19.23%	0.00%
知能情報システム学専攻	1.20%	1.20%	3.61%	19.28%	40.96%	33.73%	0.00%
循環物質化学専攻	11.04%	1.30%	5.84%	20.78%	51.95%	9.09%	0.00%
機械システム工学専攻	0.00%	8.33%	0.00%	33.33%	58.33%	0.00%	0.00%
電気電子工学専攻	2.96%	1.48%	6.67%	28.15%	54.07%	6.67%	0.00%
都市工学専攻	0.00%	0.00%	5.26%	5.26%	44.74%	44.74%	0.00%
先端融合工学専攻	5.41%	0.68%	3.38%	11.49%	52.03%	27.03%	0.00%

B-2 この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	8.70%	60.87%	30.43%	0.00%
物理科学専攻	1.92%	0.00%	9.62%	19.23%	48.08%	21.15%	0.00%
知能情報システム学専攻	0.00%	2.41%	7.23%	15.66%	36.14%	38.55%	0.00%
循環物質化学専攻	11.69%	1.30%	8.44%	20.13%	42.86%	15.58%	0.00%
機械システム工学専攻	0.00%	8.33%	0.00%	33.33%	58.33%	0.00%	0.00%
電気電子工学専攻	2.22%	0.74%	7.41%	26.67%	54.81%	8.15%	0.00%
都市工学専攻	0.00%	0.00%	7.89%	0.00%	44.74%	47.37%	0.00%
先端融合工学専攻	5.41%	0.68%	5.41%	14.19%	41.89%	32.43%	0.00%

B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理学専攻	4.35%	0.00%	4.35%	13.04%	69.57%	8.70%	0.00%
物理科学専攻	3.85%	0.00%	9.62%	17.31%	44.23%	25.00%	0.00%
知能情報システム学専攻	9.64%	0.00%	7.23%	15.66%	34.94%	32.53%	0.00%
循環物質化学専攻	16.23%	0.65%	9.74%	31.17%	29.22%	12.99%	0.00%
機械システム工学専攻	0.00%	8.33%	0.00%	41.67%	50.00%	0.00%	0.00%
電気電子工学専攻	11.11%	0.74%	8.15%	34.07%	38.52%	7.41%	0.00%
都市工学専攻	13.16%	2.63%	2.63%	10.53%	36.84%	34.21%	0.00%
先端融合工学専攻	9.46%	2.70%	6.08%	17.57%	35.81%	28.38%	0.00%

B-4 教材(テキスト、配布資料、その他)はわかりやすかった

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理学専攻	8.70%	0.00%	4.35%	17.39%	47.83%	21.74%	0.00%
物理科学専攻	5.77%	0.00%	7.69%	26.92%	28.85%	30.77%	0.00%
知能情報システム学専攻	9.64%	3.61%	6.02%	16.87%	27.71%	36.14%	0.00%
循環物質化学専攻	18.18%	0.65%	9.74%	30.52%	32.47%	8.44%	0.00%
機械システム工学専攻	8.33%	0.00%	0.00%	33.33%	58.33%	0.00%	0.00%
電気電子工学専攻	8.89%	0.74%	7.41%	37.04%	37.78%	8.15%	0.00%

工学系(前期)%

都市工学専攻	10.53%	2.63%	7.89%	15.79%	31.58%	31.58%	0.00%
先端融合工学専攻	11.49%	1.35%	6.76%	18.24%	34.46%	27.70%	0.00%

B-5 シラバスは学習する上で役に立っている

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
数理科学専攻	8.70%	4.35%	0.00%	34.78%	39.13%	13.04%	0.00%
物理科学専攻	36.54%	1.92%	9.62%	13.46%	17.31%	21.15%	0.00%
知能情報システム学専攻	15.66%	1.20%	4.82%	19.28%	27.71%	31.33%	0.00%
循環物質化学専攻	16.23%	0.00%	5.19%	30.52%	37.66%	10.39%	0.00%
機械システム工学専攻	0.00%	8.33%	0.00%	58.33%	33.33%	0.00%	0.00%
電気電子工学専攻	17.04%	0.00%	8.89%	28.89%	37.78%	7.41%	0.00%
都市工学専攻	10.53%	0.00%	13.16%	18.42%	28.95%	28.95%	0.00%
先端融合工学専攻	12.16%	0.68%	4.05%	22.30%	34.46%	26.35%	0.00%

B-6 授業内容はシラバスに沿っている

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
数理科学専攻	13.04%	0.00%	0.00%	34.78%	34.78%	17.39%	0.00%
物理科学専攻	42.31%	0.00%	1.92%	7.69%	21.15%	26.92%	0.00%
知能情報システム学専攻	16.87%	1.20%	6.02%	14.46%	28.92%	32.53%	0.00%
循環物質化学専攻	18.83%	0.00%	3.25%	24.68%	41.56%	11.69%	0.00%
機械システム工学専攻	0.00%	0.00%	8.33%	25.00%	58.33%	8.33%	0.00%
電気電子工学専攻	16.30%	0.00%	4.44%	28.15%	39.26%	11.85%	0.00%
都市工学専攻	21.05%	0.00%	0.00%	13.16%	34.21%	31.58%	0.00%
先端融合工学専攻	12.84%	1.35%	2.03%	18.24%	35.14%	30.41%	0.00%

B-7 声の大きさ・明瞭さは適切だった

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
数理科学専攻	8.70%	0.00%	4.35%	21.74%	43.48%	21.74%	0.00%
物理科学専攻	1.92%	0.00%	3.85%	11.54%	50.00%	32.69%	0.00%
知能情報システム学専攻	3.61%	0.00%	2.41%	10.84%	44.58%	38.55%	0.00%
循環物質化学専攻	12.99%	0.65%	3.90%	11.69%	59.74%	11.04%	0.00%
機械システム工学専攻	0.00%	8.33%	0.00%	16.67%	75.00%	0.00%	0.00%
電気電子工学専攻	11.11%	0.00%	2.96%	16.30%	60.74%	8.89%	0.00%
都市工学専攻	10.53%	0.00%	0.00%	10.53%	47.37%	31.58%	0.00%
先端融合工学専攻	8.11%	0.00%	0.68%	10.14%	48.65%	32.43%	0.00%

B-8 話す速さは適切だった

	該当しない・わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
数理科学専攻	8.70%	0.00%	4.35%	69.57%	13.04%	4.35%	0.00%
物理科学専攻	1.92%	0.00%	0.00%	90.38%	7.69%	0.00%	0.00%
知能情報システム学専攻	8.43%	0.00%	0.00%	85.54%	3.61%	2.41%	0.00%
循環物質化学専攻	17.53%	0.00%	0.00%	74.68%	6.49%	1.30%	0.00%
機械システム工学専攻	8.33%	0.00%	0.00%	83.33%	8.33%	0.00%	0.00%
電気電子工学専攻	16.30%	0.00%	1.48%	74.07%	8.15%	0.00%	0.00%
都市工学専攻	10.53%	0.00%	0.00%	86.84%	0.00%	2.63%	0.00%
先端融合工学専攻	10.81%	0.00%	1.35%	76.35%	11.49%	0.00%	0.00%

工学系(前期)%

B-9 授業の進む速さは適切だった

	該当しない・わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
数理科学専攻	4.35%	0.00%	4.35%	56.52%	30.43%	4.35%	0.00%
物理科学専攻	5.77%	0.00%	0.00%	84.62%	7.69%	1.92%	0.00%
知能情報システム学専攻	3.61%	0.00%	1.20%	87.95%	4.82%	2.41%	0.00%
循環物質化学専攻	15.58%	0.00%	3.25%	66.23%	11.04%	3.90%	0.00%
機械システム工学専攻	0.00%	8.33%	0.00%	83.33%	8.33%	0.00%	0.00%
電気電子工学専攻	11.11%	0.00%	4.44%	71.85%	11.85%	0.74%	0.00%
都市工学専攻	10.53%	0.00%	5.26%	81.58%	0.00%	2.63%	0.00%
先端融合工学専攻	10.81%	0.00%	2.03%	75.00%	11.49%	0.68%	0.00%

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
数理科学専攻	4.35%	0.00%	0.00%	30.43%	43.48%	21.74%	0.00%
物理科学専攻	1.92%	0.00%	9.62%	17.31%	36.54%	34.62%	0.00%
知能情報システム学専攻	4.82%	1.20%	3.61%	12.05%	39.76%	38.55%	0.00%
循環物質化学専攻	17.53%	0.65%	5.84%	27.92%	42.86%	5.19%	0.00%
機械システム工学専攻	0.00%	8.33%	0.00%	25.00%	66.67%	0.00%	0.00%
電気電子工学専攻	11.85%	0.74%	8.89%	27.41%	45.19%	5.93%	0.00%
都市工学専攻	7.89%	2.63%	2.63%	10.53%	42.11%	34.21%	0.00%
先端融合工学専攻	7.43%	2.70%	3.38%	22.30%	40.54%	23.65%	0.00%

C-2 学生の質問に適切に対応している

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
数理科学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	30.43%	39.13%	30.43%	0.00%
物理科学専攻	11.54%	0.00%	0.00%	9.62%	32.69%	46.15%	0.00%
知能情報システム学専攻	2.41%	0.00%	1.20%	16.87%	38.55%	40.96%	0.00%
循環物質化学専攻	17.53%	0.65%	2.60%	22.73%	48.05%	8.44%	0.00%
機械システム工学専攻	0.00%	8.33%	0.00%	25.00%	58.33%	8.33%	0.00%
電気電子工学専攻	11.85%	0.00%	2.22%	23.70%	52.59%	9.63%	0.00%
都市工学専攻	2.63%	0.00%	2.63%	0.00%	52.63%	42.11%	0.00%
先端融合工学専攻	9.46%	2.03%	2.03%	19.59%	39.86%	27.03%	0.00%

D-1 この授業を受講して満足が得られた

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
数理科学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	21.74%	52.17%	26.09%	0.00%
物理科学専攻	3.85%	1.92%	5.77%	13.46%	48.08%	26.92%	0.00%
知能情報システム学専攻	1.20%	1.20%	6.02%	14.46%	38.55%	38.55%	0.00%
循環物質化学専攻	3.25%	0.65%	7.14%	35.06%	43.51%	10.39%	0.00%
機械システム工学専攻	0.00%	8.33%	8.33%	16.67%	66.67%	0.00%	0.00%
電気電子工学専攻	1.48%	1.48%	7.41%	23.70%	60.00%	5.93%	0.00%
都市工学専攻	2.63%	0.00%	2.63%	5.26%	31.58%	57.89%	0.00%
先端融合工学専攻	2.03%	2.03%	3.38%	23.65%	40.54%	28.38%	0.00%

工学系(後期)%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20-40%	40-60%	60-80%	80%以上	なし
数理学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	12.50%	87.50%	0.00%
物理学専攻	0.00%	0.00%	4.17%	33.33%	62.50%	0.00%
知能情報システム学専攻	0.00%	0.00%	5.56%	0.00%	94.44%	0.00%
循環物質化学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	16.18%	83.82%	0.00%
機械システム工学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%	0.00%
電気電子工学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	0.73%	99.27%	0.00%
都市工学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	3.33%	96.67%	0.00%
先端融合工学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%	0.00%

A-2 予習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
数理学専攻	7.50%	45.00%	17.50%	7.50%	22.50%	0.00%
物理学専攻	12.00%	44.00%	20.00%	4.00%	20.00%	0.00%
知能情報システム学専攻	30.56%	16.67%	22.22%	13.89%	16.67%	0.00%
循環物質化学専攻	33.33%	40.91%	12.12%	1.52%	12.12%	0.00%
機械システム工学専攻	16.67%	83.33%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
電気電子工学専攻	16.67%	42.42%	15.15%	6.82%	18.94%	0.00%
都市工学専攻	42.86%	14.29%	10.71%	7.14%	25.00%	0.00%
先端融合工学専攻	18.97%	31.03%	13.79%	5.17%	31.03%	0.00%

A-3 復習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
数理学専攻	0.00%	22.50%	20.00%	17.50%	40.00%	0.00%
物理学専攻	16.00%	52.00%	16.00%	0.00%	16.00%	0.00%
知能情報システム学専攻	5.56%	19.44%	44.44%	13.89%	16.67%	0.00%
循環物質化学専攻	31.82%	46.97%	9.09%	1.52%	10.61%	0.00%
機械システム工学専攻	0.00%	100.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
電気電子工学専攻	12.50%	41.91%	21.32%	9.56%	14.71%	0.00%
都市工学専攻	41.38%	20.69%	13.79%	3.45%	20.69%	0.00%
先端融合工学専攻	22.95%	24.59%	19.67%	6.56%	26.23%	0.00%

A-4 この授業の学習目標を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
数理学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	5.00%	65.00%	30.00%	0.00%
物理学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	4.00%	64.00%	32.00%	0.00%
知能情報システム学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	11.11%	55.56%	33.33%	0.00%
循環物質化学専攻	1.47%	2.94%	8.82%	16.18%	48.53%	22.06%	0.00%
機械システム工学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	16.67%	83.33%	0.00%	0.00%
電気電子工学専攻	0.00%	1.44%	2.88%	17.99%	50.36%	27.34%	0.00%
都市工学専攻	0.00%	0.00%	3.33%	3.33%	40.00%	53.33%	0.00%
先端融合工学専攻	0.00%	0.00%	3.13%	15.63%	32.81%	48.44%	0.00%

A-5 この授業の成績評価基準を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
数理学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	7.50%	62.50%	30.00%	0.00%
物理学専攻	0.00%	0.00%	4.00%	0.00%	64.00%	32.00%	0.00%
知能情報システム学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	11.11%	41.67%	47.22%	0.00%

工学系(後期)%

循環物質化学専攻	1.47%	2.94%	8.82%	13.24%	45.59%	27.94%	0.00%
機械システム工学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	83.33%	16.67%	0.00%
電気電子工学専攻	0.00%	1.44%	5.76%	12.95%	51.80%	28.06%	0.00%
都市工学専攻	0.00%	3.33%	10.00%	6.67%	33.33%	46.67%	0.00%
先端融合工学専攻	0.00%	0.00%	3.13%	6.25%	42.19%	48.44%	0.00%

B-1 この授業の内容は理解できる

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理学専攻	0.00%	0.00%	7.50%	20.00%	62.50%	10.00%	0.00%
物理科学専攻	0.00%	4.00%	4.00%	8.00%	68.00%	16.00%	0.00%
知能情報システム学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	11.11%	50.00%	38.89%	0.00%
循環物質化学専攻	10.29%	1.47%	1.47%	16.18%	51.47%	19.12%	0.00%
機械システム工学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	16.67%	66.67%	16.67%	0.00%
電気電子工学専攻	1.44%	0.72%	5.04%	18.71%	54.68%	19.42%	0.00%
都市工学専攻	6.67%	0.00%	0.00%	3.33%	43.33%	46.67%	0.00%
先端融合工学専攻	10.94%	3.13%	3.13%	7.81%	35.94%	39.06%	0.00%

B-2 この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	20.00%	62.50%	17.50%	0.00%
物理科学専攻	0.00%	0.00%	4.00%	0.00%	68.00%	28.00%	0.00%
知能情報システム学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	11.11%	38.89%	50.00%	0.00%
循環物質化学専攻	8.82%	1.47%	2.94%	11.76%	45.59%	29.41%	0.00%
機械システム工学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	50.00%	50.00%	0.00%
電気電子工学専攻	3.60%	0.00%	2.88%	20.14%	53.96%	19.42%	0.00%
都市工学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	56.67%	43.33%	0.00%
先端融合工学専攻	10.94%	3.13%	1.56%	12.50%	31.25%	40.63%	0.00%

B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理学専攻	7.50%	0.00%	0.00%	22.50%	55.00%	15.00%	0.00%
物理科学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	20.00%	40.00%	40.00%	0.00%
知能情報システム学専攻	8.33%	0.00%	0.00%	5.56%	44.44%	41.67%	0.00%
循環物質化学専攻	20.59%	2.94%	5.88%	25.00%	30.88%	14.71%	0.00%
機械システム工学専攻	16.67%	0.00%	0.00%	16.67%	33.33%	33.33%	0.00%
電気電子工学専攻	9.35%	0.00%	0.72%	23.02%	51.80%	15.11%	0.00%
都市工学専攻	20.00%	0.00%	0.00%	13.33%	43.33%	23.33%	0.00%
先端融合工学専攻	14.06%	3.13%	4.69%	17.19%	18.75%	42.19%	0.00%

B-4 教材(テキスト、配布資料、その他)はわかりやすかった

	該当しない・ わからない	全くそうは思 わない	そうは思わ ない	どちらともい えない	そう思う	全くその通り だと思う	なし
数理学専攻	12.50%	0.00%	0.00%	17.50%	62.50%	7.50%	0.00%
物理科学専攻	4.00%	0.00%	0.00%	20.00%	40.00%	36.00%	0.00%
知能情報システム学専攻	5.56%	0.00%	2.78%	13.89%	44.44%	33.33%	0.00%
循環物質化学専攻	22.06%	0.00%	4.41%	22.06%	38.24%	13.24%	0.00%
機械システム工学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	16.67%	66.67%	16.67%	0.00%
電気電子工学専攻	11.51%	0.00%	0.00%	29.50%	42.45%	16.55%	0.00%

工学系(後期)%

都市工学専攻	16.67%	0.00%	0.00%	20.00%	43.33%	20.00%	0.00%
先端融合工学専攻	15.63%	1.56%	1.56%	15.63%	23.44%	42.19%	0.00%

B-5 シラバスは学習する上で役に立っている

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
数理科学専攻	10.00%	2.50%	0.00%	22.50%	55.00%	10.00%	0.00%
物理科学専攻	20.00%	0.00%	0.00%	20.00%	40.00%	20.00%	0.00%
知能情報システム学専攻	11.11%	0.00%	5.56%	16.67%	30.56%	36.11%	0.00%
循環物質化学専攻	17.65%	5.88%	5.88%	29.41%	26.47%	14.71%	0.00%
機械システム工学専攻	16.67%	0.00%	0.00%	33.33%	50.00%	0.00%	0.00%
電気電子工学専攻	6.47%	2.16%	1.44%	32.37%	41.01%	16.55%	0.00%
都市工学専攻	16.67%	0.00%	3.33%	23.33%	43.33%	13.33%	0.00%
先端融合工学専攻	15.63%	0.00%	6.25%	12.50%	28.13%	37.50%	0.00%

B-6 授業内容はシラバスに沿っている

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
数理科学専攻	10.00%	0.00%	0.00%	20.00%	52.50%	17.50%	0.00%
物理科学専攻	20.00%	0.00%	0.00%	0.00%	40.00%	40.00%	0.00%
知能情報システム学専攻	16.67%	0.00%	0.00%	8.33%	44.44%	30.56%	0.00%
循環物質化学専攻	19.12%	2.94%	4.41%	23.53%	29.41%	20.59%	0.00%
機械システム工学専攻	16.67%	0.00%	0.00%	0.00%	66.67%	16.67%	0.00%
電気電子工学専攻	5.76%	0.00%	5.04%	23.74%	46.76%	18.71%	0.00%
都市工学専攻	16.67%	0.00%	0.00%	23.33%	53.33%	6.67%	0.00%
先端融合工学専攻	17.19%	0.00%	1.56%	12.50%	31.25%	37.50%	0.00%

B-7 声の大きさ・明瞭さは適切だった

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
数理科学専攻	5.00%	0.00%	5.00%	12.50%	70.00%	7.50%	0.00%
物理科学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	60.00%	40.00%	0.00%
知能情報システム学専攻	5.56%	0.00%	2.78%	2.78%	55.56%	33.33%	0.00%
循環物質化学専攻	20.59%	0.00%	1.47%	13.24%	41.18%	23.53%	0.00%
機械システム工学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	16.67%	83.33%	0.00%	0.00%
電気電子工学専攻	10.07%	0.00%	0.72%	15.83%	56.83%	16.55%	0.00%
都市工学専攻	20.00%	0.00%	0.00%	6.67%	40.00%	33.33%	0.00%
先端融合工学専攻	10.94%	1.56%	3.13%	10.94%	28.13%	45.31%	0.00%

B-8 話す速さは適切だった

	該当しない・わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
数理科学専攻	5.00%	0.00%	0.00%	70.00%	25.00%	0.00%	0.00%
物理科学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%	0.00%	0.00%	0.00%
知能情報システム学専攻	5.56%	0.00%	0.00%	94.44%	0.00%	0.00%	0.00%
循環物質化学専攻	20.59%	0.00%	0.00%	76.47%	2.94%	0.00%	0.00%
機械システム工学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%	0.00%	0.00%	0.00%
電気電子工学専攻	14.39%	0.00%	0.00%	76.98%	3.60%	5.04%	0.00%
都市工学専攻	26.67%	0.00%	0.00%	73.33%	0.00%	0.00%	0.00%
先端融合工学専攻	17.19%	0.00%	1.56%	76.56%	4.69%	0.00%	0.00%

工学系(後期)%

B-9 授業の進む速さは適切だった

	該当しない・わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
数理科学専攻	5.00%	0.00%	5.00%	70.00%	20.00%	0.00%	0.00%
物理科学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	96.00%	0.00%	4.00%	0.00%
知能情報システム学専攻	5.56%	0.00%	0.00%	86.11%	8.33%	0.00%	0.00%
循環物質化学専攻	20.59%	0.00%	1.47%	76.47%	1.47%	0.00%	0.00%
機械システム工学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%	0.00%	0.00%	0.00%
電気電子工学専攻	8.63%	0.00%	0.00%	82.73%	4.32%	4.32%	0.00%
都市工学専攻	26.67%	0.00%	0.00%	70.00%	3.33%	0.00%	0.00%
先端融合工学専攻	20.31%	0.00%	1.56%	75.00%	3.13%	0.00%	0.00%

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
数理科学専攻	5.00%	0.00%	0.00%	17.50%	70.00%	7.50%	0.00%
物理科学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	16.00%	48.00%	36.00%	0.00%
知能情報システム学専攻	0.00%	0.00%	2.78%	11.11%	44.44%	41.67%	0.00%
循環物質化学専攻	20.59%	2.94%	2.94%	26.47%	33.82%	13.24%	0.00%
機械システム工学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	33.33%	66.67%	0.00%
電気電子工学専攻	9.35%	0.72%	3.60%	22.30%	48.20%	15.83%	0.00%
都市工学専攻	20.00%	0.00%	0.00%	6.67%	50.00%	23.33%	0.00%
先端融合工学専攻	14.06%	1.56%	6.25%	4.69%	31.25%	42.19%	0.00%

C-2 学生の質問に適切に対応している

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
数理科学専攻	2.50%	0.00%	0.00%	15.00%	62.50%	20.00%	0.00%
物理科学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	16.00%	48.00%	36.00%	0.00%
知能情報システム学専攻	8.33%	0.00%	0.00%	0.00%	30.56%	61.11%	0.00%
循環物質化学専攻	22.06%	0.00%	4.41%	16.18%	38.24%	19.12%	0.00%
機械システム工学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	16.67%	83.33%	0.00%
電気電子工学専攻	8.63%	0.72%	0.00%	18.71%	48.92%	23.02%	0.00%
都市工学専攻	10.00%	0.00%	0.00%	3.33%	46.67%	40.00%	0.00%
先端融合工学専攻	12.50%	0.00%	1.56%	10.94%	31.25%	43.75%	0.00%

D-1 この授業を受講して満足が得られた

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
数理科学専攻	2.50%	0.00%	0.00%	12.50%	70.00%	15.00%	0.00%
物理科学専攻	0.00%	0.00%	4.00%	12.00%	52.00%	32.00%	0.00%
知能情報システム学専攻	0.00%	0.00%	2.78%	0.00%	52.78%	44.44%	0.00%
循環物質化学専攻	1.47%	0.00%	7.35%	16.18%	60.29%	14.71%	0.00%
機械システム工学専攻	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	50.00%	50.00%	0.00%
電気電子工学専攻	0.72%	0.00%	3.60%	20.86%	53.24%	21.58%	0.00%
都市工学専攻	3.33%	0.00%	3.33%	3.33%	53.33%	36.67%	0.00%
先端融合工学専攻	3.13%	3.13%	0.00%	17.19%	32.81%	43.75%	0.00%

農学研(前期)%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20-40%	40-60%	60-80%	80%以上	なし
農学研究科	0.00%	0.00%	0.32%	4.15%	95.53%	0.00%

A-2 予習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
農学研究科	29.64%	38.44%	13.03%	5.86%	13.03%	0.00%

A-3 復習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
農学研究科	28.99%	41.04%	12.70%	4.89%	12.38%	0.00%

A-4 この授業の学習目標を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
農学研究科	0.63%	2.22%	1.90%	10.16%	51.43%	33.65%	0.00%

A-5 この授業の成績評価基準を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
農学研究科	0.63%	5.08%	2.86%	11.75%	46.35%	33.33%	0.00%

B-1 この授業の内容は理解できる

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
農学研究科	1.90%	0.32%	0.95%	12.38%	54.92%	29.52%	0.00%

B-2 この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
農学研究科	0.95%	0.95%	1.59%	11.11%	44.76%	40.63%	0.00%

B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
農学研究科	5.08%	0.63%	2.22%	18.10%	39.68%	34.29%	0.00%

B-4 教材(テキスト、配布資料、その他)はわかりやすかった

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
農学研究科	7.30%	0.63%	2.86%	16.51%	41.59%	31.11%	0.00%

B-5 シラバスは学習する上で役に立っている

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
農学研究科	14.60%	5.40%	3.81%	24.44%	27.30%	24.44%	0.00%

B-6 授業内容はシラバスに沿っている

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
農学研究科	18.73%	4.44%	1.59%	20.95%	32.06%	22.22%	0.00%

農学研(前期)%

B-7 声の大きさ・明瞭さは適切だった

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
農学研究科	2.86%	0.32%	3.81%	12.06%	49.52%	31.43%	0.00%

B-8 話す速さは適切だった

	該当しない・わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
農学研究科	5.71%	0.32%	2.86%	84.44%	5.40%	1.27%	0.00%

B-9 授業の進む速さは適切だった

	該当しない・わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
農学研究科	7.62%	0.00%	3.49%	81.27%	6.03%	1.59%	0.00%

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
農学研究科	5.08%	0.63%	3.17%	14.29%	44.76%	32.06%	0.00%

C-2 学生の質問に適切に対応している

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
農学研究科	8.89%	0.63%	0.95%	11.75%	40.95%	36.83%	0.00%

D-1 この授業を受講して満足が得られた

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
農学研究科	1.59%	0.95%	2.22%	13.33%	43.81%	38.10%	0.00%

農学研(後期)%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20-40%	40-60%	60-80%	80%以上	なし
農学研究科	0.00%	0.78%	1.55%	12.40%	85.27%	0.00%

A-2 予習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
農学研究科	35.11%	35.88%	7.63%	4.58%	16.79%	0.00%

A-3 復習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
農学研究科	35.38%	40.00%	8.46%	5.38%	10.77%	0.00%

A-4 この授業の学習目標を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
農学研究科	0.00%	0.00%	6.11%	10.69%	48.09%	35.11%	0.00%

A-5 この授業の成績評価基準を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している	なし
農学研究科	0.00%	0.00%	4.58%	10.69%	46.56%	38.17%	0.00%

B-1 この授業の内容は理解できる

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
農学研究科	0.76%	0.00%	2.29%	11.45%	59.54%	25.95%	0.00%

B-2 この科目を受講してみて、内容への興味が増してきた

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
農学研究科	0.76%	0.76%	2.29%	13.74%	52.67%	29.77%	0.00%

B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
農学研究科	3.82%	0.76%	2.29%	15.27%	53.44%	24.43%	0.00%

B-4 教材(テキスト、配布資料、その他)はわかりやすかった

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
農学研究科	9.16%	0.00%	2.29%	17.56%	47.33%	23.66%	0.00%

B-5 シラバスは学習する上で役に立っている

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
農学研究科	17.56%	0.76%	3.05%	17.56%	41.98%	19.08%	0.00%

B-6 授業内容はシラバスに沿っている

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
農学研究科	18.32%	0.76%	3.05%	15.27%	41.98%	20.61%	0.00%

農学研(後期)%

B-7 声の大きさ・明瞭さは適切だった

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
農学研究科	0.00%	0.00%	1.53%	12.21%	59.54%	26.72%	0.00%

B-8 話す速さは適切だった

	該当しない・わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
農学研究科	0.00%	0.00%	1.53%	88.55%	9.92%	0.00%	0.00%

B-9 授業の進む速さは適切だった

	該当しない・わからない	かなり遅い	少し遅い	丁度良い	少し速い	かなり速い	なし
農学研究科	0.76%	0.00%	3.05%	90.08%	6.11%	0.00%	0.00%

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
農学研究科	0.00%	0.76%	3.05%	17.56%	51.91%	26.72%	0.00%

C-2 学生の質問に適切に対応している

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
農学研究科	4.58%	0.76%	0.00%	9.92%	55.73%	29.01%	0.00%

D-1 この授業を受講して満足が得られた

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	なし
農学研究科	0.00%	0.76%	1.53%	12.98%	57.25%	27.48%	0.00%